

松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）設計図

図面表紙共 65枚

図 面 目 録											
	図番	図面名称	縮尺		図番	図面名称	縮尺		図番	図面名称	縮尺
建築 (総合)	0	表紙・図面目録	NS	建築 (総合)	A37	外構図(現況)	1/200	建築 (構造)	S01	特記仕様書(構造関係)	NS
	A01	建築工事特記仕様書(1)	NS		A38	外構図(改修後)	1/200		S02	構造関係共通事項-1	NS
	A02	建築工事特記仕様書(2)	NS		A39	外構詳細図1	図示		S03	構造関係共通事項-2	NS
	A03	建築工事特記仕様書(3)	NS		A40	外構詳細図2	図示		S04	構造関係共通事項-3	NS
	A04	付近見取図、配置図、求積図・面積表	1/500他		A41	外構詳細図3	図示		S05	構造関係共通事項-4	NS
	A05	仕上表	NS		A42	外構詳細図4	図示		S06	構造関係共通事項-5	NS
	A06	ピット・1階平面図	1/100		A43	仮設計画図(参考)	1/300		S07	構造関係共通事項-6	NS
	A07	2階・屋根平面図	1/100		A44	工事区分表	NS		S08	土質柱状図	1/150
	A08	立面図	1/100						S09	杭・基礎伏図	1/100
	A09	断面図1	1/100						S10	1階・2階伏図	1/100
	A10	断面図2	1/100						S11	屋根伏図	1/100
	A11	矩計図1	1/50						S12	軸組図(1)	1/100
	A12	矩計図2	1/50						S13	軸組図(2)	1/100
	A13	矩計図3	1/50						S14	軸組図(3)	1/100
	A14	矩計図4	1/50						S15	軸組図(4)	1/100
	A15	平面詳細図1	1/50						S16	部材リスト(1)	1/50
	A16	平面詳細図2	1/50						S17	部材リスト(2)	1/50
	A17	平面詳細図3	1/50						S18	架構詳細図・雑詳細図	1/50,30
	A18	展開図1	1/100						S19	ブドウ棚伏図・詳細図	1/100,30
	A19	展開図2	1/100						S20	鋼製床板 設計・施工標準仕様書(参考)	NS
	A20	天井伏図・2階床伏図	1/100								
	A21	建具キープラン・建具表	1/100他								
	A22	建具詳細図1	図示								
	A23	建具詳細図2	図示								
	A24	建具詳細図3	図示								
	A25	雑詳細図1	図示								
	A26	雑詳細図2	図示								
	A27	雑詳細図3	図示								
	A28	雑詳細図4	図示								
	A29	屋根詳細図	1/10								
	A30	調湿内装詳細図1	図示								
	A31	調湿内装詳細図2	図示								
	A32	調湿内装詳細図3	図示								
	A33	収蔵棚キープラン	1/100								
	A34	収蔵棚姿図1	1/50								
	A35	収蔵棚姿図2	1/50								
	A36	収蔵棚姿図3	1/50								

建築工事仕様書

1章一般共通事項

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）による。（以下「標準仕様書」という。）

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

1章一般共通事項

1③ 施工の検査等

1④ 化学物質の濃度測定

標準仕様書（1.5.4）により報告した場合、監督職員の検査を受ける。（1.5.5）
・見本施工の実施（ ）については見本施工を行う。

施工完了時に室内空気中の濃度測定を行い測定結果をまとめて報告する。
測定対象化学物質：○ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、
○アンモニア、酢酸

測定対象室及び測定箇所数

測定対象室	測定箇所数
収蔵室A、C、前室1、2	※各室1箇所・各室2箇所
収蔵室B	※各室1箇所○各室2箇所
	※各室1箇所・各室2箇所
	※各室1箇所・各室2箇所

測定方法：◎バッチ採取による蒸気拡散式分析法・厚生労働省の標準法○北川式ガス検知管法
測定対象室を30分間換気し、その後5時間閉鎖する。
測定は、換気設備又は空調調設備を稼働させたまま行う。
測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定（10時30分～18時30分）とする。
測定回数は1回とする。
測定年月日、測定時刻、測定時の室温・湿度・天候、及び内装仕上げ工事の完了した年月日等を記録すること。

1⑤ 工事検査

1⑥ 完成時の提出図書

1⑦ 竣工写真

1⑧ 工事写真

1⑨ 設計GL

2⑩ 養生その他

2⑪ 工事書類

2⑫ 火災保険等

2⑬ 労働安全衛生法

2⑭ 市内企業等優先使用

2章仮設工事

① 足場その他

2章仮設工事

② 仮設現場事務所

③ 工事看板等

④ 工事用水

⑤ 工事用電力

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3 建設発生土情報交換システム

4 山留めの撤去

4章地業工事

1 試験杭

2 載荷試験

3 報告書等

4 既製コンクリート杭及び鋼杭地業

5 砂利地業

6 捨コンクリート地業

7 床下防湿層

5章鉄筋工事

1 鉄筋の種類

2 鉄筋の継手

3 鉄筋のかぶり厚さ

4 各部の配筋

5 圧接完了後の試験

6 溶接金網

6章コンクリート工事

1 コンクリートの種類

2 コンクリートの強度

3 構造体コンクリートの強度

4 気密単位容積質量

5 コンクリートの仕上り

6 セメント

7 骨材

8 混和材料

9 打継ぎ

10 型枠

11 スリーブ

12 寒中コンクリート

13 暑中コンクリート

14 マスコンクリート

15 無筋コンクリート

16 流動化コンクリート

※異形鉄筋 JIS G 3112
D16以下 ※SD295A・
D19以上 ※SD345・

(5.2.1)
(表5.2.1)

柱の主筋・梁の主筋： ※ガス圧接継手・
その他の鉄筋： ※重ね継手・
長さは（表5.3.2）による。

(5.3.4)
(表5.3.2)

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、（表5.3.6）による。
・その他部分の最小かぶり厚さ
・土に接する軽量コンクリート：（表5.3.6）に10mm加えた寸法とする。
・屋外に面する打放し部分：（表5.3.6）に10mm加えた寸法とする。

(5.3.5)
(表5.3.6)

各部配筋参考図 1から7節による。

(5.3.7)

試験方法 ※超音波探傷試験・引張試験

(5.4.10)

形状及び寸法： ※径6mm 網目寸法100×100・径6mm 網目寸法150×150

(5.2.2)

※コンクリート I類とする。
・特殊な要求性能におけるコンクリート（ ）

(6.2.1)

普通コンクリート
設計基準強度 Fc 適用箇所
※21 (N/㎠)
・18 (N/㎠)

(6.2.2)

設計基準強度以上とし、所定の供試体の圧縮強度を基に推定する。

(6.2.2)

2.1 t/mを超え2.5 t/m以下を標準とする。

(6.2.3)

許容差や測定方法： ※（表6.2.3）による。
打放し仕上げの種類： ・A種 ※B種・C種
仕上りの平坦さ： ※（表6.2.5）による。

(6.2.5)
(表6.2.4)

セメントの種類 使用部位
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種 ※すべて
・1FLより上部
・高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種 ・1FLより下部

(6.3.1)

フェロニッケルスラグ細骨材、銅スラグ細骨材及び電気炉酸化スラグ細骨材
・使用する ※使用しない
川砂を用いる場合は、配合報告書に採取場所（地域）を明記し、監督職員に提出する。

(6.3.1)

混和剤の使用： ・AE剤・AE減水剤・高性能AE減水剤 ※使用しない
混和材の使用： ・フライアッシュのI種又はII種 ※使用しない
混和材料を使用する場合は、種類、使用方法及び使用量の分かる資料により、監督職員の承諾を受ける。

(6.3.1)

打継ぎ目地寸法： ※幅20mm以上、深さ10mm以上・幅15mm以上 深さ10mm以上
打継ぎ面は、水がたまらないようにし、レイトラス及び脆弱なコンクリートを取り除き、健全なコンクリートを露出させる。

(6.6.4)

コンクリート打放し仕上げの打増し厚さ： ※20mm・10mm
ひび割れ誘発目地寸法： ※幅20mm以上、深さ10mm以上・幅15mm以上、深さ10mm以上
床型枠用鋼製デッキプレートを用いる場合は、実積等の資料を監督職員に提出する。（6.8.3）
断熱材を兼用した型枠材
厚さ：※25mm
断熱抵抗（厚さ／熱伝導率）：0.676以上 (t・㎡・k/w)

(6.8.2)

使用場所 スリーブの材種
外壁の地中部分等水密を要する部分 ※つば付き鋼管・
地中部分等水密を要しない部分 ※硬質塩化ビニル管・
その他の部分 ※つば付き溶融亜鉛めっき鋼板・
#柱及び梁以外の箇所では、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙チューブでよい。
#硬質塩化ビニル管は、防火区画に使用しない。

(6.8.2)

適用期間：日平均気温が4℃以下になると予想されるとき。
初期凍害防止のための初期養生計画、構造体コンクリートが所定の材齢までに所要の強度を得るための材料・調合及び養生の計画、さらにその管理方法を定めて監督職員の承諾を受けること。

(6.11.1)

適用期間：日平均気温が25℃を超えると予想されるとき。
構造体強度補正値(S)は、6N/mm'とする。

(6.12.1)
(6.12.2)

部材断面の最小寸法が大きく、かつ、セメントの水和熱による温度上昇で有害なひび割れが入るおそれのある部分のコンクリートに適用する。

(6.13.1)

適用箇所は（6.14.1）による。
設計基準強度： ※18N/mm'・
スランプ： ※15cm以下・18cm以下

(6.14.1)

普通コンクリートに流動化剤を添加し、これを攪拌して流動性を増大させたコンクリートに適用する。

(6.15.1)

訂正日付

図面は約70%縮小しています（A2→A3）

株式会社 浦野設計三重支社

URANO ARCHITECTS & ENGINEERS

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号

管理技術者

一級建築士
第333565号
江口 浩壽

担当者

設計番号
P2001M
日付
2020.10

工事名称
松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）
図面名称
建築工事特記仕様書（1）
縮尺
NS

図面種別
A
図面番号
O1

18章

塗装工事

① 材料

ホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。
防火材料： ※屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。
・次の箇所を除き、防火材料とする（ ）
使用数量計算書を添付した材料調書を作成し、監督職員に提出する。
(18.1.3)

② 素地ごしらえ

木部（不透明塗料塗り）： ※A種 ・B種
（透明塗料塗り）： ・A種 ※B種
鉄鋼面： ・A種 ・B種 ※C種
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）： ・A種 ・B種 ※C種
（その他）： ・A種 ※B種 ・C種
モルタル面及びプaster面： ・A種 ※B種
コンクリート及びセメント面： ※塗り工法による ・A種 ・B種
せっこうボード及びその他のボード面： ・A種 ・B種
(18.2.2)
(18.2.3)
(18.2.4)
(18.2.5)
(18.2.6)
(18.2.7)

③ 錆止め塗料塗り

鉄鋼面の種別： ※A種 ・エポキシ系
つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）の場合、B種とする。
(18.3.2)

亜鉛めっき鉄鋼面の種別： ・A種（屋外、屋内）※B種（屋外・屋内）・C種（表18.3.2)

4 屋根用塗料塗り

種別： ※遮熱塗料 ・ウレタン系塗料 ・シリコン系塗料
塗料名： （ ）又は、同等品以上とする。
塗布量、施工方法等はメーカー仕様による。

⑤ 床用塗料塗り

種別： ※ウレタン系 ○エポキシ系 ・アクリル系
仕上げ： ※平滑仕上げ ○防滑仕上げ
塗料名： （ ）又は、同等品以上とする。
塗布量、施工方法等はメーカー仕様による。

19章

内装工事

① 接着剤

接着剤のホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。
(19.2.2)

② ビニル床シート

種類 色柄 厚さ(mm) 継目 備考
※FS ○無地 ○2.5 ※溶接
・HS ※柄物 ※2.0 ・突付け
・ビニル幅床 厚さ(mm)： ※1.5 ・ 高さ： ※60 ○図示による
(19.2.2)

3 ビニル床タイル

寸法 種類 厚さ(mm)
※300×300 ※コンポジションビニル床タイル 半硬質 ※2.0
・450×450 ・コンポジションビニル床タイル 軟 質 ・3.0
・ ・ ・ホモジニアスビニル床タイル ・
(19.2.2)

4 特殊機能床材

・帯電防止ビニル床タイル
寸法(mm)： ※500×500 ・
厚さ(mm)： ※4.0 ・
帯電性能評価値（JIS A 1455）
・U値 1.2~3.1 又は帯電圧（JIS L 1023）3kV 未満
・U値 3.2~5.1 又は漏洩抵抗値（JIS A 1454）0.1×10¹⁰Ω未満
・視覚障害用床タイル
寸法・材質・色等： （ ）
(19.2.2)

5 カーペット敷き

・タフテッドカーベット
バイルの形状 バイル長 色柄 工法
※カットバイル ※5~7mm ・ ※無地 ※全面接着工法
・ループバイル ※4~6mm ・ ・柄物 ・グリッパ―工法
(19.3.2)
(表19.3.2)

・タイルカーベット
種類 バイルの形状 色柄 寸法 総厚さ(mm)
※第一種 ※ループバイル ※無地 ※500°角 ※6.5
・第二種 ・カットバイル ・柄物 ・
(19.3.2)

・帯電防止タイルカーベットの電気抵抗（Ω）
体積抵抗値（JIS K 6911）0.1×10⁹Ω以下
又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）0.1×10¹⁰Ω未満
(19.3.2)

6 合成樹脂床

・弾性ウレタン塗床材： ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
(19.4.2)
(表19.4.4)
(19.4.3)
(表19.4.5)

・エポキシ樹脂塗床材： ※薄膜流し展べ仕上げ ・厚幕流し展べ仕上げ
・樹脂モルタル仕上げ ・防滑仕上げ
(19.4.3)
(表19.4.8)

⑦ フローリング張り

種別 品名 工法 樹種 塗装
○単層 ○フローリングボード1等 ○釘留め工法 ※なら ※塗装品
・モザイクパーケット1等 ・接着工法 ○ぶな ※無塗装品
・フローリングブロック1等 ※モルタル埋込み工法
※複合 ※複合フローリング ・釘留め工法（A種）
・釘留め工法（C種）
・接着工法
(19.5.2)
(19.5.3)
(19.5.4)
(19.5.5)

・塗装： ※ウレタン樹脂ワニス塗りB種 ・オイルステイン塗り+ワックス塗り（19.5.6）

8 畳敷き

種別： ・A種 ※B種 ・C種 ・D種
(19.6.2)
(表19.6.1)

20章

ユニット及びその他の工事

⑨ せっこうボード、
その他のボード
及び合板張り

(19.7.2)
(表19.7.1)

⑩ 壁紙張り

品質： JIS A 6921による。
防火性能の級別： ※1級 ・
(19.8.2)

1① 断熱材

材料 種類 施工箇所 厚さ(mm) 品質
○ポリスチレン ※押出法（2種b） ビット ※25 JIS A 9511
フォーム保温材 ・ビーズ法 ○50 JIS A 9521
○硬質ウレタン ※現場発泡（A種1） 建具周囲補修 JIS A 9526
フォーム断熱材 壁・屋根 ○40、20
○グラスウール ○82kg/m3 收藏室 ○50
壁・天井裏
○ウレタンフォームの難燃性： ※あり（難燃3級） ・なし
(19.9.2)
(19.9.3)

1 フリーアクセス
フロア

施工箇所 厚さ(mm) 品質
構造法 ・清構法 ※パネル構造
・支柱一体 ※支柱分継
仕上げ高さ ※50mm程度 ・100mm程度 ・150mm程度
寸法 ※500×500 ・600×600 ・450×450
材質 ・樹脂製 ・スチール製 ・アルミダイカスト製
水平震度 ※1.0G ・0.6G
耐荷重 ※3000N ・5000N
表面材料 ※タイルカーペット ・帯電防止床タイル
(20.2.2)

2 可動間仕切

構造形式： ※スタッド式 ・パネル式 ・スタッドパネル式
(20.2.3)
スタッドの材質： ※スチール ・アルミニウム
パネルの材質： ※スチール系 ・ガラス系 ・アルミニウム系 ・樹脂系
表面仕上げ： ※焼付け塗装 ・壁紙張り
遮音性（透過損失）： ※15dB ・30dB ・36dB
(20.2.4)

3 移動間仕切

操作方法： ※手動式 ・電動式 ・部分電動式
(20.2.4)
スタッドの材質： ※スチール ・アルミニウム
パネルの材質： ※スチール系 ・ガラス系 ・アルミニウム系 ・樹脂系
表面仕上げ： ※焼付け塗装 ・壁紙張り
遮音性（透過損失）： ※一般タイプ（36dB未満） ・遮音タイプ（36dB以上）
(20.2.5)

4 トイレブース

パネル表面材： ※メラミン樹脂化粧板 ・ポリエステル樹脂化粧板
(20.2.5)
幅木： ※あり（ステンレス製） ・無し（支柱）
扉小口の材質： ※ステンレス製 ・アルミニウム製
その他、製造所仕様による
(20.2.6)

5 階段滑止め

仕様： ※ステンレス SUS304製 タイヤ入り（両端フラットエンド付）幅35mm
(20.2.6)

6 黒板及び
ホワイトボード

材質： ※黒板 ・ホワイトボード
(20.2.8)
黒板は焼付け黒板で色は緑とし、JIS S 6007によるものとする。
ホワイトボードは、全国黒板工業連盟の「品質管理マーク」を表示しているものとする。
(20.2.10)

⑦ 表示

ガラス衝突防止表示： ※設ける（アルミニウム製） ○設けない
(20.2.10)
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状などは、設計図書による。
(20.2.11)

8 煙突ライニング

安全使用温度： ※400℃ ・650℃
(20.2.12)

9 ブラインド

形式 スラット 開閉方式 スラット幅(mm)
※横型 ※アルミニウム合金 ※ギヤ式 ・コード式 ※25
・縦型 ・アルミニウム合金 ※片開き ※1本操作コード方式 ※80
・クロス ・両開き ※2本操作コード方式 ・100
ヘッドボックス、ボトムレールの材質： ※アルミニウム合金製 ・鋼製
(20.2.13)

10 ロールスクリーン

操作方法： ※コード式（チェーン式） ・スプリング式 ・電動式
(20.2.13)
スクリーンの柄等： ※無地 ・柄物 ・すだれ調 ・遮光
(20.2.14)
(表20.2.1)

21章

排水工事

① 排水管材料

(21.2.1)
(表21.2.1)

② 排水柵及びふた

・鎖鉄製マンホールふた
(21.2.2)
(表21.2.2)

③ 排水柵の厚さ

下記以外の路盤の厚さは下記による。
(22.3.2)

④ 路盤材料

透水性アスファルト舗装： ※クラッシュラン0-40 又はクラッシュランスラグGS-40
(22.3.3)
(表22.3.1)

⑤ アスファルト舗装

構成及び厚さは次による。
(22.4.2)
車道部の基層： ・あり（30） 表層50 ※なし 表層30
カラー舗装の種類： ※着色した加熱アスファルト混合物
・着色舗装又は樹脂系混合物 ・樹脂系舗装
アスファルトの材料： ※再生アスファルト ・スレートアスファルト
(22.4.3)
加熱アスファルト混合物の種類（表層）： ※密粒度（13） ・細粒度（13）
シールコート： ※行わない ・行う
アスファルト混合物等の抽出試験： ※行わない ・行う
(22.4.4)

⑥ コンクリート舗装

構成及び厚さは、（表22.5.1）による。
(22.5.2)
溶接金網敷き： ※行う ・行わない
形状及び寸法： ※径6mm 網目寸法100×100 ・径6mm 網目寸法150×150
(22.8.4)

7 ブロック系舗装

インターロッキングブロック舗装
種類 厚さ(mm)
※標準ブロック ・透水ブロック ※60（歩道部）・80（車道部）
・植生ブロック ※80 ・100
(22.9.2)
(22.9.3)

⑧ 砂利敷き

種類（通路）： RC-40 45mmの上 砂利25mm
(22.9.2)
(建物周囲)： 砂利45mm
(22.9.3)

22章

舗装工事

1 路床安定処理

・適用する ※適用しない
添加材料 ※普通ポルトランドセメント
(22.2.2)
(22.2.3)

2 路床の試験

・路床土の支持力比試験
（※乱した土・乱さない土）
(22.2.5)
・路床締固め度の試験
(22.3.2)

③ 路盤の厚さ

下記以外の路盤の厚さは下記による。
(22.3.2)

④ 路盤材料

透水性アスファルト舗装： ※クラッシュラン0-40 又はクラッシュランスラグGS-40
(22.3.3)
(表22.3.1)

⑤ アスファルト舗装

構成及び厚さは次による。
(22.4.2)
車道部の基層： ・あり（30） 表層50 ※なし 表層30
カラー舗装の種類： ※着色した加熱アスファルト混合物
・着色舗装又は樹脂系混合物 ・樹脂系舗装
アスファルトの材料： ※再生アスファルト ・スレートアスファルト
(22.4.3)
加熱アスファルト混合物の種類（表層）： ※密粒度（13） ・細粒度（13）
シールコート： ※行わない ・行う
アスファルト混合物等の抽出試験： ※行わない ・行う
(22.4.6)

⑥ コンクリート舗装

構成及び厚さは、（表22.5.1）による。
(22.5.2)
溶接金網敷き： ※行う ・行わない
形状及び寸法： ※径6mm 網目寸法100×100 ・径6mm 網目寸法150×150
(22.8.4)

7 ブロック系舗装

インターロッキングブロック舗装
種類 厚さ(mm)
※標準ブロック ・透水ブロック ※60（歩道部）・80（車道部）
・植生ブロック ※80 ・100
(22.9.2)
(22.9.3)

⑧ 砂利敷き

種類（通路）： RC-40 45mmの上 砂利25mm
(22.9.2)
(建物周囲)： 砂利45mm
(22.9.3)

23章

植栽及び屋上緑化工事

1 植栽基盤

植栽基盤整備工法： ※適用する ・適用しない
(23.2.2)
(表23.2.2)

② 材料

植込み用土： ・客土 ※現場発生土の良質土
(23.2.3)
土壌改良材： ・適用する（施工箇所）
(23.3.2)

3 支柱材

※杉の焼き丸太（間伐材） ・真竹
防腐処理方法： ※加圧式防腐処理丸太材 ・処理なし
(23.4.2)
(23.4.3)

4 芝張り

材料： ※こらうり芝の類 ・野芝の類
(23.4.2)
工法（平地）： ※目地張り ・べた張り
（法面）： ・目地張り ※べた張り
(23.5.2)
(23.5.3)

5 屋上緑化システム

土壌層の厚さ： ・6cm ・15cm ・30cm
排水層： ・軽量骨材 ・板状成形品
植込み用土： ・人工軽量土 ※改良土
(23.6.2)
(23.6.3)

6 屋上緑化軽量
システム

製作所の仕様による。
(23.6.2)
(23.6.3)

設計図書

設計番号
P2001M
日付
2020.10

工事名称
松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）
図面名称
建築工事特記仕様書（3）
縮尺
NS

図面種別
A
図面番号
03

株式会社 浦野設計三重支社

URANO ARCHITECTS & ENGINEERS
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号

図面は約70%縮小しています（A2→A3）

管理技術者

一級建築士
第333565号
江口 浩壽

担当者

設計図書

2020.10

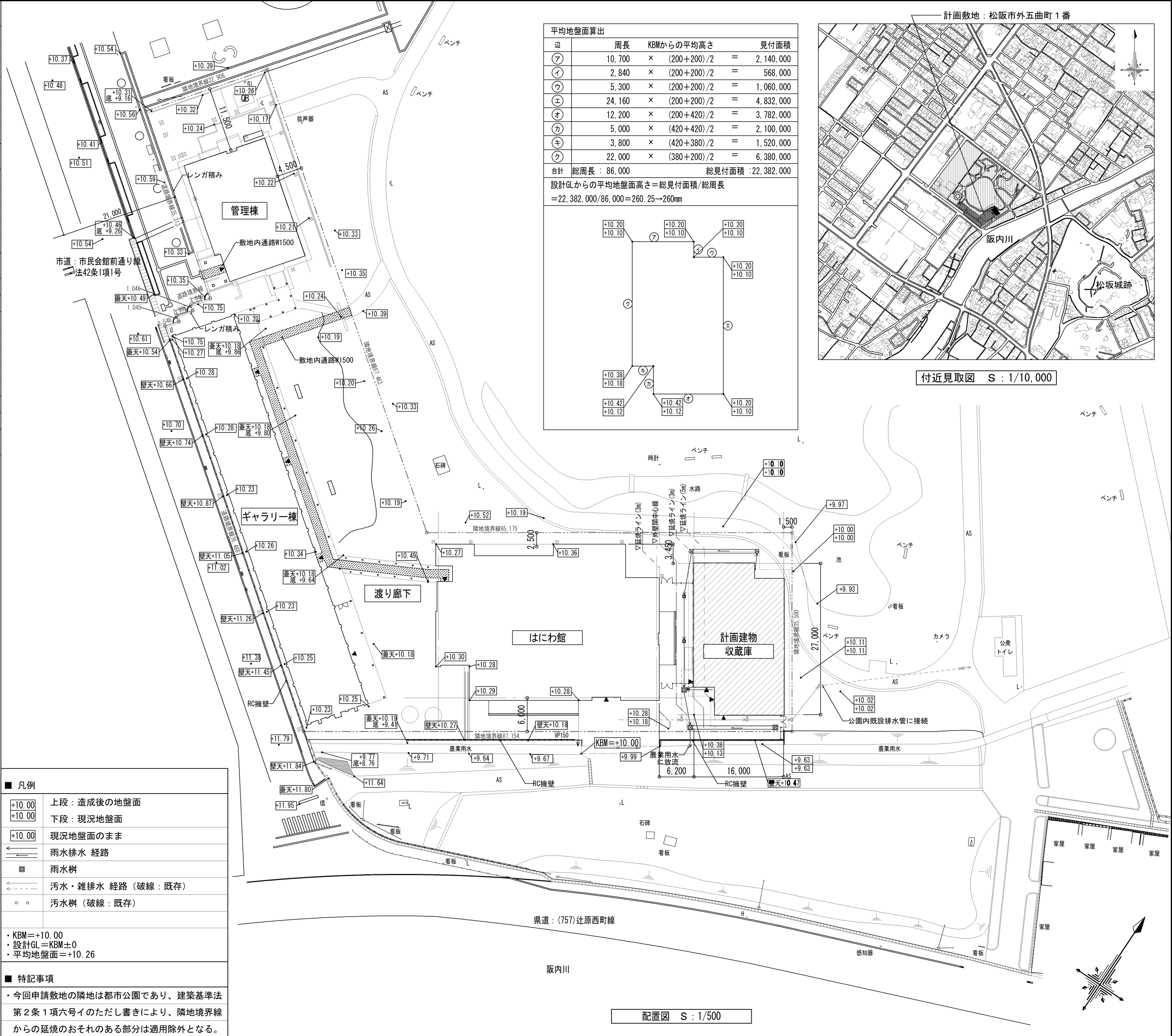
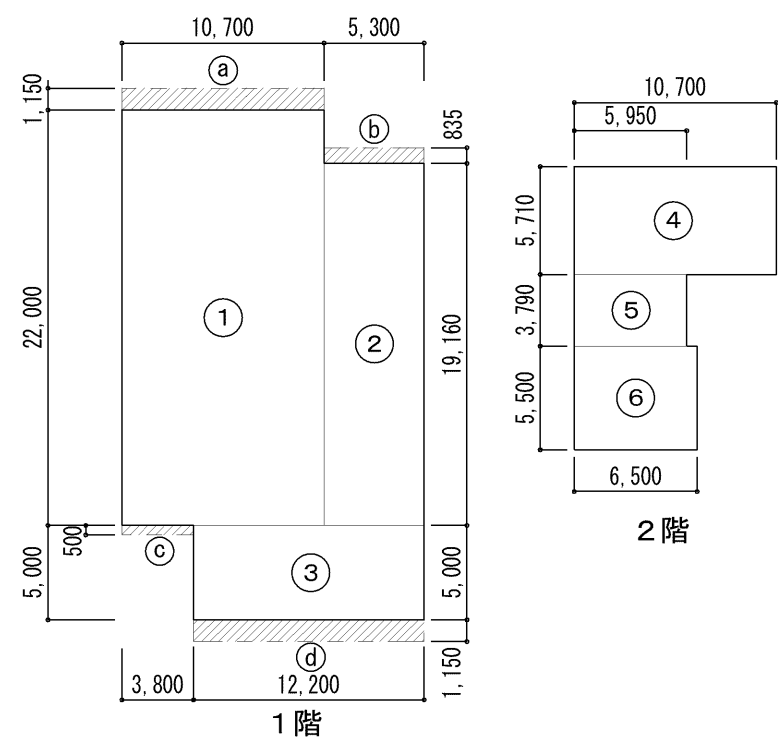
■ 敷地概要	
所在地	松阪市外五曲町 1 番
敷地面積	5,612.46㎡（C A D 求積による）
都市計画区域	第二種住居地域
用途地域	指定なし
建蔽率/容積率	60% / 200%
防火地域	法 2 2 条地域
その他	景観計画区域、都市公園（都市公園法第 2 条）

■ 申請建築物（収蔵庫）概要	
用途	倉庫業を営まない倉庫
主要構造・規模	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2 階建 準耐火建築物（口準耐-1）
建築面積	430.60 ㎡
延べ面積	517.33 ㎡

■ 敷地内建築物 一覧表					
	構造・規模	建築面積 (㎡)	床面積 (㎡)		
			1 階	2 階	合計
【既設】管理棟	S 造 平屋建	356.75	327.37	—	327.37
【既設】ギャラリー棟	組構造 平屋建	1,047.78	1,044.07	—	1,044.07
【既設】はにわ館	RC 造 平屋建	1,078.45	964.53	—	964.53
【既設】渡り廊下	S 造	35.11	—	—	—
【申請建築物】収蔵庫	RC 造一部S 造 2 階建	430.60	397.94	119.39	517.33
合計		2,948.69	2,733.91	119.39	2,853.30
	建蔽率	52.54%	容積率 50.84%		

■ 申請建築物（収蔵庫）面積算定					
【床面積】					
1 階	①	10.700 × 22.000	=	235.400 ㎡	
	②	5.300 × 19.160	=	101.548 ㎡	
	③	12.200 × 5.000	=	61.000 ㎡	
	計			397.948 ㎡ ⇒ 397.94 ㎡	
2 階	④	10.700 × 5.710	=	61.097 ㎡	
	⑤	5.950 × 3.790	=	22.550 ㎡	
	⑥	6.500 × 5.500	=	35.750 ㎡	
	計			119.397 ㎡ ⇒ 119.39 ㎡	
延べ面積					517.33 ㎡

【建築面積】			397.948 ㎡
①～③			
①	10.700 × 1.150	=	12.305 ㎡
②	5.300 × 0.835	=	4.425 ㎡
③	3.800 × 0.500	=	1.900 ㎡
④	12.200 × 1.150	=	14.030 ㎡
建築面積			430.608 ㎡ ⇒ 430.60 ㎡



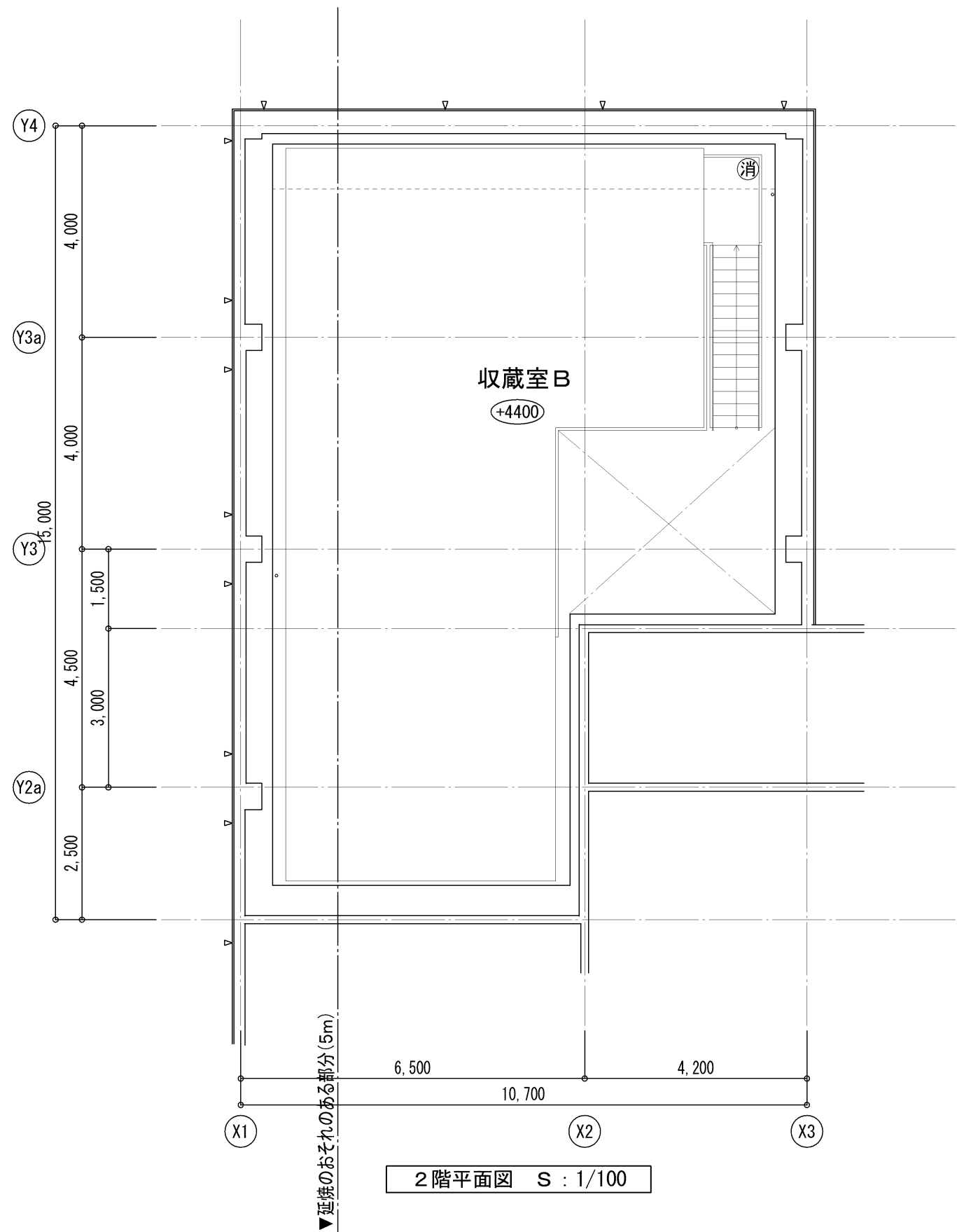
訂正日付		株式会社 浦野設計三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号	管理技術者		担当者	設計番号 P 2 0 0 1 M 日付 2020. 10	工事名称 松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築） 図面名称 付近見取図、配置図、求積図・面積表 縮尺 A2:1/500他	図面種別 A 図面番号 O 4
			一級建築士					
			第333565号					
			江口 浩壽					

外部仕上表				
部位	仕上	部位	仕上	外部仕上特記事項
屋根	フッ素ガルバリウム鋼板t0.45 段葺き@260(発泡ポリエチレンt4.0裏貼り)	鼻隠し、破風板	アルミパネルフッ素樹脂塗装 t2.0	・特記なき限り外部の鉄部はDP塗装とする。
	断熱バックアップ材(ビーズ発泡ポリエチレン板)			・ピットの外防水の範囲は、底部は全面、側部は設計GL+900までとする。
	改質アスファルトルーフィング t1.0	破風	C打放し	杭や配管の貫通部分は適切に処理すること。
	均しモルタル t20			・仕上表に記載の仕様は、同等以上の性能を確保できる材を選定すること。
外壁	せつ器質タイル 2丁掛け、小口(指定色) (イギリス張り、イモ張り)	軒樋	内部:高耐久性塩ビシート複層板 t1.6加工	・屋根材の躯体へのアンカー留めは、引張試験を行うこと。
	改良圧着張り		外部:アルミパネルフッ素樹脂塗装 t2.0	・石綿等を添加した建築材料を使用しないこと。
			笠木・落ち葉除け:ガルバリウム鋼板フッ素樹脂塗装 t0.4加工	・捨コンクリート地業は、型枠等を使用し平坦に仕上げること。
軒裏	C打放し	縦樋	カラーSUS角型 125×75	
ケラバ唐草	アルミ押出型材(アルマイト処理)	ビット外防水	常温工法用改質アスファルトシート防水材	
			底部:砕石・捨てCの上、防水シート張付け、保護M	
換気棟、取合水切り	ガルバリウム鋼板フッ素樹脂塗装 t0.45		側部:防水シート・M塗り(設計GL+900まで)	

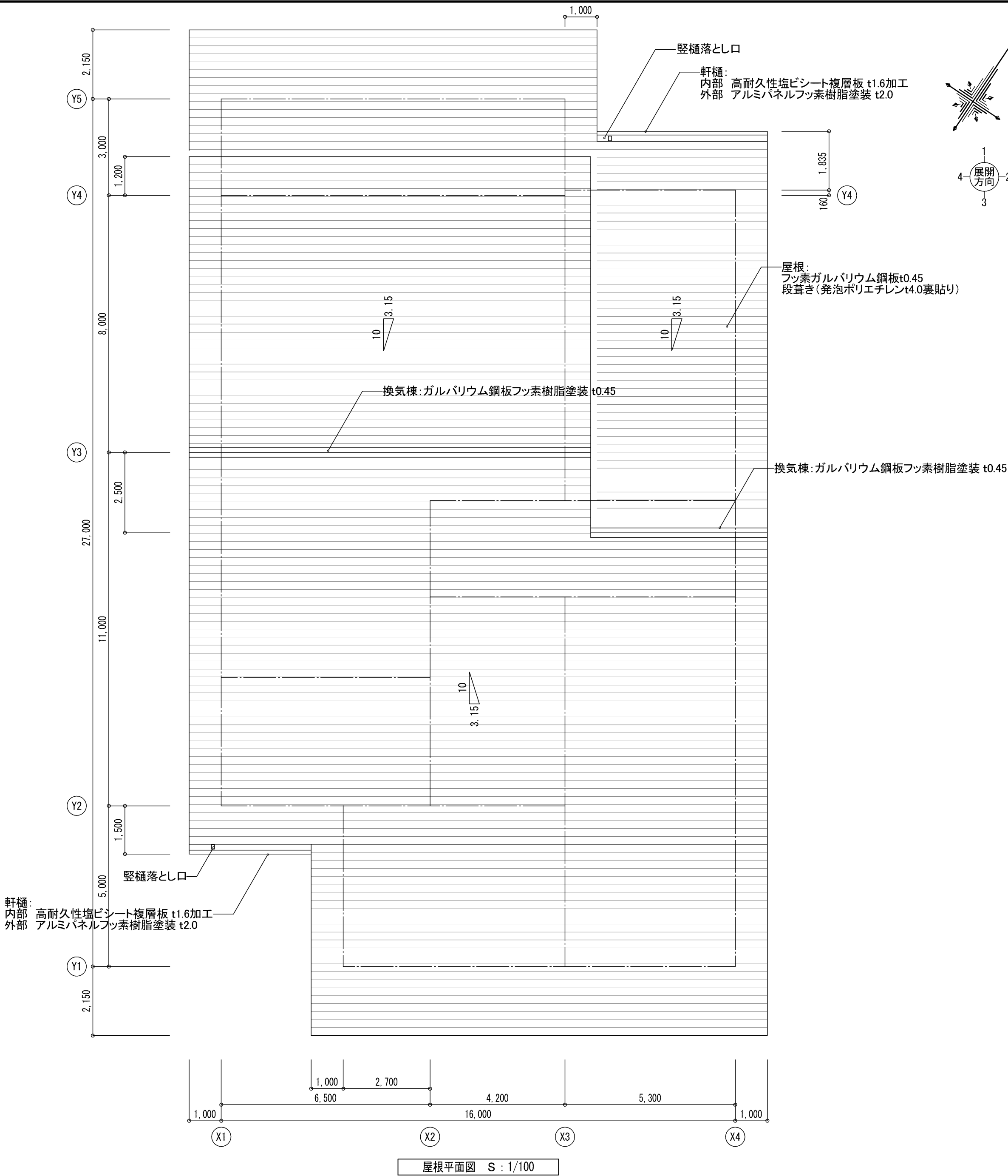
内部仕上表																		
室 名		1FLからの		下地	床	巾木	下地	腰	塗装	下地	壁	塗装	下地	天 井		天井高	廻縁	備 考
		スラブ高	仕上高															
収蔵室A		-200	±0	OA	ブナフローリング 無垢材 無塗装 t15	木製 H200	LGS	GB-AL t12.5＋無機質系調湿板 t7	—		◁		LGS	GB-AL t12.5＋DR t9		2,700	木製	自立棚、メッシュラック
					針葉樹合板 t12＋GB-F t12.5＋			見切材：木製 t10					天井裏：ブドウ棚（1段）					
					針葉樹合板 t15（裏面アルミ張り）下地				GL	GB-R t9.5＋GB-AL t12.5＋無機質系調湿板 t7	—							
収蔵室B	1階	-200	±0	OA	ブナフローリング 無垢材 無塗装 t15	木製 H200	LGS	GB-AL t12.5＋無機質系調湿板 t7	—		◁		LGS	GB-AL t12.5＋DR t9		2,700 直天井	木製	自立棚
					針葉樹合板 t12＋GB-F t12.5＋			見切材：木製 t10						中2階梁・床材現し				
					針葉樹合板 t15（裏面アルミ張り）下地													
	2階	—	+3,100		孔空き鋼製床材： W200,250 H60、板厚2.0、 開口率40％程度、ノンスリップ仕様、高耐食性めっき鋼板K27 C.PL-4.5： 溶融亜鉛めっき仕上げ	—	LGS	GB-AL t12.5＋無機質系調湿板 t7	—		◁		LGS	GB-AL t12.5＋DR t9		2,200 2,500	木製	自立棚
															天井裏：ブドウ棚（1段）			
収蔵室C		-200	±0	OA	ブナフローリング 無垢材 無塗装 t15	木製 H200	LGS	GB-AL t12.5＋無機質系調湿板 t7	—		◁		LGS	GB-AL t12.5＋DR t9		2,700	木製	自立棚、メッシュラック
					針葉樹合板 t12＋GB-F t12.5＋			見切材：木製 t10						天井裏：ブドウ棚（1段）				
					針葉樹合板 t15（裏面アルミ張り）下地				GL	GB-R t9.5＋GB-AL t12.5＋無機質系調湿板 t7	—							
前室 1		-30	±0	M	VS t2.5	VH H100	GL	GB-R t9.5＋GB-AL t12.5＋GB-R t9.5	EP		◁		LGS	GB-AL t12.5＋DR t9		2,700	塩ビ	ピクチャーレール
														天井裏：ブドウ棚（2段）				
前室 2		-30	±0	M	VS t2.5	VH H100	GL・LGS	GB-R t9.5＋GB-AL t12.5＋GB-R t9.5	EP		◁		LGS	GB-AL t12.5＋DR t9		2,700	塩ビ	
														天井裏：ブドウ棚（1段、2段）				
トラックヤード		-30	±0	M	VS t2.5	VH H100	C	コンクリート打放し補修	—		◁		C	C打放し		直天井	—	SUS流し ストッパーゴム 床下換気用開口 小屋裏換気用ガラリ
		～ -960	～ -880		湿気硬化型アスファルト防水(A-1同等)、 押えC t80の上 防塵塗装	M(防水立上) H850～880	LGS	GB-R t12.5＋GB-S t9.5	EP-G									
		～ -930	～ -850															
空調機械室		-30	±0	C	M金コテ	M H200	C	GWボード [®] ガラスクロス額縁貼り t50	—		◁		C	GWボード [®] ガラスクロス額縁貼り t50		直天井	—	床下換気用開口

内部仕上特記事項																
■仕上凡例					■耐火・防火関係リスト(認定番号)			■内部仕上特記事項								
C	コンクリート	KB	無石綿けい酸カルシウム板	【不燃材料】				・特記なき限り張物下地はM金こてとする。							・特記なき限り内部仕上材はF☆☆☆☆、天井内仕上材はF☆☆☆以上とする。	
M	モルタル	DR	岩綿吸音板	GB-R t12.5、GB-AL t9.5	NM-8619,8612			・特記なき限り内部の木部は素地とする。							・特記なき限り収蔵室内で用いる木材は無節または上小節とし、その品質には	
W	木下地	VC	ビニルクロス	GB-F t12.5	NM-8615			・特記なき限り内部の鉄部はSOP塗装とする。							十分注意すること。	
LGS	軽量鉄骨下地(壁、天井)	VS	ビニル床シート	GW	NM-4596(1)			・図中C、Mとあるは特記なき限り金こて仕上げとする。							・特記なき限り接着剤は変成シリコーン樹脂系無溶剤型接着剤または	
OA	鋼製床下地(不燃床仕様)	VT	ビニルタイル	硬質ウレタンフォーム	NM-4674			・特記なき限りVSの継ぎ目は溶接工法とする。							ポリウレタン系接着剤を用いること。	
GL	GL工法	EP	合成樹脂エマルションペイント					・特記なき限りステンレスは、HL仕上とする。							・特記なき限り収蔵室内装のすき間処理はアルミテープ処理とすること。	
St	スチール	EP-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント					・特記なき限りボード出隅は補強金物埋込とする。							・特記なき限り収蔵室の開口処理はシーリングまたはアルミテープ処理とする。	
SUS	ステンレス SUS304	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り					・特記なき限りVT・VS・防塵塗床等は特記なき限りワックス拭き仕上とする。							・特記なき限り以下の増打ちを見込むこと。	
GW	グラスウール	DP	耐候性塗料塗り					・特記なき限りクロス下地ボードはVカットジョイント処理とする。							外壁:t30(設計GL+900以上の範囲)	
GB-R	石こうボード							・特記なき限り、断熱材は以下の通りとする。							トラックヤード内壁:t20(設計GL+1300以上の範囲)	
GB-S	防水石こうボード	TD	縦樋					外壁内側:発泡ウレタンt40吹付							軒裏:t20	
GB-D	化粧石こうボード	RD	ルーフトレン					屋根スラブ内側:発泡ウレタンt20吹付							・仕上表に記載の仕様は、同等以上の性能を確保できる材を選定すること。	
GB-F	強化石こうボード	OF	オーバーフロー管					収蔵室2重壁内側:GWt50敷込み							・石綿等を添加した建築材料を使用しないこと。	
GB-AL	不透湿処理石こうボード(裏面アルミ張り)							収蔵室天井裏:GWt50								
								ビット:発泡ポリスチレンフォームt50打込み								

訂正日付	<div><div>株式会社 浦野設計三重支社</div><div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div></div>	管理技術者		担当者	設計番号	工事名称		図面種別
		一級建築士			P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		A
		第333565号			日付	図面名称	縮尺	図面番号
		江口 浩壽			2020. 10	仕上表	N S	0 5
図面は約70%縮小しています（A2→A3）								

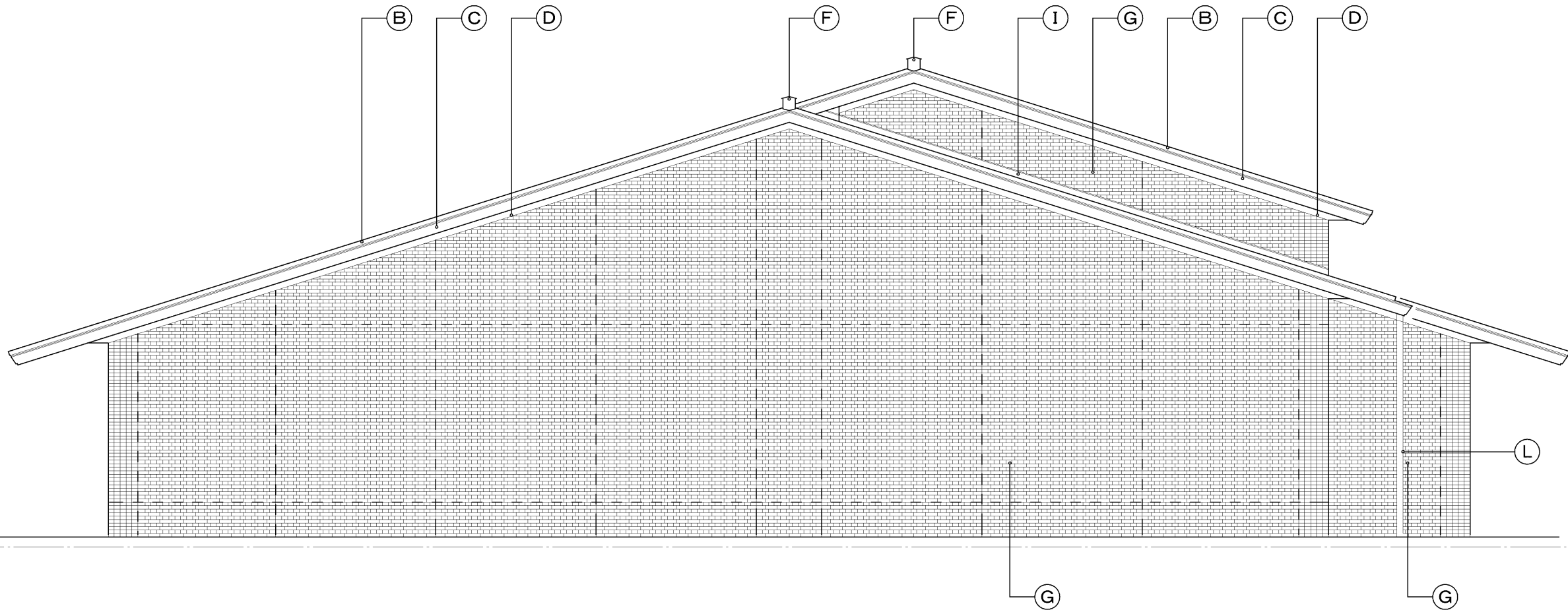


記号	仕上
消	ABC粉末消火器10型
消	ガス消火設備
±0	設計GLからのレベル

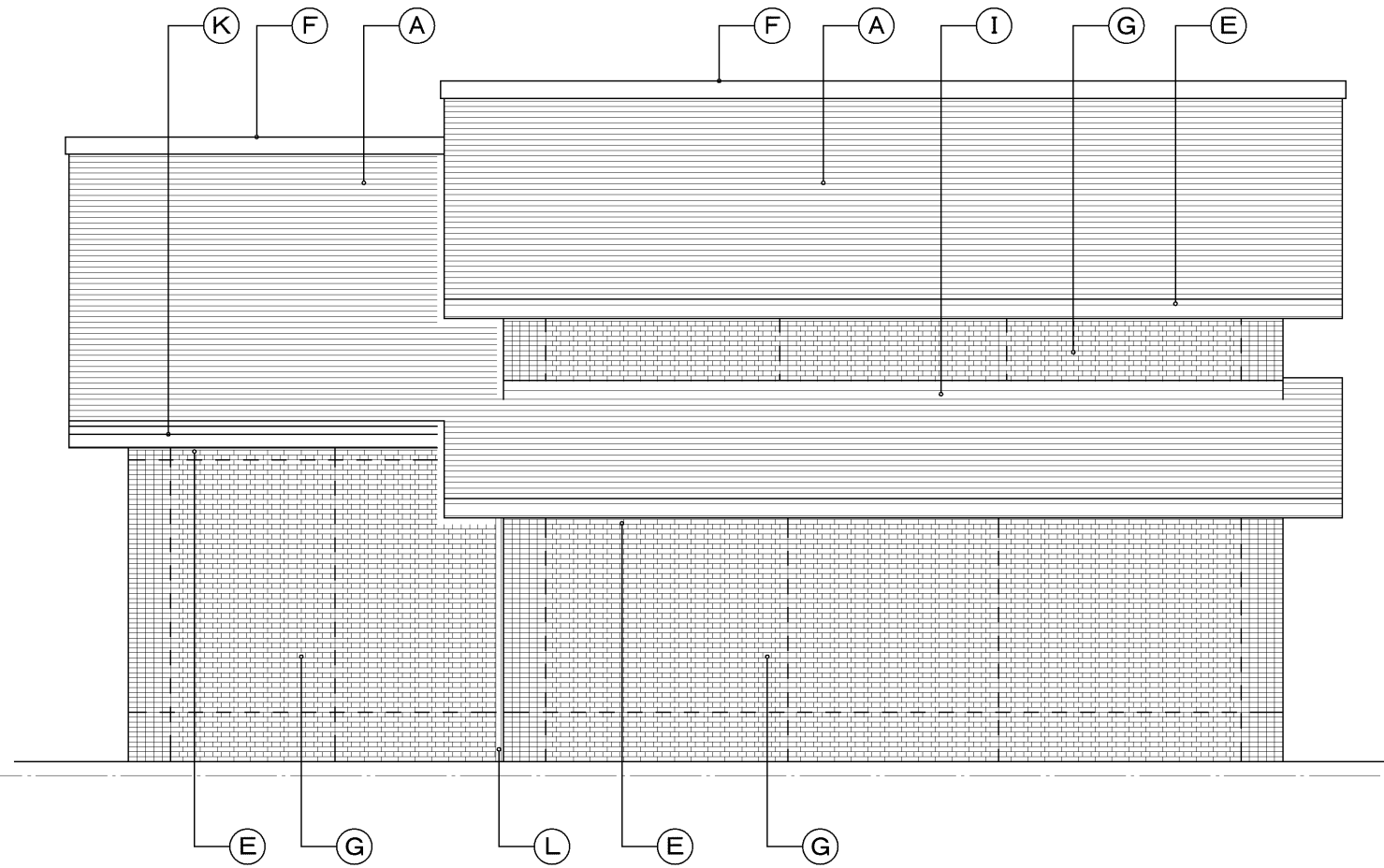


訂正日付	
図面は約70%縮小しています (A2→A3)	

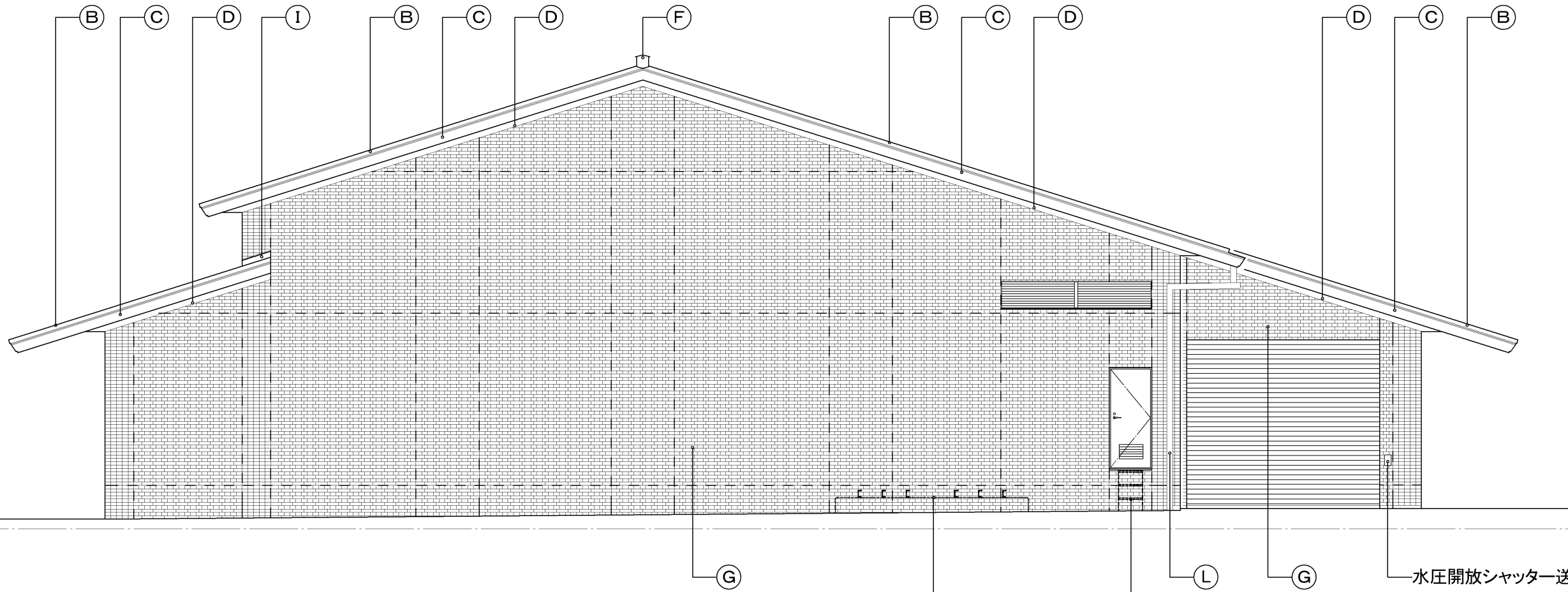
<div>株式会社 浦野設計三重支社</div> <div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div>	管理技術者		担当者		設計番号	工事名称		図面種別
	一級建築士			P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		A	
	第333565号			日付	図面名称	縮尺	図面番号	
	江口 浩壽			2020. 10	2階・屋根平面図	A2:1/100	0 7	



北東立面図 S : 1/100



北西立面図 S : 1/100

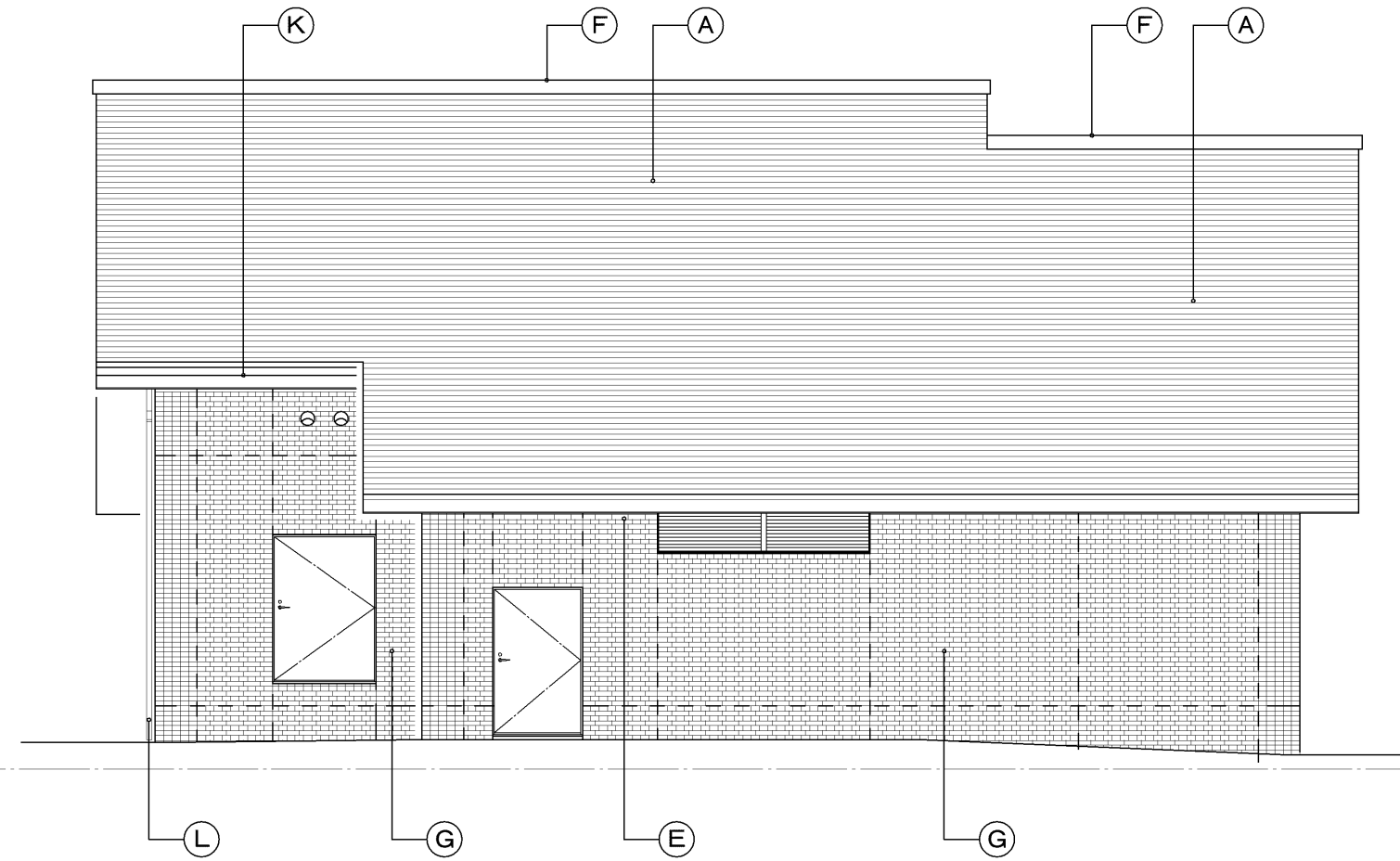


南西立面図 S : 1/100

室外機基礎

組立式歩廊架台


水圧開放シャッター送水口

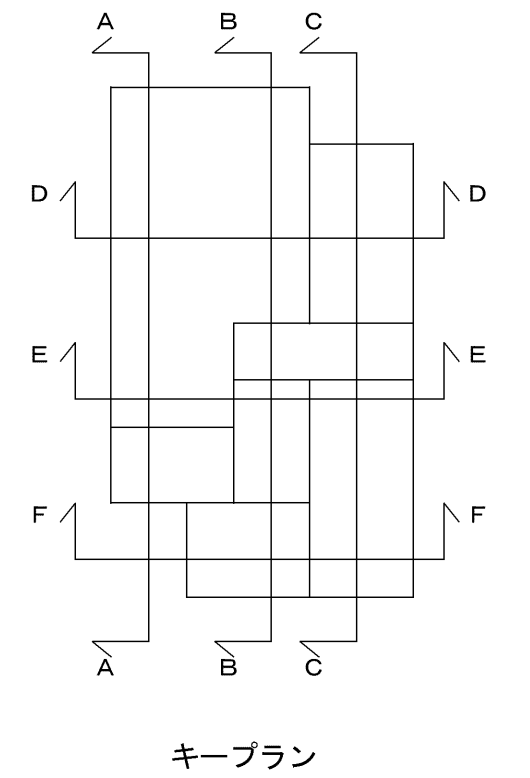



南東立面図 S : 1/100

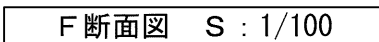
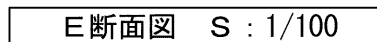
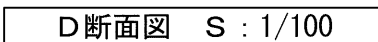
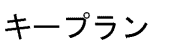
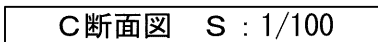
■仕上凡例


記号	仕上	記号	仕上
A	屋根 : ガルバリウム鋼板フッ素樹脂塗装 t0.45 段葺き 3.15/10勾配	G	外壁 : せつ器質タイル 2丁掛け、小口(指定色) (イギリス張り、イモ張り)
B	ケラバ唐草 : アルミ押出型材(アルマイト処理)	I	雨押え : ガルバリウム鋼板フッ素樹脂塗装 t0.45
C	破風板 : アルミパネルフッ素樹脂塗装 t2.0	K	軒樋: 内部 高耐久性塩ビシート複層板 t1.6加工 外部 アルミパネルフッ素樹脂塗装 t2.0
D	破風 : コンクリート打放し	L	縦樋 : SUSカラー t=1.0
E	鼻隠し : アルミパネルフッ素樹脂塗装 t2.0	---	ひび割れ誘発目地 位置
F	換気棟 : ガルバリウム鋼板フッ素樹脂塗装 t0.45		

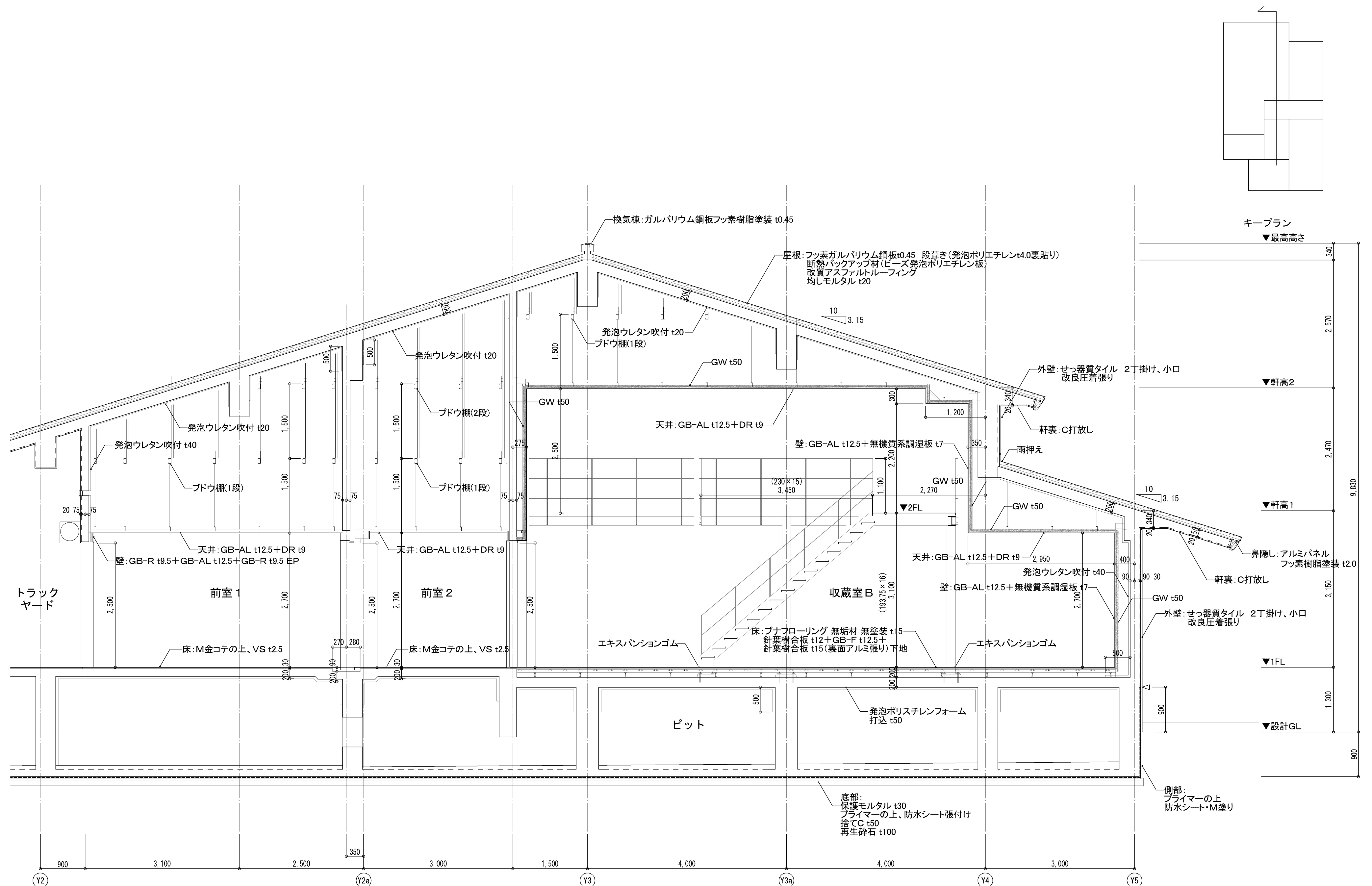
訂正日付			管理技術者	担当者	設計番号	工事名称	図面種別
			一級建築士		P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事 (建築)	A
			第333565号		日付	図面名称	縮尺
			江口 浩壽			立面図	A2:1/100
図面は約70%縮小しています (A2→A3)							図面番号
							0 8




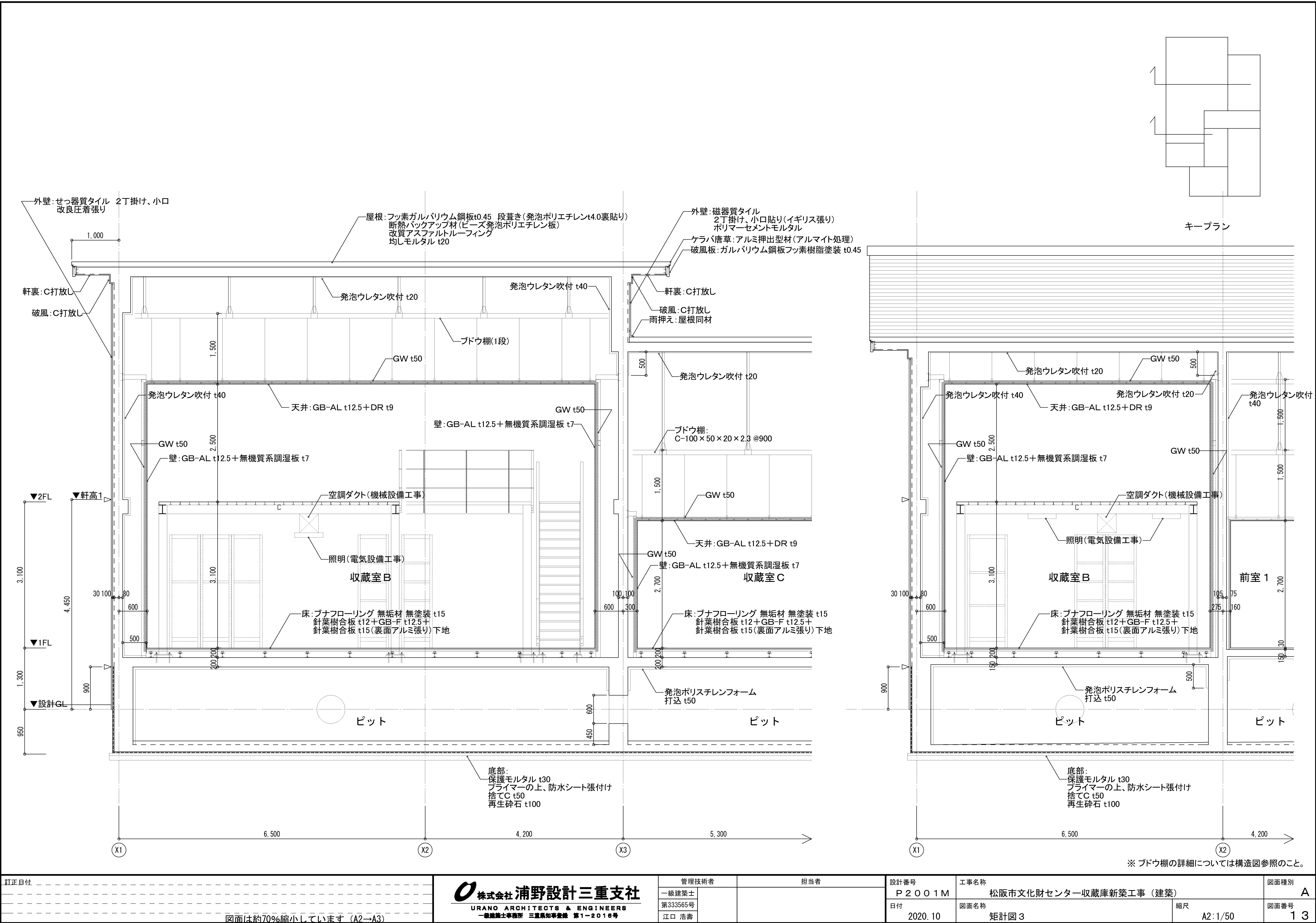
訂正日付	 株式会社 浦野設計三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号	管理技術者	担当者	設計番号	工事名称		図面種別
		一級建築士		P2001M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		A
		第333565号		日付	図面名称	縮尺	図面番号
	図面は約70%縮小しています（A2→A3）	江口 浩壽	2020.10	断面図 1	A2:1/100	09	

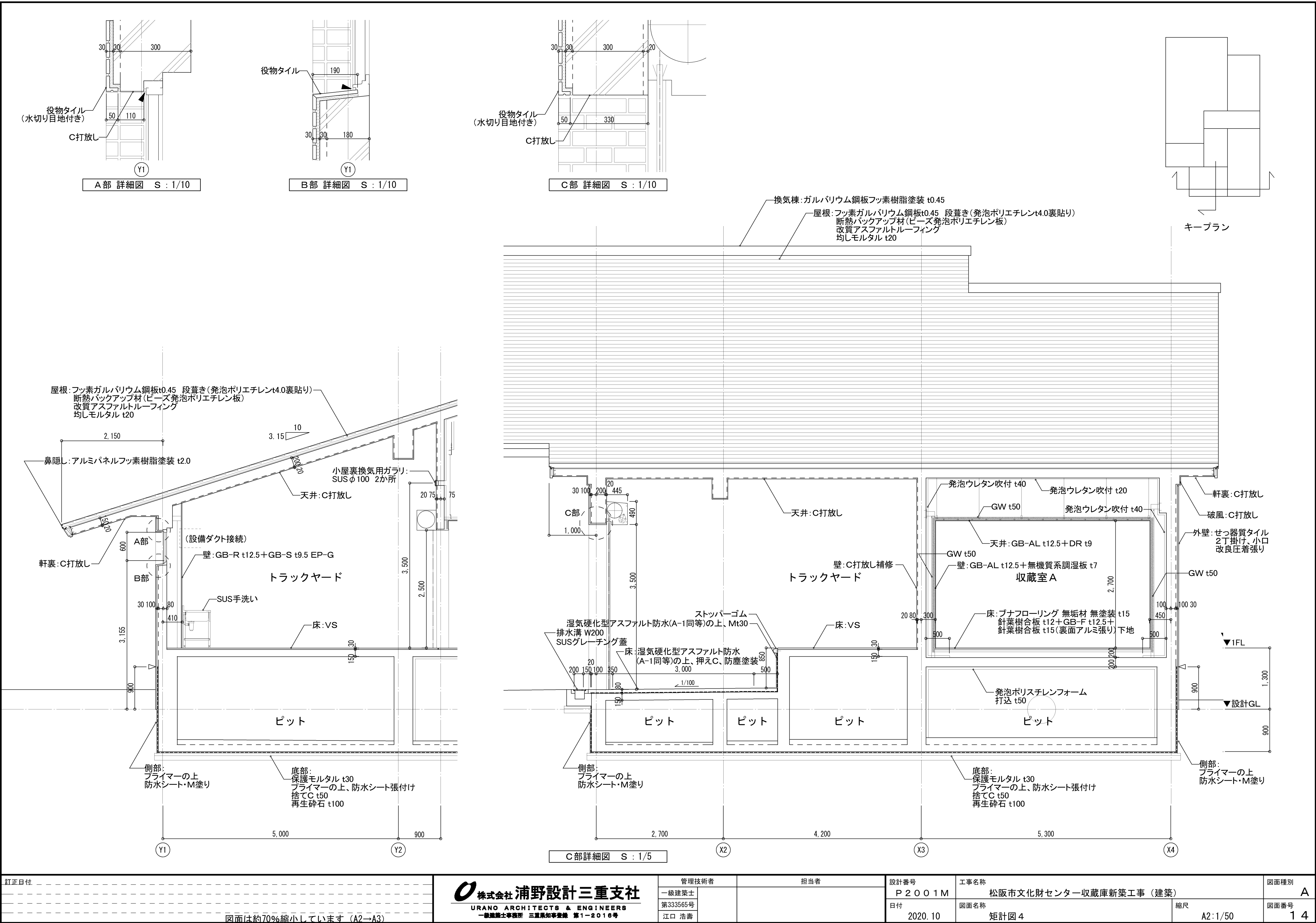


訂正日付	<div><div>株式会社 浦野設計三重支社</div><div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div></div>	管理技術者		担当者		設計番号	工事名称		図面種別
		一級建築士			P2001M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		A	
		第333565号		日付	図面名称	縮尺	図面番号		
		江口 浩壽		2020. 10	断面図 2	A2:1/100	10		
図面は約70%縮小しています（A2→A3）									

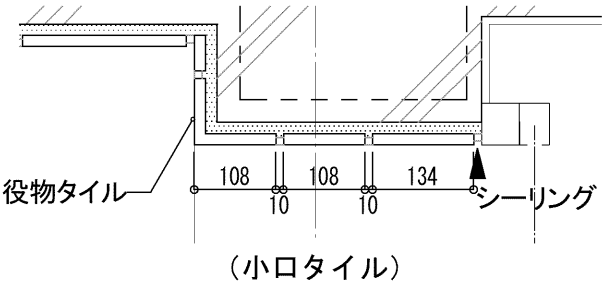
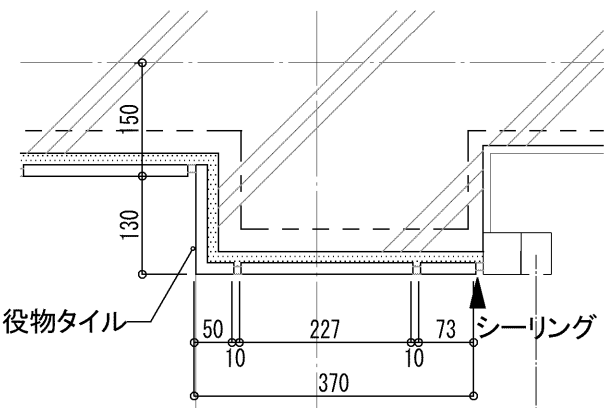
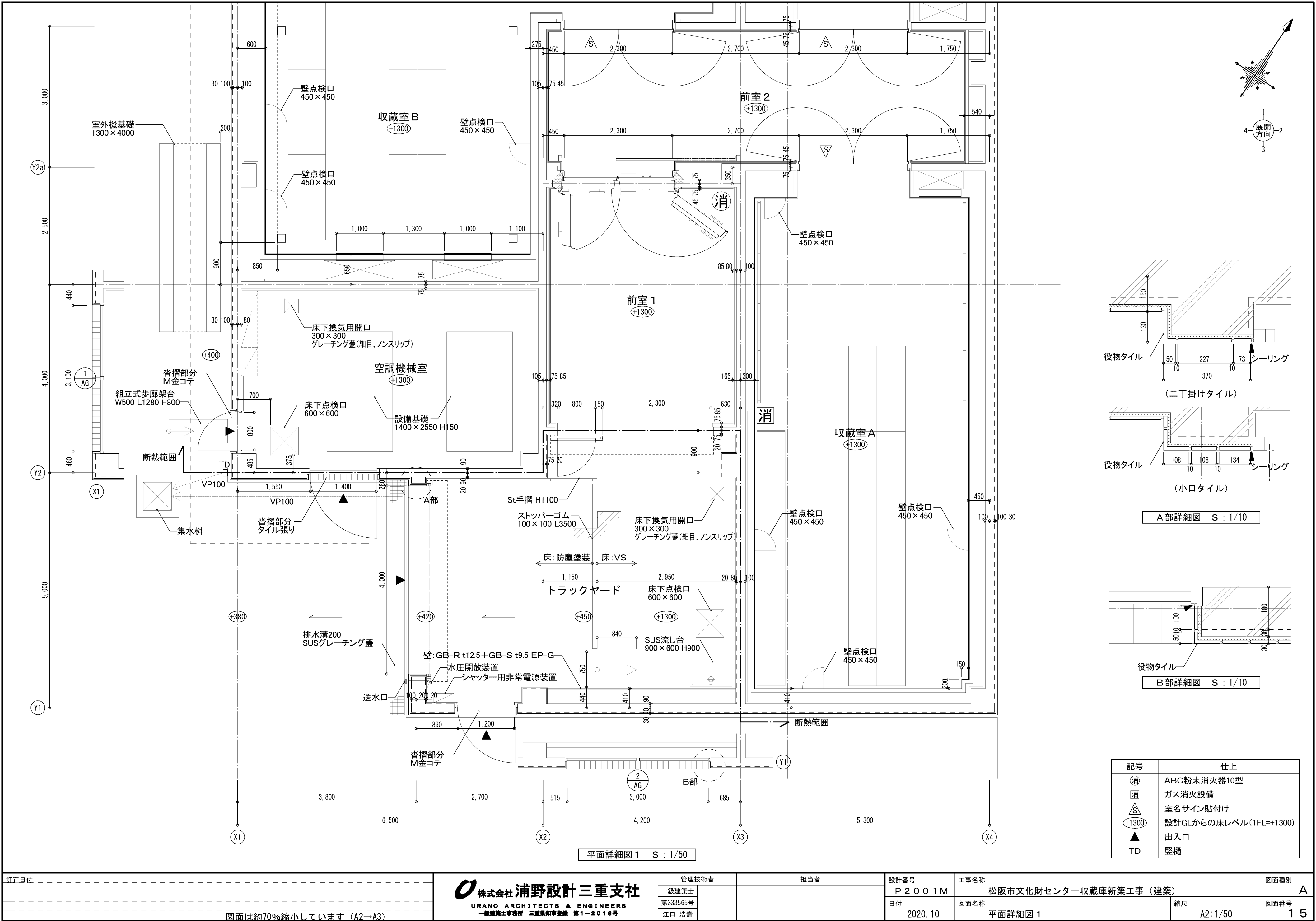


訂正日付	 株式会社 浦野設計三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号	管理技術者	担当者	設計番号	工事名称		図面種別
		一級建築士		P2001M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		A
		第333565号		日付	図面名称	縮尺	図面番号
		江口 浩壽		2020. 10	矩計図 1	A2:1/50	1 1
図面は約70%縮小しています（A2→A3）							

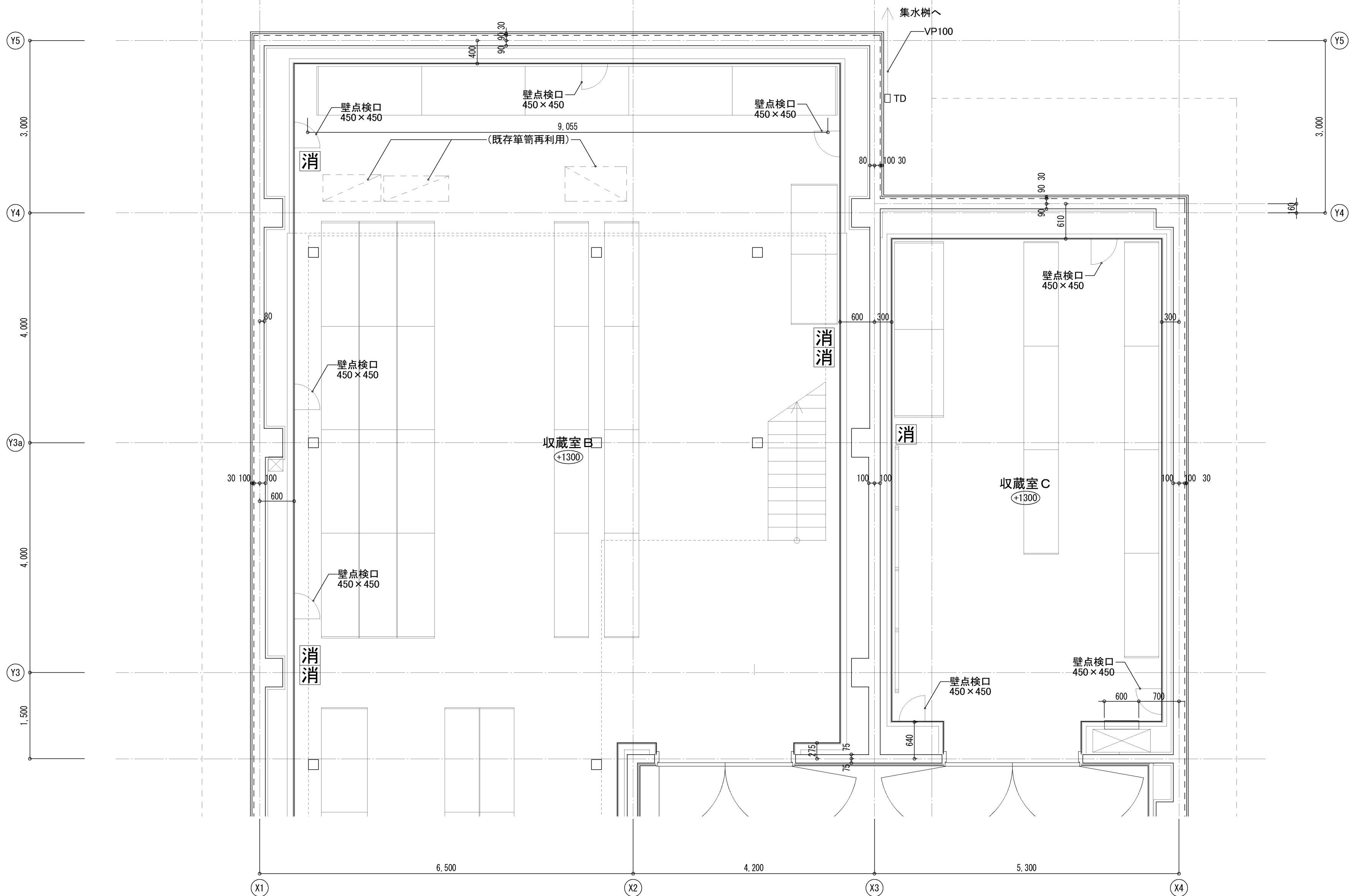
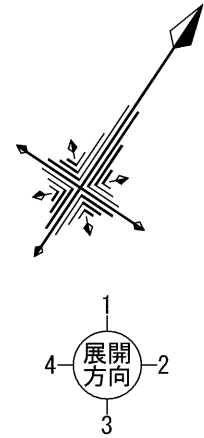




訂正日付	<div><div></div><div>株式会社 浦野設計三重支社</div><div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div></div>	管理技術者		担当者		設計番号	工事名称		図面種別
		一級建築士				P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		A
		第333565号				日付	図面名称	縮尺	図面番号
		江口 浩壽				2020. 10	矩計図 4	A2:1/50	1 4
		図面は約70%縮小しています（A2→A3）							

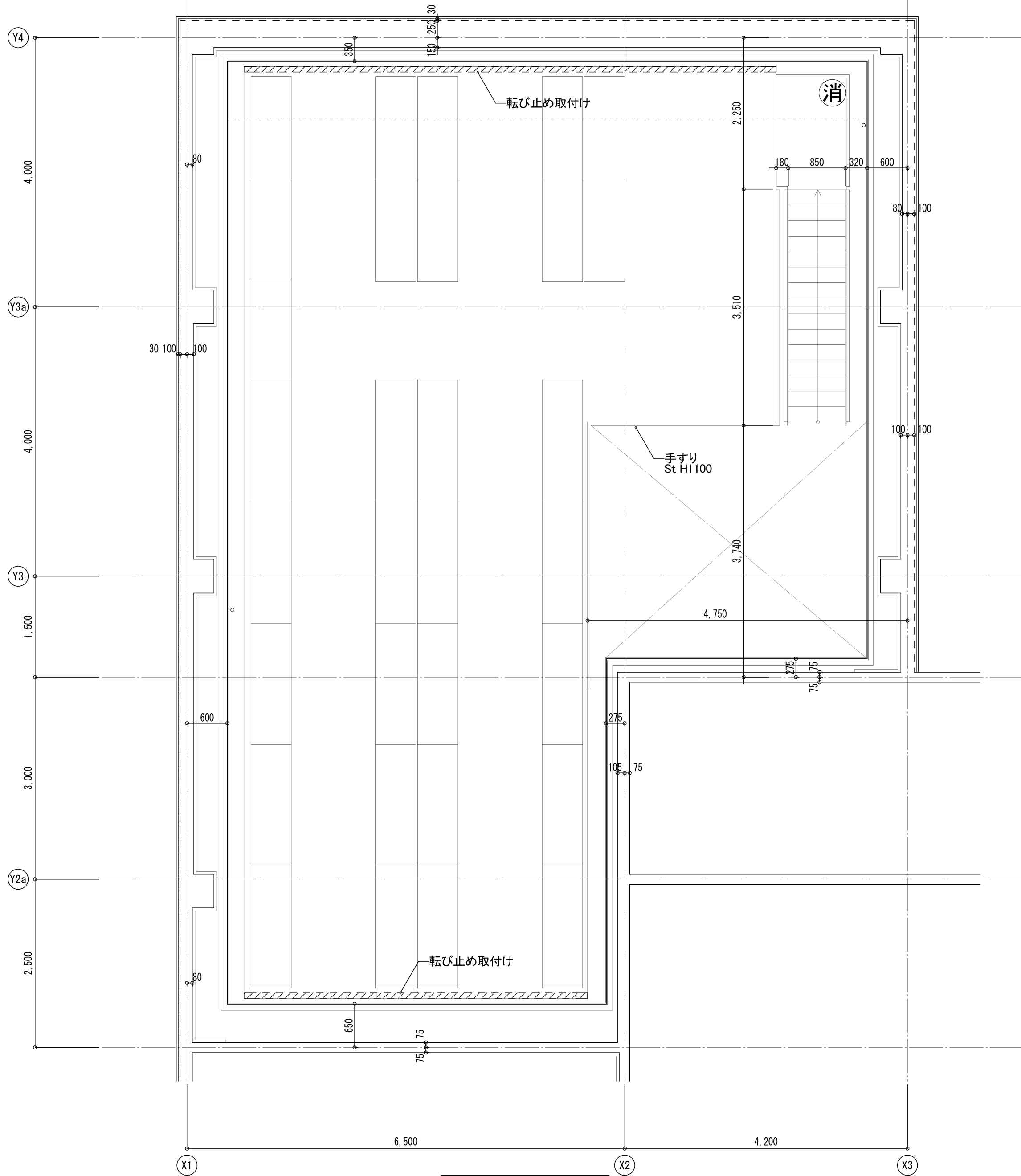


記号	仕上
消	ABC粉末消火器10型
消	ガス消火設備
△S	室名サイン貼付け
(+1300)	設計GLからの床レベル(1FL=+1300)
▲	出入口
TD	竖樋



平面詳細図2 S : 1/50

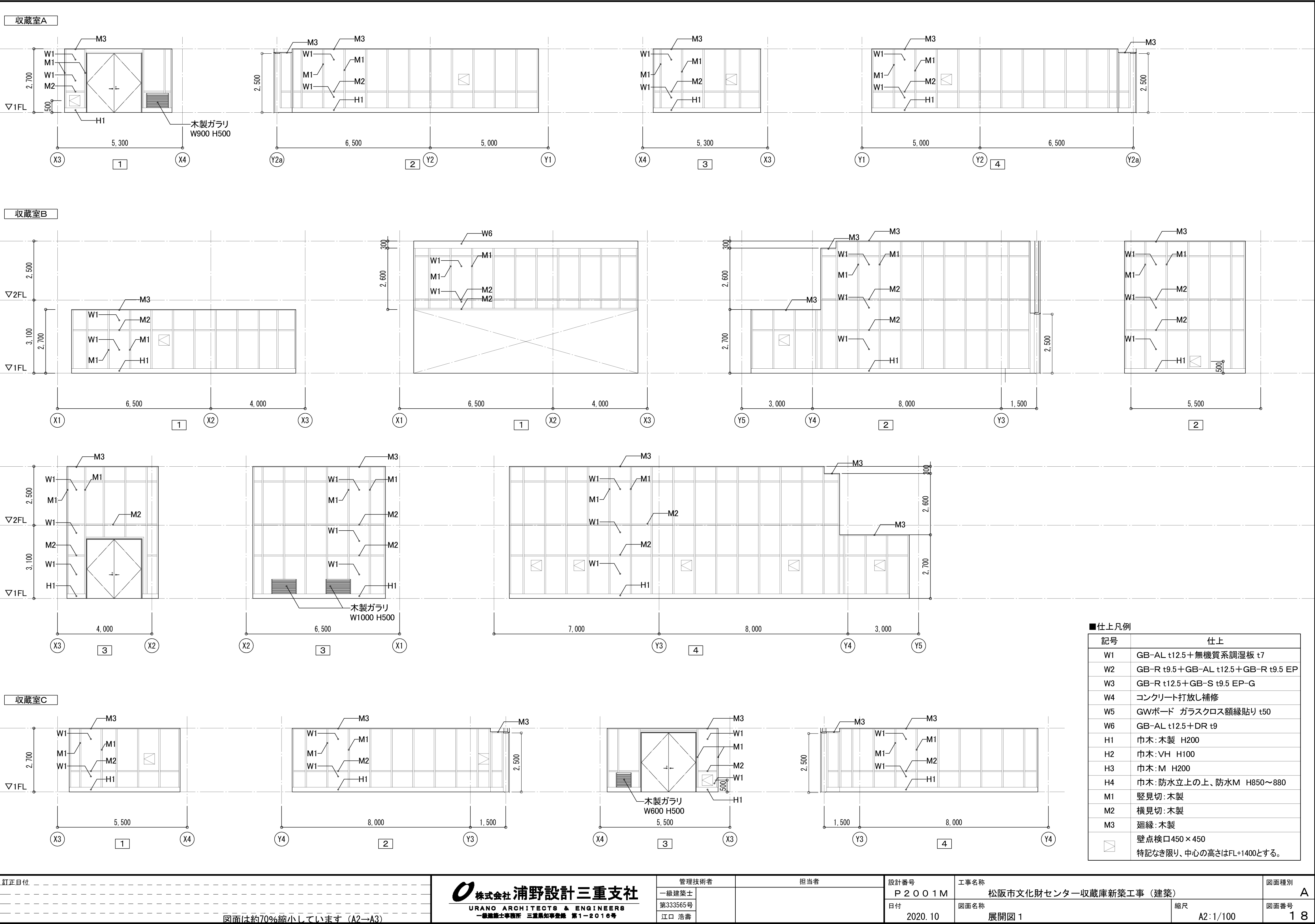
訂正日付	<div><div></div><div>株式会社 浦野設計三重支社</div><div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div></div>	管理技術者		担当者		設計番号	工事名称		図面種別
		一級建築士				P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		A
		第333565号				日付	図面名称	縮尺	図面番号
		江口 浩壽				2020. 10	平面詳細図 2	A2:1/50	1 6
図面は約70%縮小しています（A2→A3）									



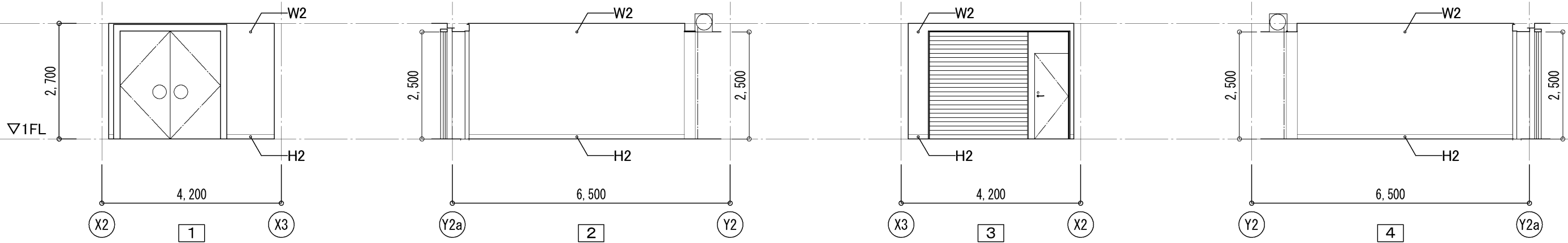
平面詳細図3 S : 1/50

訂正日付
図面は約70%縮小しています (A2→A3)

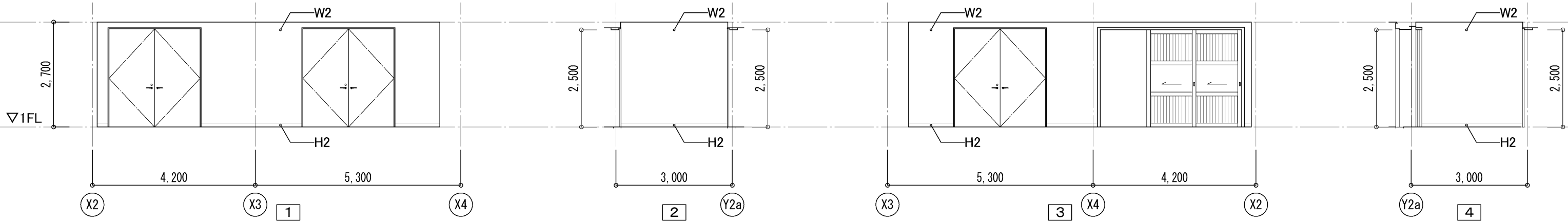
<div>株式会社 浦野設計三重支社</div> <div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div>		管理技術者	担当者	設計番号	工事名称		図面種別
		一級建築士		P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事 (建築)		A
		第333565号		日付	図面名称	縮尺	図面番号
		江口 浩壽		2020. 10	平面詳細図3	A2:1/50	1 7



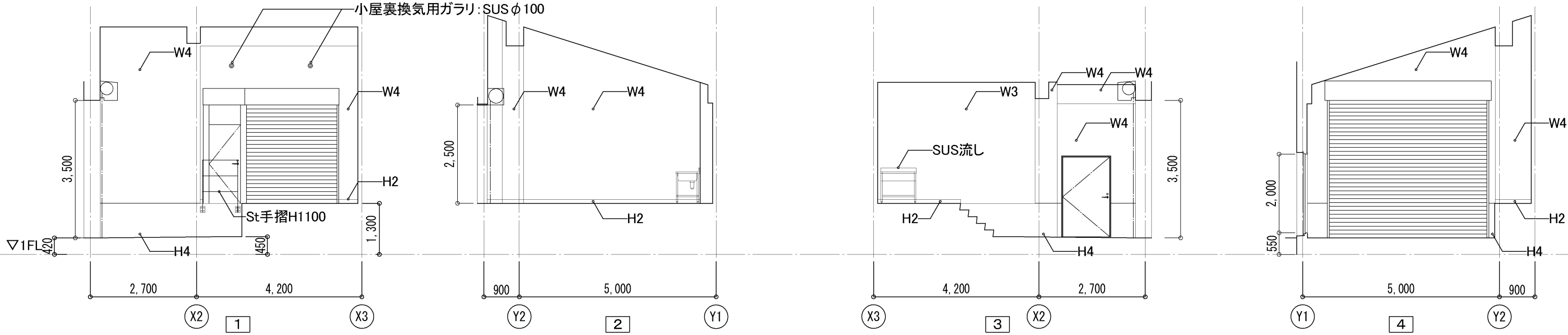
前室1



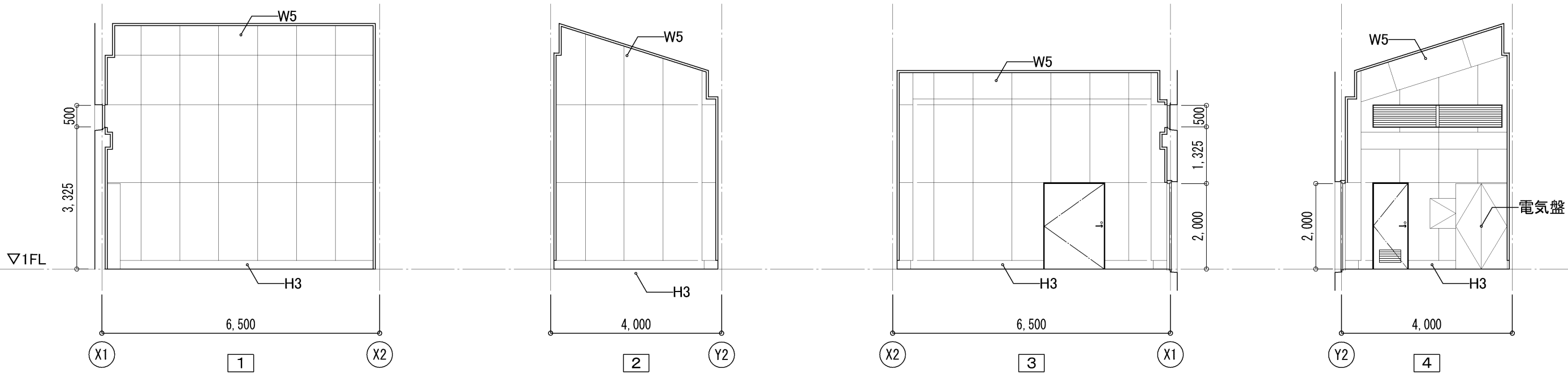
前室2



トラックヤード



空調機械室



■仕上凡例	
記号	仕上
W1	GB-AL t12.5+無機質系調湿板 t7
W2	GB-R t9.5+GB-AL t12.5+GB-R t9.5 EP
W3	GB-R t12.5+GB-S t9.5 EP-G
W4	コンクリート打放し補修
W5	GWボード ガラスクロス額縁貼り t50
W6	GB-AL t12.5+DR t9
H1	巾木:木製 H200
H2	巾木:VH H100
H3	巾木:M H200
H4	巾木:防水立上の上、防水M H850~880
M1	縦見切:木製
M2	横見切:木製
M3	廻縁:木製
	壁点検口450×450 特記なき限り、中心の高さはFL+1400とする。

訂正日付

図面は約70%縮小しています (A2→A3)

株式会社 浦野設計三重支社
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号

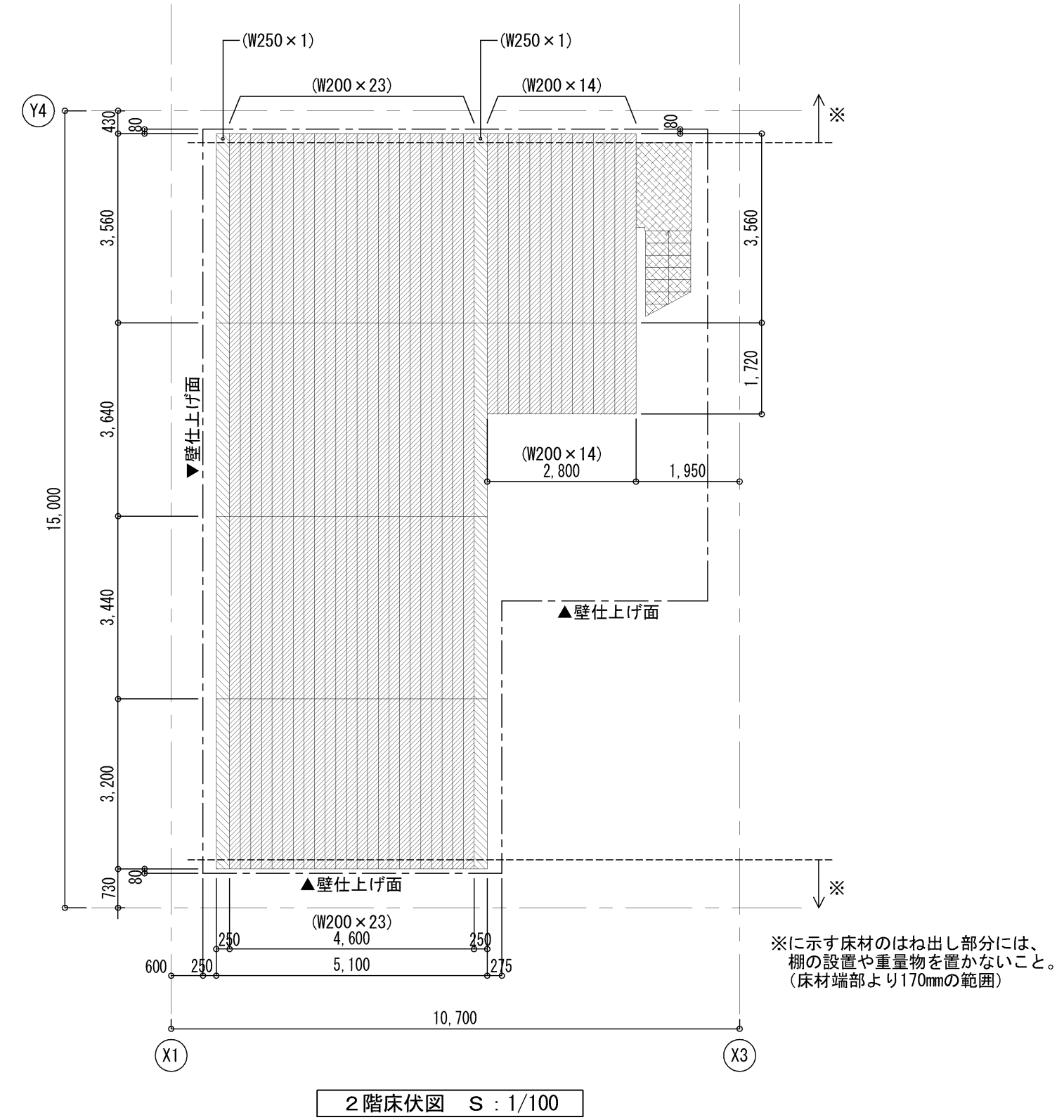
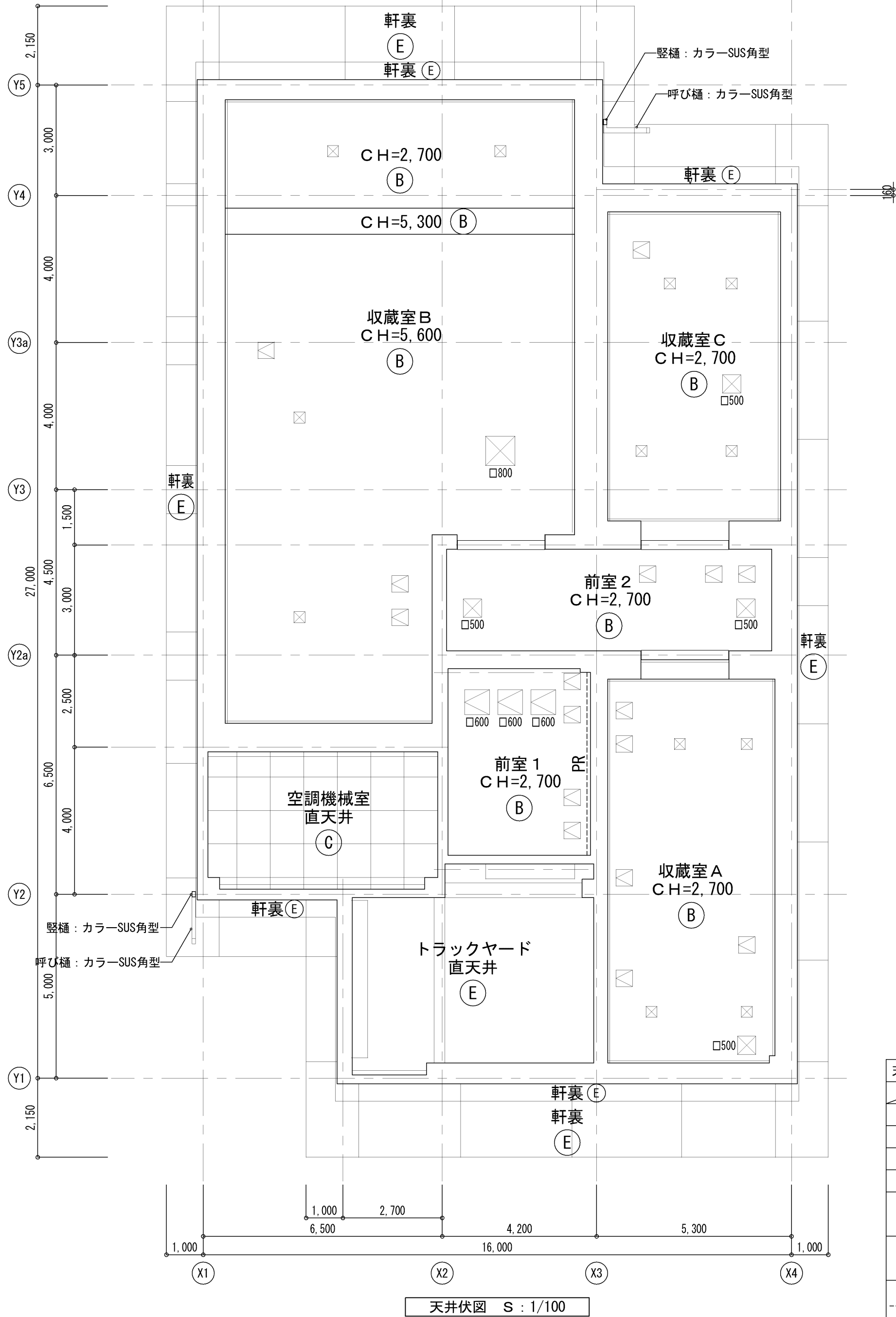
管理技術者
一級建築士
第333565号
江口 浩壽

担当者

設計番号
P 2 0 0 1 M
日付
2020. 10

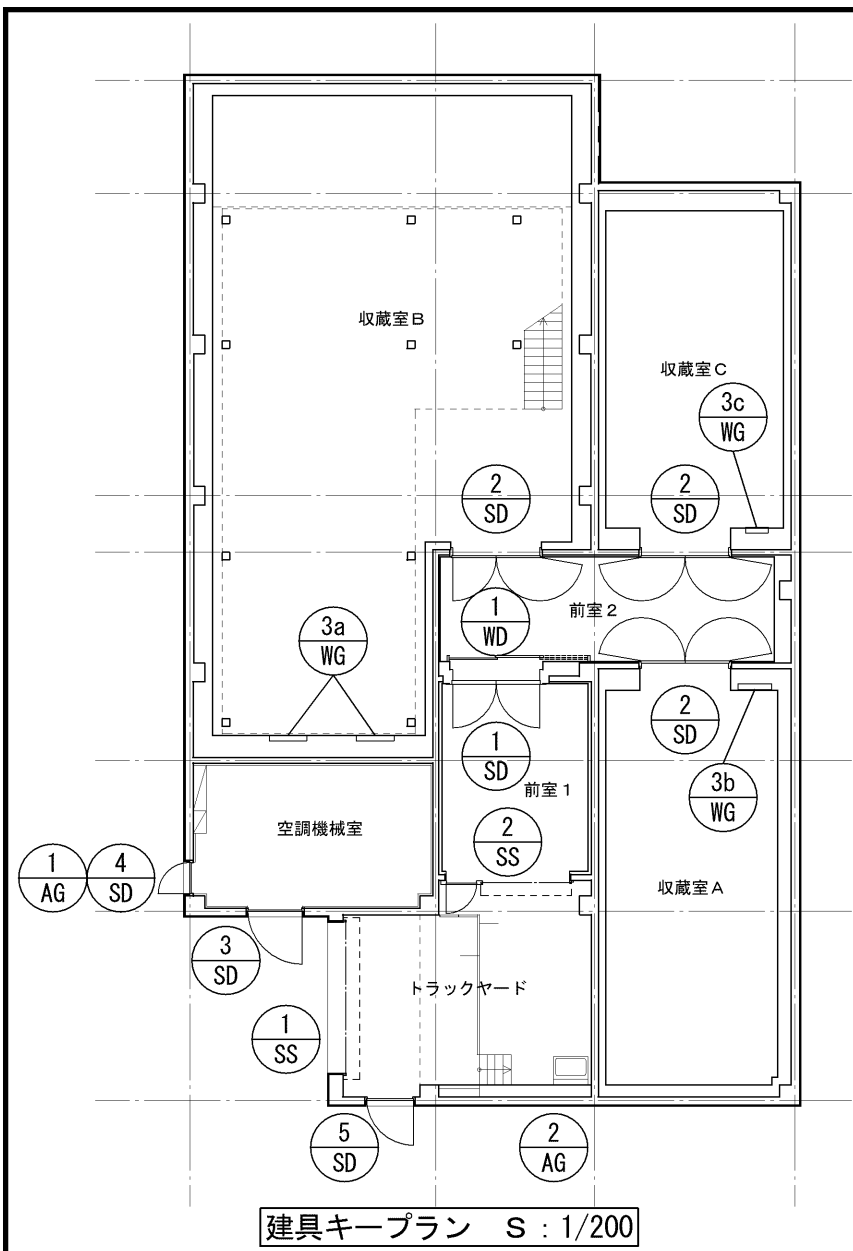
工事名称
松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）
図面名称
展開図 2
縮尺
A2:1/100

図面種別
A
図面番号
1 9



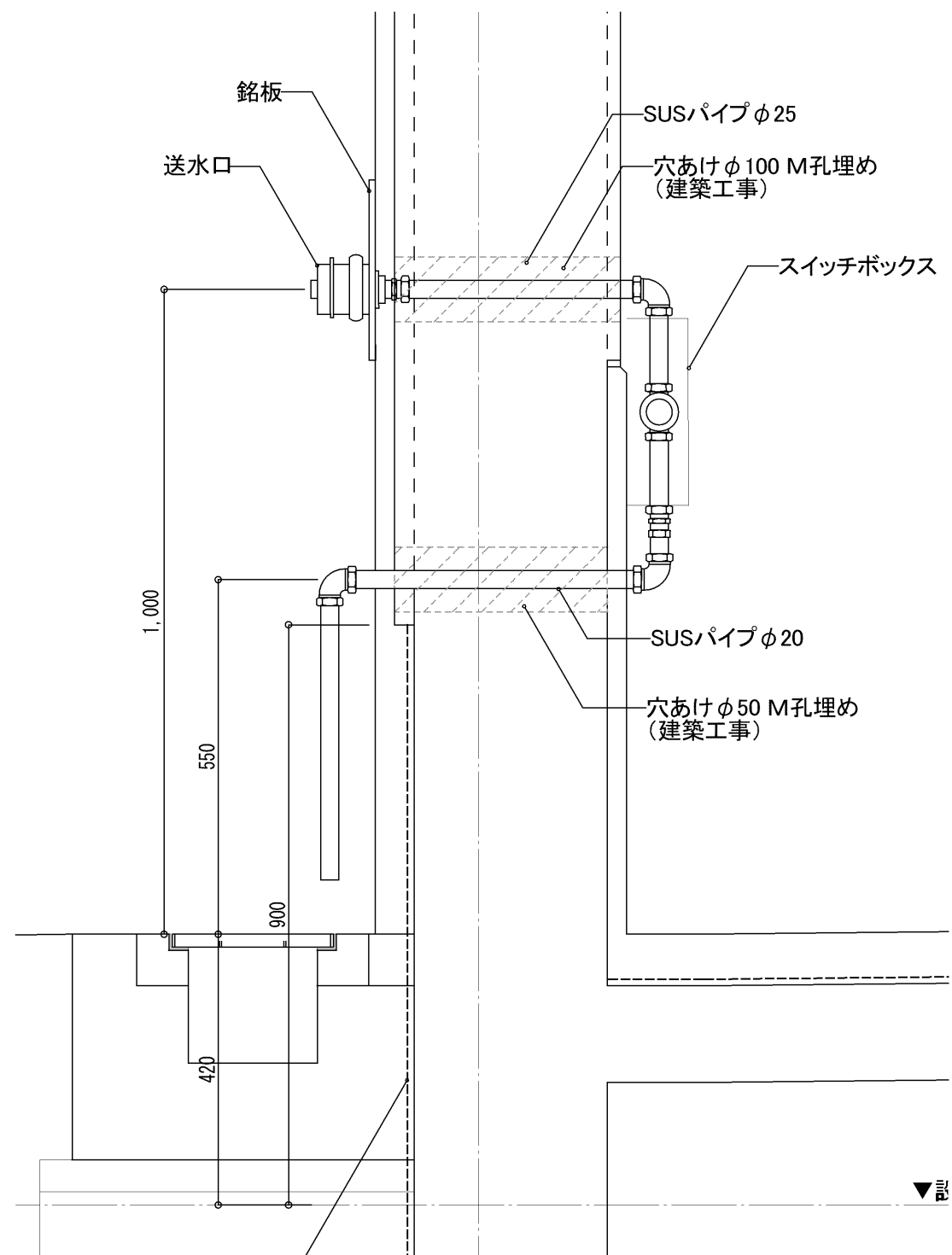
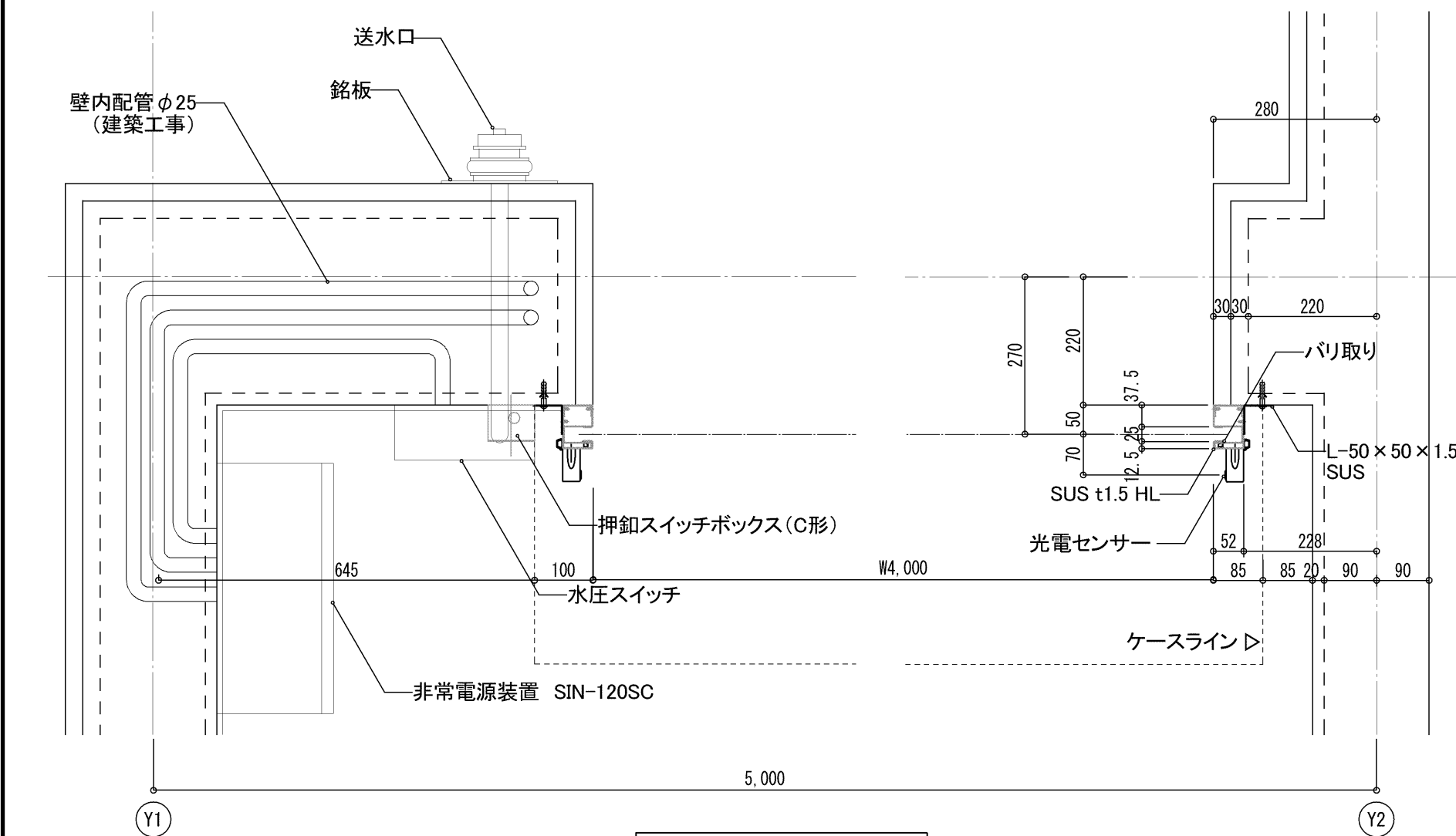
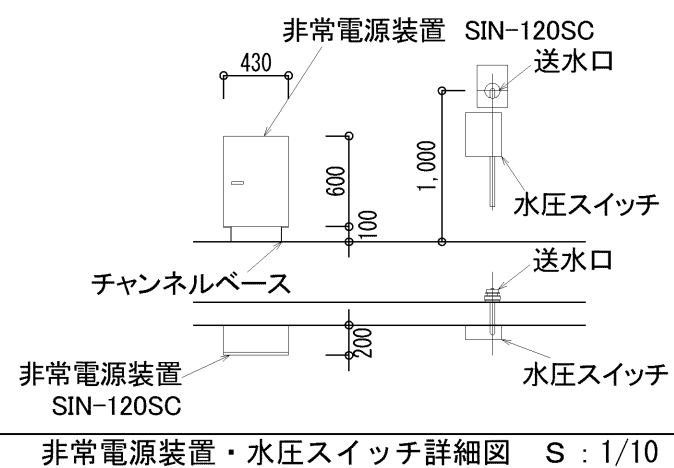
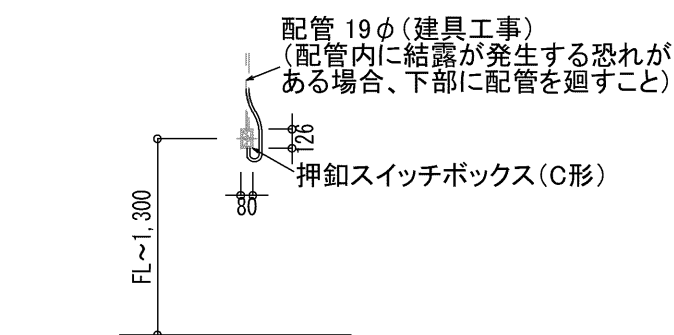
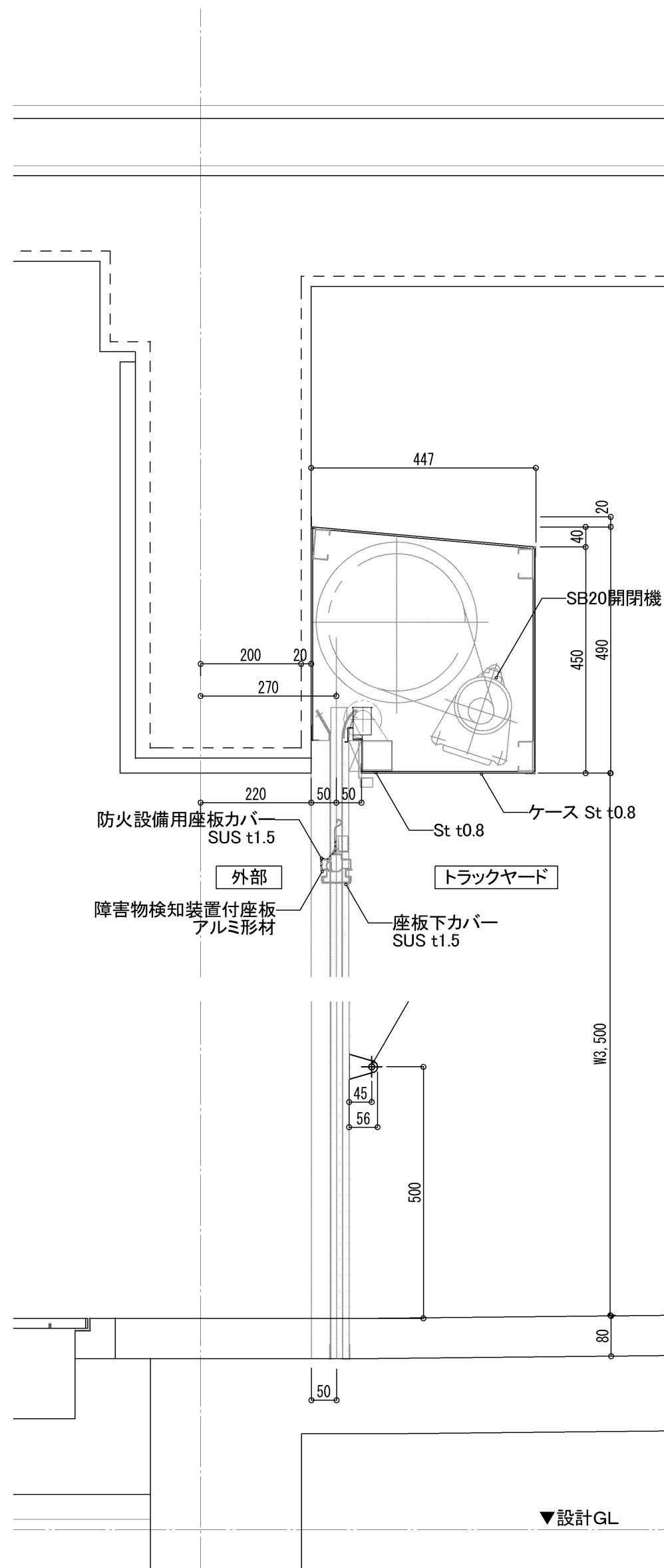
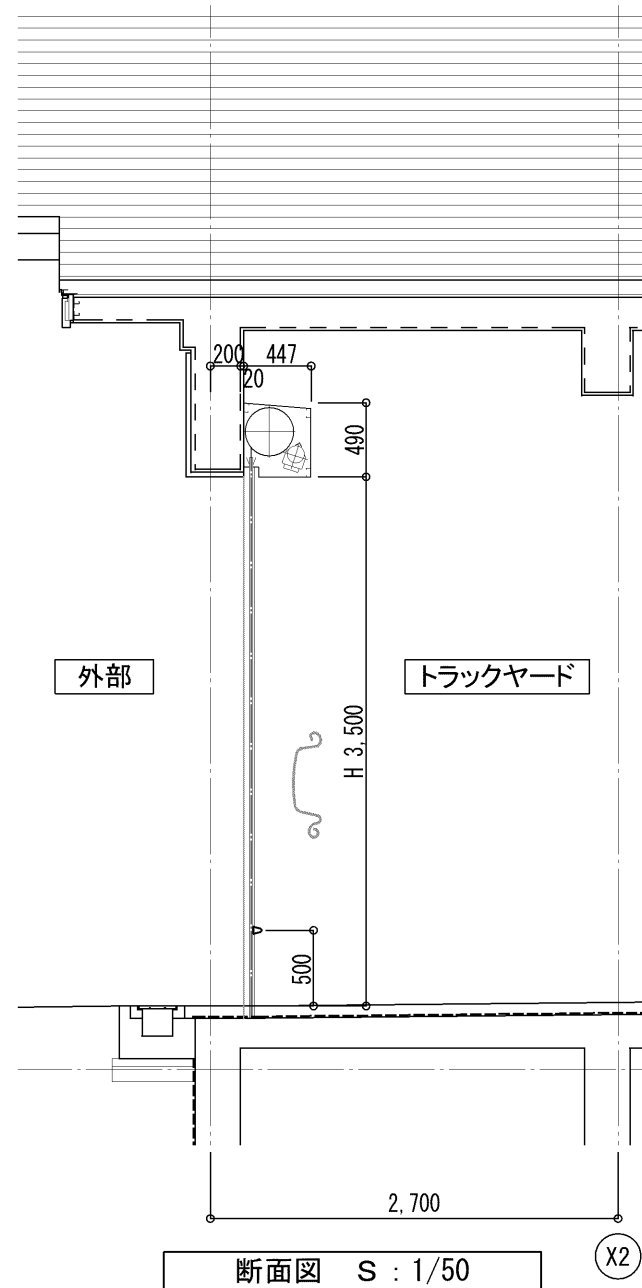
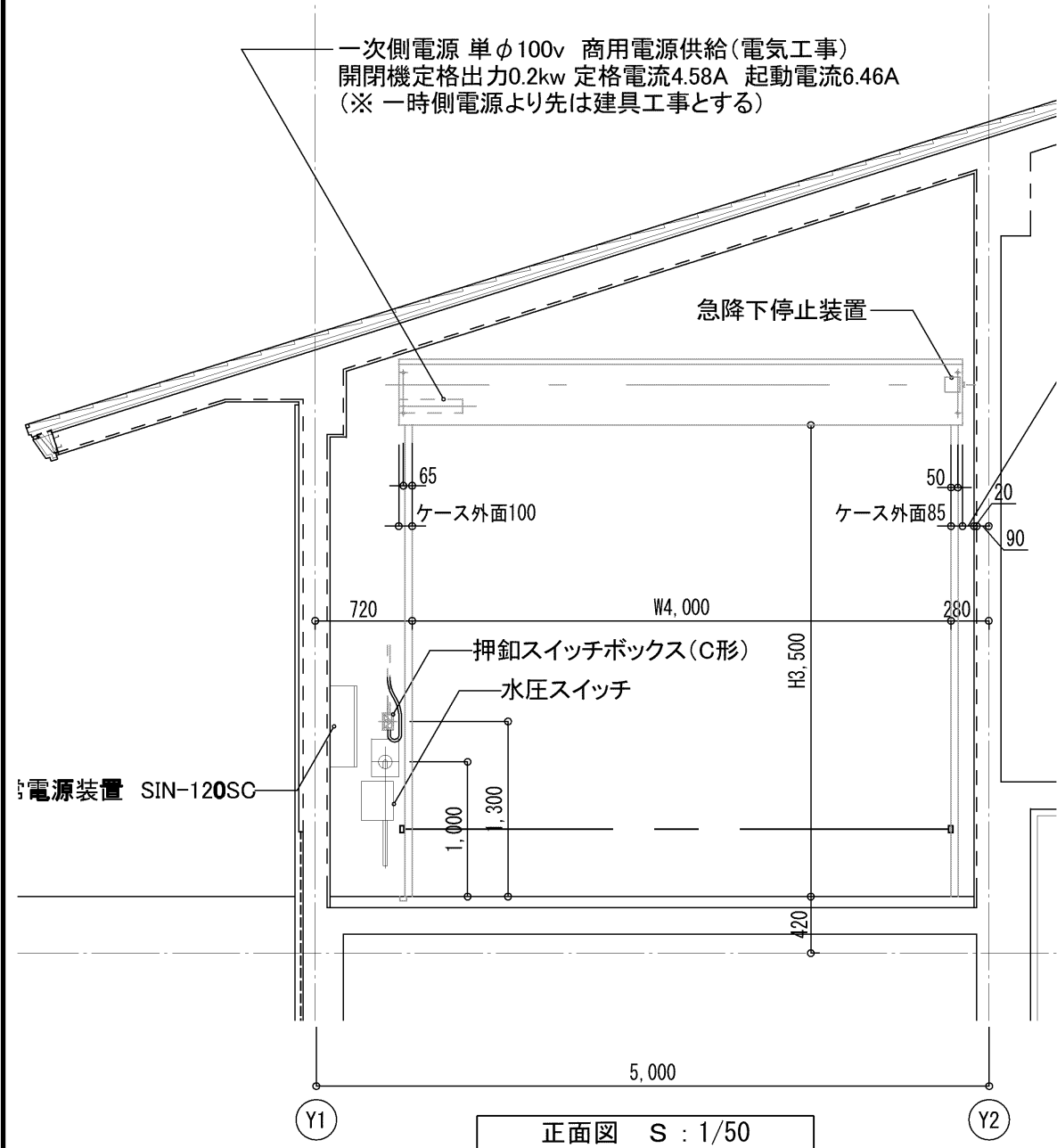
天井仕上凡例	
(A)	GB-A L t12.5±無機質系調湿板 t7 見切材：杉 t10共
(B)	GB-A L t12.5+DR t9
(C)	GWボード ガラスクロス額縁貼り t50
(D)	GB-R t12.5+DR t9
(E)	C打放し
	天井点検口：特記なき限り450角
	天井開口補強：特記なき限り300角
PR	ピクチャーレール 許容荷重 30kg/m

2階床仕上げ凡例	
	孔空き鋼製床材： W200, 250 H60、板厚2.0、開口率40%程度、 ノンスリップ仕様、高耐食性めっき鋼板K27
	C. PL-4.5 溶融亜鉛めっき仕上げ



符号凡例			
FL	フロート板ガラス	DC	ドアクローザ(ストッパー有)
F	型板ガラス	DCN	ドアクローザ(ストッパー無)
HP	熱線吸収フロートガラス	FH	フロアヒンジ
RP	熱線反射ガラス	AH	オートヒンジ(ストッパー無)
TL	強化ガラス	PH	ピボットヒンジ
ST	学校用強化ガラス	GH	グラビティヒンジ
FFL	透明防火ガラス	LTH	ラバトリーヒンジ
IG	複層ガラス	H	丁番
L	合わせガラス	FO	フランス落とし
網**	網入り	FD	ファイアーダンパー
線**	線入り	PD	シリンダー本締り錠
HS	倍強度ガラス	HL	シリンダー鎌錠
AT	エアタイト	CP	シリンダー箱錠
SAT	セミエアタイト	ER	電気錠
		MR	モノロック
防火設備	告示第1360号に定める 防火設備(防火戸)とする。	GR	グレモン錠
		L1	表示付ラッチ錠
特定防火 設備	告示第1369号に定める 特定防火設備(防火戸)とする。	K	握り玉
		LH	レバーハンドル
		CH	ケースハンドル

符号	名称	1 SD	スチール製両開き扉	2 SD	スチール製両開き扉	3 SD	スチール製片開き扉	4 SD	スチール製片開き扉			
	場所	前室 2		収蔵室 A、B、C		空調機械室		空調機械室				
姿 図	※特定防火設備相当			※特定防火設備相当								
	 FL			 FL			 FL			 FL		
箇所	見込・形状	1	扉：250 枠：400	3	扉：60 枠：200	1	扉：60 枠：120	1	扉：40 枠：100			
硝子	仕上	— SOP			— SOP			— DP				
額縁（材質/仕上/見込）	St	SOP	A	St	SOP	A	St	DP	A			
水切 沓摺（材質/仕上/形状）	SUS	HL	C	SUS	HL	C	SUS	HL	F			
付属金物	丸ハンドル、PD、AH、耐火パッキン（扉）、 防湿パッキン（枠）、開閉連動昇降防湿パッキン（扉）			GR、PD、H、DCN、防湿パッキン（枠・扉下部）、 開閉連動昇降防湿パッキン（扉）			LH、PD、H、DC、付属金物一式			LH、PD、H、DC、ガラリSUS防虫網、 付属金物一式		
備 考	2時間耐火仕様（日セフ連・金庫設備試験規格認定品）									固定ガラリ 開口率30%		
符号	名称	5 SD	スチール製片開き扉	1 SS	水圧開放装置付き軽量電動シャッター	2 SS	くぐり戸付き軽量電動シャッター					
	場所	トラックヤード		トラックヤード		前室 1						
姿 図	 FL-750			※防火設備相当 FL-880			 FL					
	箇所	見込・形状	1	扉：40 枠：100	1	スラット：1.0	1	スラット：1.0 扉：40				
硝子	仕上	— DP			— スラット：カラー鋼板			— スラット・扉：カラー鋼板				
額縁（材質/仕上/見込）	St	DP	A	座板・ガイドレール・まぐさ：SUS	HL	座板・ガイドレール・まぐさ：SUS	HL					
水切 沓摺（材質/仕上/形状）	SUS	HL	F	—	—	—	—					
付属金物	LH、PD、H、DC、付属金物一式			シャッター装置一式、水圧開放装置、 非常電源装置、降下安全装置、付属金物一式			シャッター装置一式、LH、PD、H、DC、 降下安全装置、付属金物一式					
備 考												
符号	名称	1 AG	アルミ製ガラリ	2 AG	アルミ製ガラリ	1 WD	木製 2 連引戸	1 WG	木製ガラリ			
	場所	空調機械室		トラックヤード		トラックヤード		収蔵室 A、B、C				
姿 図	 FL			 FL			 FL			 FL		
	W=a:1,000、b:900、c:600											
箇所	見込・形状	1	70	1	70	1	扉：45 枠：100	a:2、b:1、c:1				
硝子	仕上	— 電解二次着色			— 電解二次着色			— 素地				
額縁（材質/仕上/見込）	アルミ製	電解二次着色		アルミ製	電解二次着色		木製	素地				
水切 沓摺（材質/仕上/形状）	アルミ製	電解二次着色		アルミ製	電解二次着色		SUSフラットレール HL	木製	素地			
付属金物	SUS防鳥網、ダクト接続枠、付属金物一式			SUS防鳥網、付属金物一式			埋込み引手、戸車、戸当り、 付属金物一式					
備 考	ガラリ形状B（開口率30～35%）			ガラリ形状B（開口率30～35%）								
支社	管理技術者	担当者			設計番号	工事名称			図面種別			
	一級建築士				P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）			A			
	第333565号				日付	図面名称			図面番号			
	江口 浩希				2020. 10	建具キープラン・建具表			2 1			
						縮尺		図面番号				
						1/100, 1/200		2 1				



訂正日付	
図面は約70%縮小しています(A2→A3)	

株式会社 浦野設計三重支社
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号

管理技術者	
一級建築士	
第333565号	
江口 浩壽	

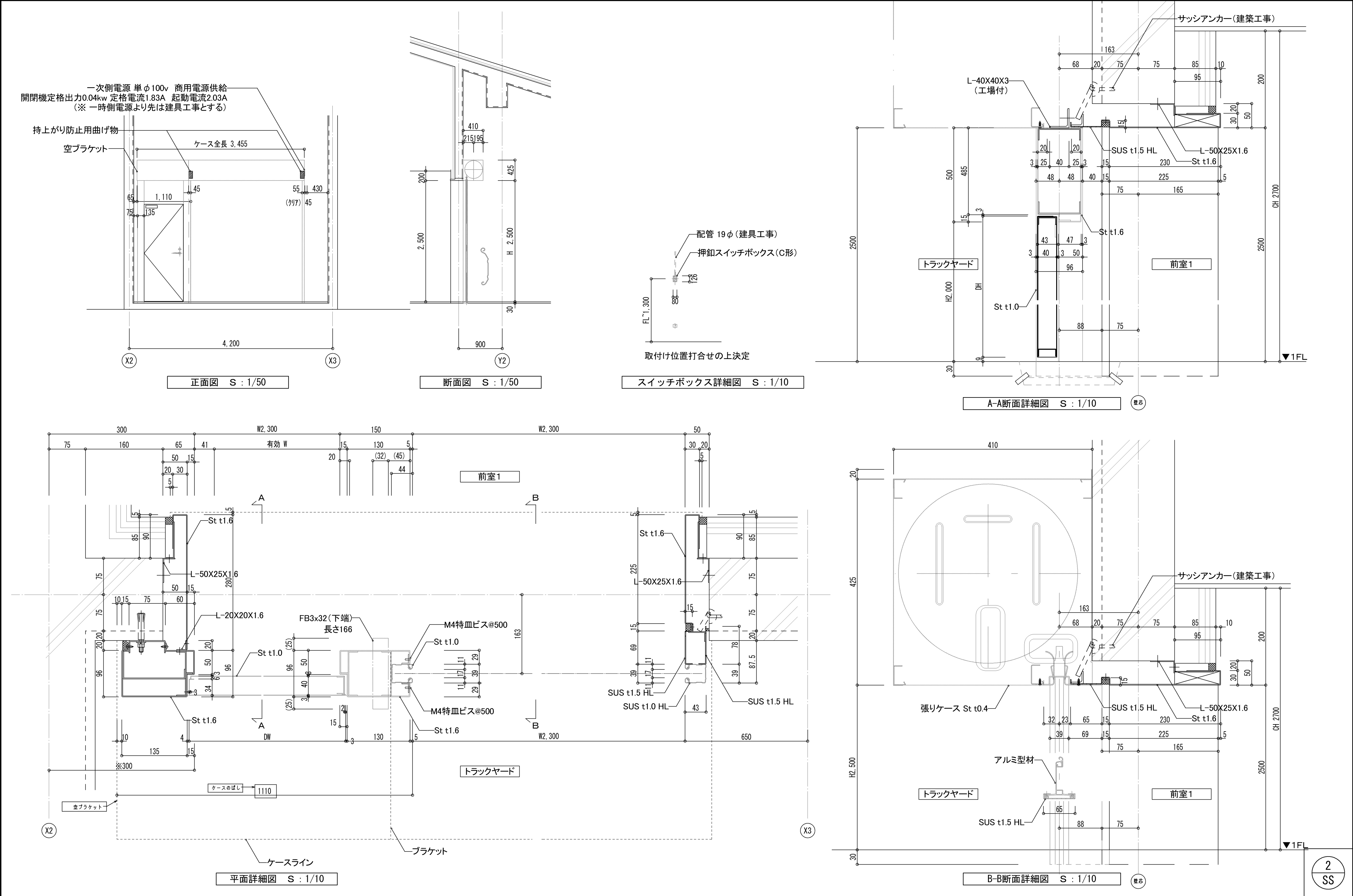
担当者	

設計番号	P 2 0 0 1 M
日付	2020. 10

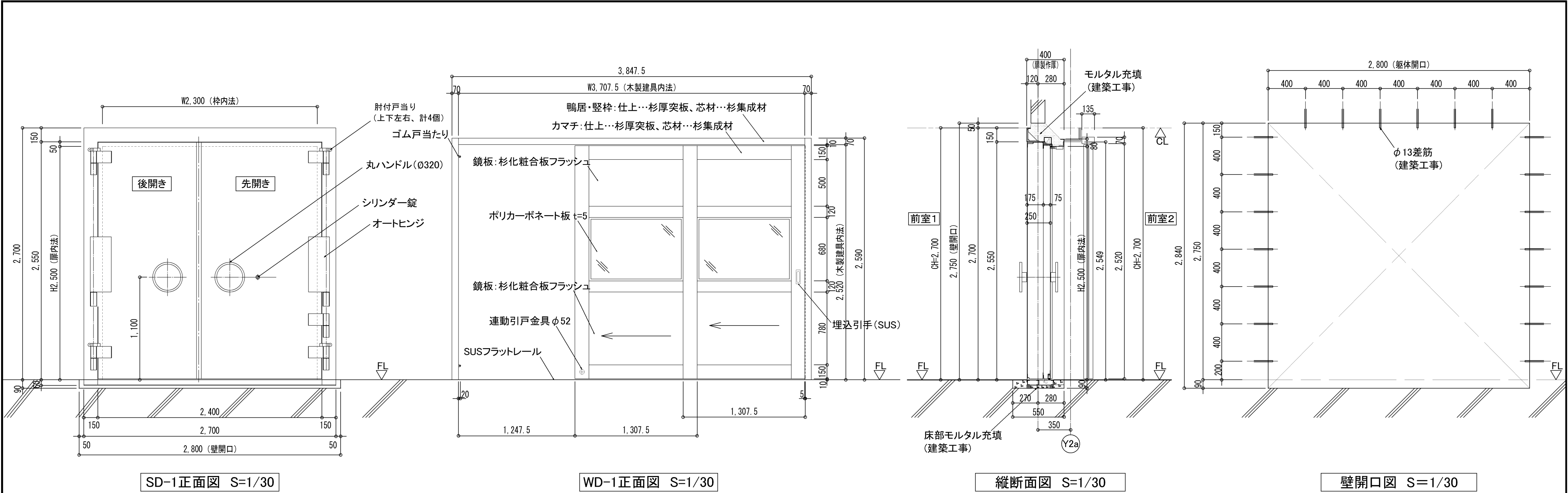
工事名称	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事(建築)
図面名称	建具詳細図 1

縮尺	図示
----	----

図面種別	A
図面番号	2 2



訂正日付	<div><div>株式会社 浦野設計三重支社</div><div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div></div>	管理技術者		担当者	設計番号	工事名称	図面種別
		一級建築士			P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）	A
		第333565号			日付	図面名称	縮尺
図面は約70%縮小しています（A2→A3）		江口 浩希	2020. 10	建具詳細図 2	図示	2 3	

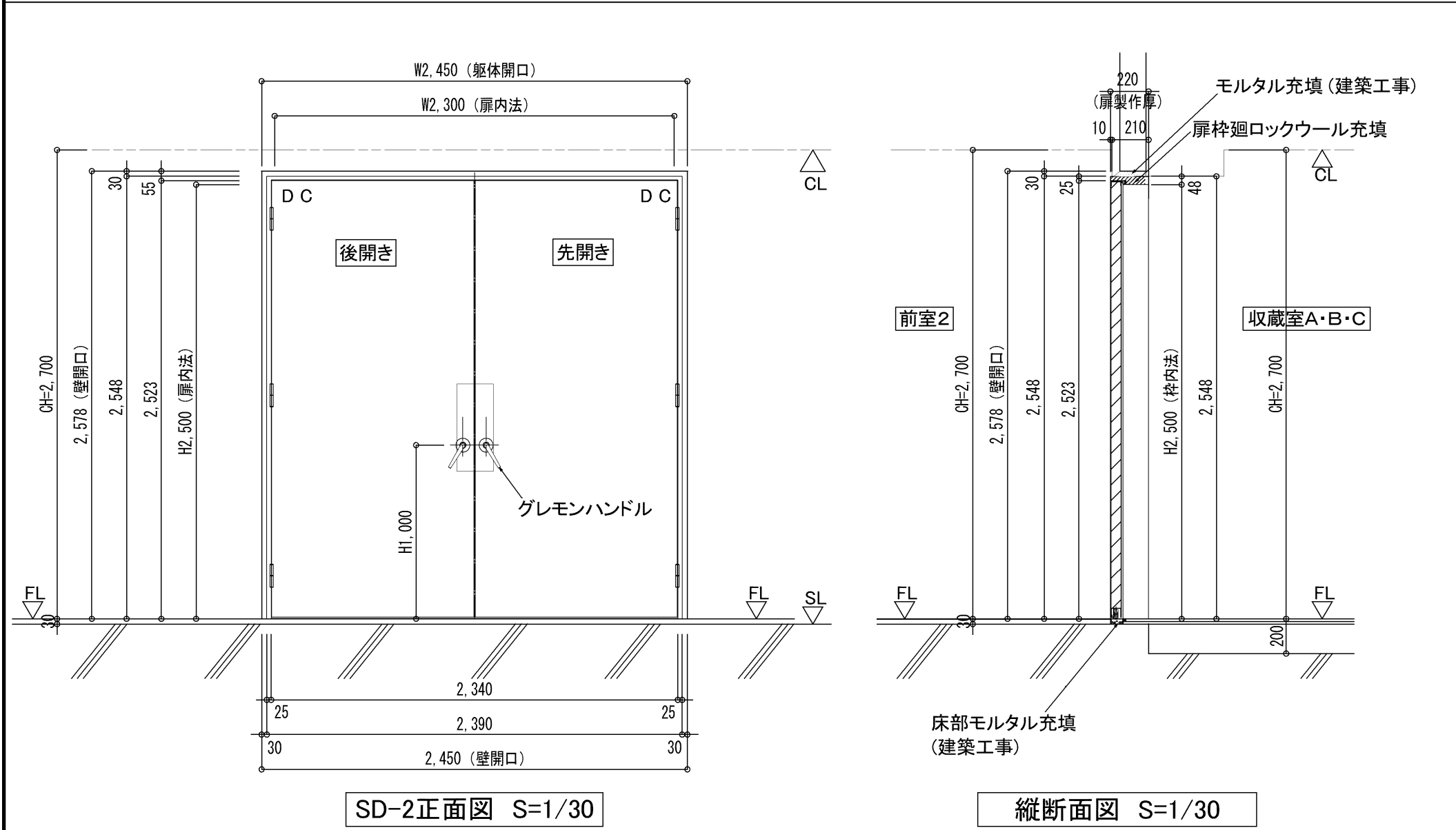


SD-1正面図 S=1/30

WD-1正面図 S=1/30

縦断面図 S=1/30

壁開口図 S=1/30



SD-2正面図 S=1/30

縦断面図 S=1/30

SD-1 収蔵庫両開き耐火扉仕様表	
扉材質	スチール製 表板 t=4.5 中板 t=2.3 裏板 t=1.6 枠板 t=3.2
内法寸法	W2300 × H2500
扉厚	250mm
製作厚	400mm
耐火性能	2時間耐火
パッキン	耐火パッキン(熱膨張パッキン)(扉) 防湿パッキン(扉枠)及び扉下部、開閉連動昇降防湿パッキン(扉)
ハンドル	丸ハンドル×2(Ø320)表面 丸ハンドル×1(Ø320)裏面
非常脱出	扉裏面、サムターンにより庫外に出る
締付装置	カンヌキ先端部による圧着
施錠	シリンダー錠×1(庫内側サムターン×1)
閉鎖調整装置	オートヒンジ(順位調整器)
床差	±0機構、床板SUS-HL
戸当り	扉肘付戸当り(最大開き角度に設定)
仕上	扉・枠 ・防錆塗装 ・仕上げ塗装
(特記) ※非常脱出表示シール2枚1組(蓄光シール)×1組 裏板は点検が必要な為、丸頭ビス固定とします。	

WD-1 仕様表	
内法寸法	W3707.5 × H2580
扉厚	45mm
材質	鴨居・堅枠:仕上 杉厚突板 芯材 杉集成材 カマチ・中棧:仕上 杉厚突板 芯材 杉集成材 (中央部):ポリカーボネート板 t=5 (鏡板):杉化粧板フラッシュ
引手	埋込引手(SUS)
戸車	φ60
レール	SUSレール
戸当り	ゴム戸当り
(特記)	2段連動引き

SD-2 特定防火設備AT扉仕様表	
扉材質	スチール製 扉 t=1.6(錆止塗装 SOP) 枠 t=2.3(錆止塗装 SOP)
内法寸法	W2300 × H2500
扉厚	60mm
製作厚	220mm
パッキン	防湿パッキン(扉枠)及び扉下部、扉開閉連動昇降防湿パッキン(扉)
ハンドル	グレモンハンドル
施錠	シリンダー錠×1(庫内側サムターン×1)
自動閉鎖装置	ドアクローザ(順位調整器)
床差	±0機構、床板SUS-HL
戸当り	床付戸当り
仕上	扉・枠 ・防錆塗装 ・仕上げ塗装

訂正日付

株式会社 浦野設計三重支社
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号

管理技術者
一級建築士
第333565号
江口 浩壽

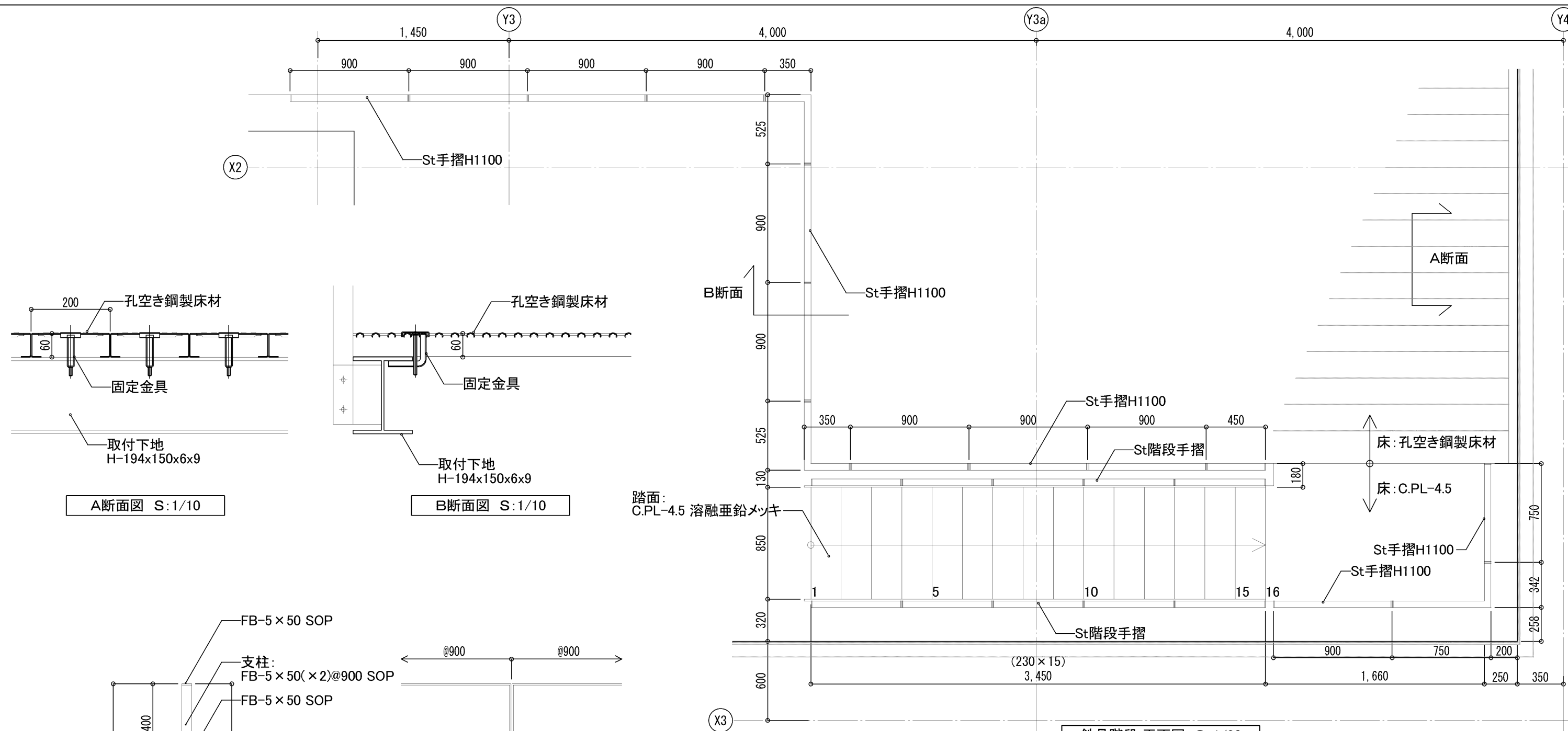
担当者

設計番号
P2001M
日付
2020.10

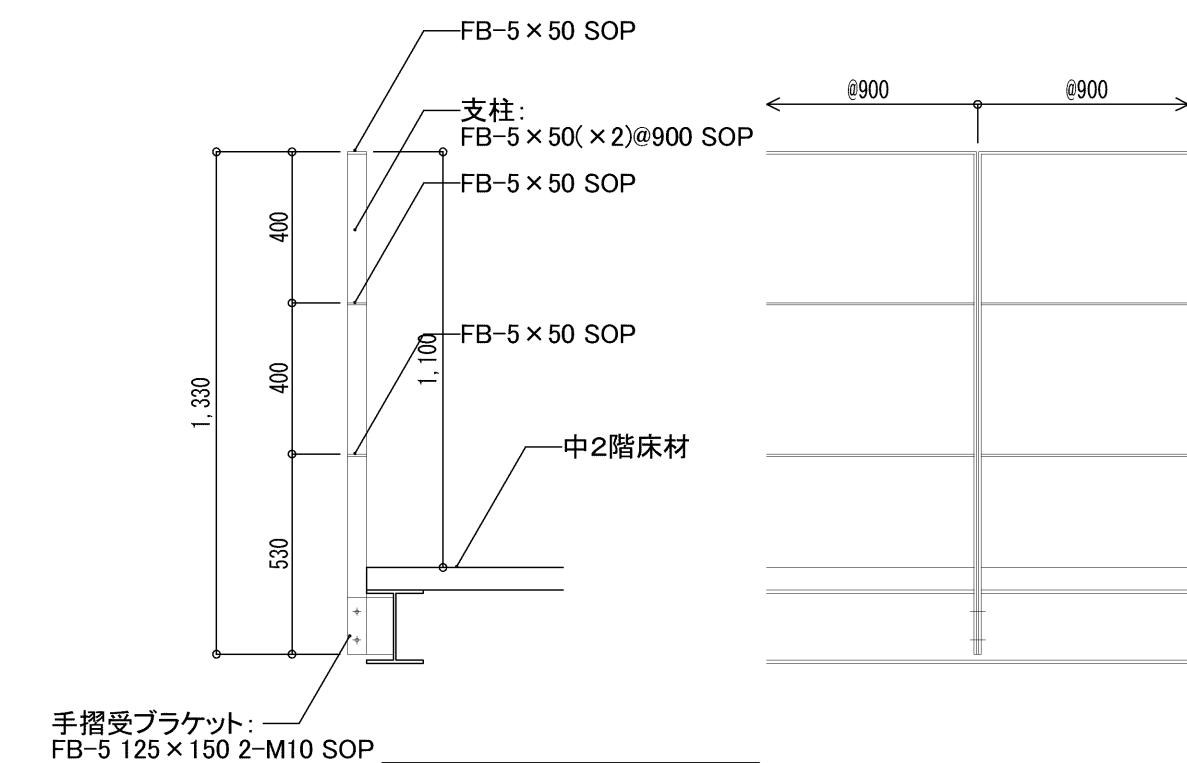
工事名称
松阪市文化財センター収蔵庫新築工事(建築)
図面名称
建具詳細図3
縮尺
図示

図面種類
A
図面番号
24

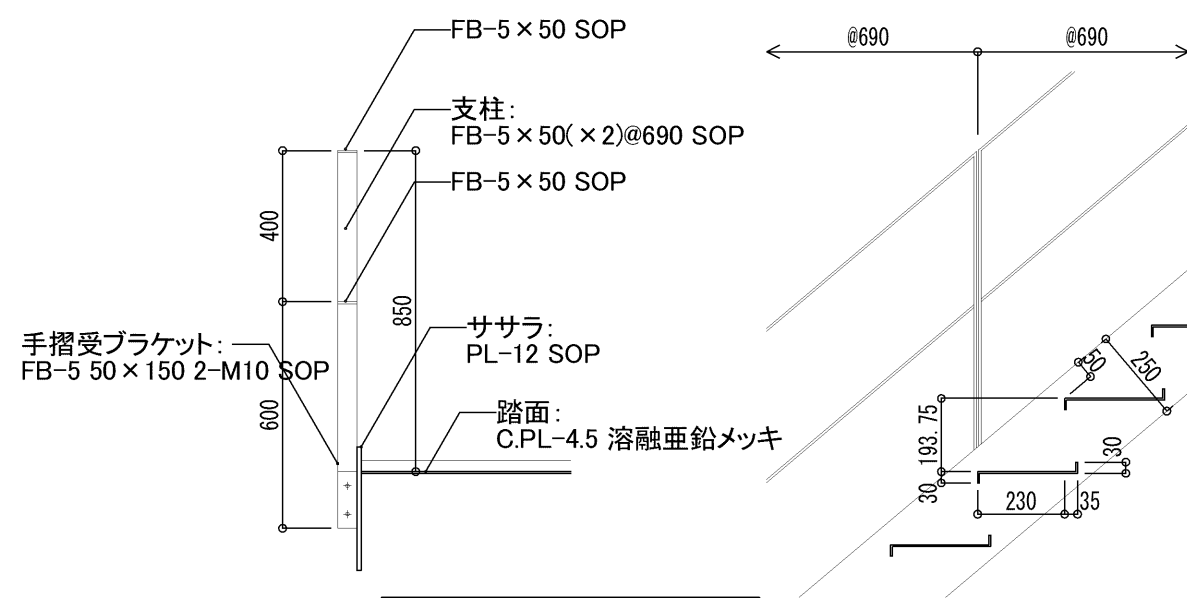
図面は約70%縮小しています(A2→A3)



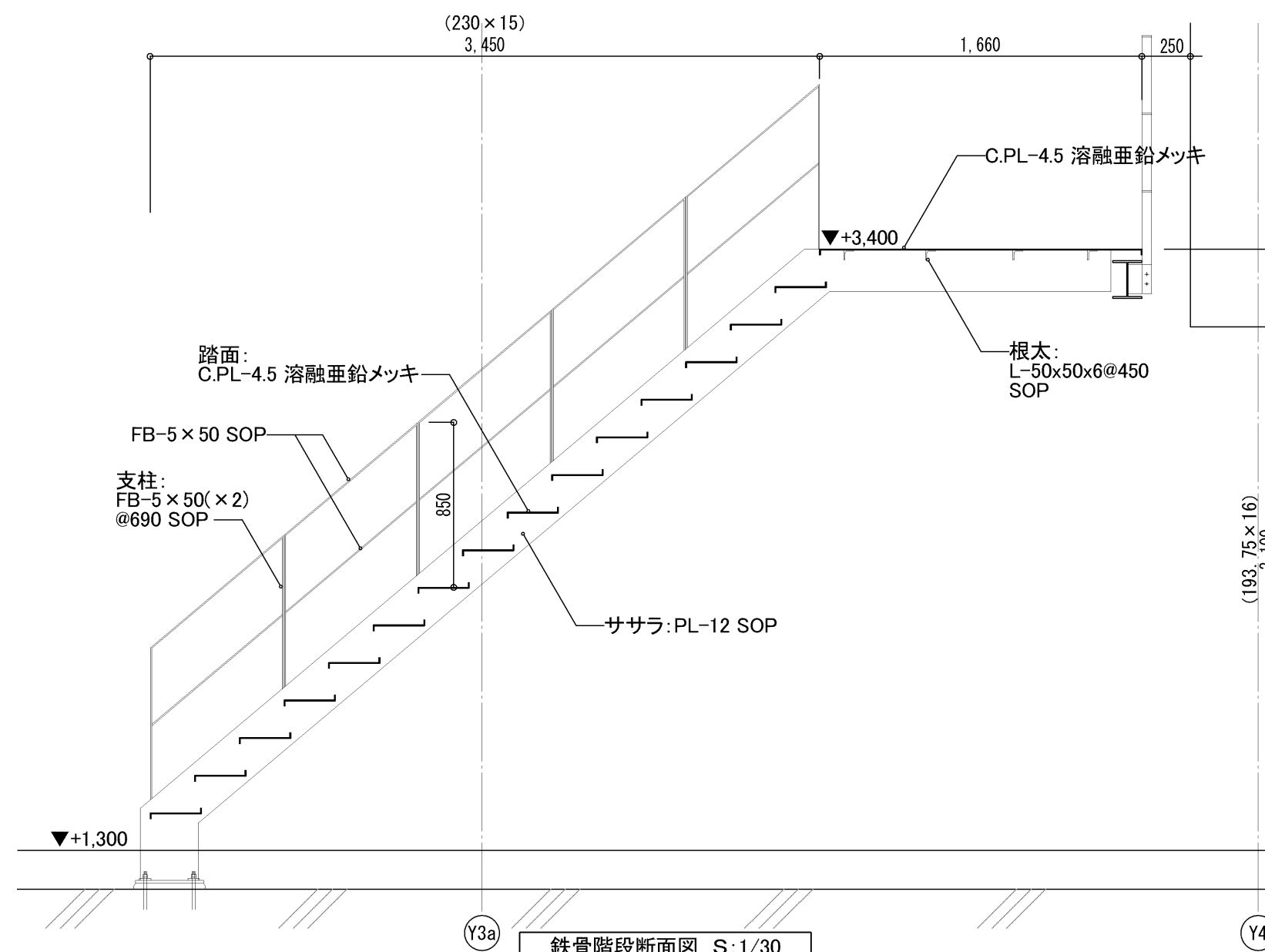
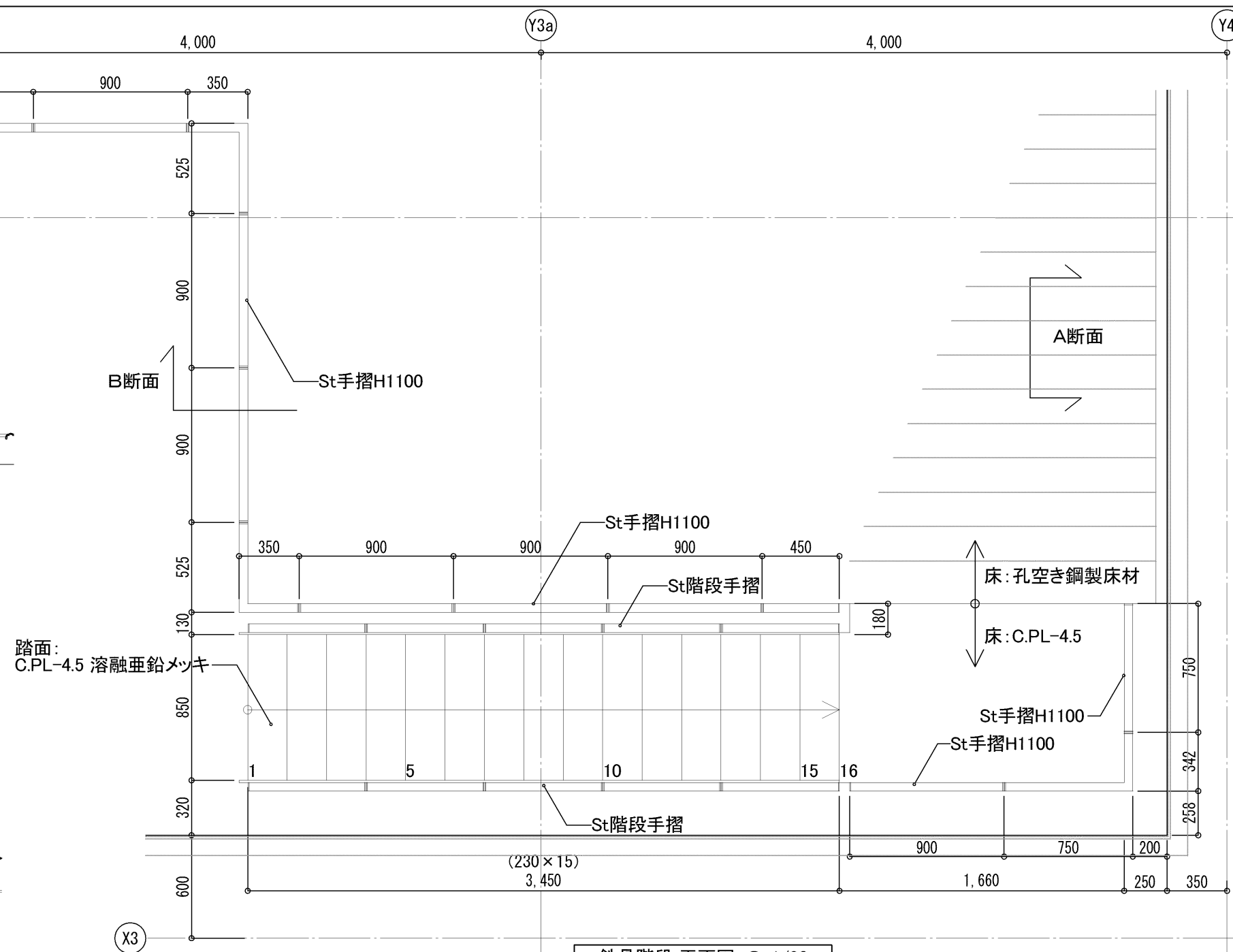
鉄骨階段 平面図 S:1/30



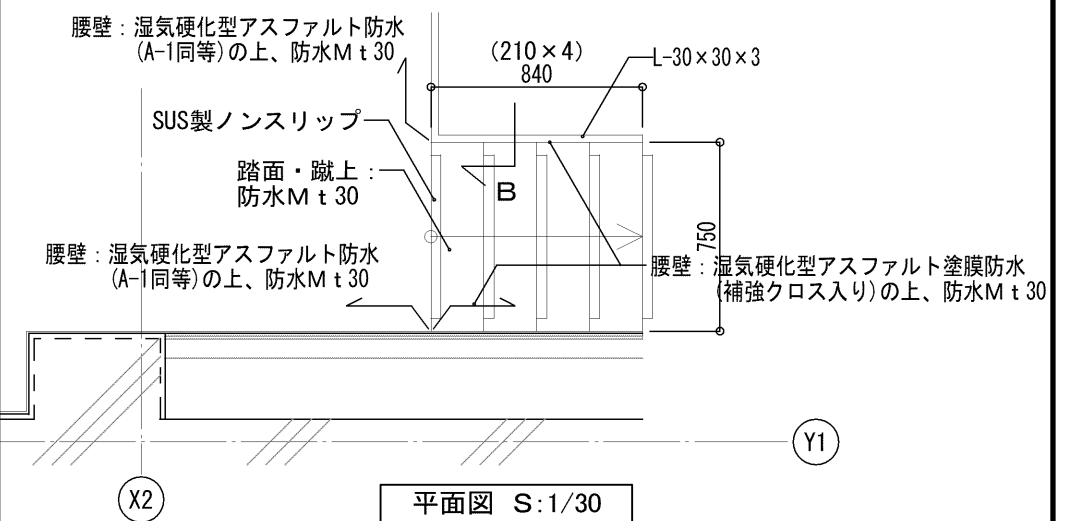
手摺H1100 詳細図 S:1/20



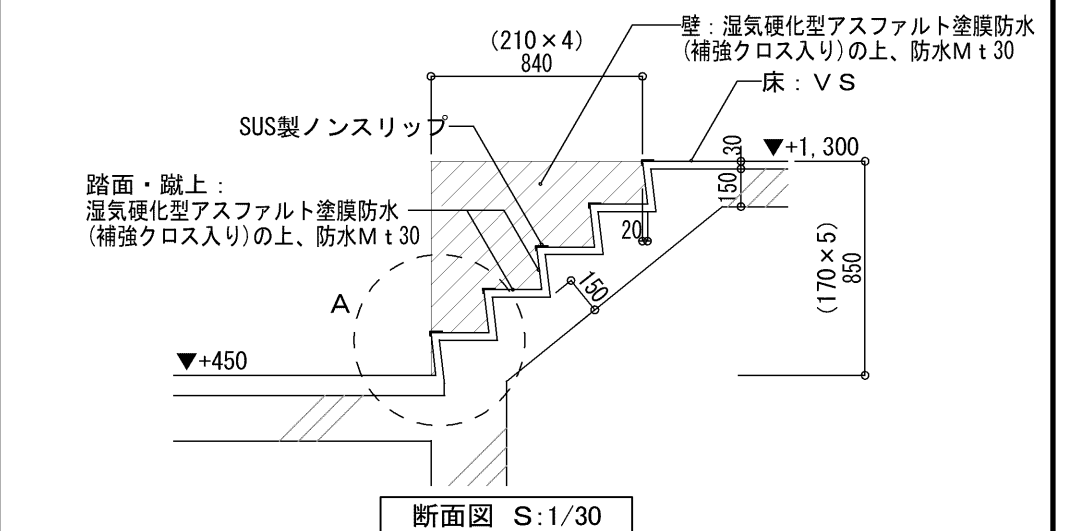
鉄骨階段 詳細図 S:1/20



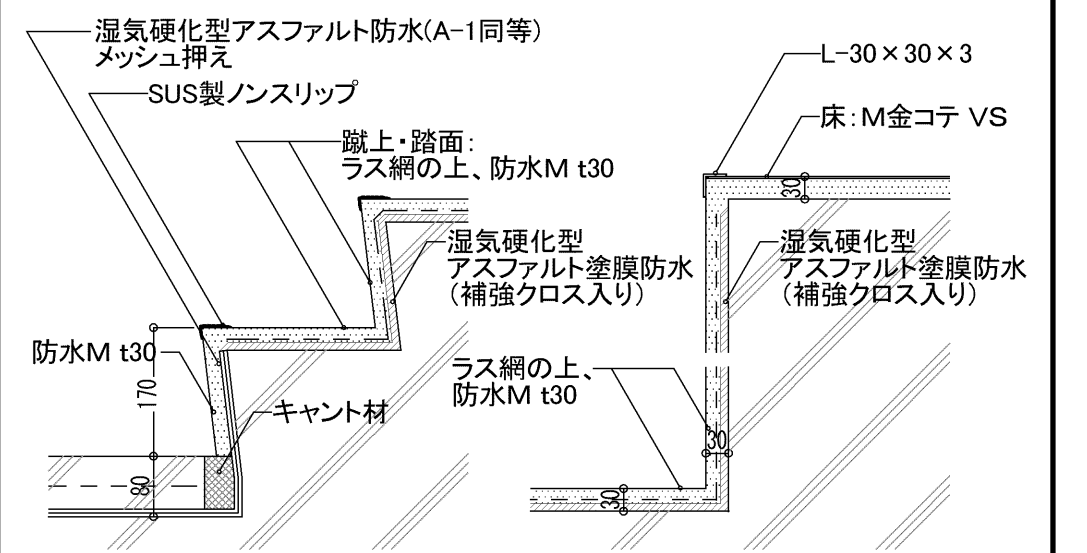
鉄骨階段断面図 S:1/30



平面図 S:1/30

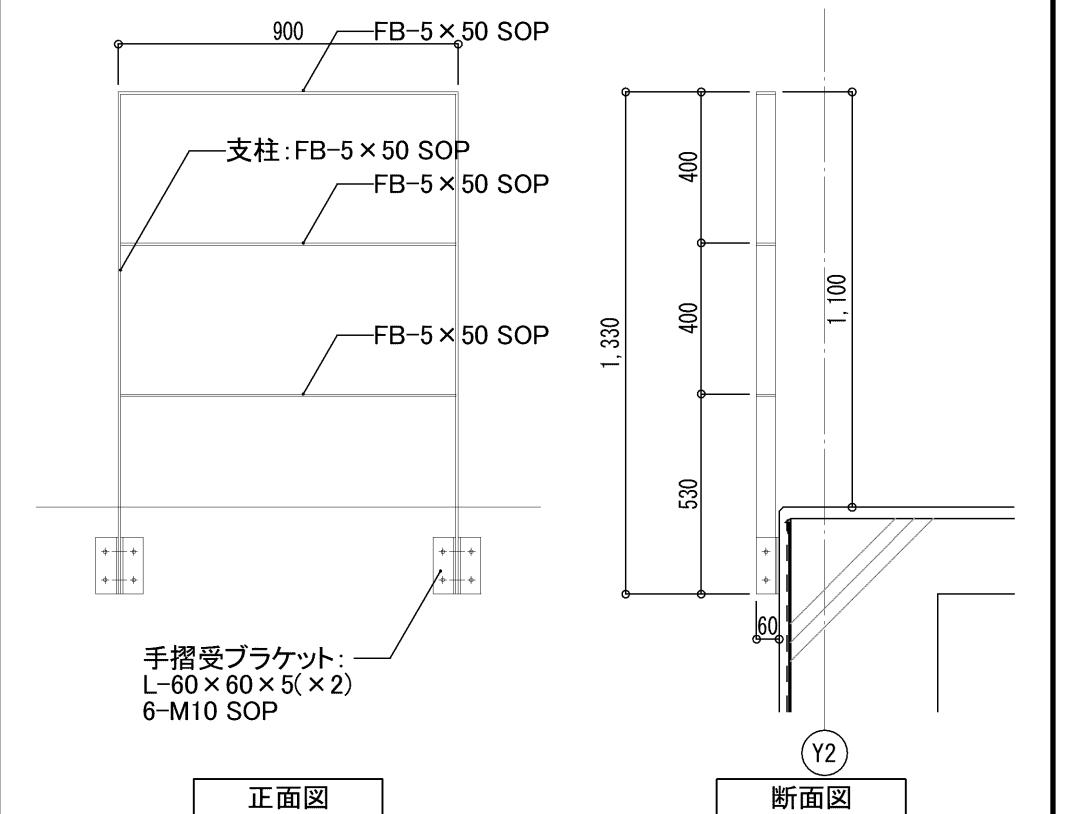


断面図 S:1/30



A断面図 S:1/10

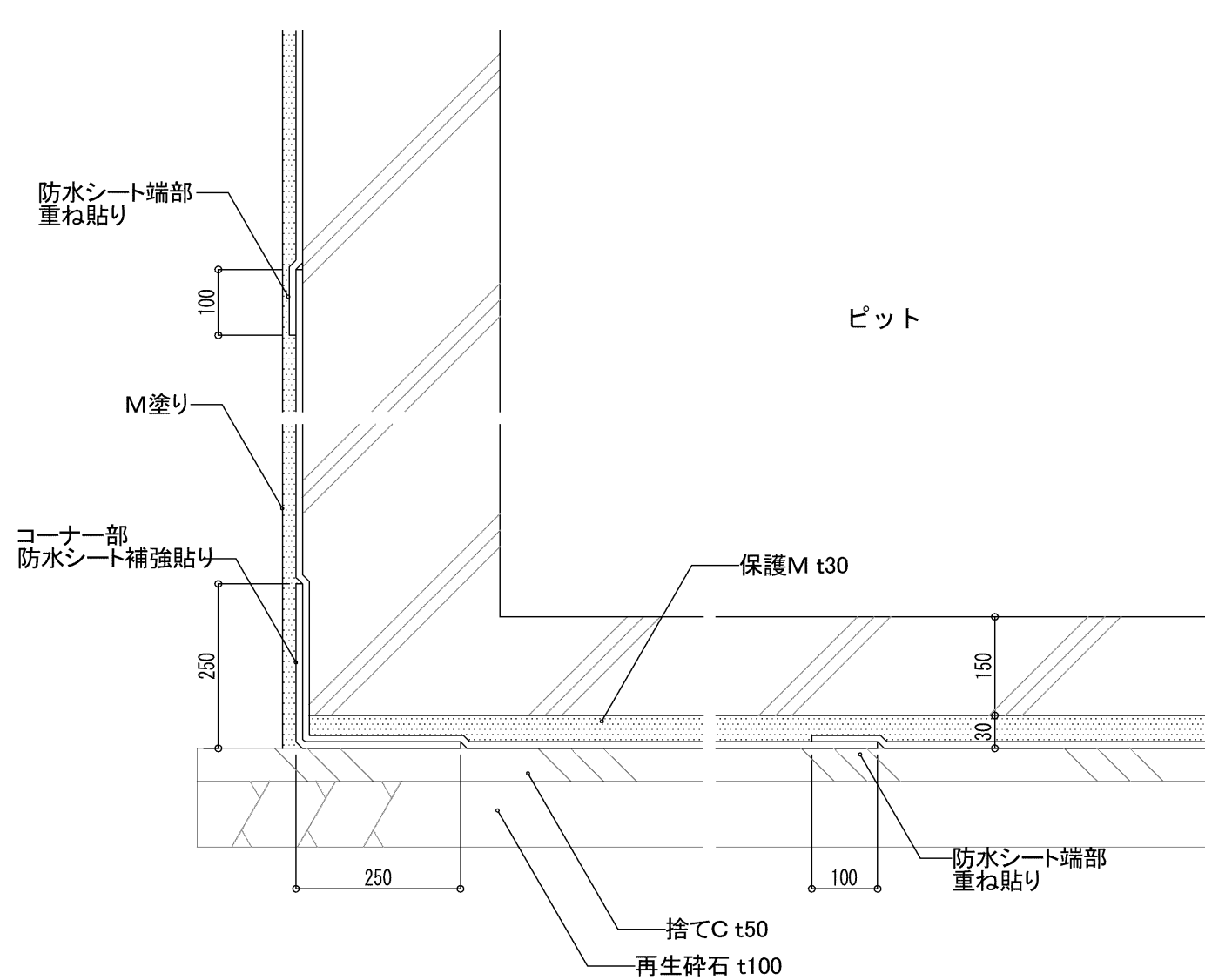
B断面図 S:1/10



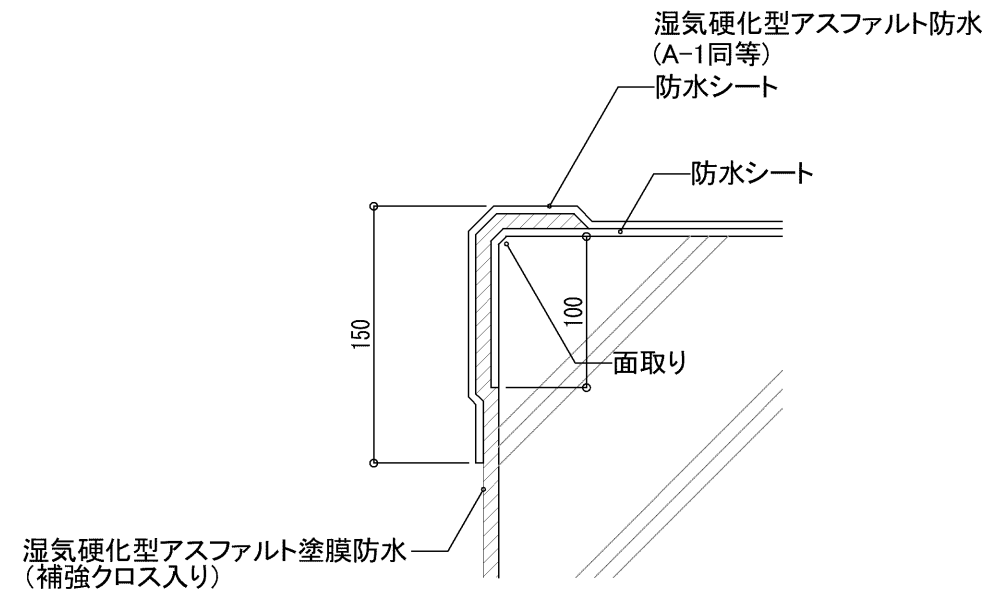
正面図

断面図

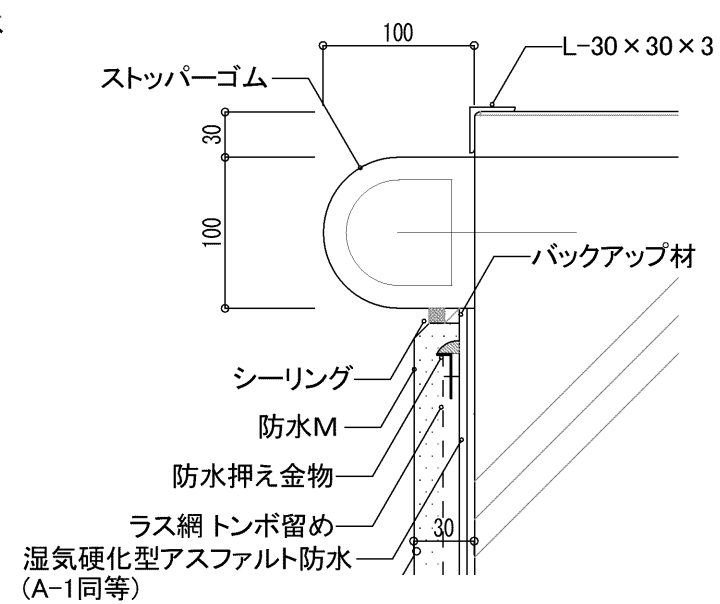
※シーリング材はアスファルト防水工事用シーリング材(変成シリコン系)とする。



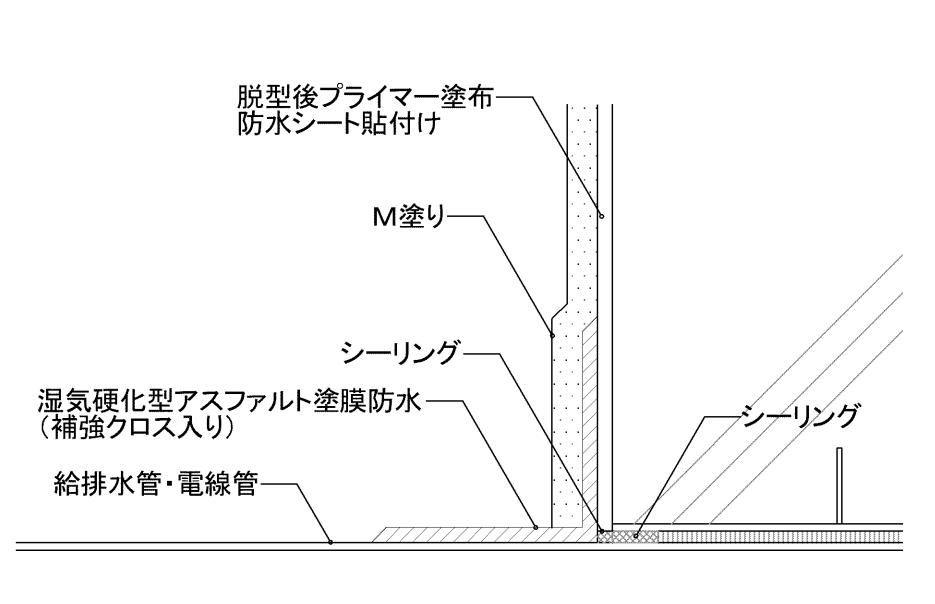
ピット底部・側部詳細図 S:1/10



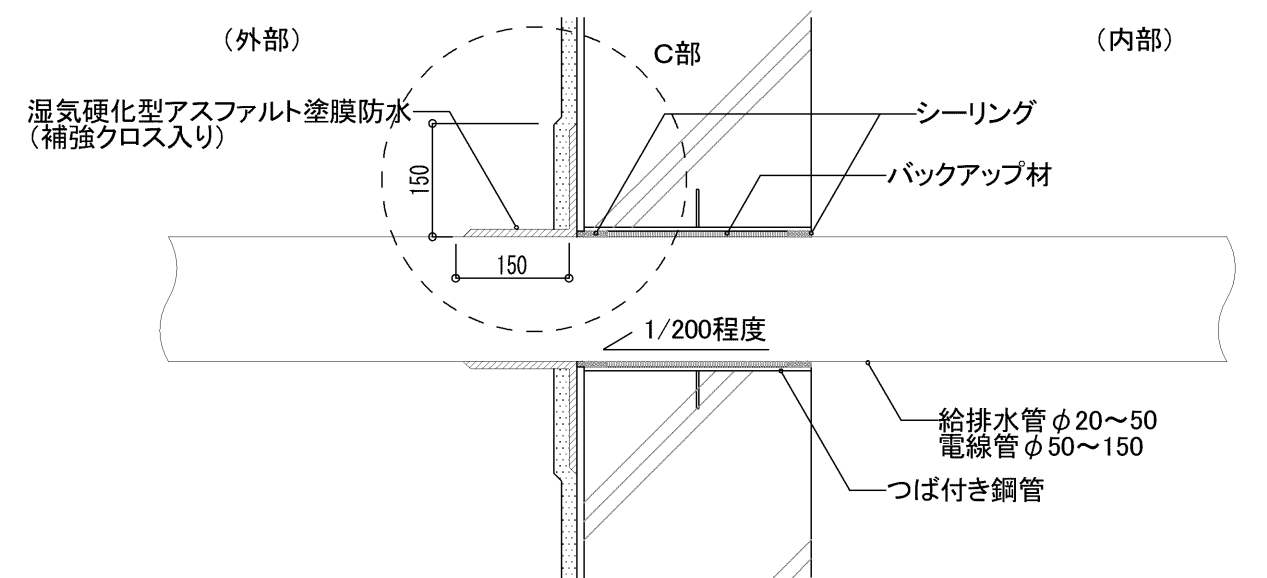
A部 詳細図 S:1/5



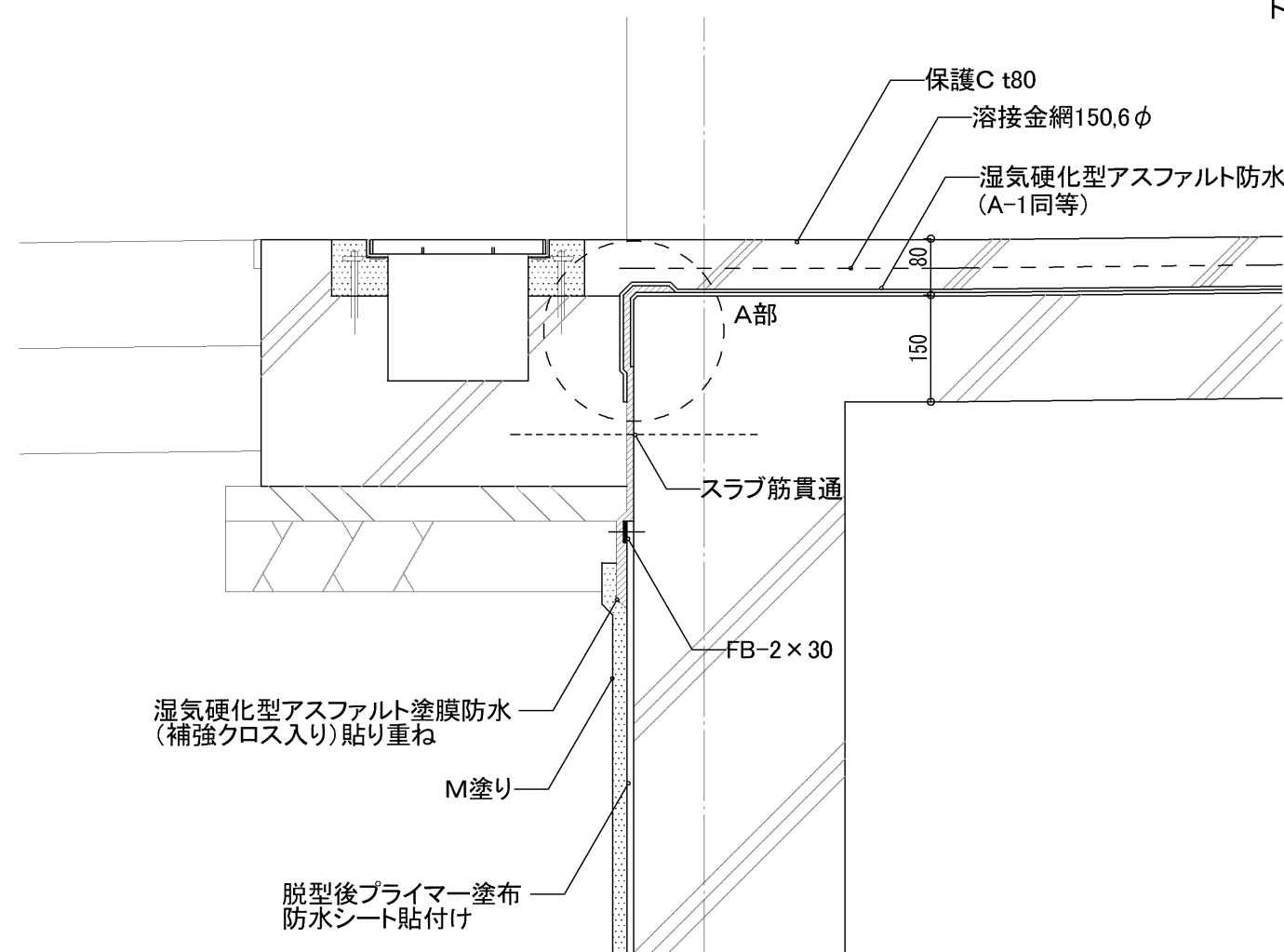
B部 詳細図 S:1/5



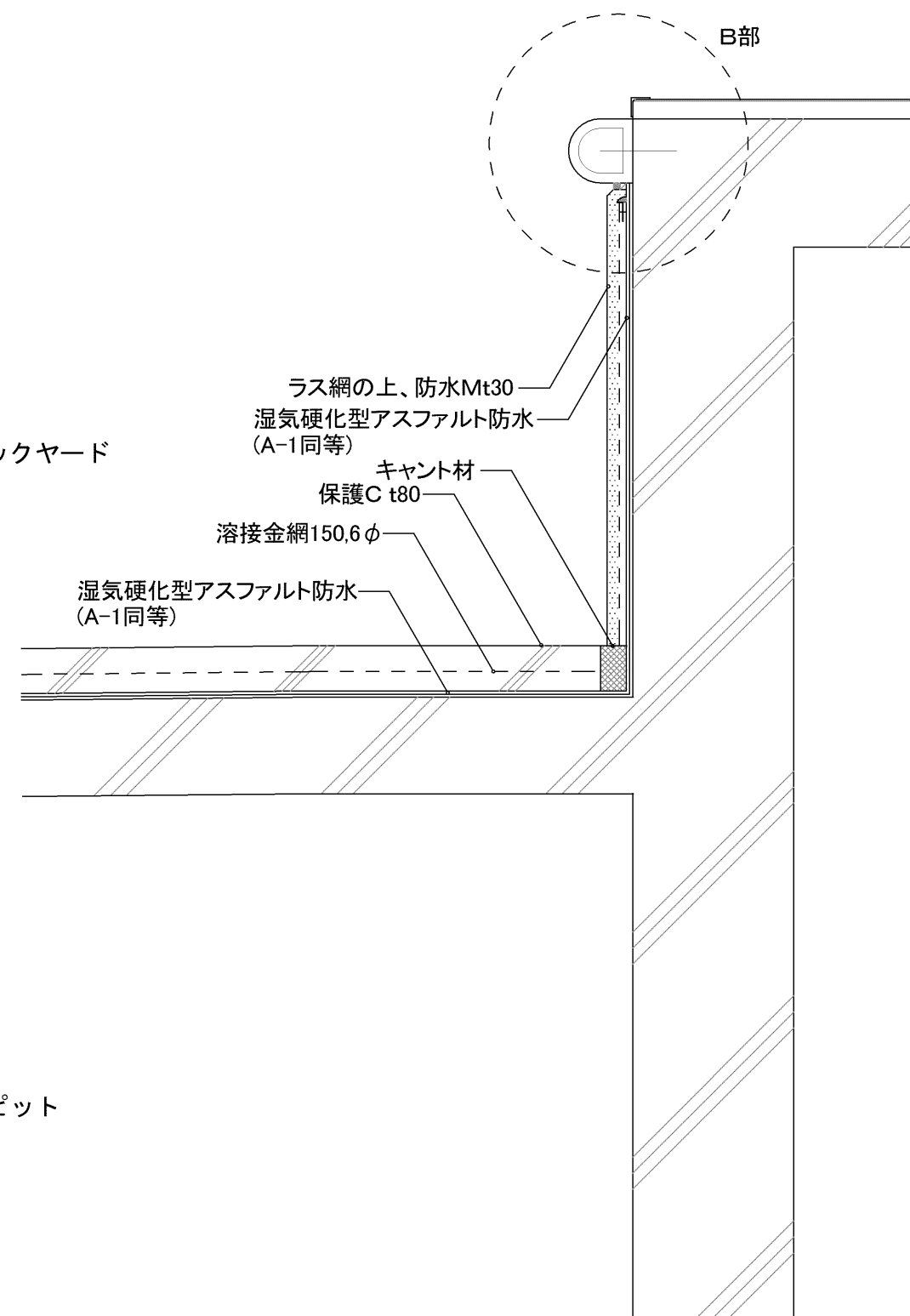
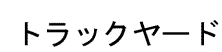
C部 詳細図 S:1/5



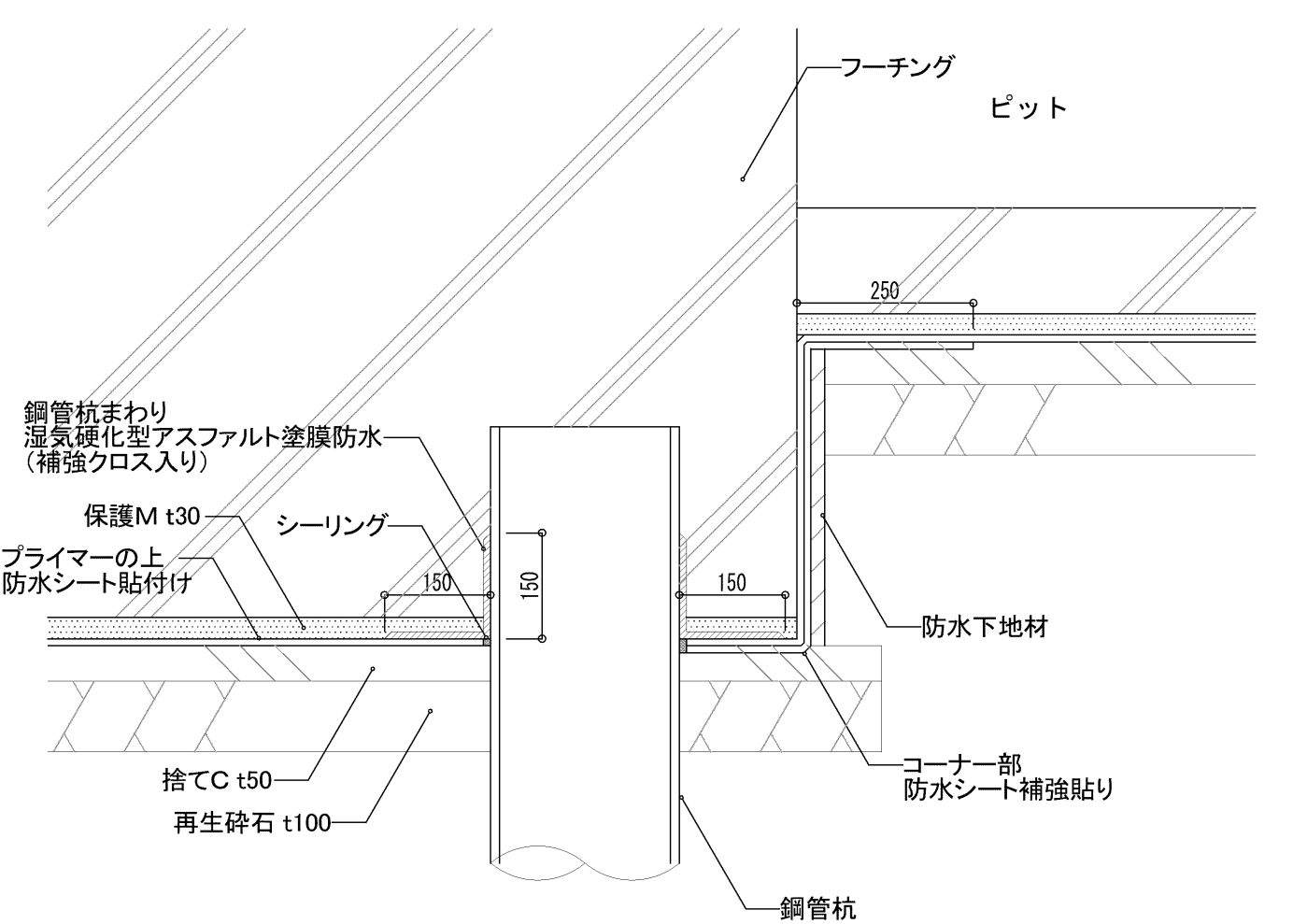
給排水管・電線管貫通部詳細図 S:1/10




トラックヤード詳細図 S:1/10



ピット

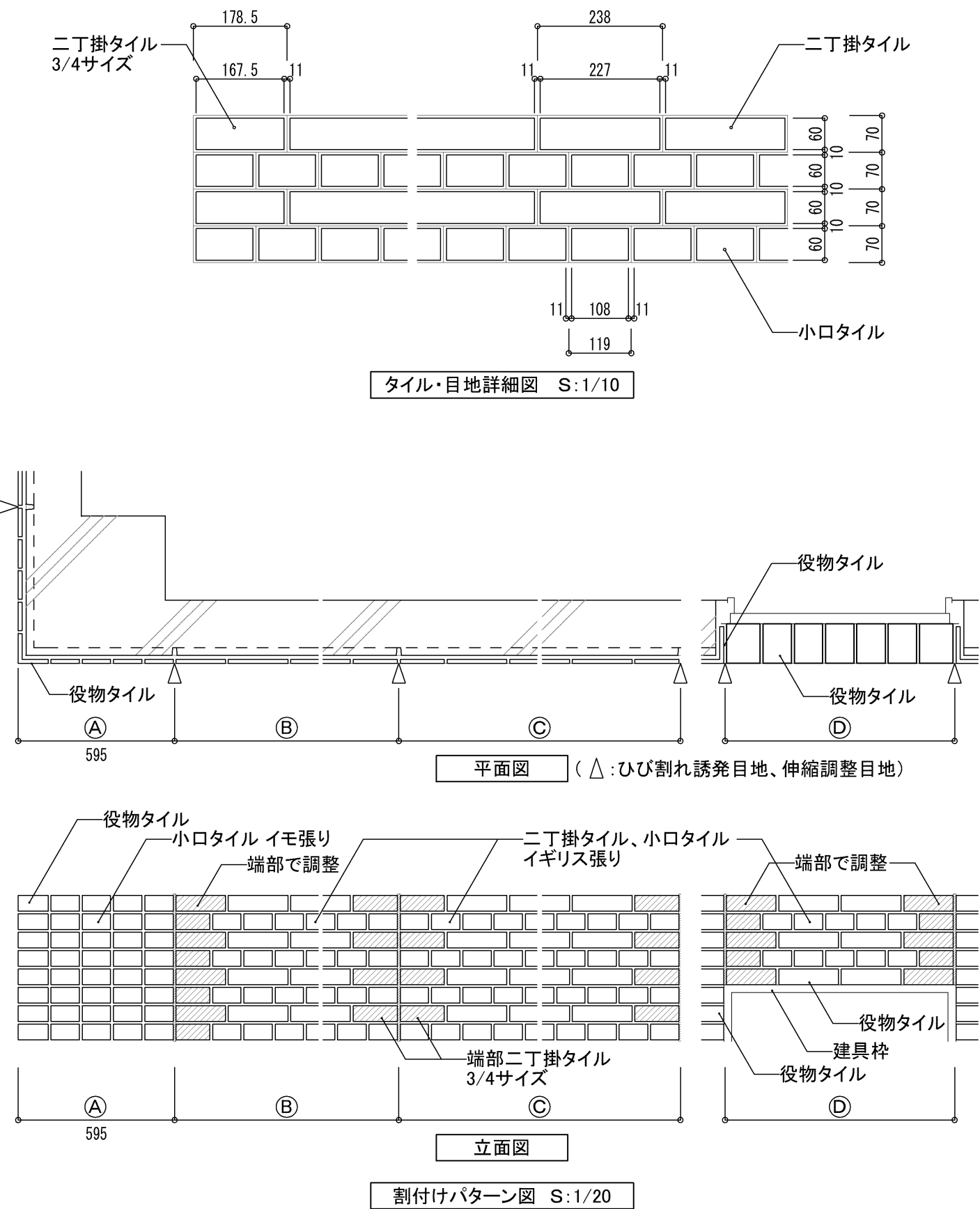
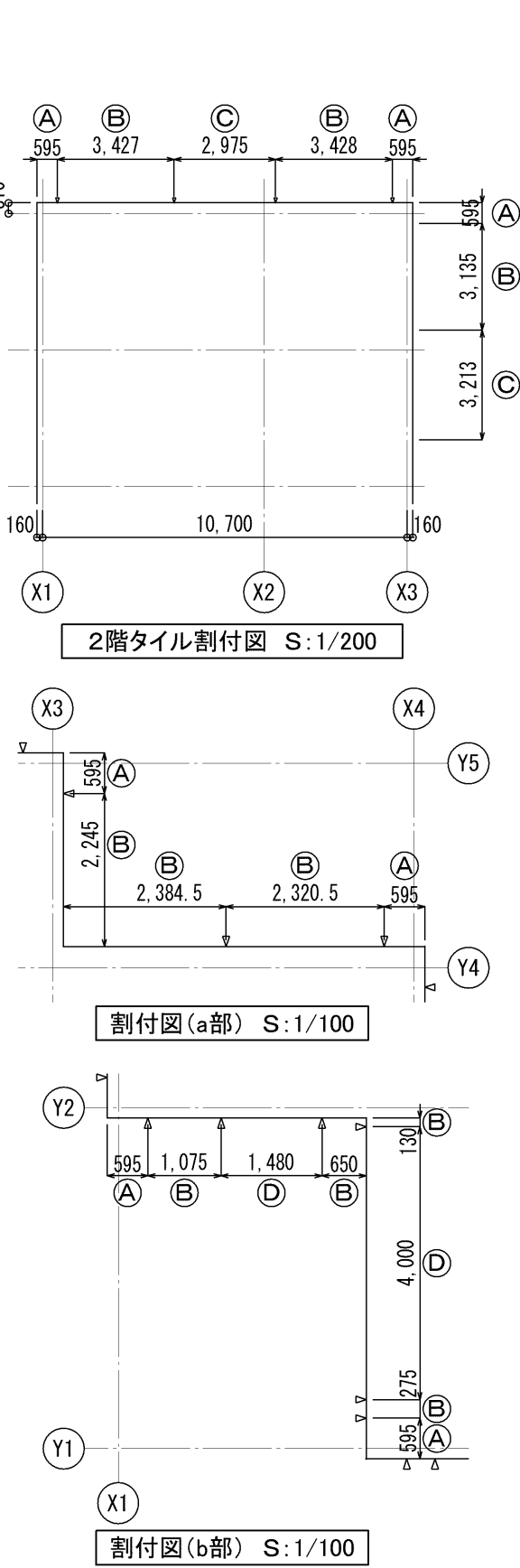
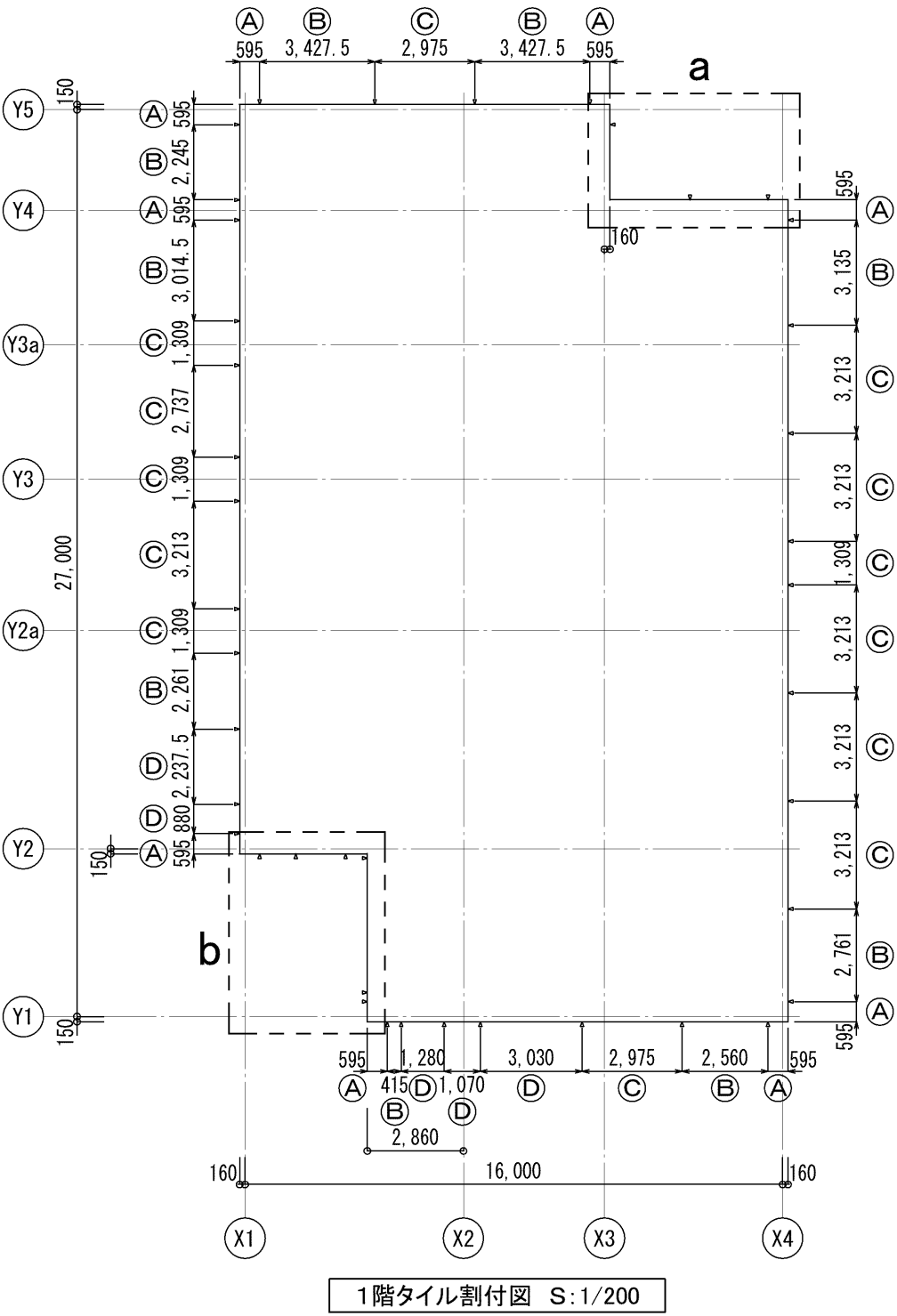


杭貫通部詳細図 S:1/10

訂正日付	<div><div>株式会社 浦野設計三重支社</div><div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div></div>	管理技術者		担当者		設計番号	工事名称		図面種別
		一級建築士			P2001M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		A	
		第333565号			日付	図面名称	縮尺	図面番号	
		江口 浩壽		2020. 10	雑詳細図 2	図示	26		
図面は約70%縮小しています（A2→A3）									

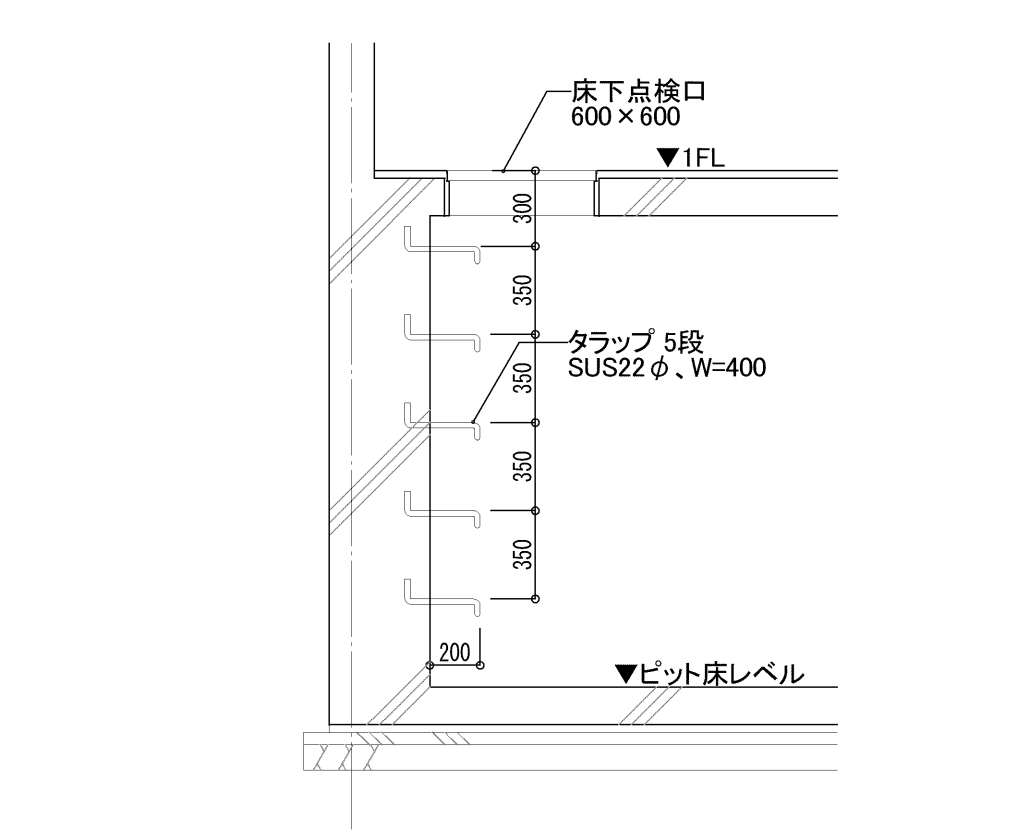
タイル割付け 詳細図

S:1/200、1/100、1/20、1/5



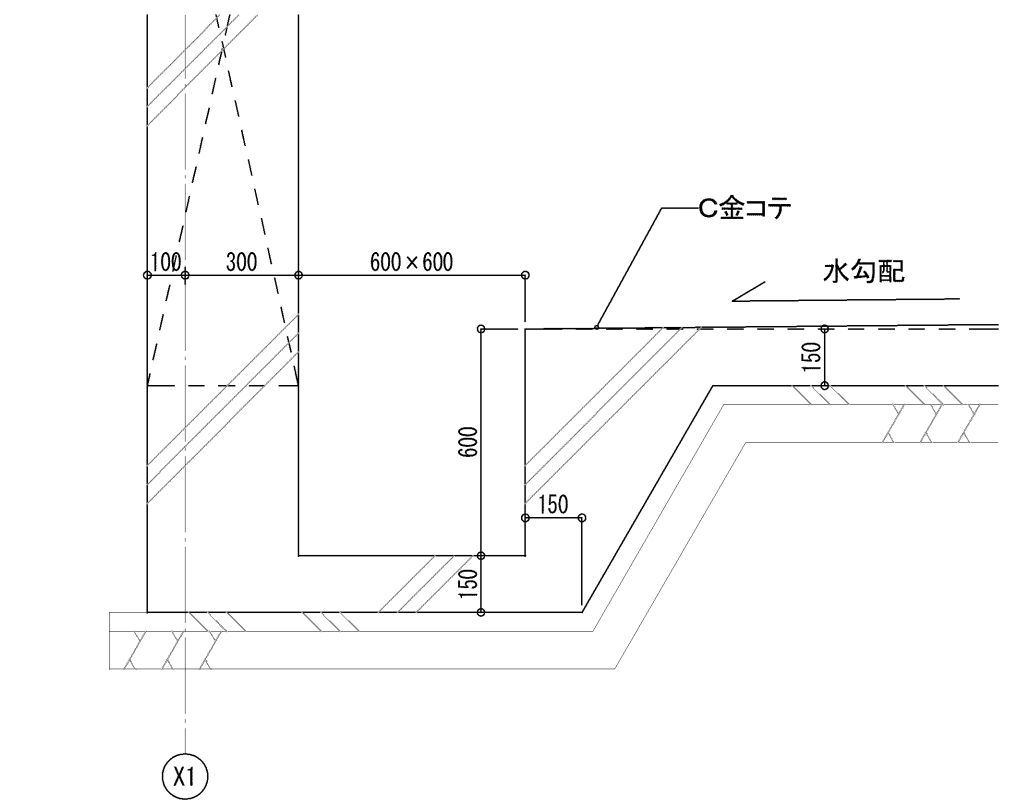
ピット用タラップ 詳細図

S:1/30



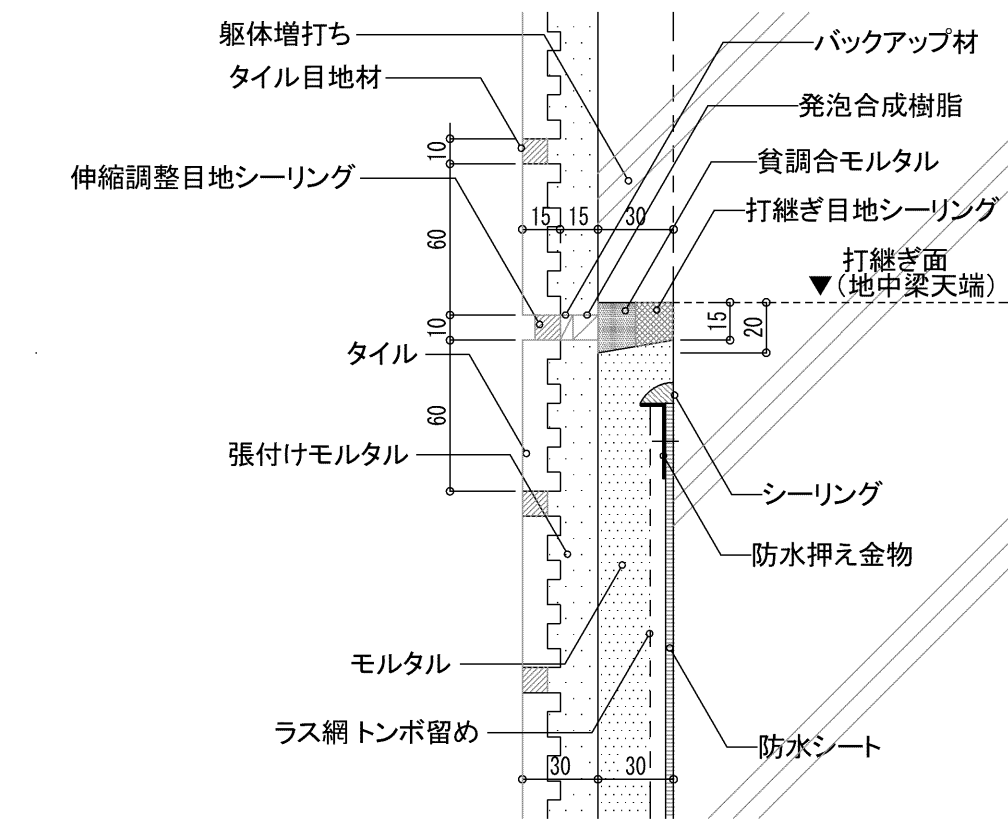
釜場 詳細図

S:1/20



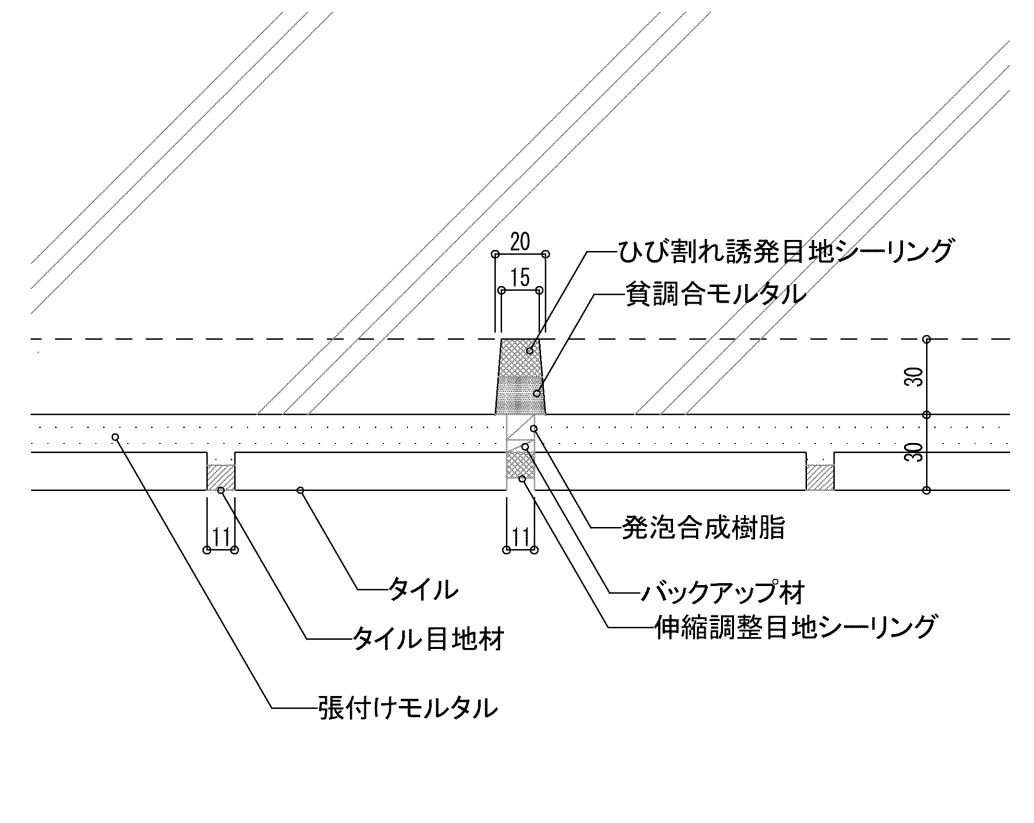
外壁面 外防水 詳細図

S:1/3



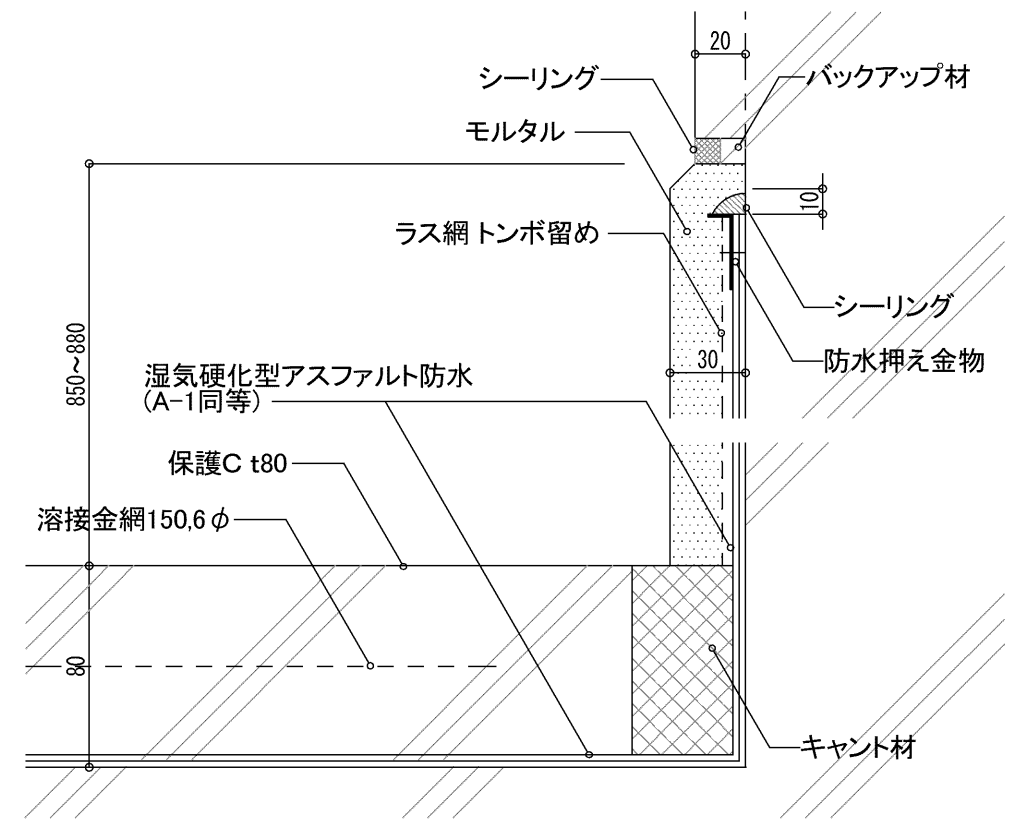
外壁面 外防水 詳細図

S:1/3



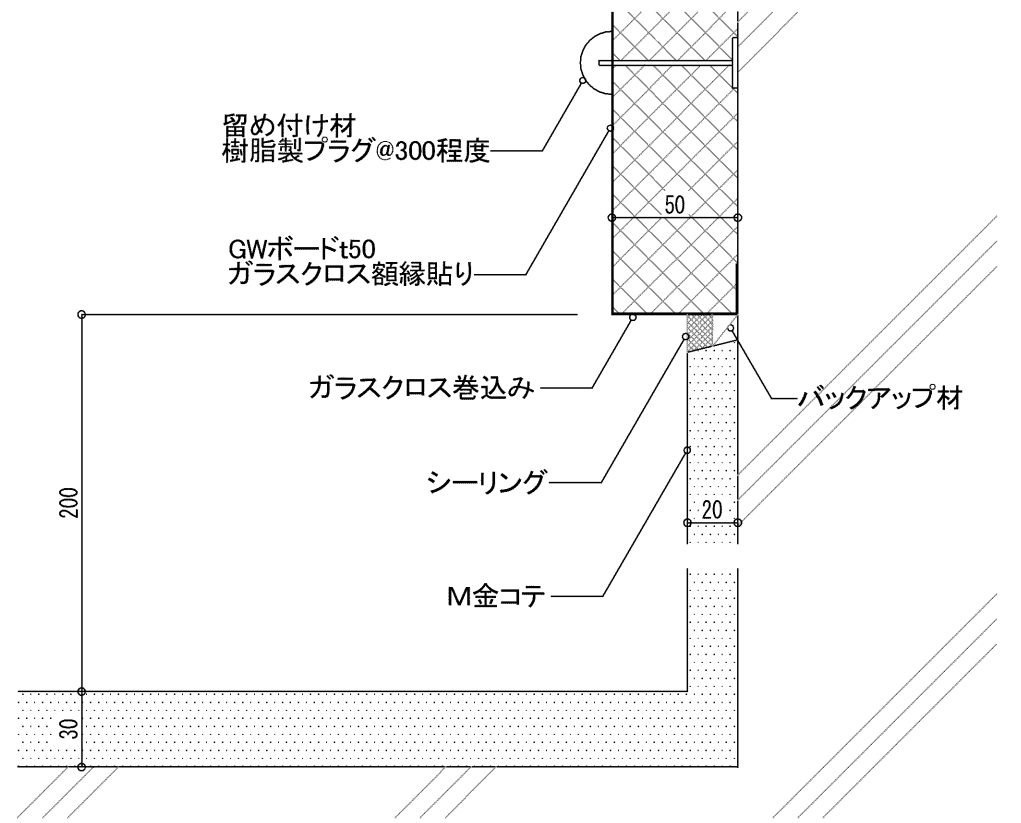
トラックヤード防水巾木 詳細図

S:1/3



空調機械室 M巾木 詳細図

S:1/3



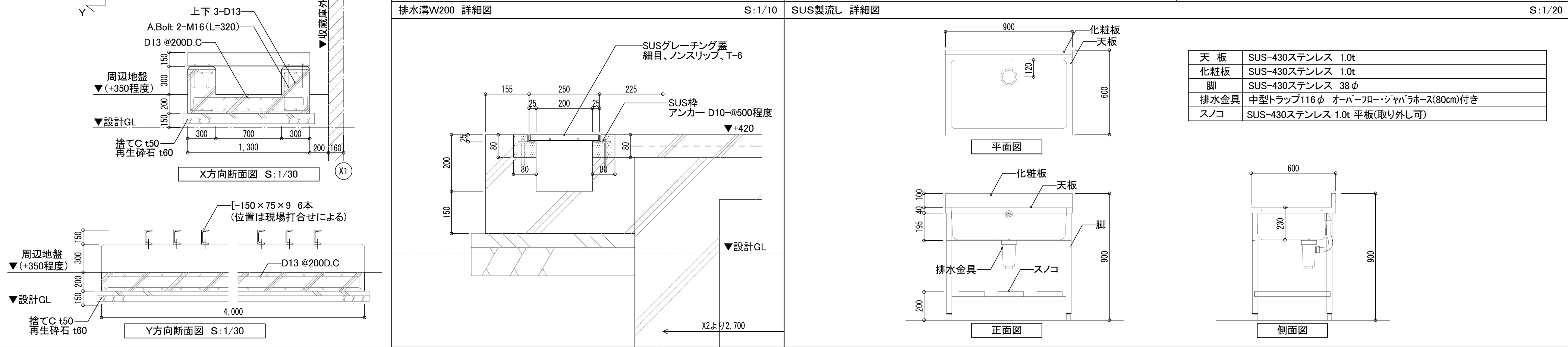
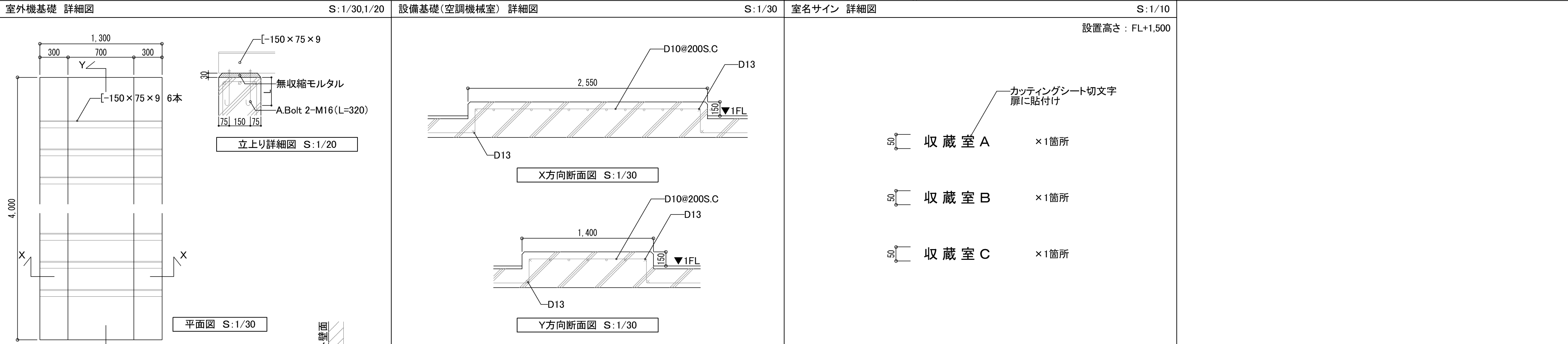
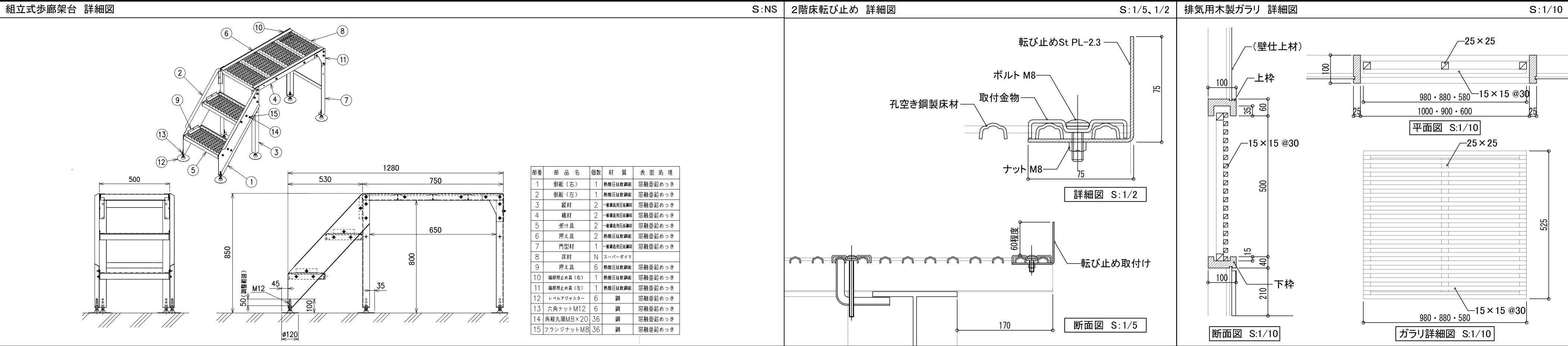
訂正日付
図面は約70%縮小しています (A2→A3)

株式会社 浦野設計 三重支社

URANO ARCHITECTS & ENGINEERS

一般建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号

管理技術者	担当者	設計番号	工事名称	図面種別
一級建築士		P2001M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）	A
第333565号		日付	図面名称	図面番号
江口 浩壽		2020.10	雑詳細図 3	27
			縮尺	図示



軒先断面図

S:1/

ケラバ断面図

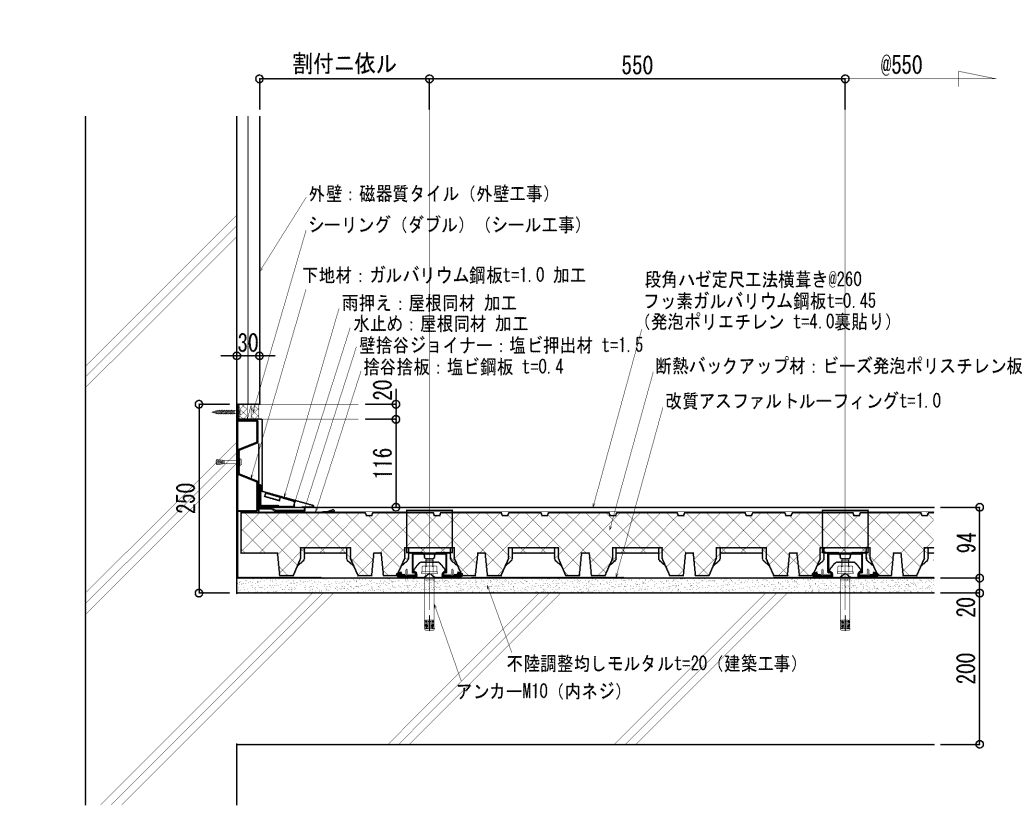
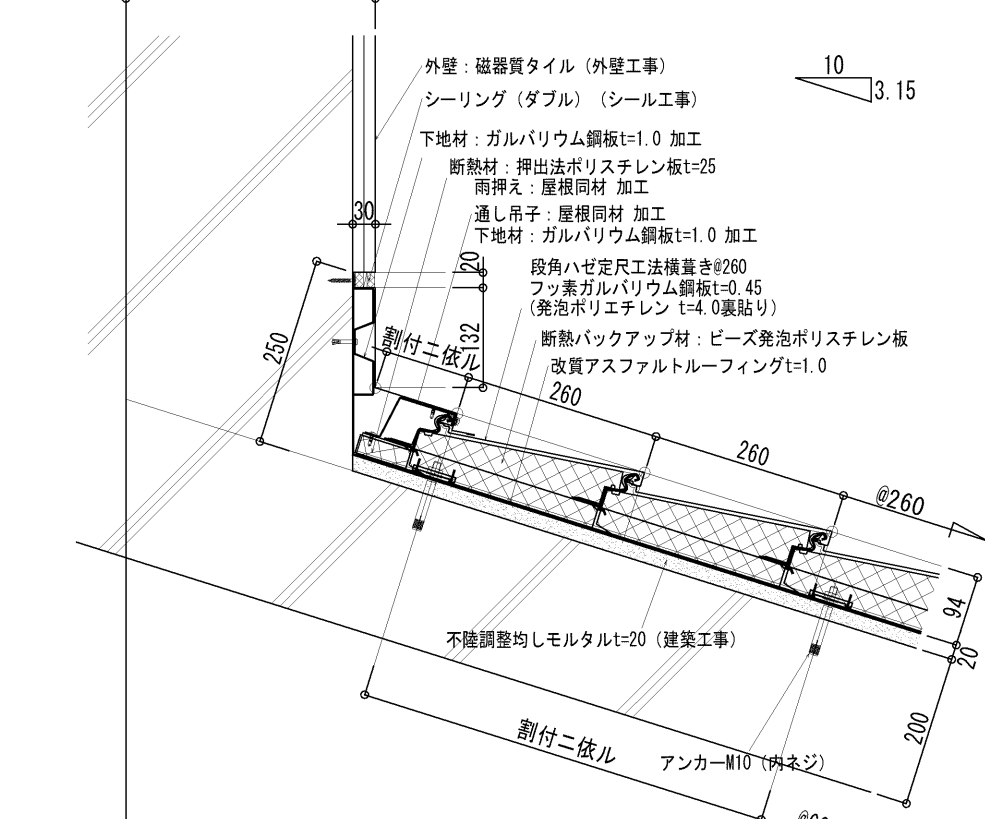
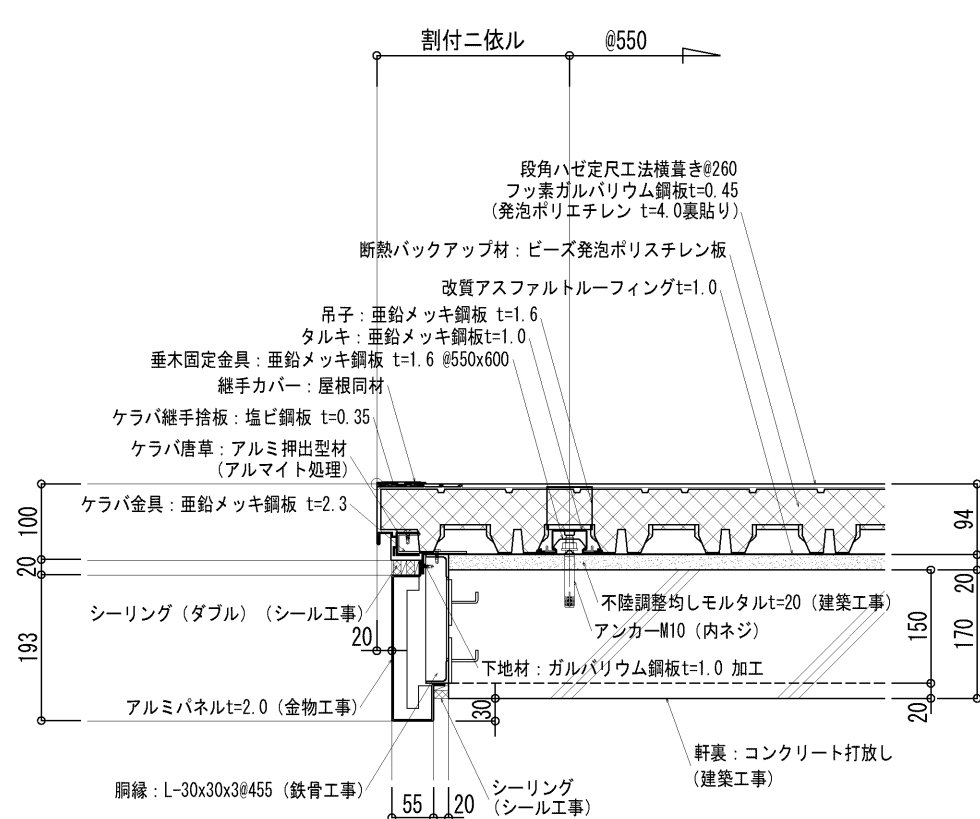
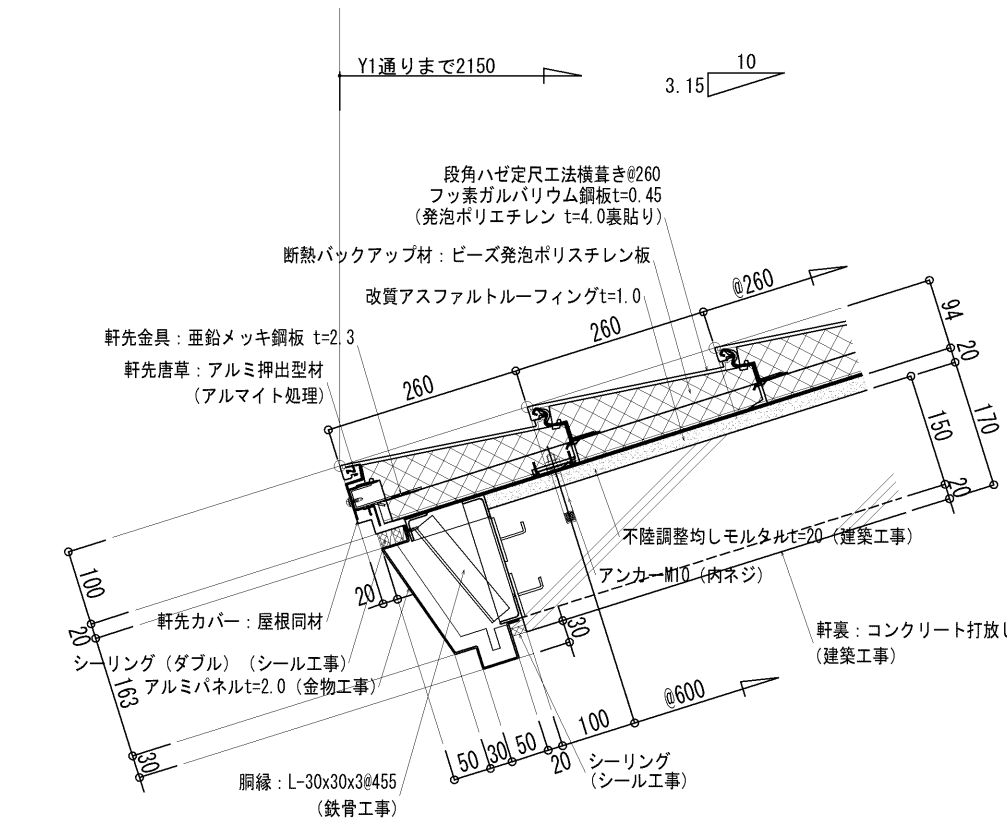
S:1/1

壁立上り断面図

S: 1/10

壁捨て谷断面図

S:1/10

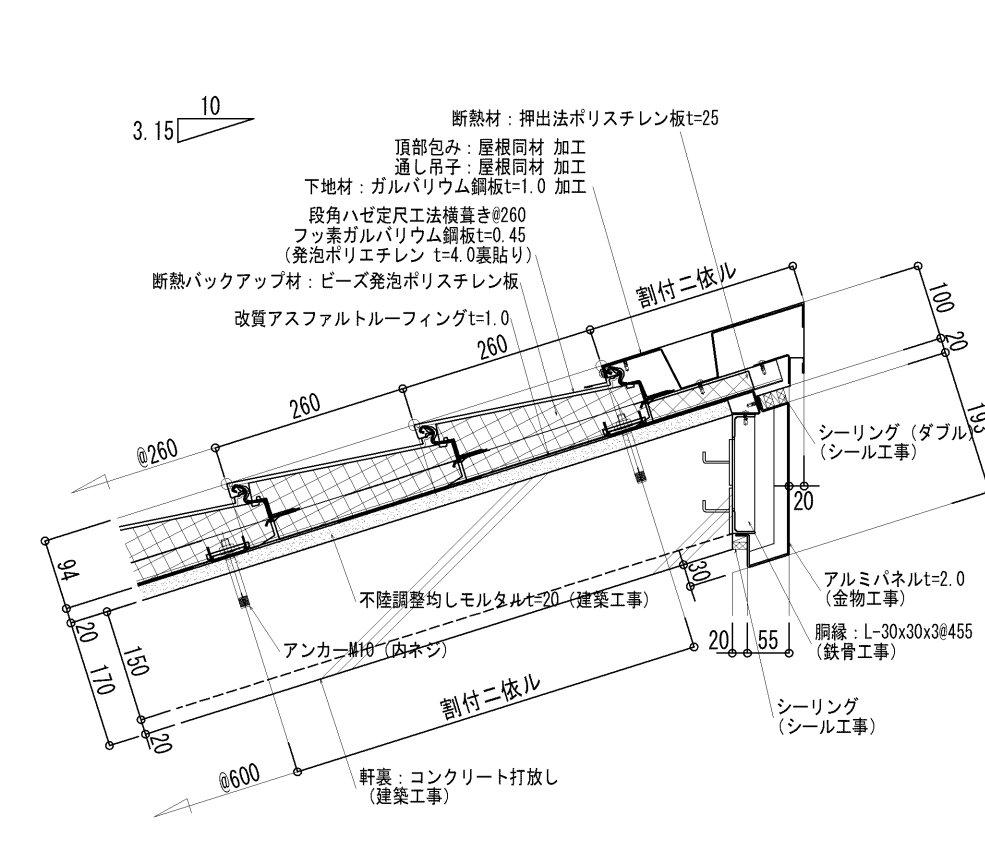
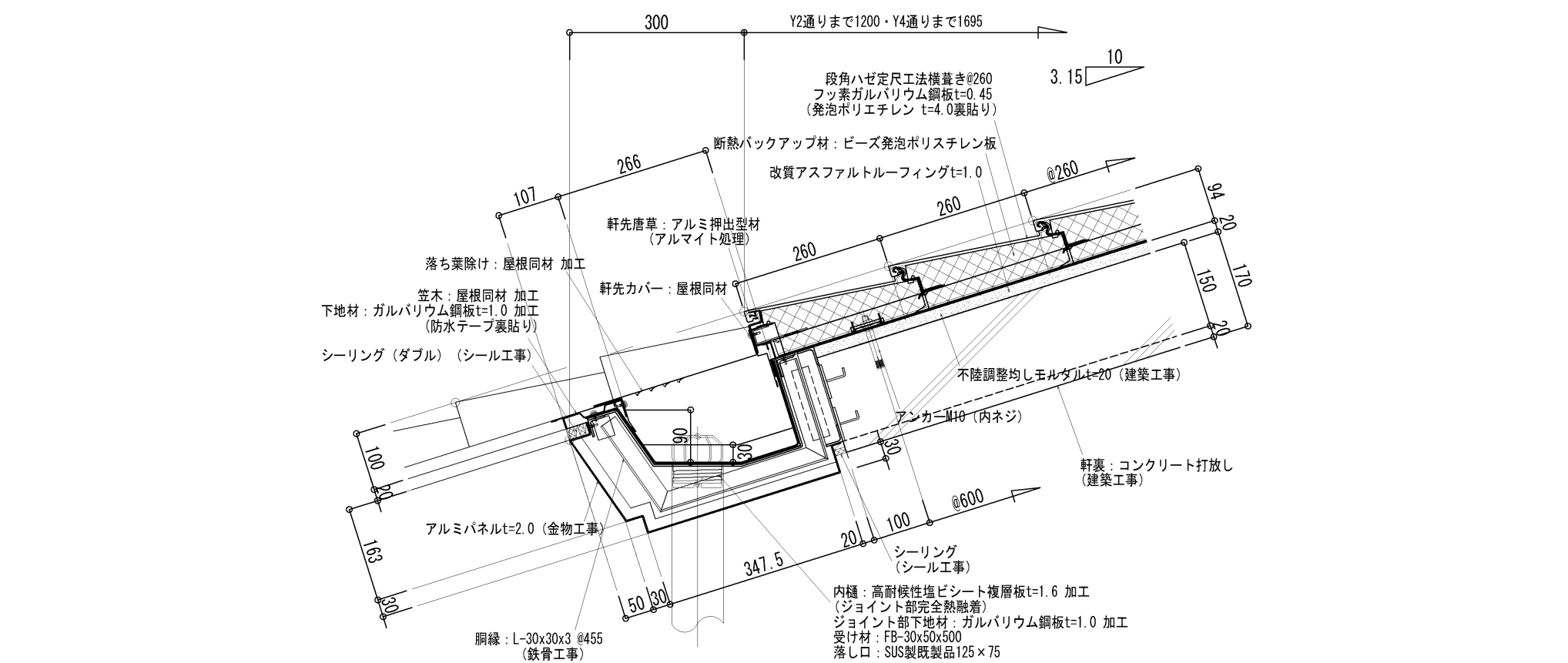


軒樋断面図

S:1/1

頂部断面図

S: 1/10

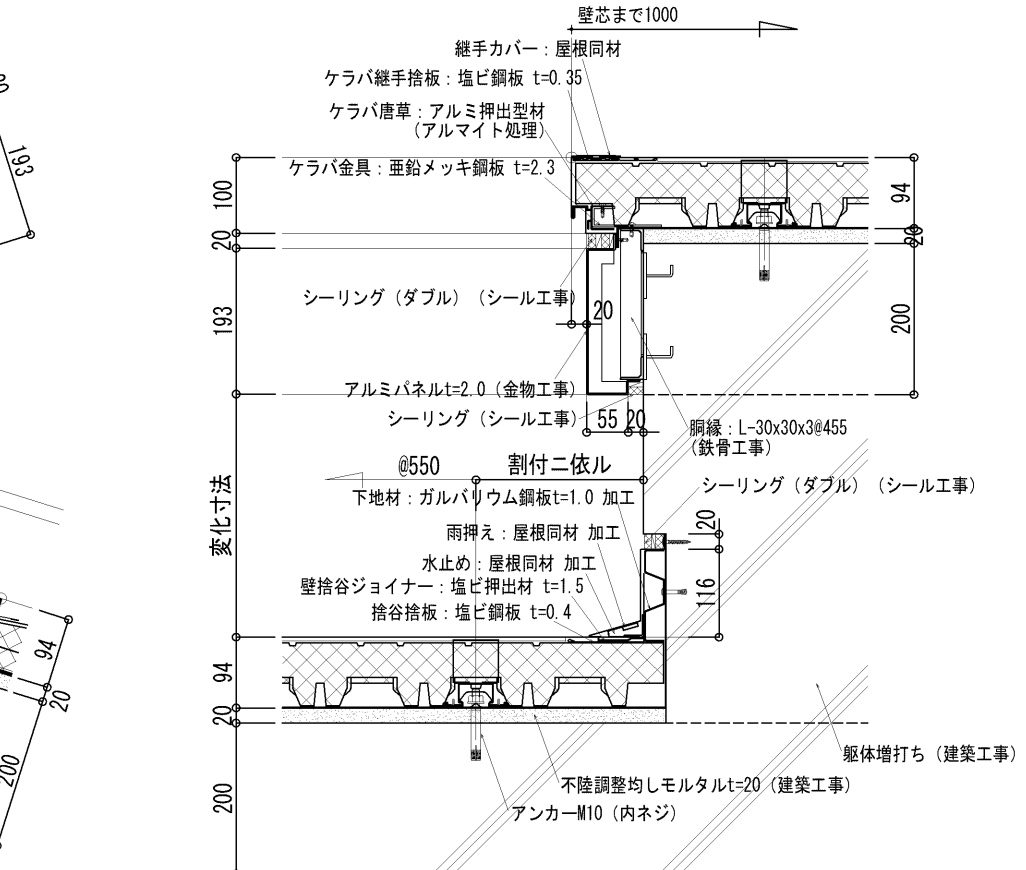
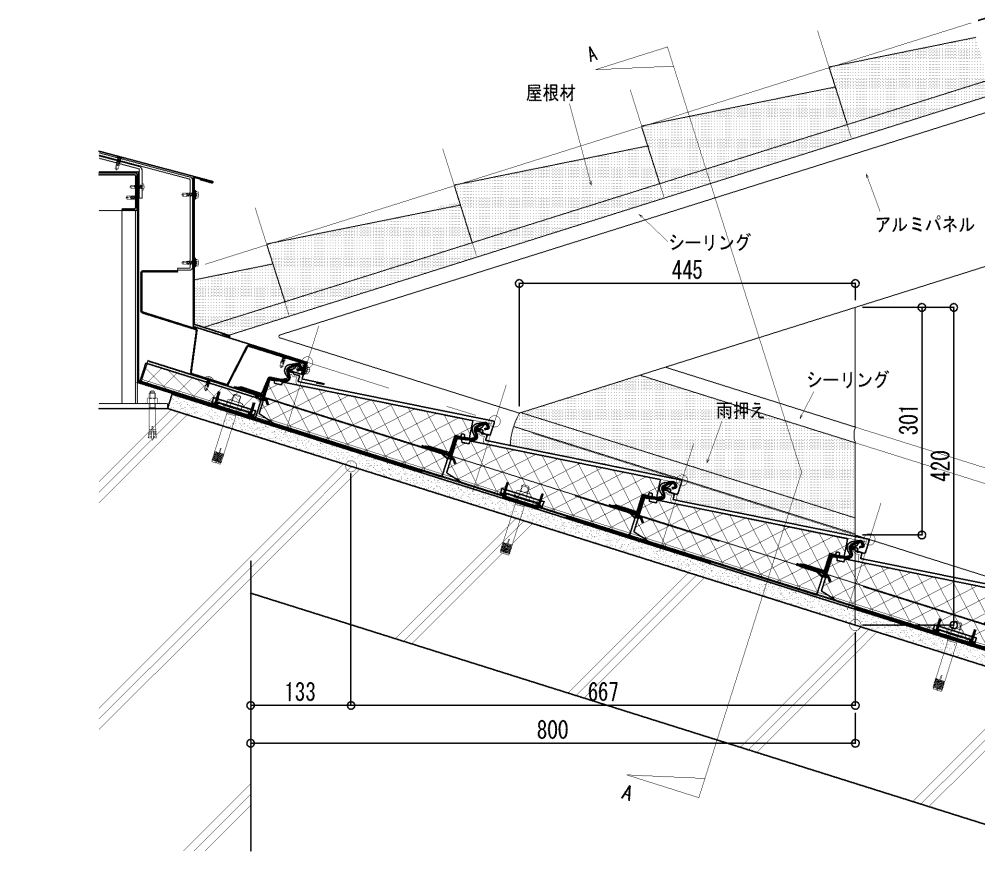
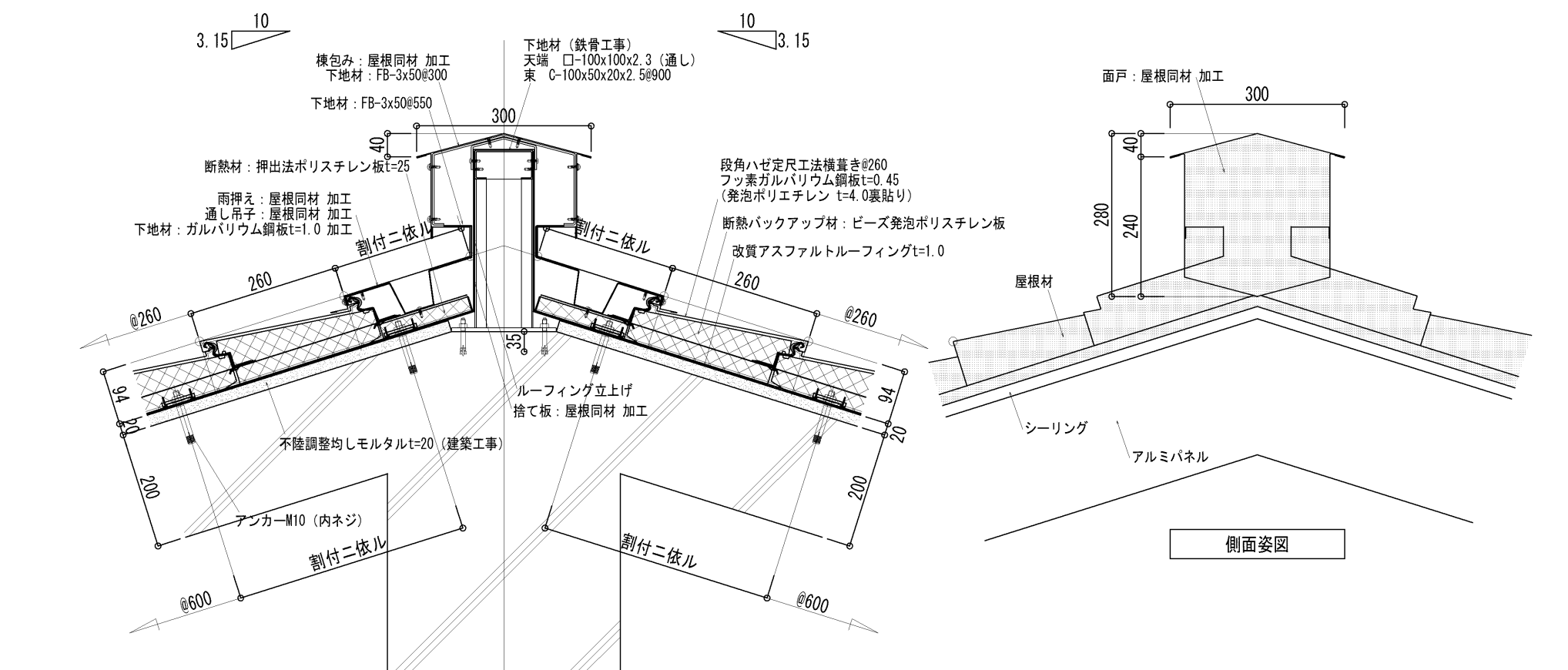


棟断面図

S:1/1

ケラバー壁捨て谷取合い断面図

S:1/10



訂正日付 _____

図面は約70%縮小しています (A2→A3)

 株式会社 浦野設計三重支社
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号

管理
一級建築士
第333565号
江口 浩壽

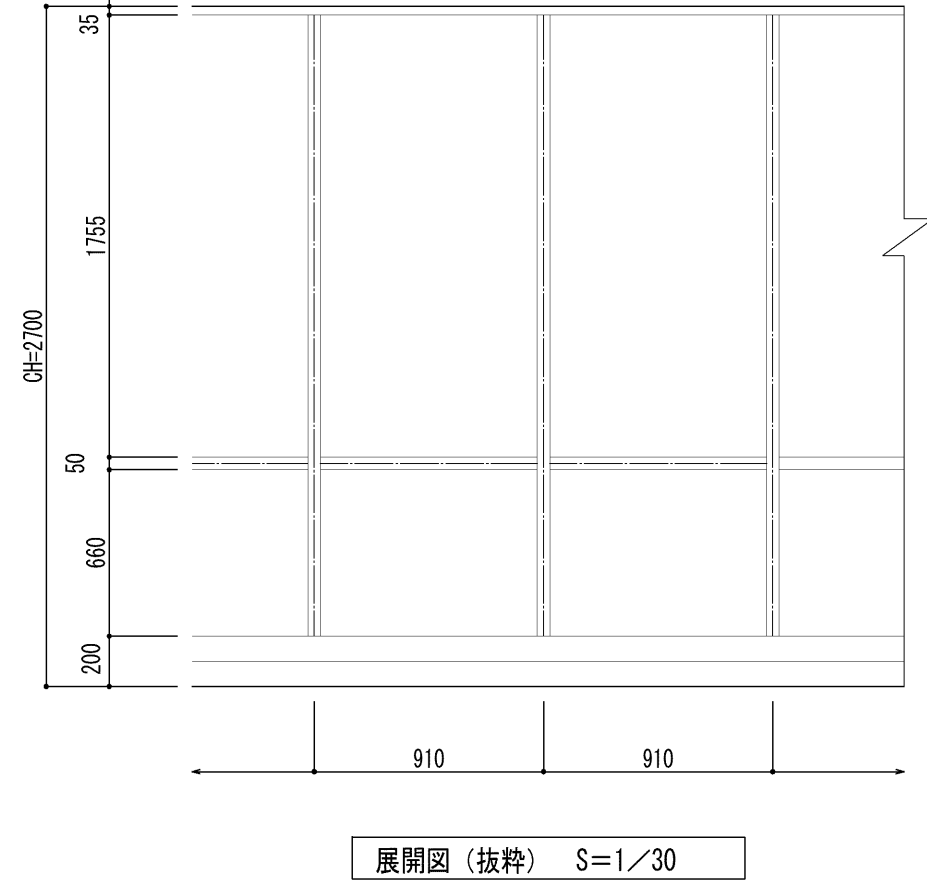
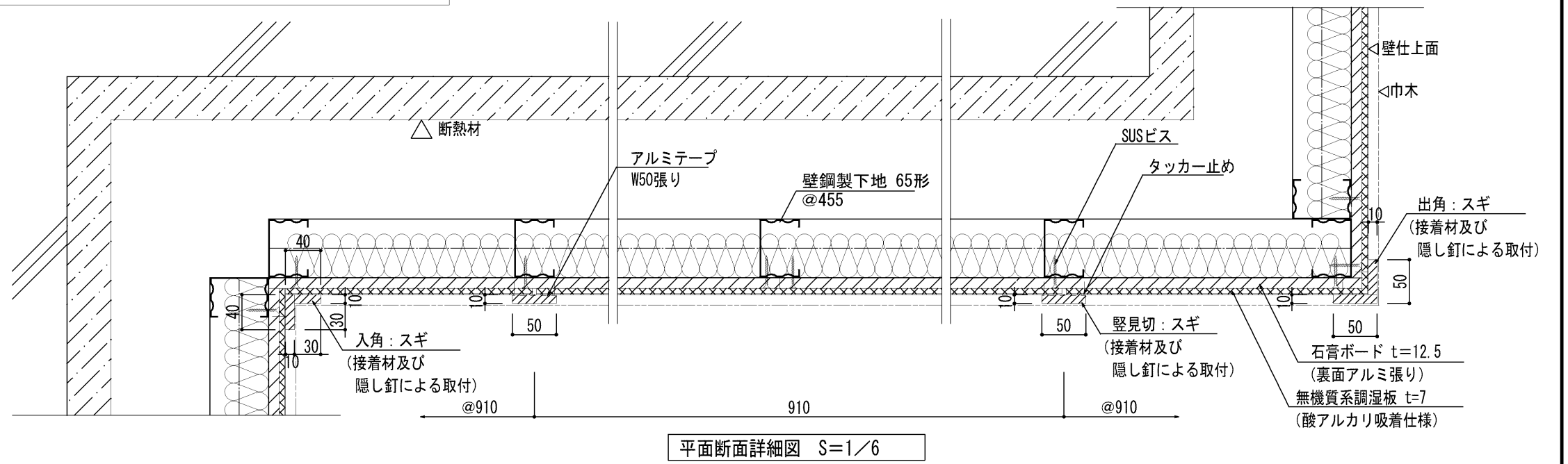
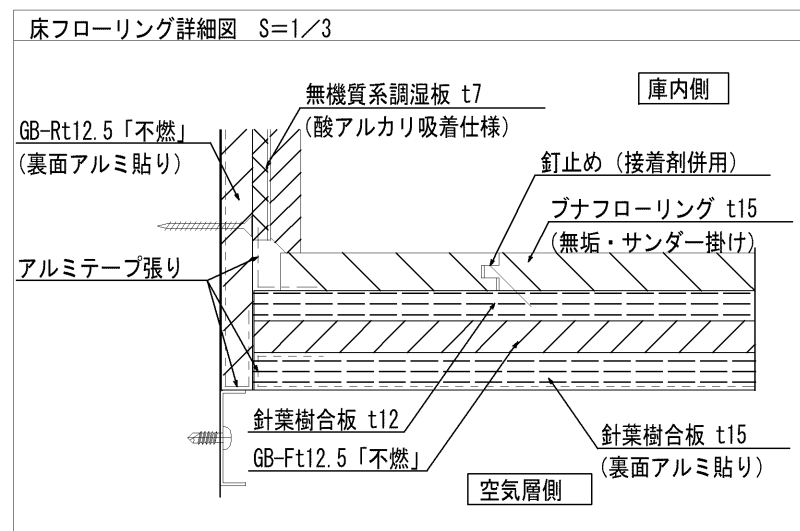
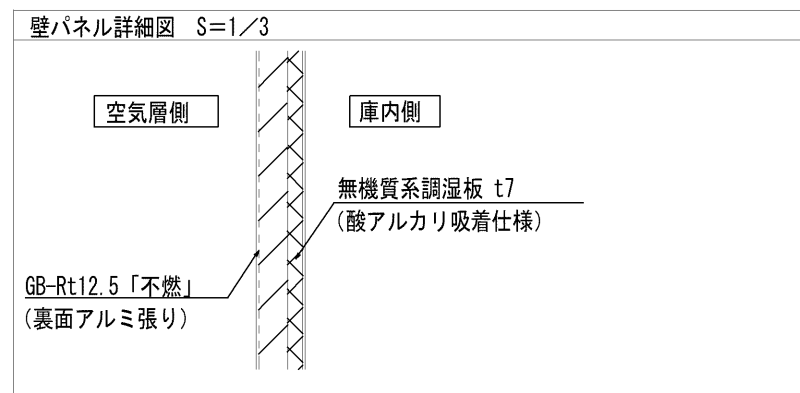
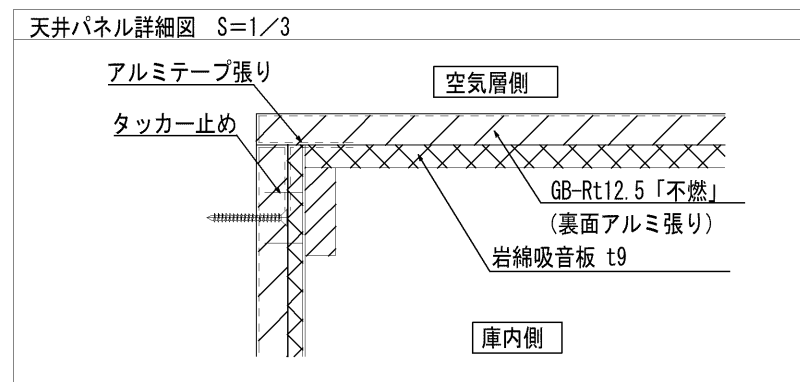
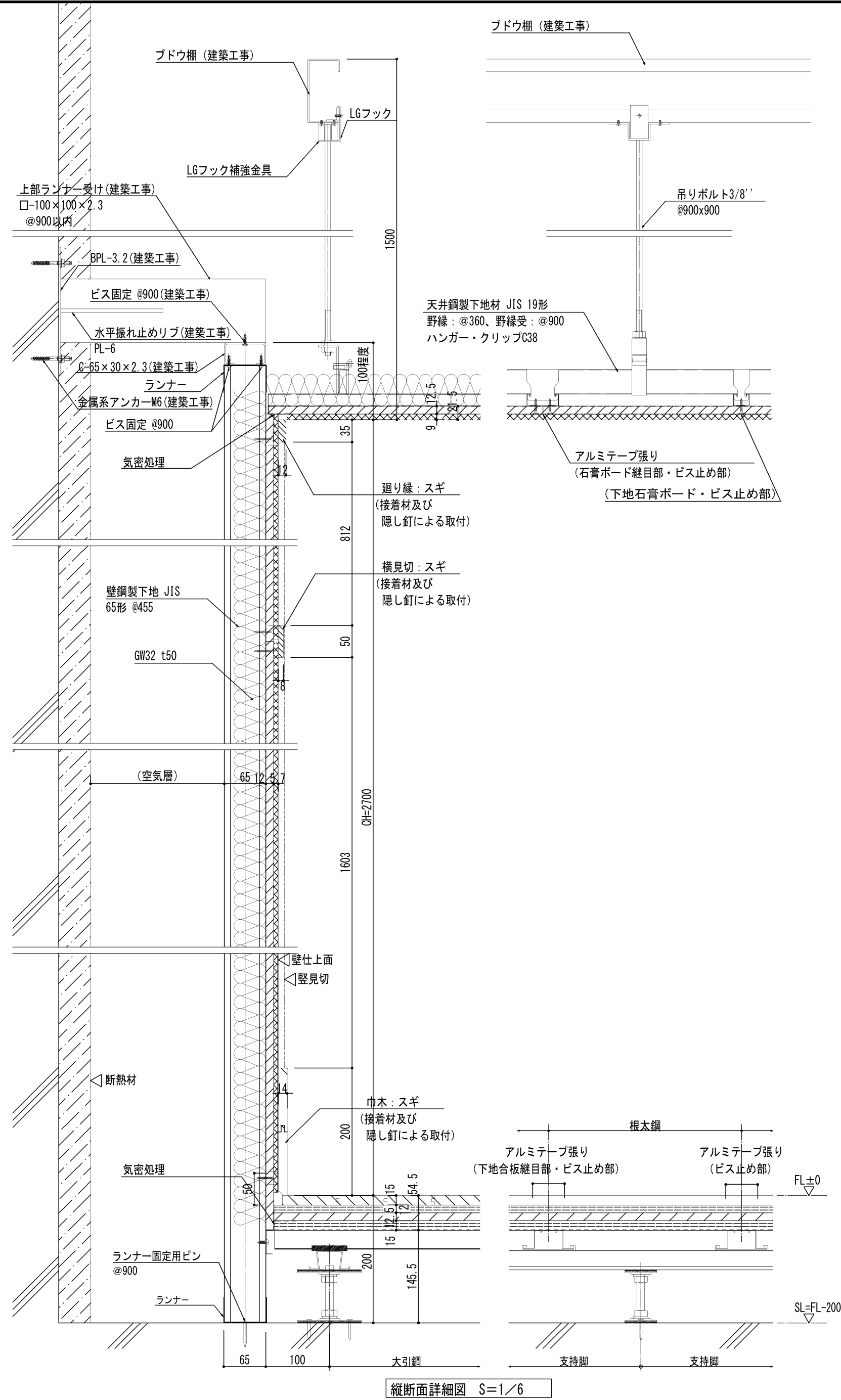
担当者

設計番号	P2001M
日付	2020.10

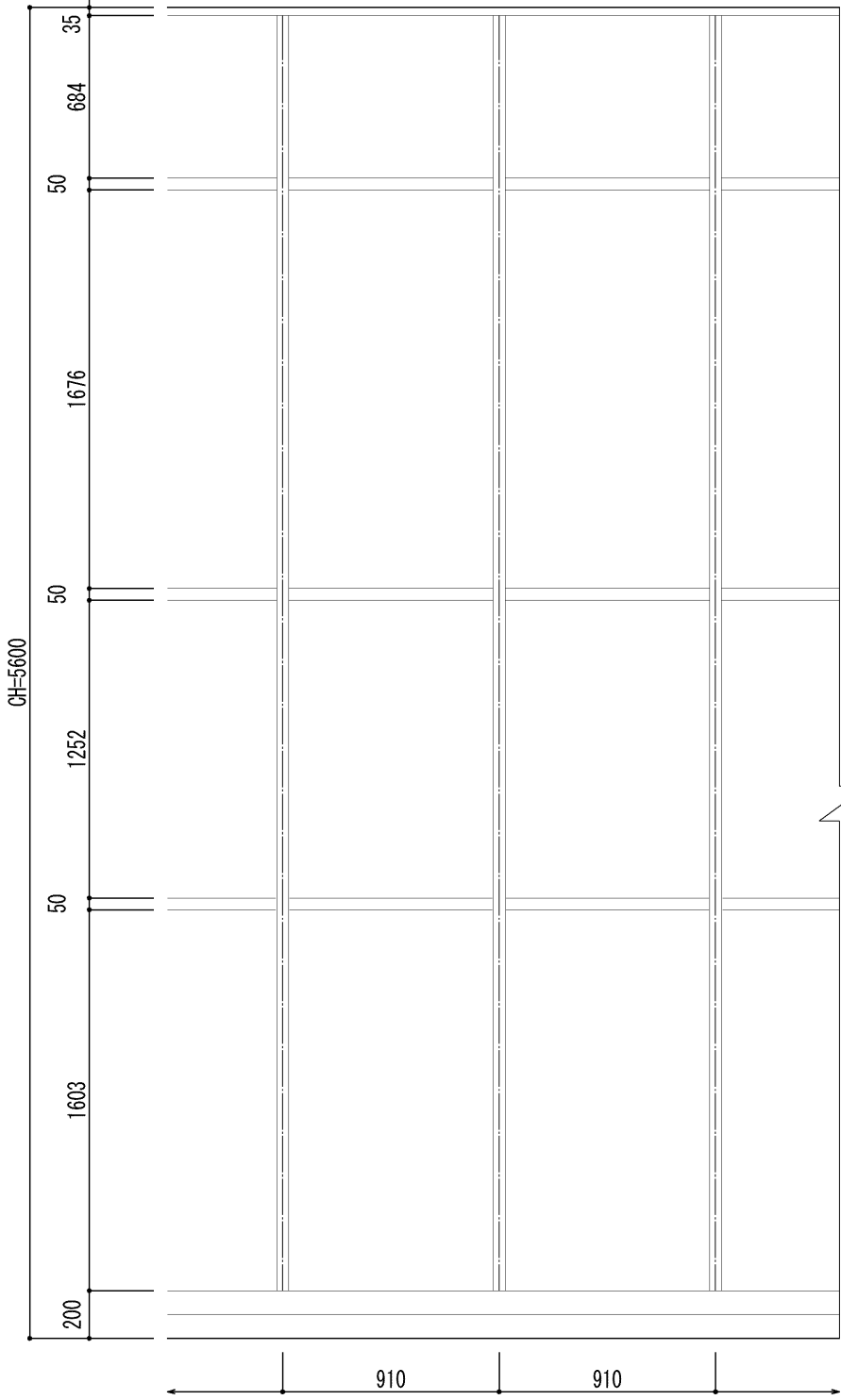
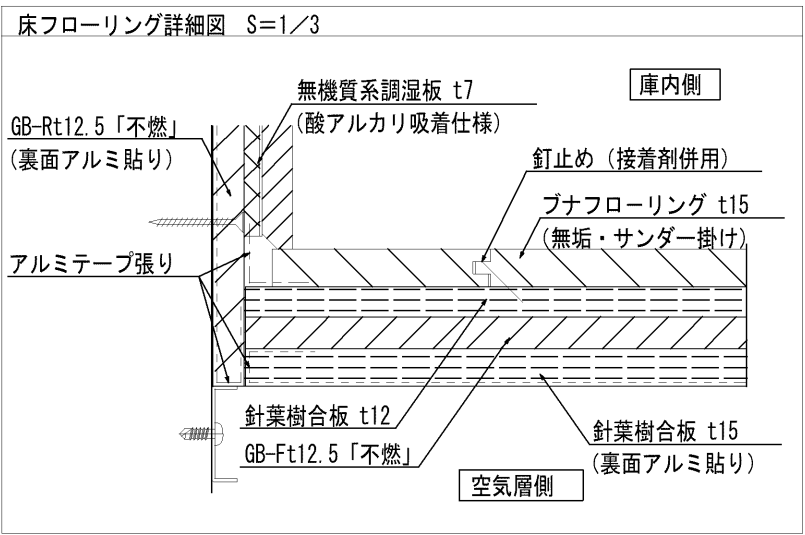
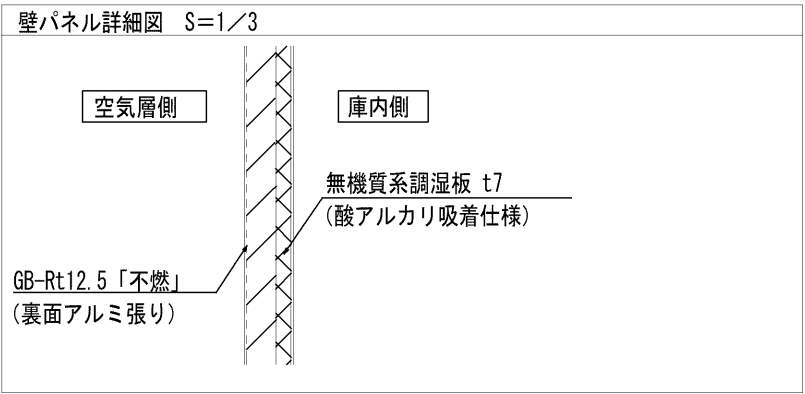
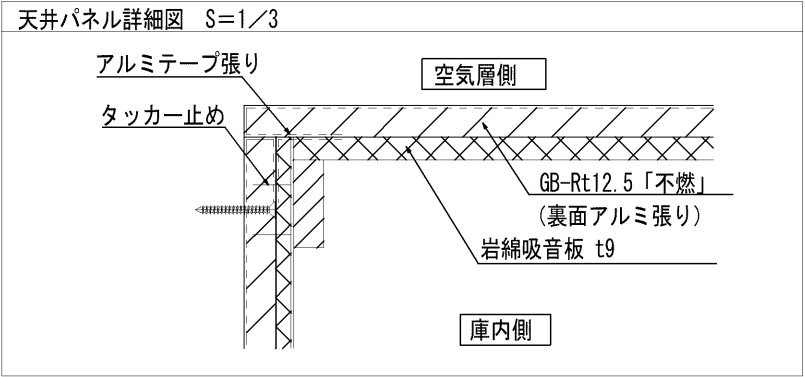
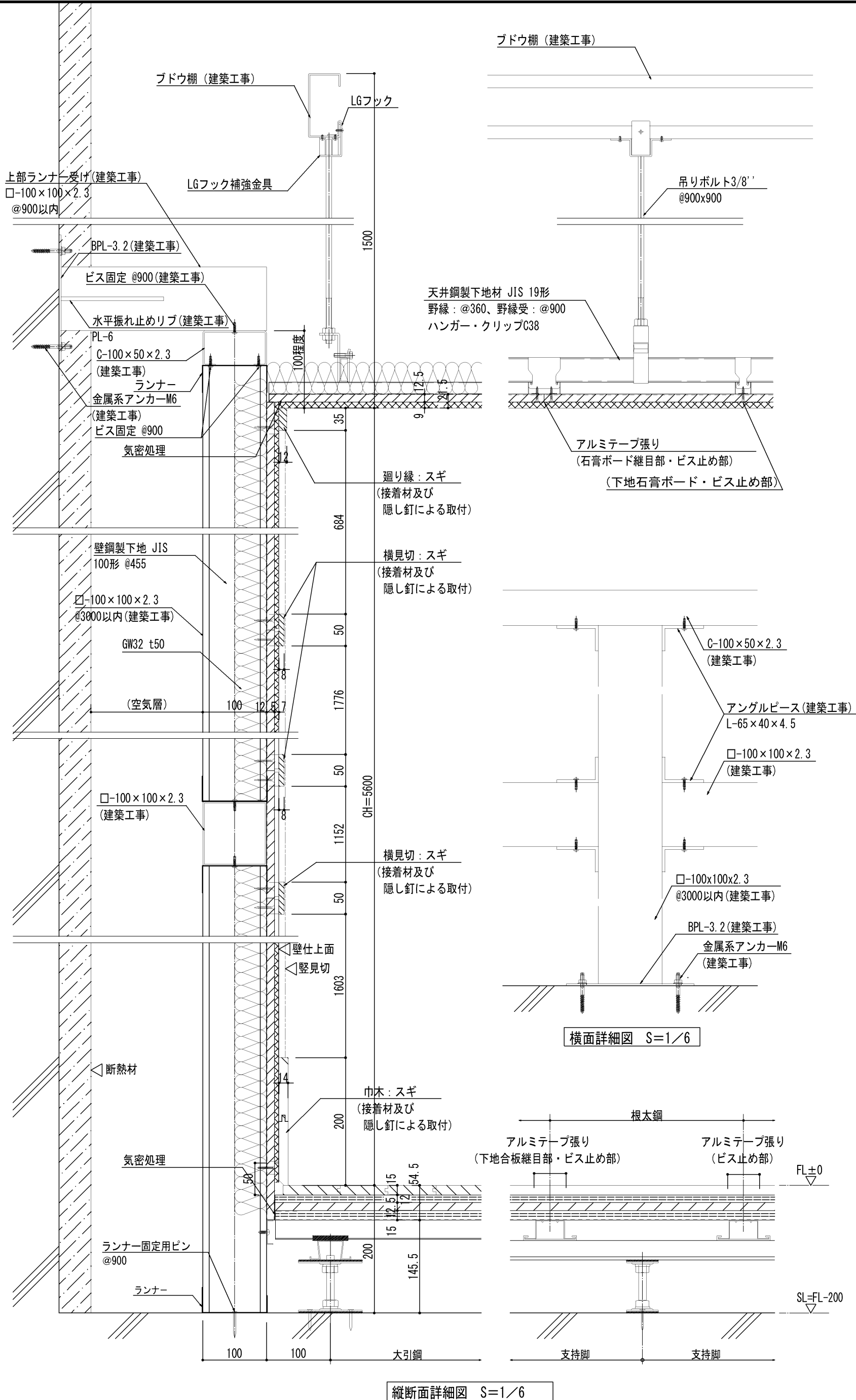
工事名称	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）
図面名称	屋根詳細図

図面種別
A

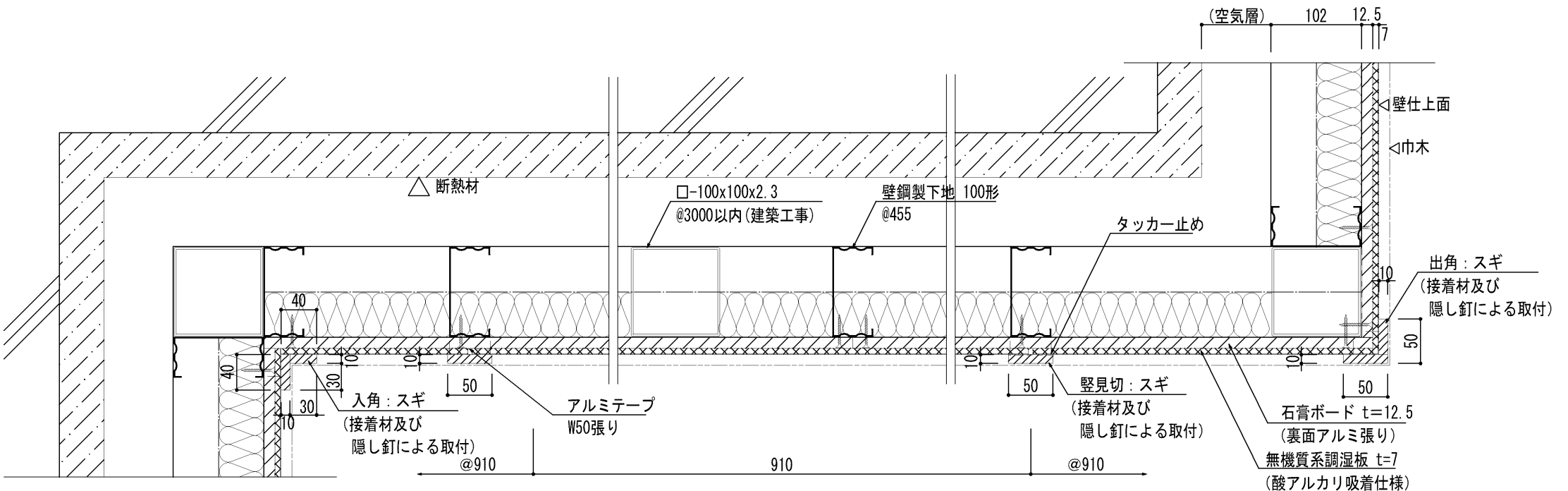
図面番号
29




訂正日付	 株式会社 浦野設計三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号	管理技術者	担当者	設計番号	工事名称		図面種別
		一級建築士		P2001M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		A
		第333565号		日付	図面名称	縮尺	図面番号
図面は約70%縮小しています（A2→A3）		江口 浩壽		2020. 10	調湿内装詳細図 1	図示	30



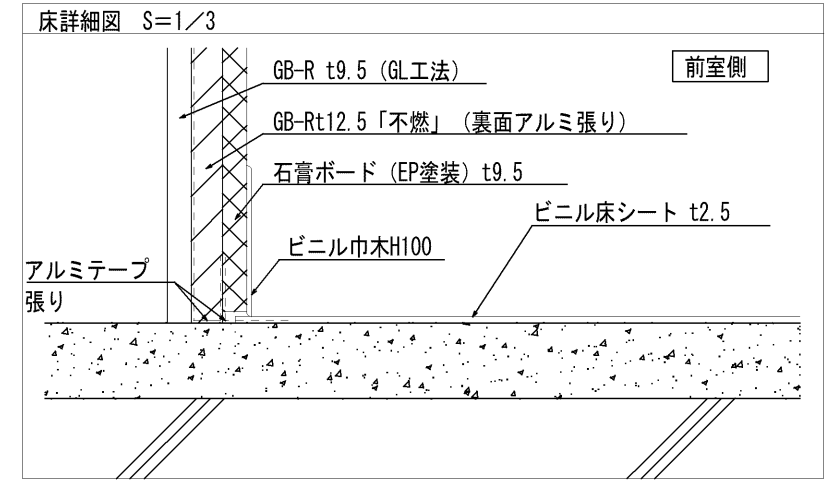
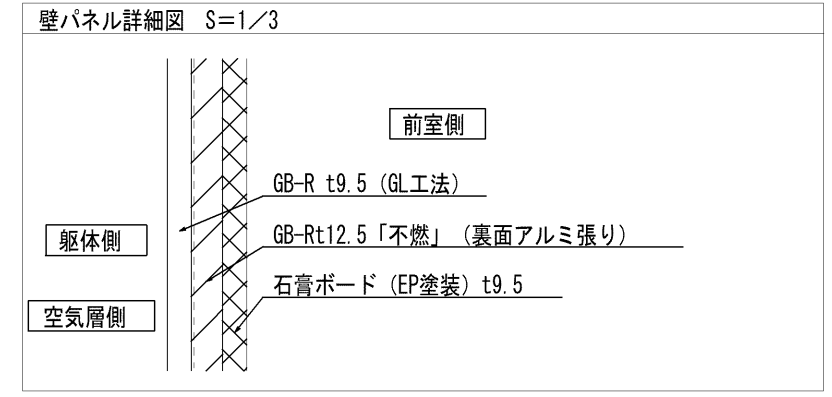
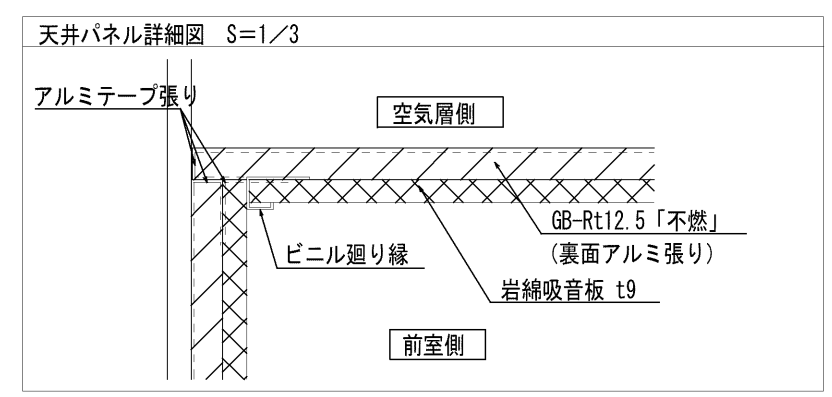
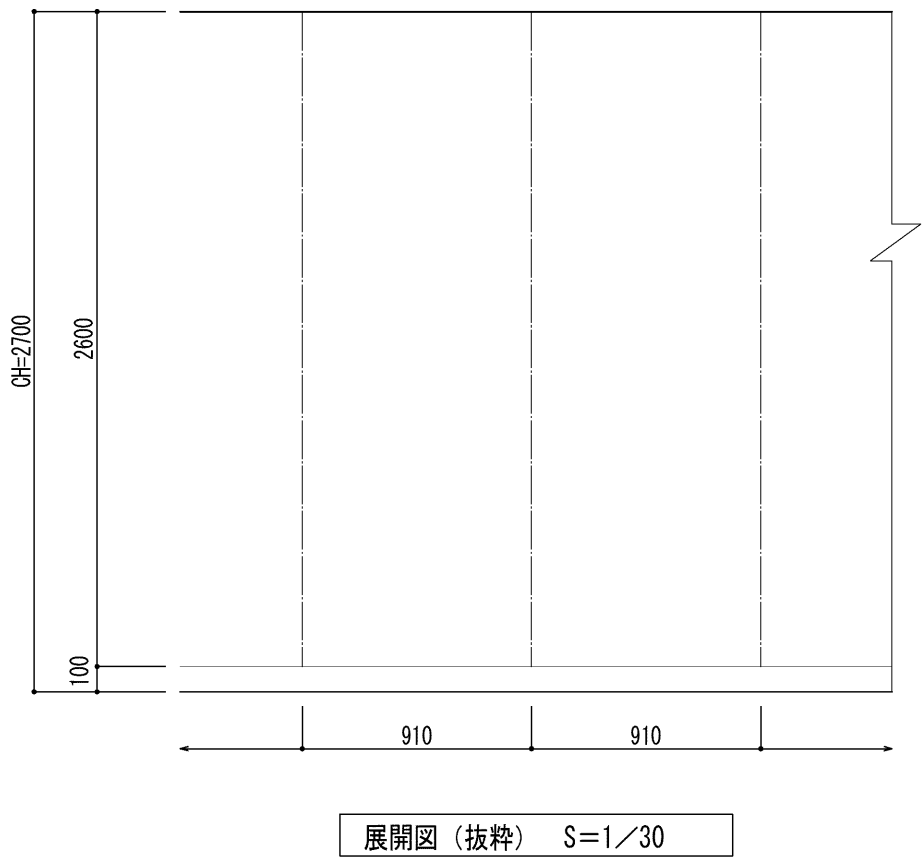
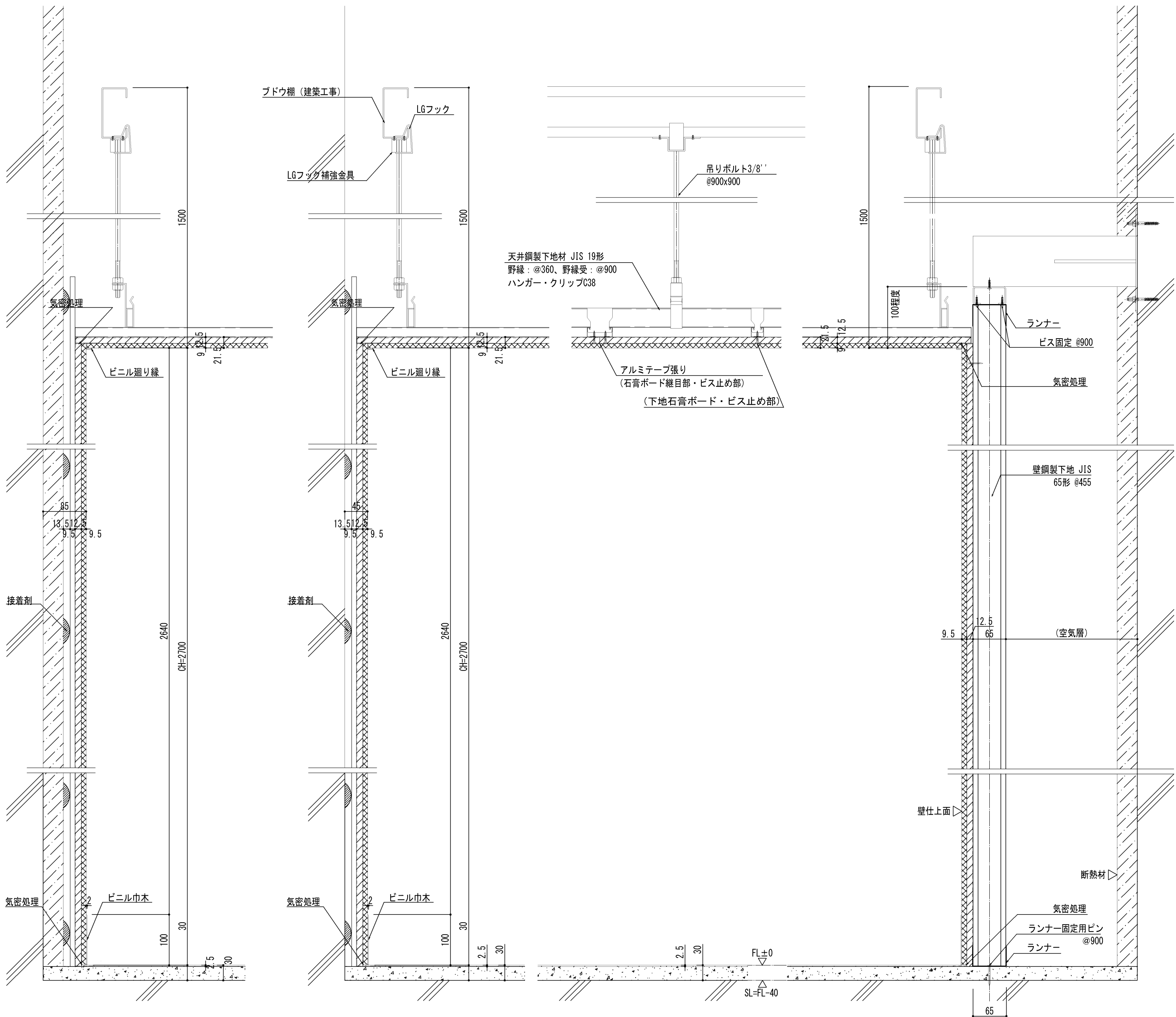
展開図（抜粋） S=1/30



平面断面詳細図 S=1/6

訂正日付	<div>株式会社 浦野設計三重支社</div> <div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div>	管理技術者	担当者	設計番号	工事名称	図面種別	
		一級建築士		P2001M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）	A	
		第333565号		日付	図面名称	縮尺	図面番号
		江口 浩壽		2020. 10	調湿内装詳細図 2	図示	31

図面は約70%縮小しています（A2→A3）

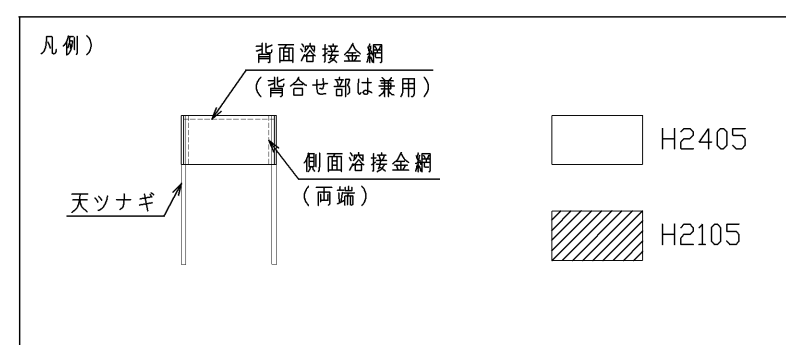
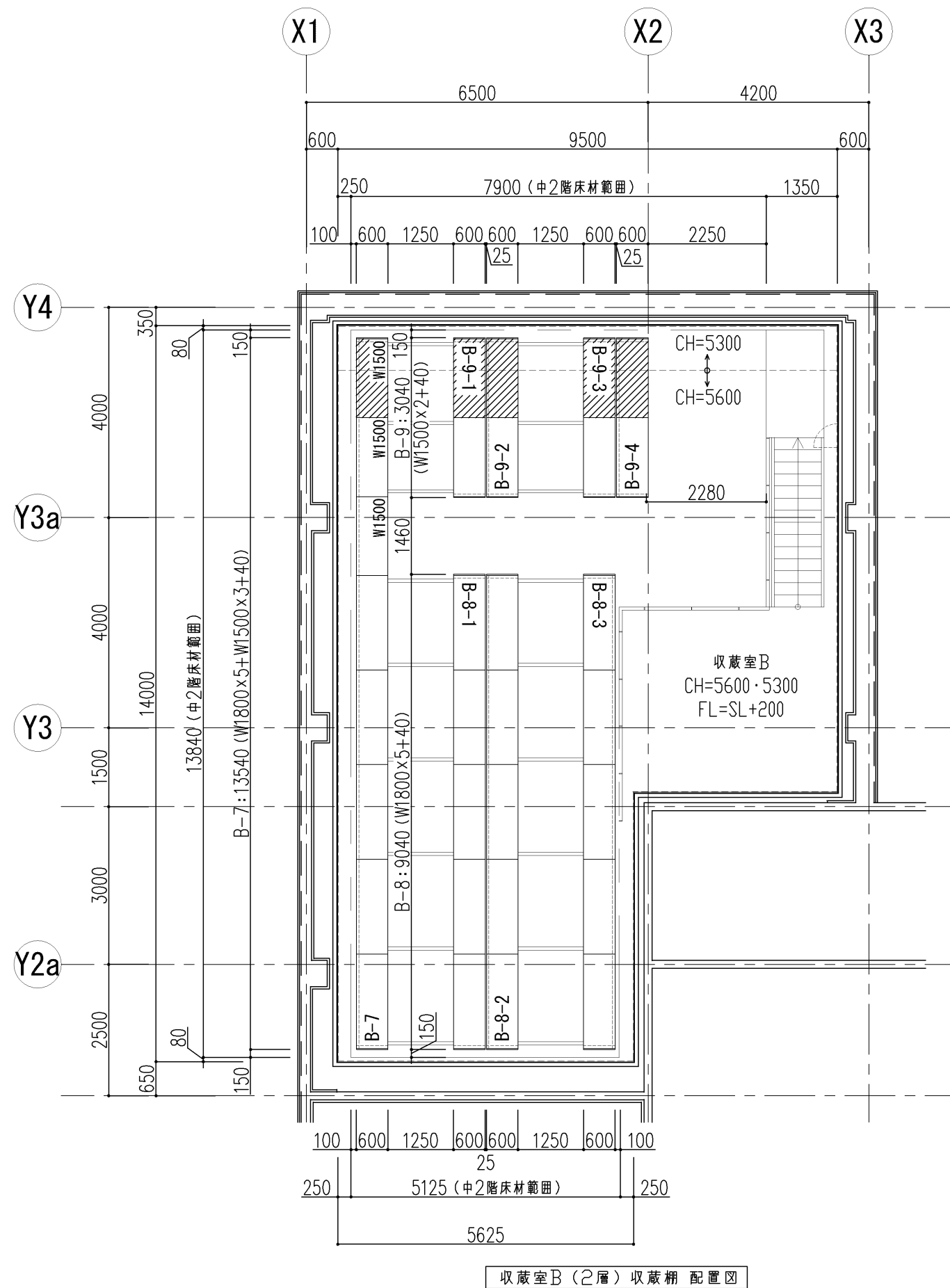
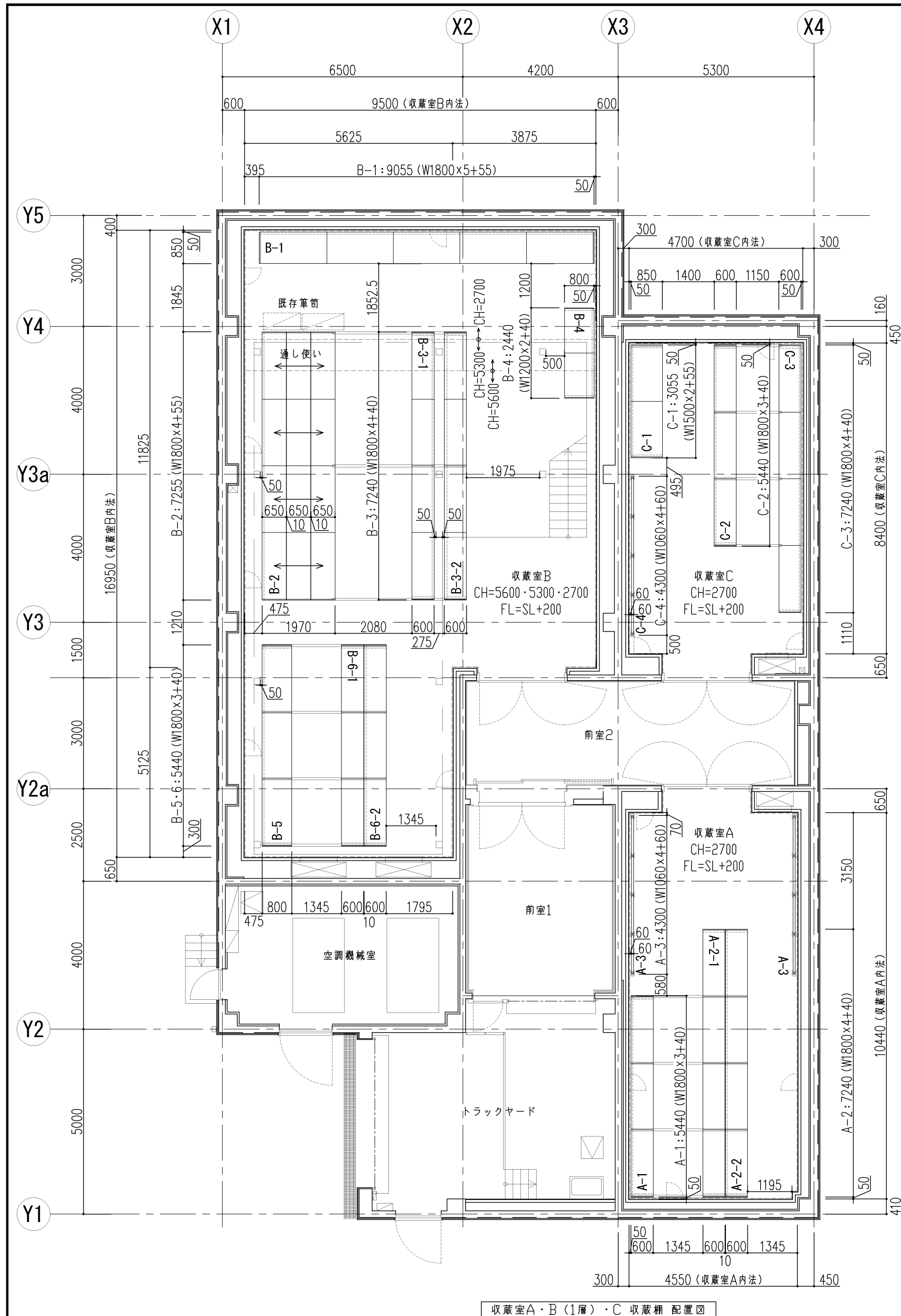


縦断面詳細図 S=1/6
GL内装壁 躯体側断熱有り

縦断面詳細図 S=1/6
GL内装壁 躯体側断熱無し

縦断面詳細図 S=1/6
LGS内装壁 躯体側断熱有り

訂正日付	<div><div></div><div>株式会社 浦野設計三重支社</div><div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div></div>	管理技術者		担当者		設計番号	工事名称		図面種別
		一級建築士				P2001M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		A
		第333565号				日付	図面名称	縮尺	図面番号
		江口 浩壽				2020. 10	調湿内装詳細図 3	図示	3 2
図面は約70%縮小しています（A2→A3）									



※壁点検口位置は暫定
 棚の後方にくる場合は、背面溶接金網を切り欠いて対応予定
 (点検口開閉時の扉が棚の支柱に干渉しない位置にすることが必要)

収蔵室A 収蔵冊 数量表				
棚記号	型 式 ・ 寸 法	台 数	延達数	延段数
A-1	中軽量棚 準式3連 有効5段(W1800) BLL 683-606SDR W5440×D600×H2405	1	3	15
A-2	中軽量棚 準式4連 有効5段(W1800) BLL 684-606SDR W7240×D600×H2405	2	8	40
A-3	メッシュラック 4連(W1060) MF MP 108 (T+M×3) -75 W4300×D60×H2400	2	8	—

継記号	型 式 ・ 寸 法	台 数	延 連 数	延 段 数
B-1	中継管 準式5連 有効6・14・2式 (W1800) BLH 685-85 (7+15+15+3) SDR W9055×D850×H2405	1	5	50
B-2	中継管 準式4連 有効2段 (W1800) BLH 684-653 SDR W7255×D650×H2405	3 (1)	12 (4)	24 (8)
B-3	中継管 準式4連 有効5段 (W1800) BLL 684-606 SDR W7240×D600×H2405	2	8	40
B-4	中継管 準式2連 有効5段 (W1200) BLM 482-aa6 SDR W2440×D800×H2405	1	2	10
B-5	中継管 準式3連 有効5段 (W1800) BLM 683-aa6 SDR W5440×D800×H2405	1	3	15
B-6	中継管 準式3連 有効5段 (W1800) BLL 683-606 SDR W5440×D600×H2405	2	6	30

※ 型式中の記号：aa=D800 (継外寸)

收 藏 室 B (二層) 收 藏 類 數 量 表				
類 記 号	型 式 · 寸 法	台 数	延 速 数	延 段 数
B-7	中 輕 量 箱 單 式 8 連 有 効 5・4 段 (W1900) BLL (685+582+571) -60 (6+6+5) SDR W1354×D600×H2405・2105	1	8	39
B-8	中 輕 量 箱 單 式 5 連 有 効 5 段 (W1800) BLL 685-606SDR W9040×D600×H2405	3	15	75
B-9	中 輕 量 箱 單 式 2 連 有 効 4・5 段 (W1500) BLL (571+581) -60 (5+6) SDR W3040×D600×H2105・2405	4	8	36

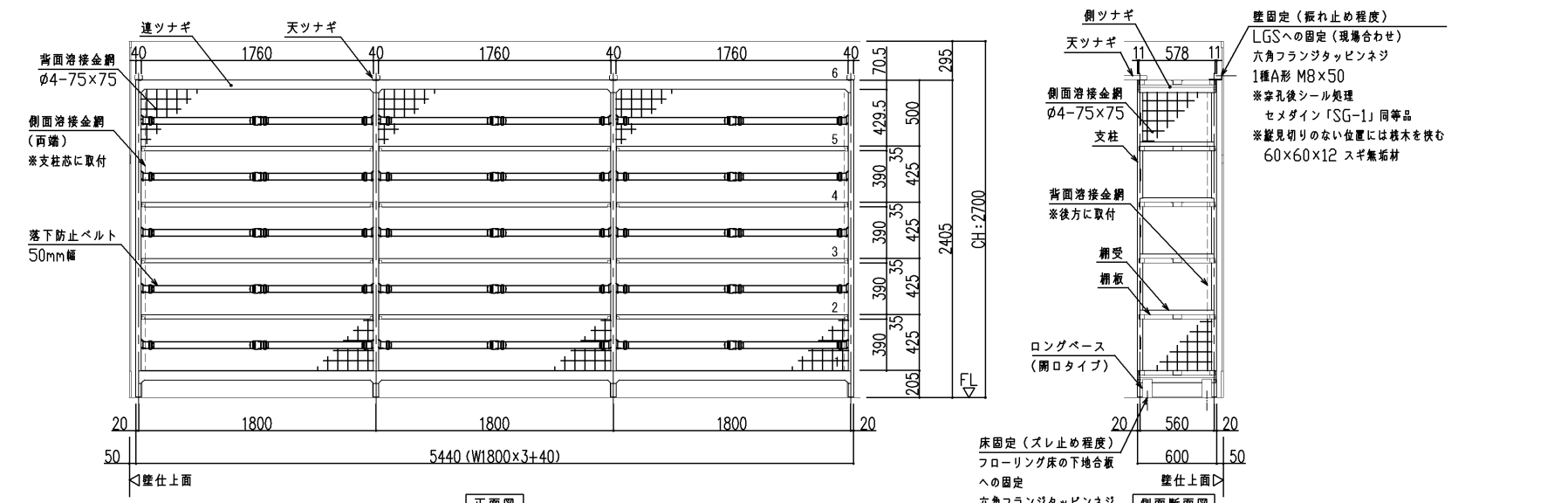
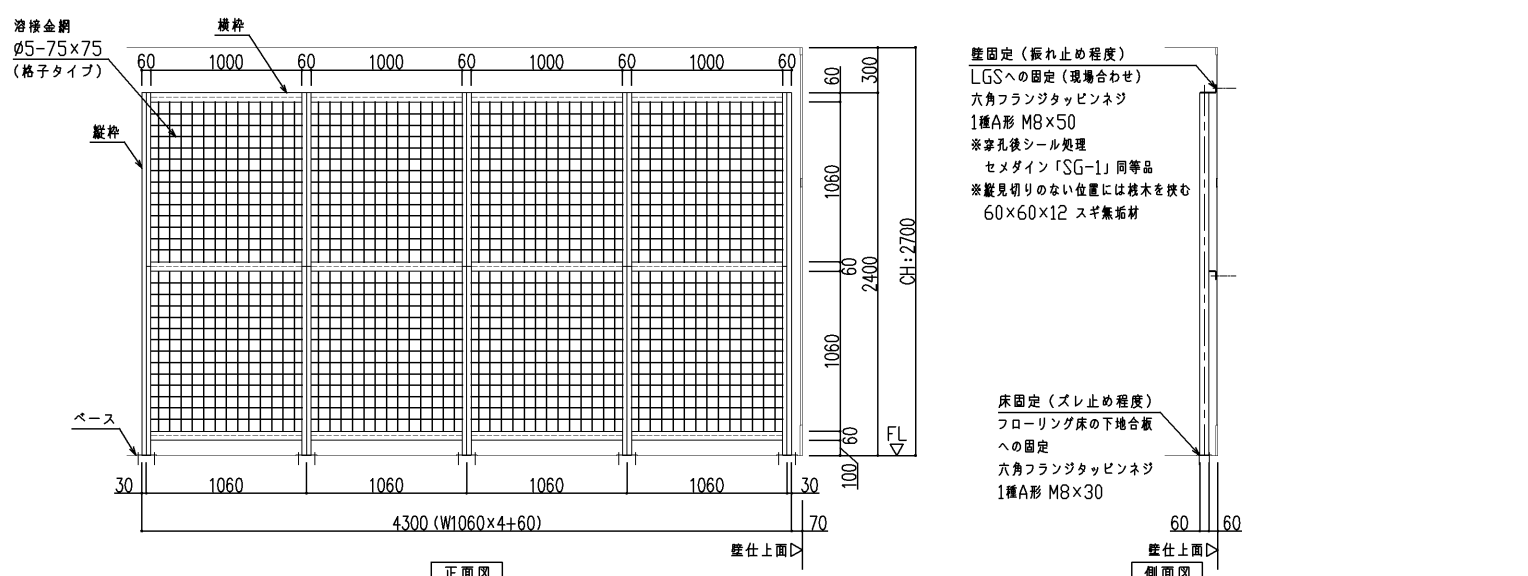
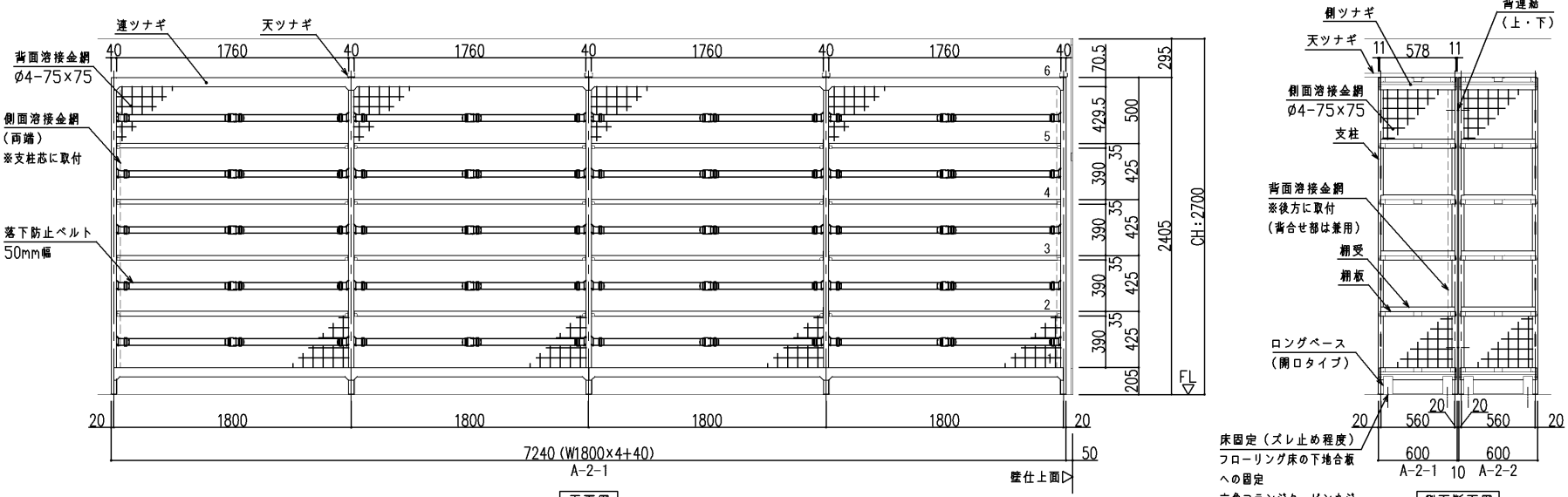
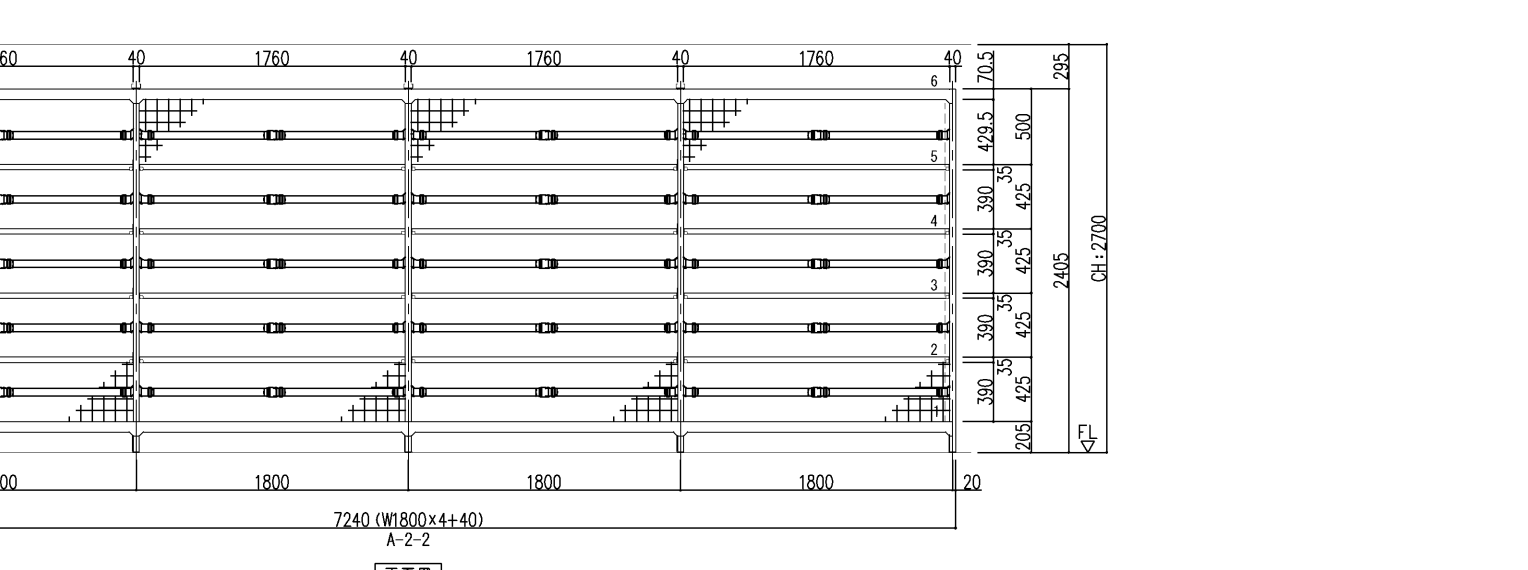
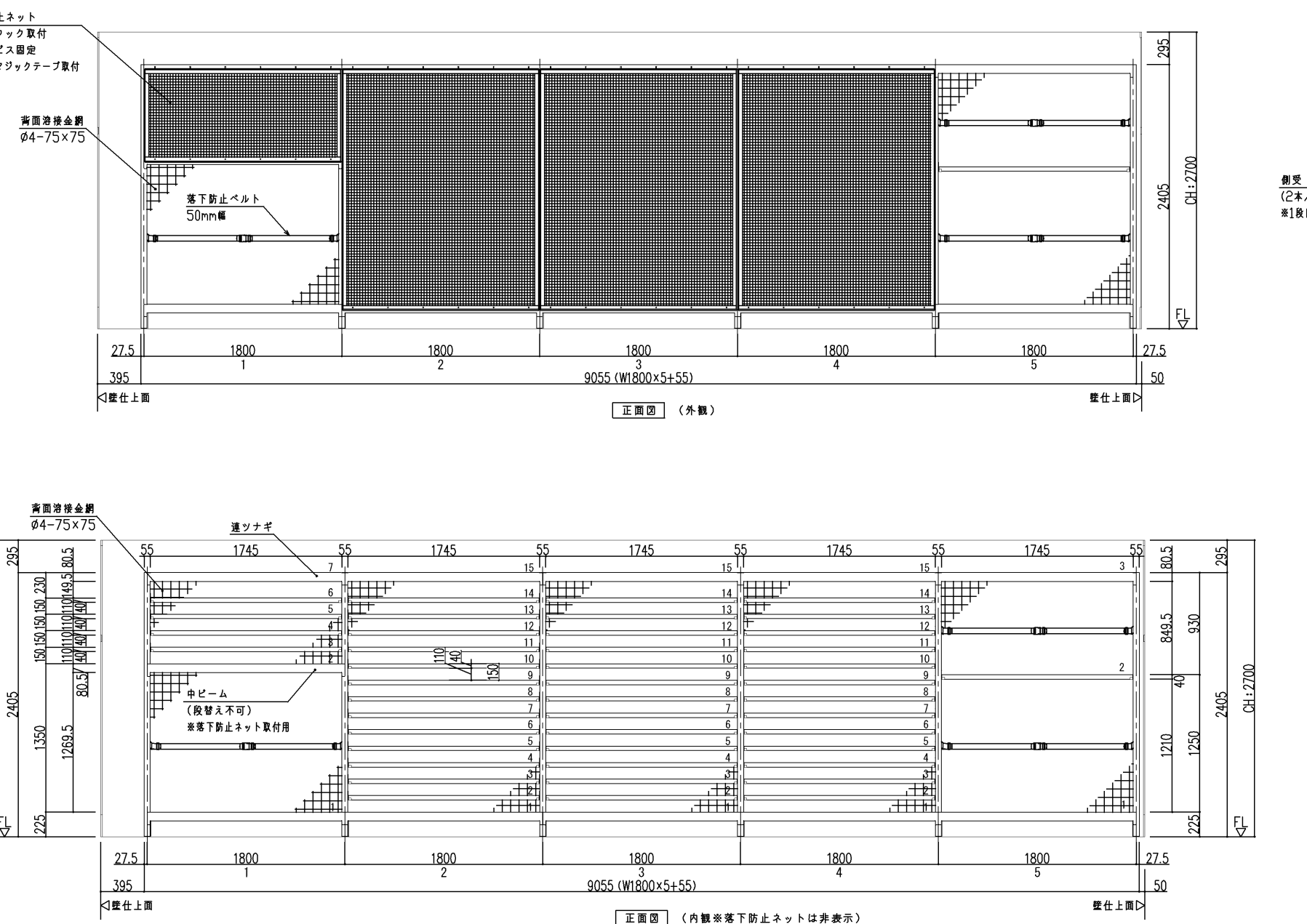
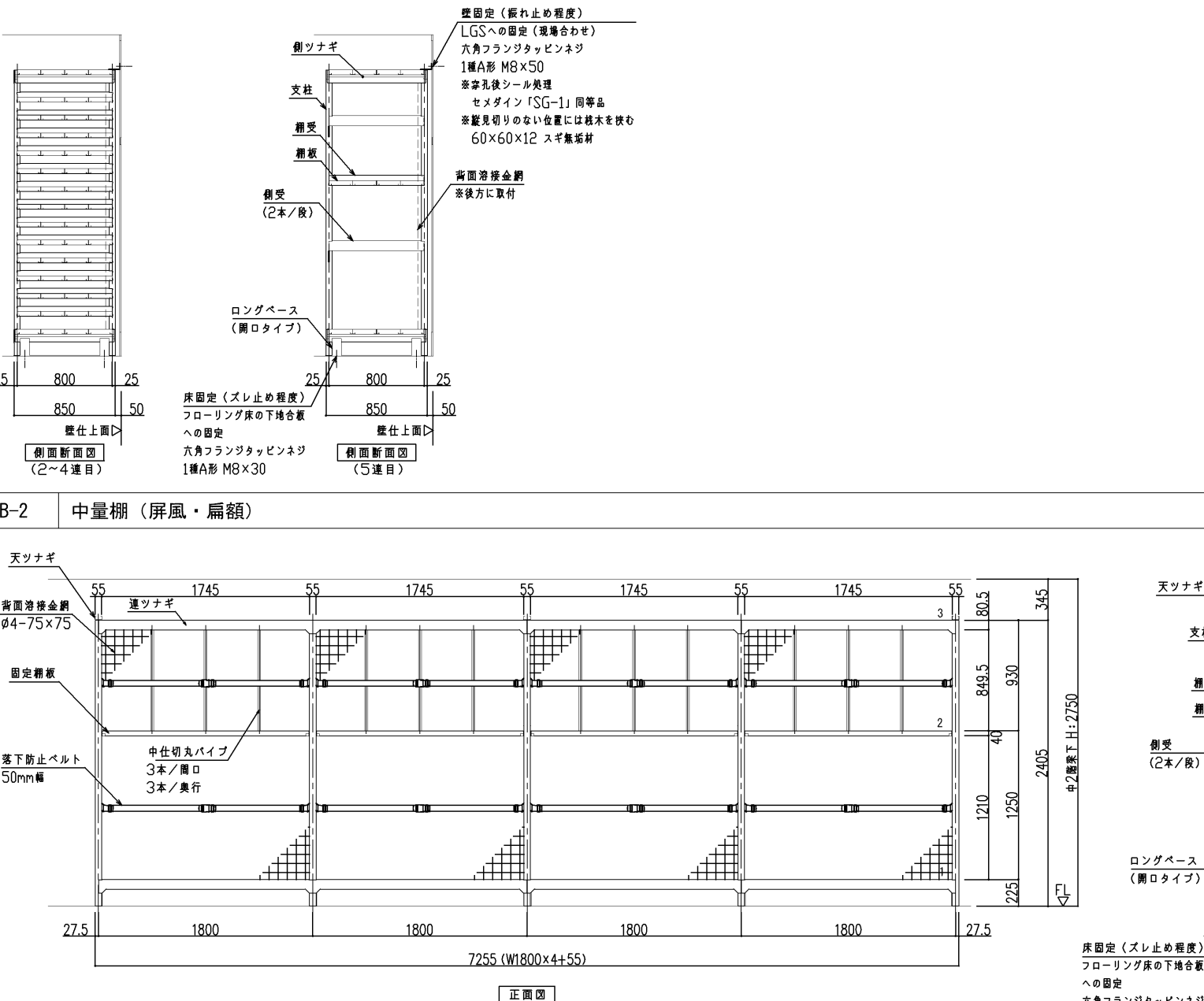
収蔵室C 収蔵棚 数量表				
棚記号	型 式 ・ 寸 法	台 数	延床数	延段数
C-1	中量棚 単式2連 有効3段 (W1500) BLH 582-854SDR W3055×D850×H2405	1	2	6
C-2	中量量棚 単式3連 有効5段 (W1800) BLL 383-606SDR W5440×D600×H2405	1	3	15
C-3	中重量棚 単式4連 有効5段 (W1800) BLL 384-606SDR W7240×D600×H2405	1	4	20
C-4	メッシュラック 4連 (W1060) MFMP 108 (T+M×3) -75 W4300×D60×H2400	1	4	-

<p>・中軽量部・中重量部 仕様</p> <p>・構造造：支柱、連ツナギ、側ツナギによる枠体構造造（ボルトレスタイプ）</p> <p>※棚下部の溝部に配属した脚高仕様（B-1、B-7〜9はボルト接合タイプ）</p> <p>・ベース：ロングベース（スチール製 奥行方向一体型・開ロタイプ）</p> <p>※フロリング床面、鋼製床面への荷重を分散</p> <p>・棚転倒防止：床固定、壁固定、高さ調節、ツナギ</p> <p>・収容物落下防止：【側面】側面湾接金網（φ4-75×75）※右端側（B-1の一部、B-2）</p> <p>【背面】背面湾接金網（φ4-75×75）※両側面は除く</p> <p>【前面】落下防止ベルト（50mm幅）</p> <p>落下防止ネット（B-1の一部）</p> <p>・棚板耐荷重：150kg/段（A-1・2、B-3・6・7・9）、200kg/段（B-4・5）、450kg/段（B-2）、500kg/段（B-1、C-1）</p> <p>・周口耐荷重：【中軽量部】1000kg/連、【中重量部】2000kg/連</p> <p>・棚板可動ピッチ：【中軽量部】25mm、【中重量部】50mm（中ビーム部は段替不可）</p>

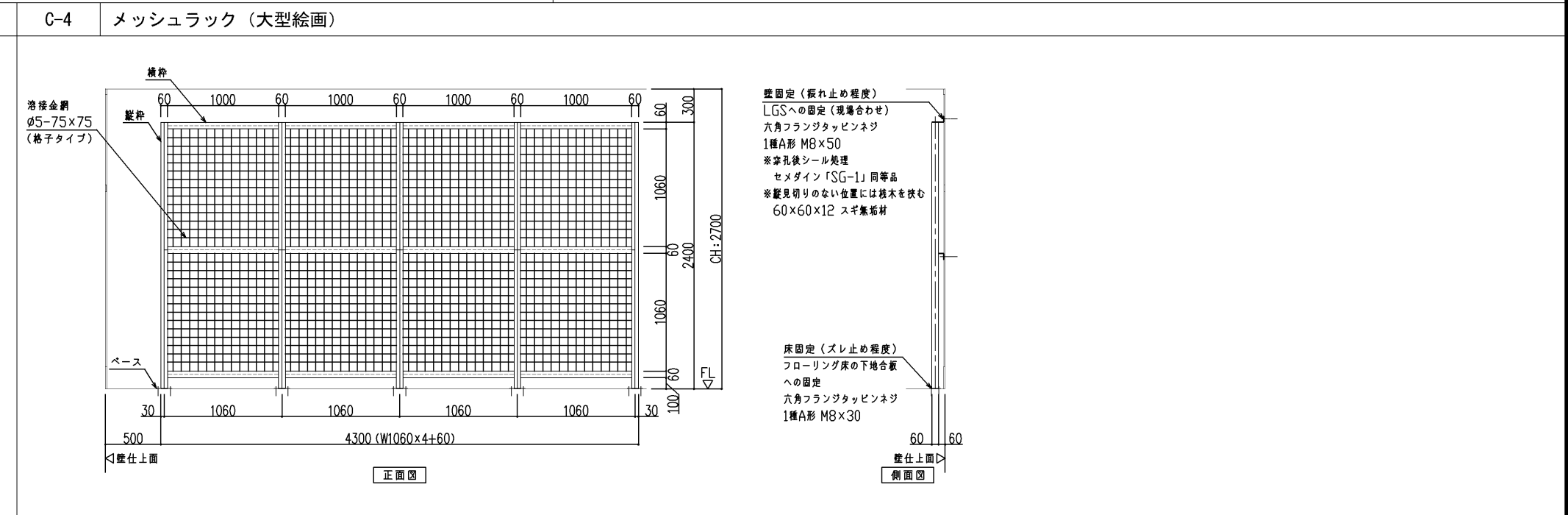
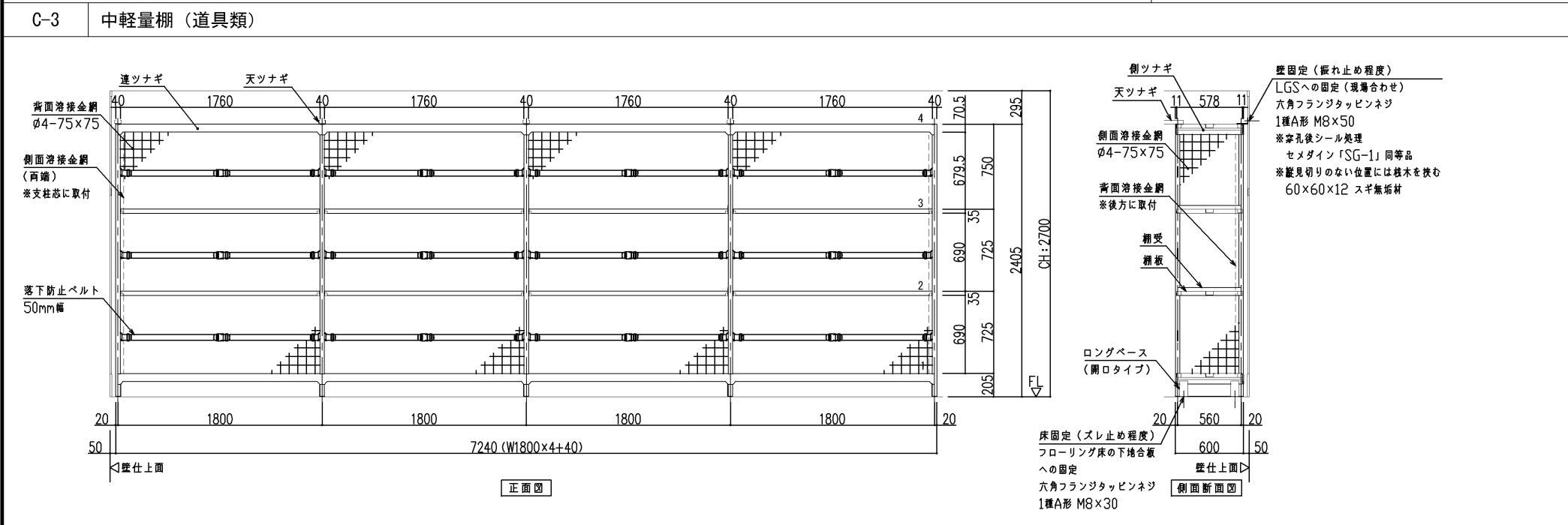
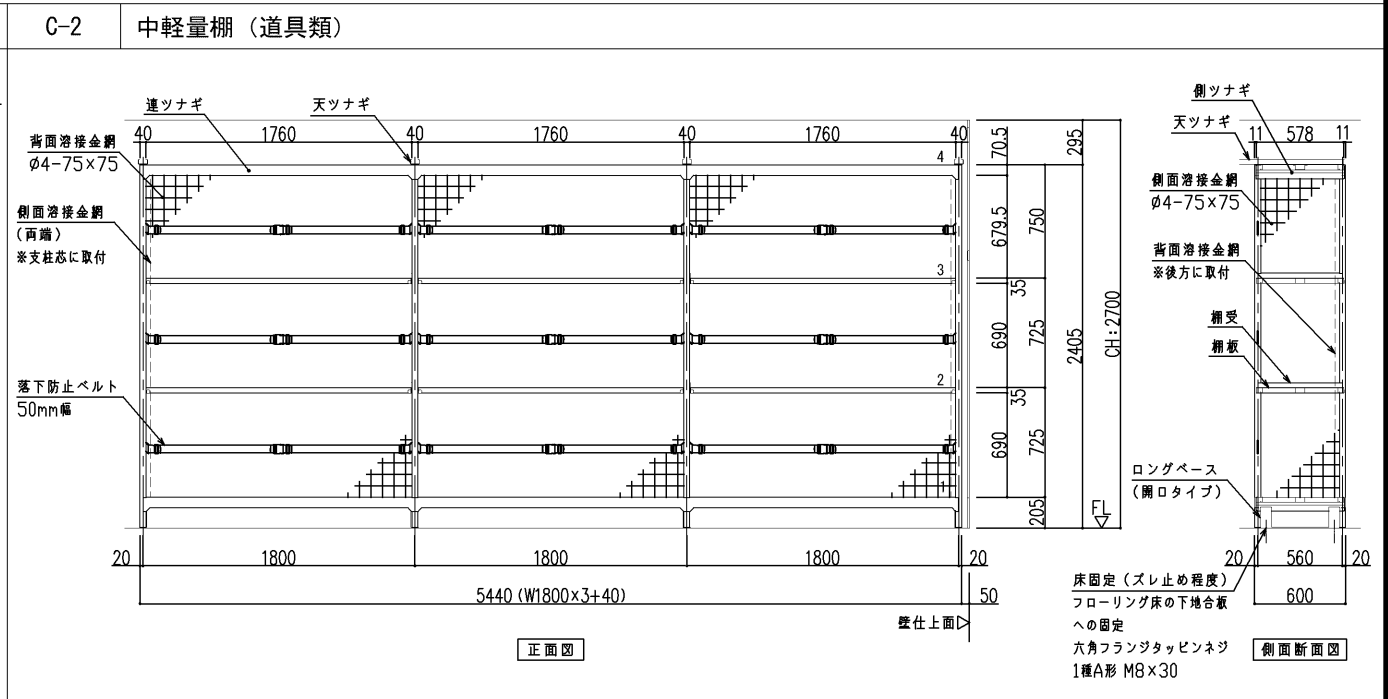
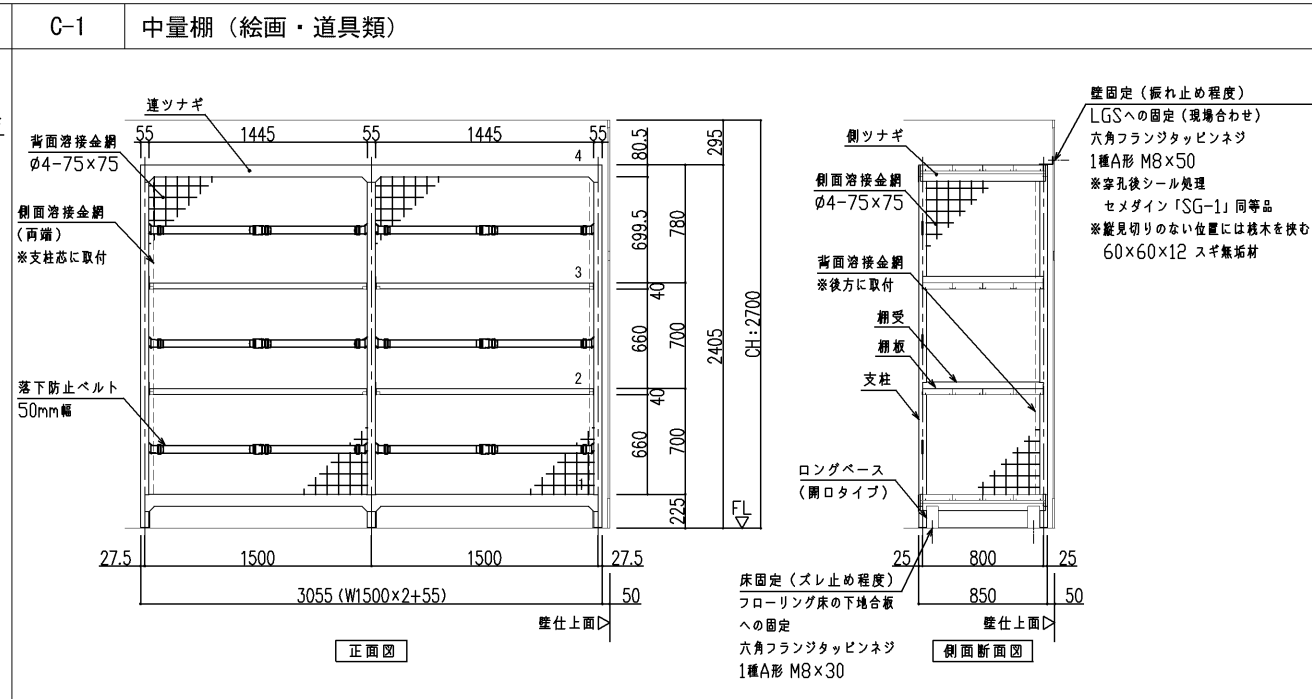
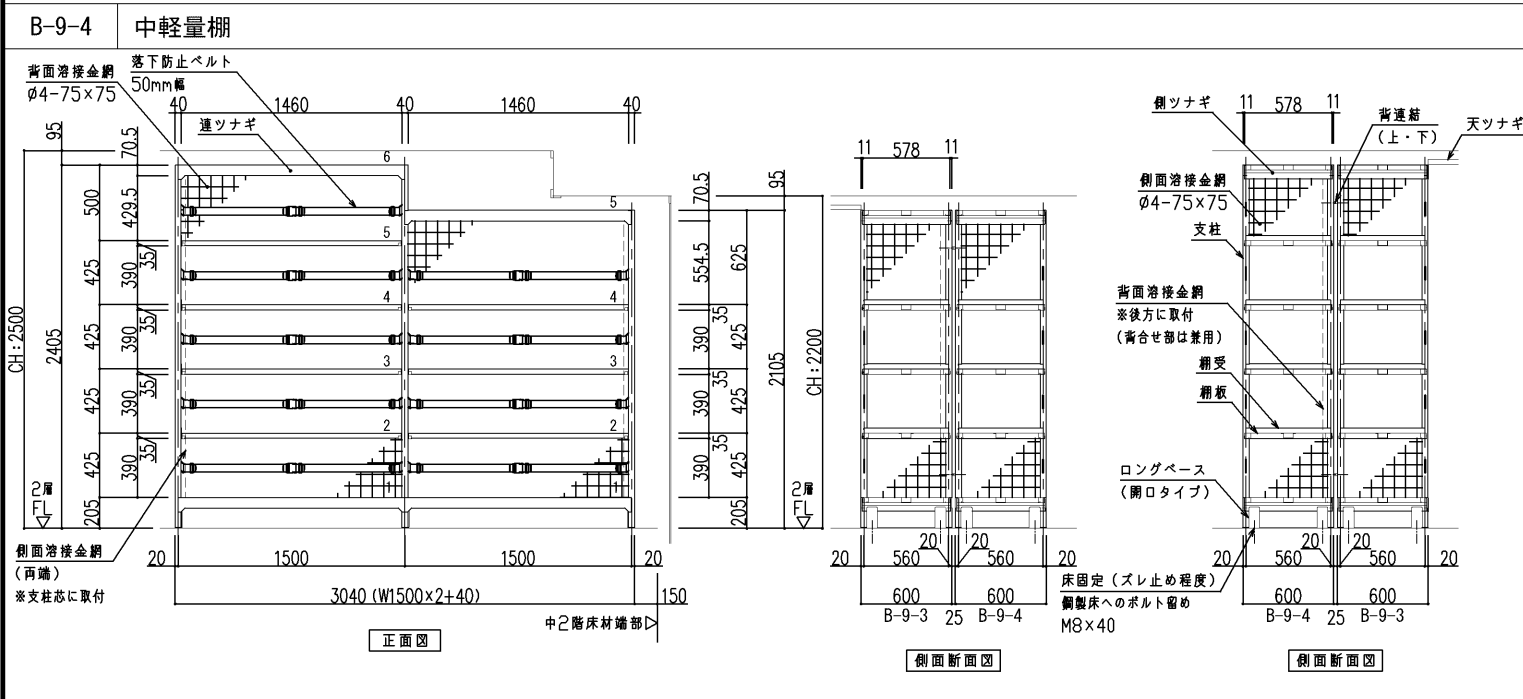
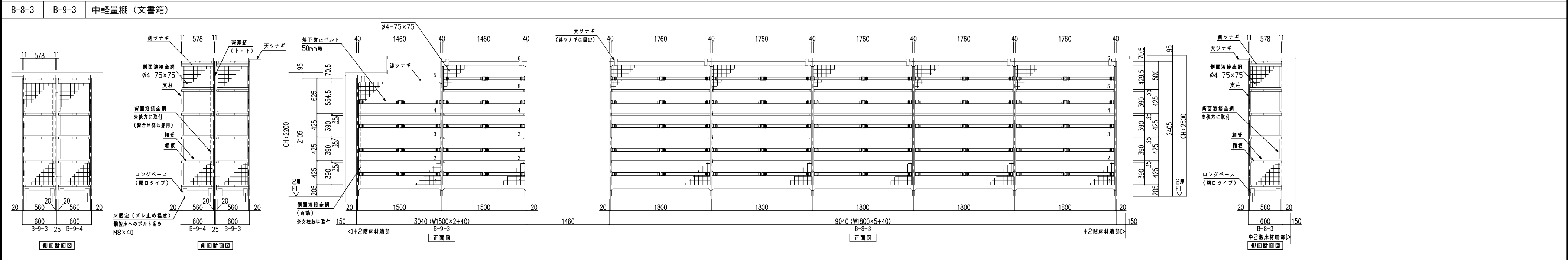
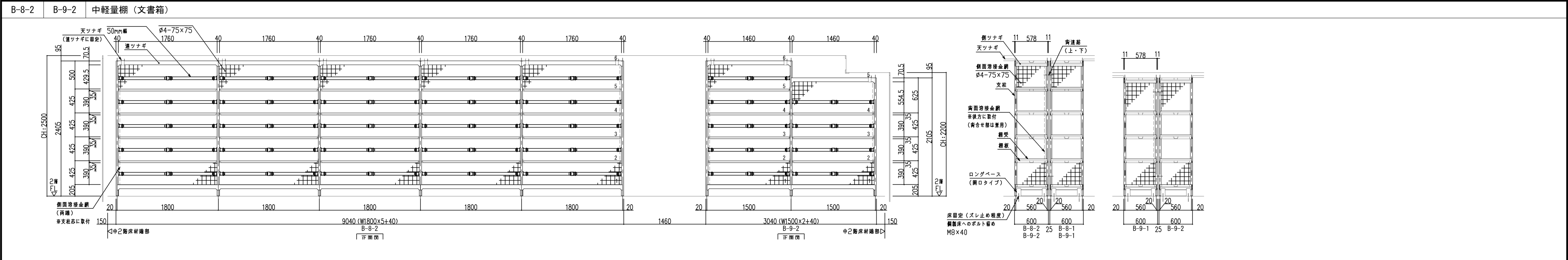
メッシュラック 仕様

- ・ 構造造：錠枠、横枠、溶接金網による溶接一体構造
- ・ 積載荷重：15kg/m²
- ・ 棚転倒防止：床固定、壁固定

- ・ 塗装：アクリル系樹脂塗装（静電粉体塗装）、ポリエステル系樹脂塗装（粉体粉体塗装）
- ・ 塗装色：ホワイト系
- ・ 中性紙ボード敷き：A-1・2、B-1・2

<div><div>A-1</div><div>中軽量棚（古文書・絵画等）</div><div><p>正面図</p><p>側面断面図</p><p>仕様：1種A形 M8×50</p></div></div>	<div><div>A-3</div><div>メッシュラック（大型絵画）</div><div><p>正面図</p><p>側面断面図</p><p>仕様：1種A形 M8×30</p></div></div>					
<div><div>A-2</div><div>中軽量棚（古文書・絵画等）</div><div><p>正面図</p><p>側面断面図</p><p>仕様：1種A形 M8×50</p></div></div>	<div><div>A-2</div><div>中軽量棚（古文書・絵画等）</div><div><p>正面図</p><p>側面断面図</p><p>仕様：1種A形 M8×30</p></div></div>					
<div><div>B-1</div><div>中量棚（屏風・掛け軸）</div><div><p>正面図（外観）</p><p>側面断面図</p><p>仕様：1種A形 M8×30</p></div></div>	<div><div>B-2</div><div>中量棚（屏風・扁額）</div><div><p>正面図</p><p>側面断面図</p><p>仕様：1種A形 M8×30</p></div></div>					
<div><div>訂正日付</div><div></div></div>	<div><div>株式会社 浦野設計三重支社</div><div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div></div>	<div><div>管理技術者</div><div>一級建築士 第333565号 江口 浩壽</div></div>	<div><div>担当者</div><div></div></div>	<div><div>設計番号</div><div>P2001M</div></div>	<div><div>工事名称</div><div>松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）</div></div>	<div><div>図面種類</div><div>A</div></div>

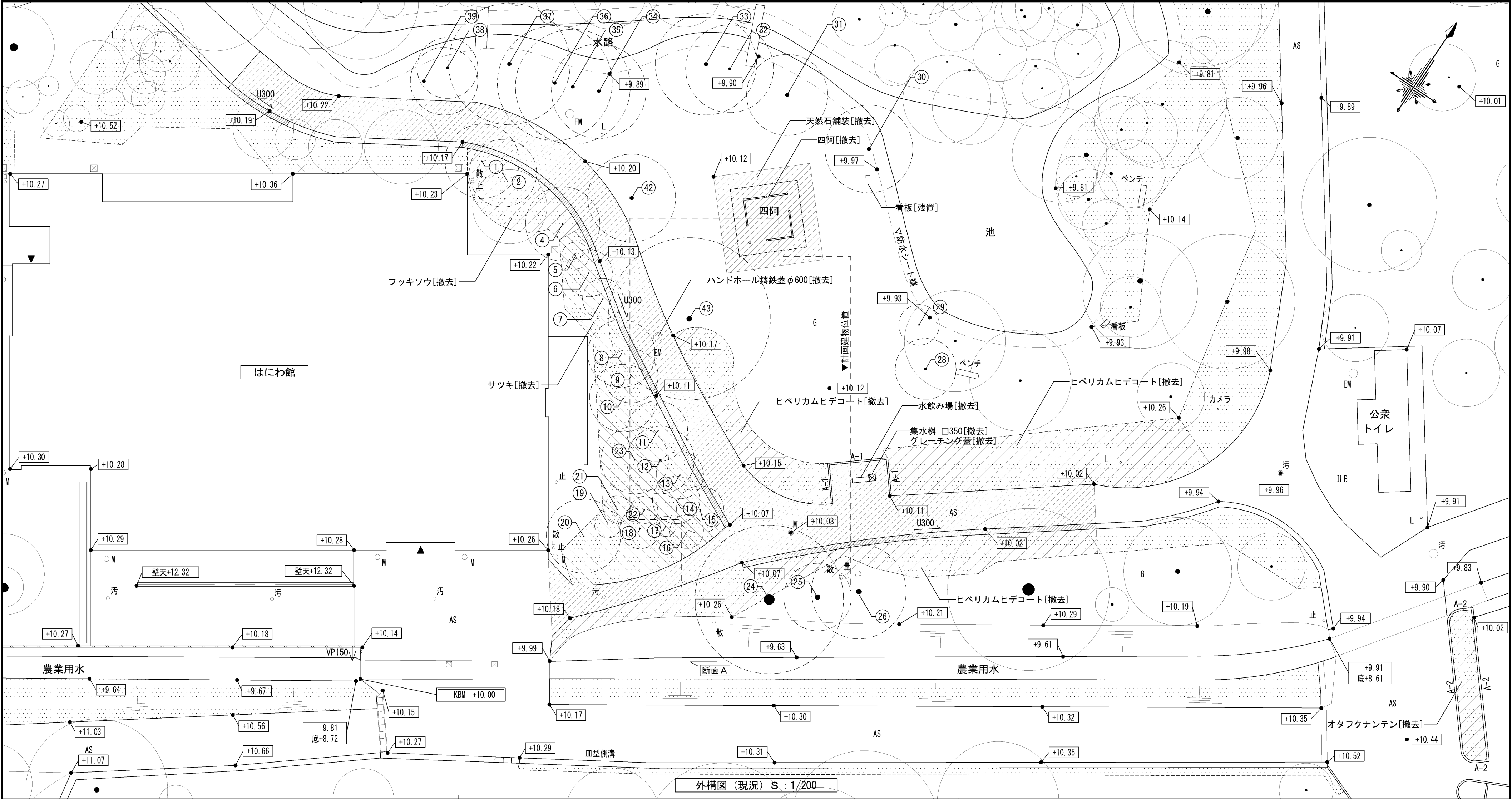
B-3 中軽量棚		B-4 中軽量棚	
B-5 中軽量棚 (漆器類)		B-6 中軽量棚 (漆器類)	
B-7 中軽量棚 (文書箱)			
B-8-1	B-9-1 中軽量棚 (文書箱)		
訂正日付		管理技術者	
		一級建築士	
		第333565号	
		江口 浩壽	
担当		設計番号	
		P 2 0 0 1 M	
		工事名称	
		松阪市文化財センター収蔵庫新築工事 (建築)	
		日付	
		2020. 10	
		図面名称	
		収蔵棚姿図 2	
		図面番号	
		3 5	




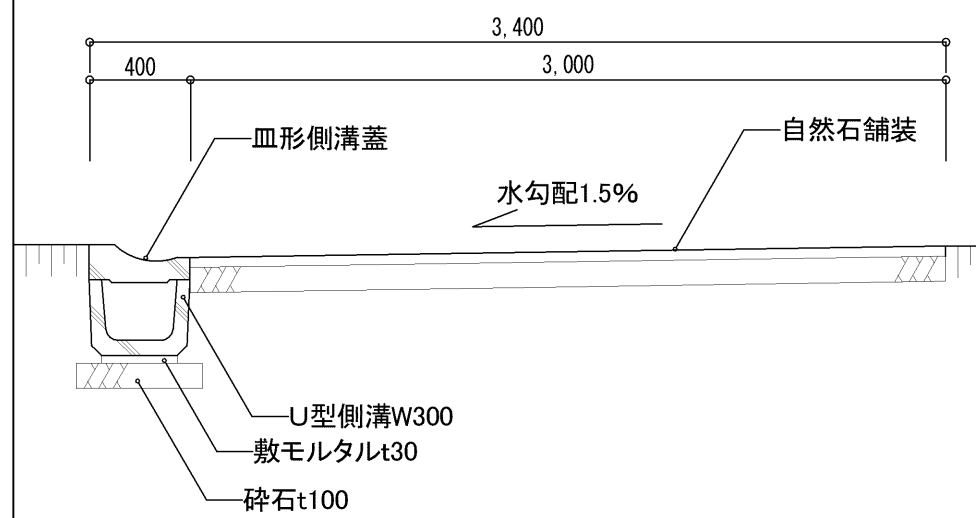
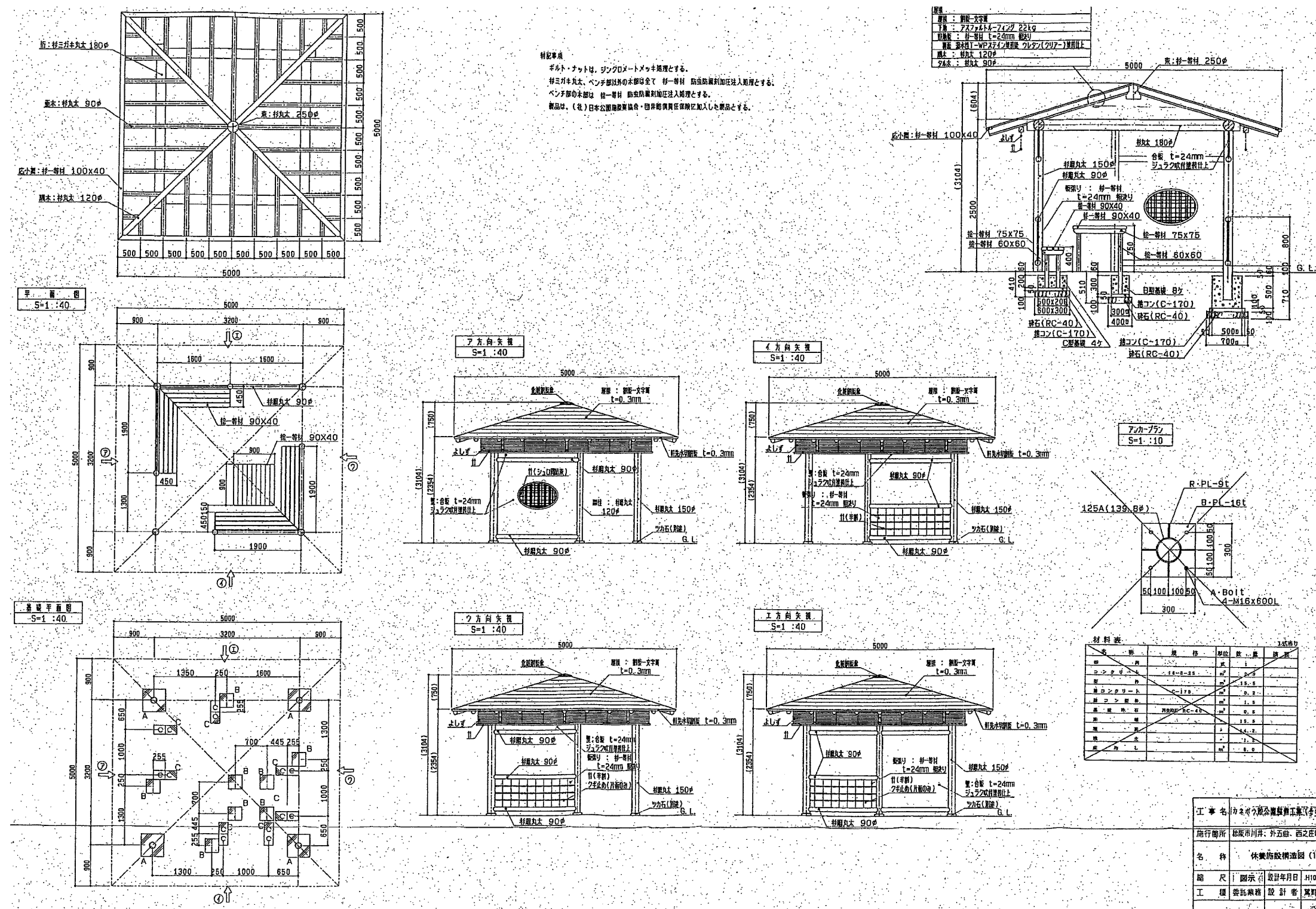
訂正日付	管理技術者	担当者	設計番号	工事名称	図面種別
	一級建築士		P2001M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事 (建築)	A
	第333565号		日付	図面名称	図面番号
	江口 浩希		2020.10	収蔵棚姿図3	36

図面は約70%縮小しています (A2→A3)

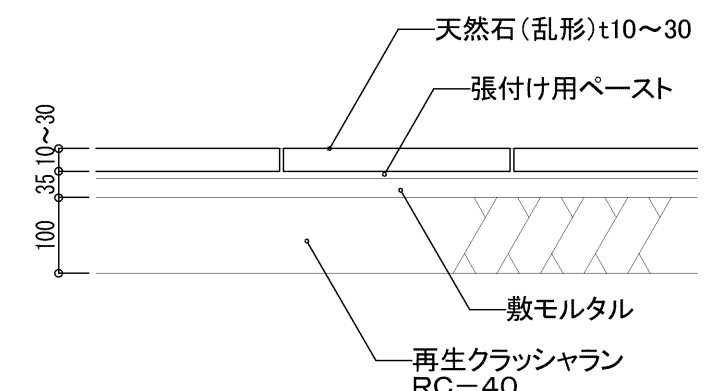
株式会社 浦野設計三重支社
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号



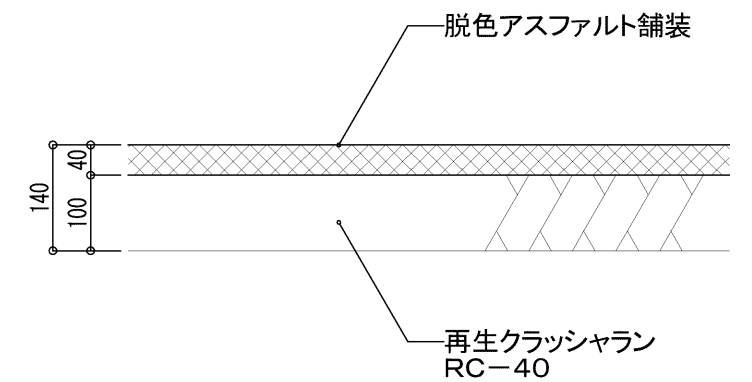
■ 樹木リスト											■ 凡例																						
No.	樹高(m)	幹周(m)	枝張(m)	処置	備考	No.	樹高(m)	幹周(m)	枝張(m)	処置	備考	No.	樹高(m)	幹周(m)	枝張(m)	処置	備考		低木		+10.00	現況地盤レベル (KBM = +10.00)		樹									
①	4.5	0.30	5.5	剪定		⑮	5.5	0.30	3.5	移植		⑳	6.0	0.30	3.0	移植			低木 撤去範囲			脱色アスファルト舗装 (園路用) 撤去		M	マンホール								
②	5.5	0.30	5.0	剪定		⑯	6.0	0.15	2.5	移植		㉑	8.0	0.95	6.5	剪定							汚	汚水マンホール									
④	6.0	0.30	5.5	移植		⑰	3.0	0.15	1.5	移植		㉒	8.0	0.95	6.0	剪定	移植不可						EM	電気マンホール									
⑤	5.5	0.15	2.0	移植		⑱	8.0	0.30	3.0	伐採・伐根	移植不可	㉓	9.0	0.65	6.5	剪定	移植不可						量	量水器									
⑥	5.5	0.30	3.5	移植		⑲	5.5	0.15	2.0	移植		㉔	10.0	0.95	7.5	剪定	移植不可		樹木 (中木・高木) 既設のまま		A-1、A-2	縁石 撤去		散	散水栓								
⑦	4.5	0.30	3.0	移植		⑳	5.5	0.30	5.5	移植		㉕	12.0	0.80	7.0	剪定	移植不可					U300	側溝W300 撤去 皿型側溝蓋 撤去		止	止水栓							
⑧	6.0	0.30	5.0	移植		㉑	6.5	0.30	2.0	移植		㉖	13.0	0.80	8.5	剪定	移植不可		樹木 撤去・剪定 (左リストに記載)					L	街灯								
⑨	6.0	0.30	4.0	移植		㉒	5.0	0.30	2.0	移植													コンクリート壁										
⑩	8.5	0.30	5.0	伐採・伐根	移植不可	㉓	5.0	0.30	5.0	移植												AS	自然石舗装										
⑪	5.0	0.30	4.5	移植		㉔	15.0	2.50	11.0	伐採・伐根	移植不可	※既存樹木の処置については、本工程とは別発注とする。													G	グラウンド							
⑫	6.0	0.45	5.0	移植		㉕	17.5	1.25	5.0	伐採・伐根	移植不可																					ILB	インターロッキングブロック
⑬	6.0	0.30	3.5	移植		㉖	16.5	1.25	7.0	伐採・伐根	移植不可																					C	コンクリート舗装
⑭	4.0	0.15	3.5	移植		㉗	5.5	0.65	4.5	移植																							
訂正日付						 株式会社 浦野設計三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一般建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号						管理技術者		担当者		設計番号		工事名称		図面種別													
図面は約70%縮小しています (A2→A3)												一級建築士		P2001M		松阪市文化財センター収蔵庫新築工事 (建築)		A															
												第333565号		日付	2020.10		図面名称		外構図 (現況)		縮尺		図面番号										
												江口 浩壽								A2=1/200		37											



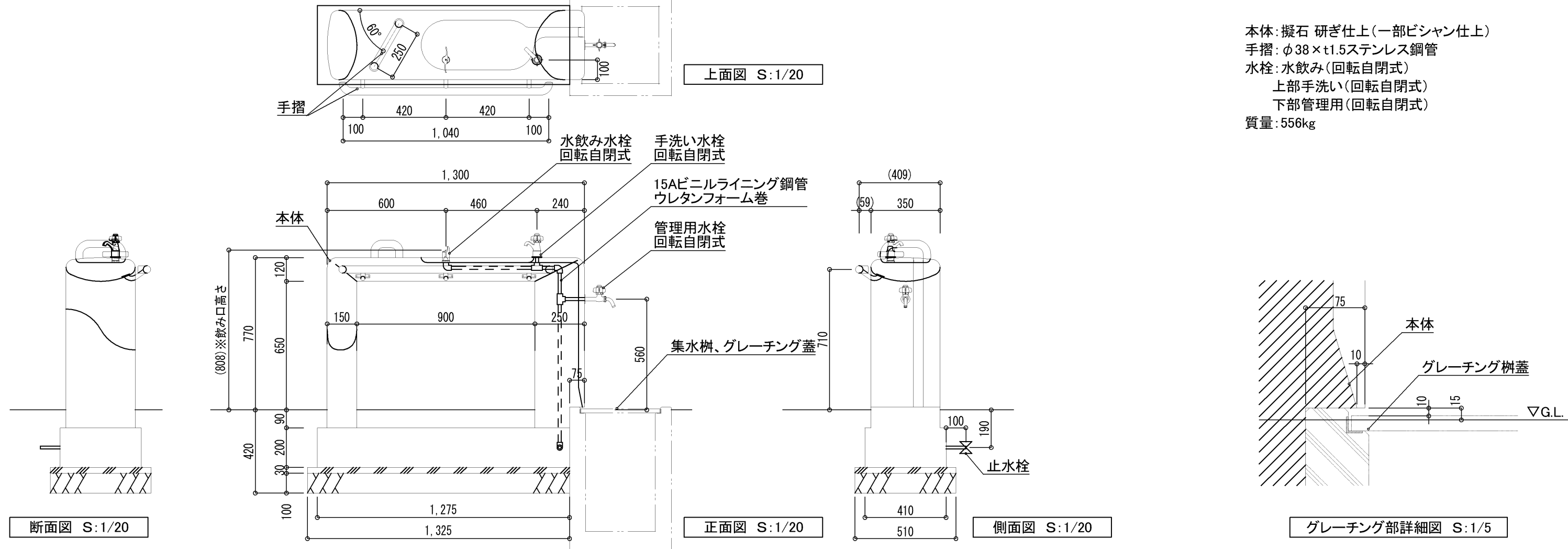
天然石舗装 詳細図【撤去】

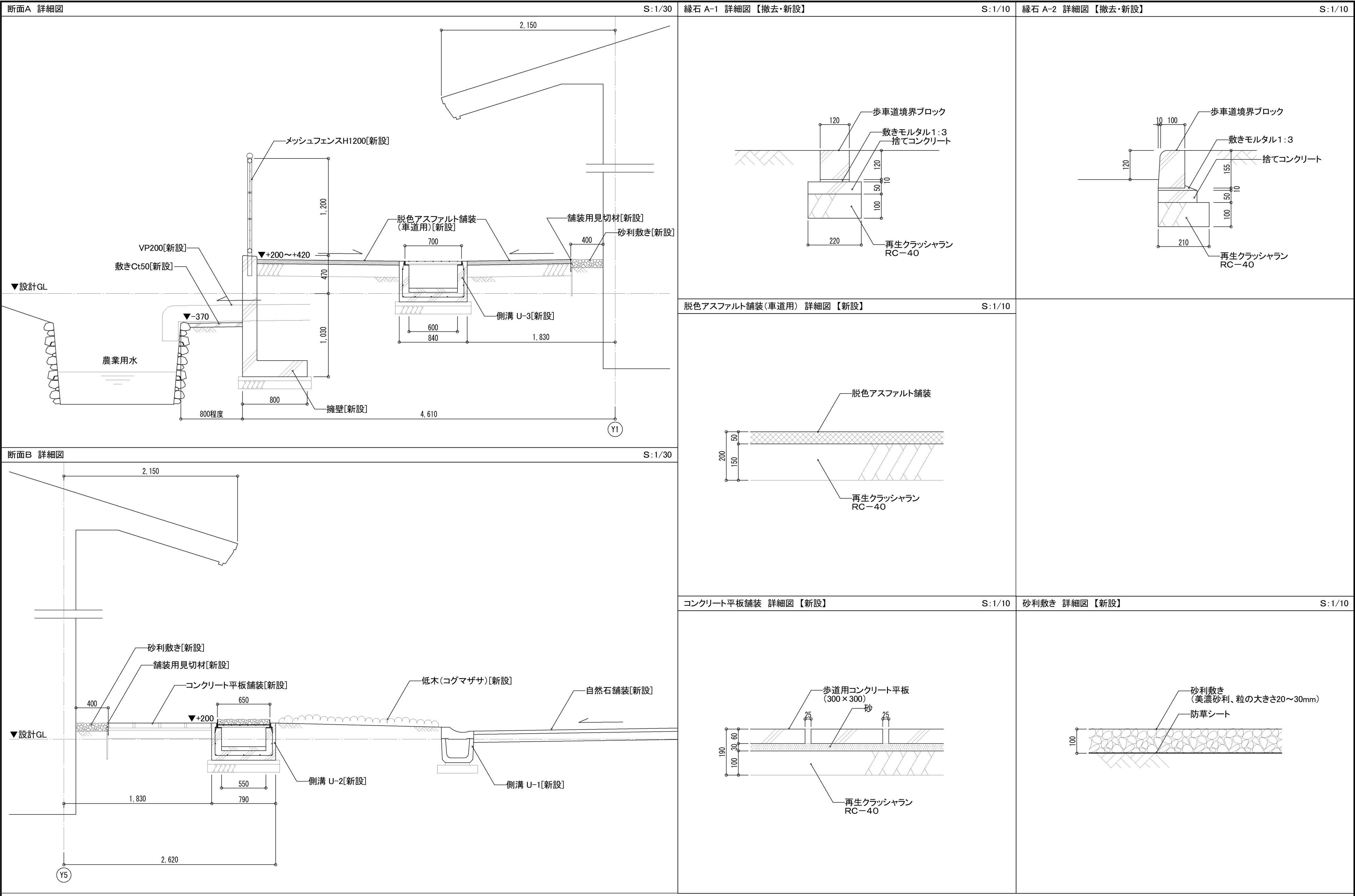


脱色アスファルト舗装(園路用) 詳細図【撤去・新設】



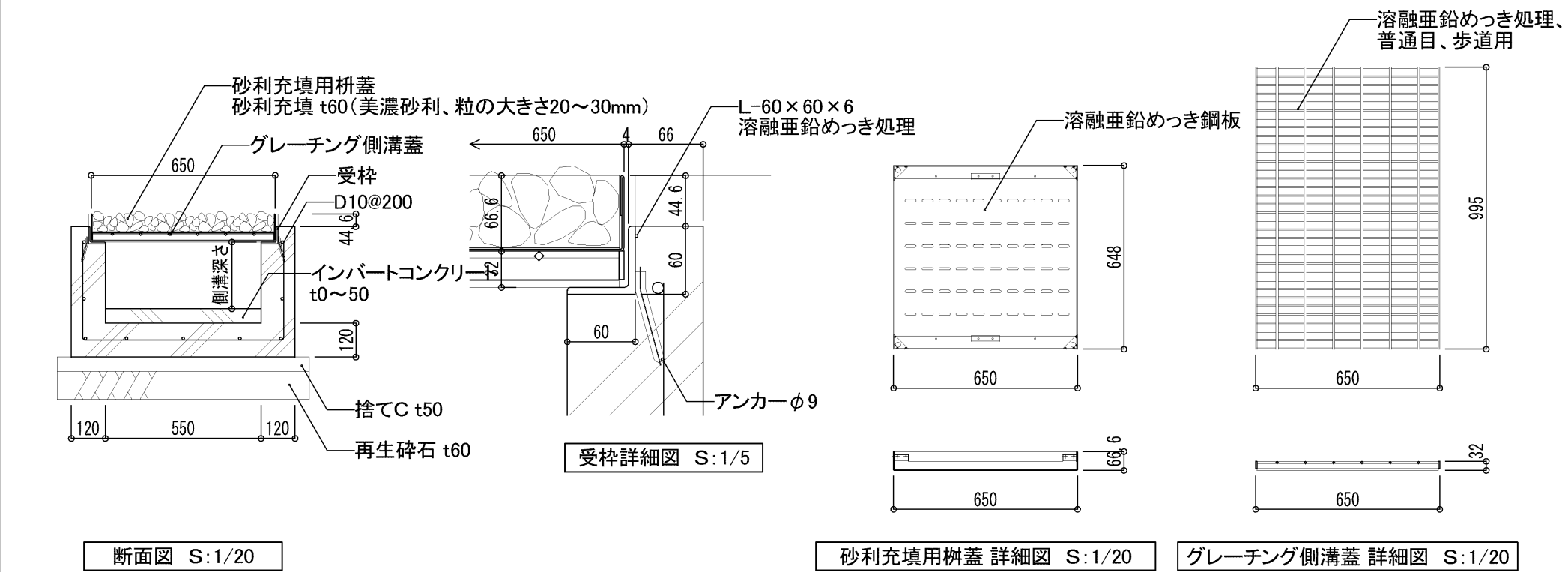
水飲み場 詳細図【撤去・新設】





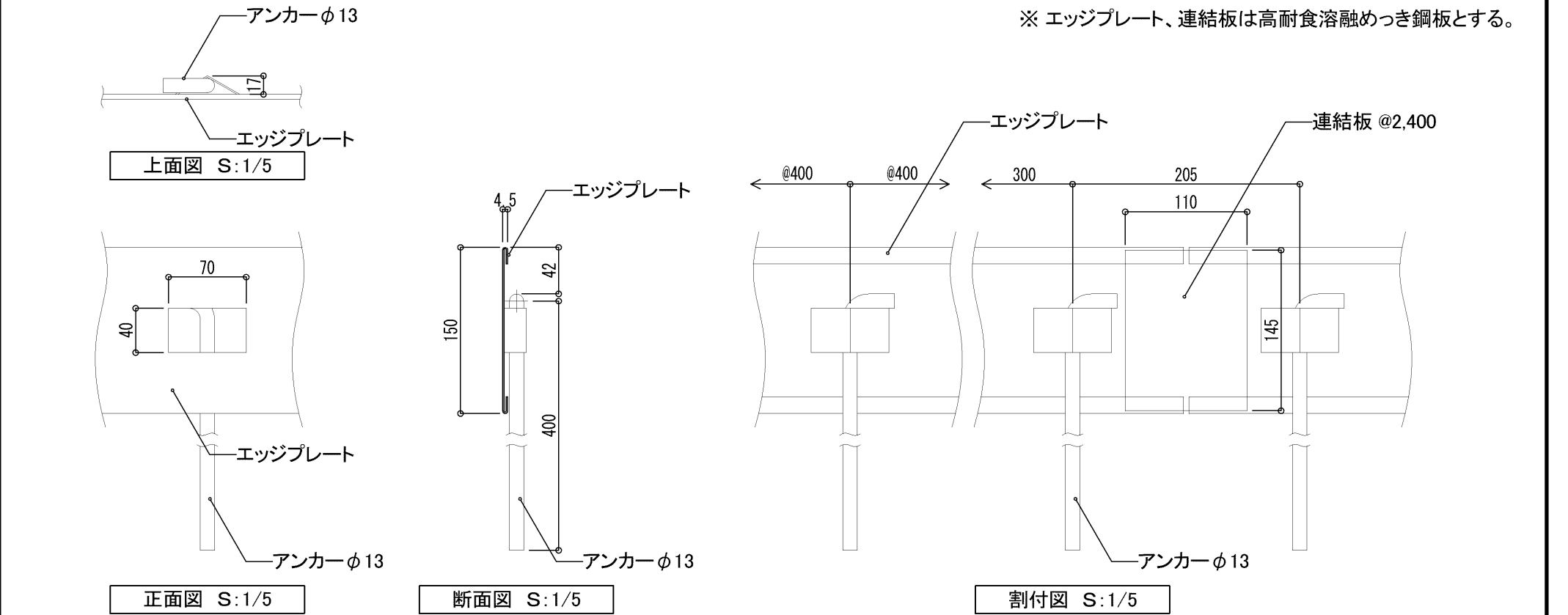
側溝U-2 詳細図

S:1/20,1/5



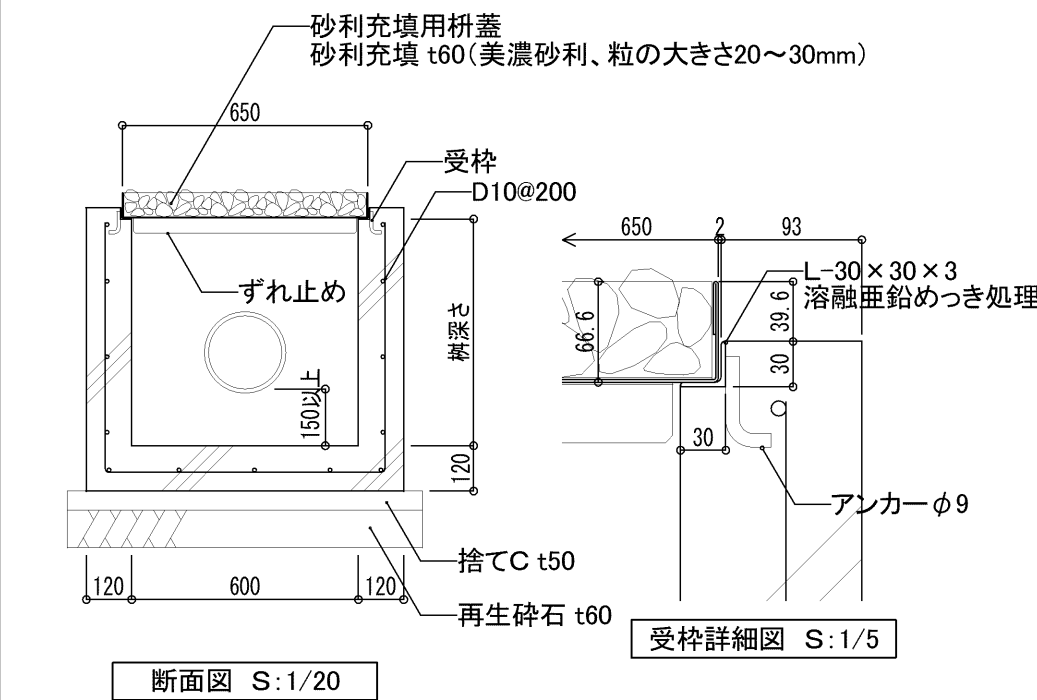
舗装用見切材 詳細図【新設】

S: 1/5

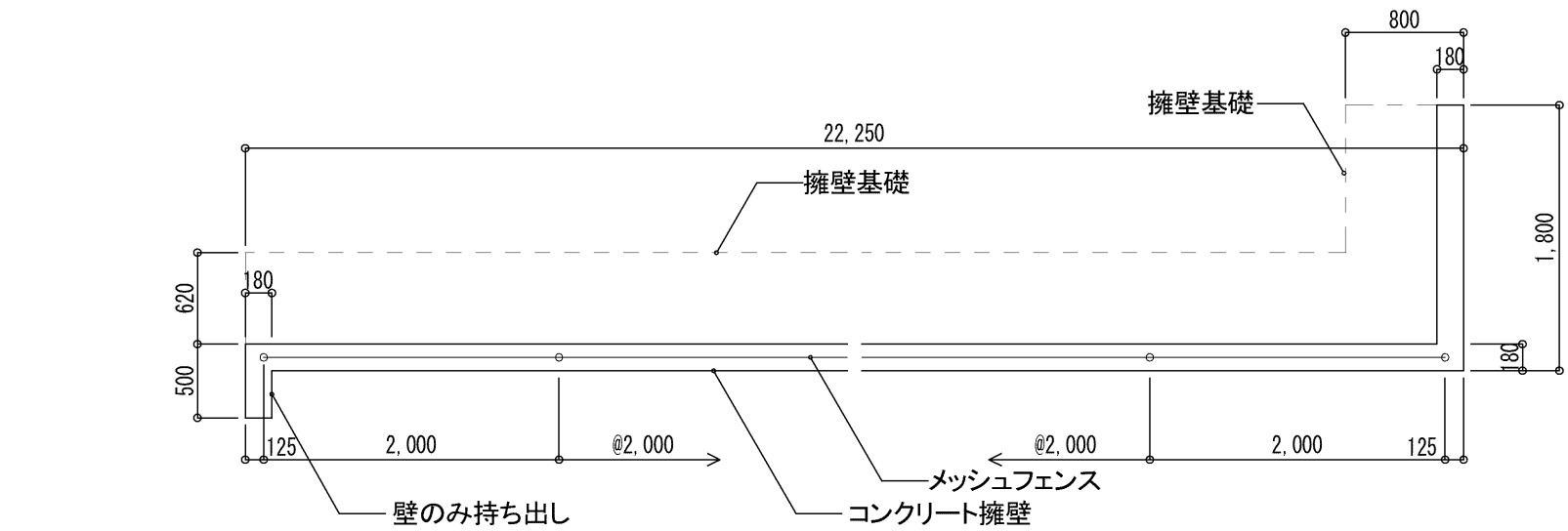


集水枥 M-2, 3 詳細図

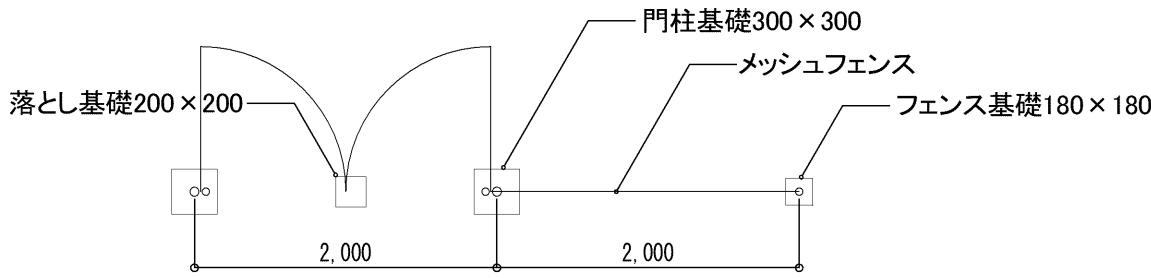
S: 1/20



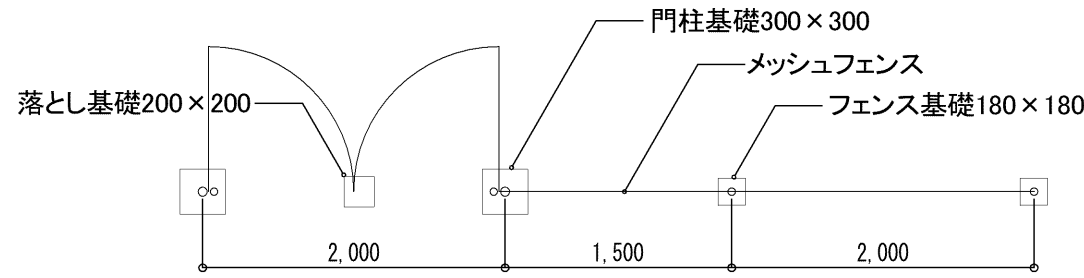
訂正日付	<div><div>株式会社 浦野設計 三重支社</div><div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div></div>	管理技術者	担当者	設計番号	工事名称	図面種別	
		一級建築士		P2001M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）	A	
		第333565号		日付	図面名称	縮尺	図面番号
図面は約70%縮小しています（A2→A3）		江口 浩壽		2020. 10	外構詳細図 3	図示	4 1



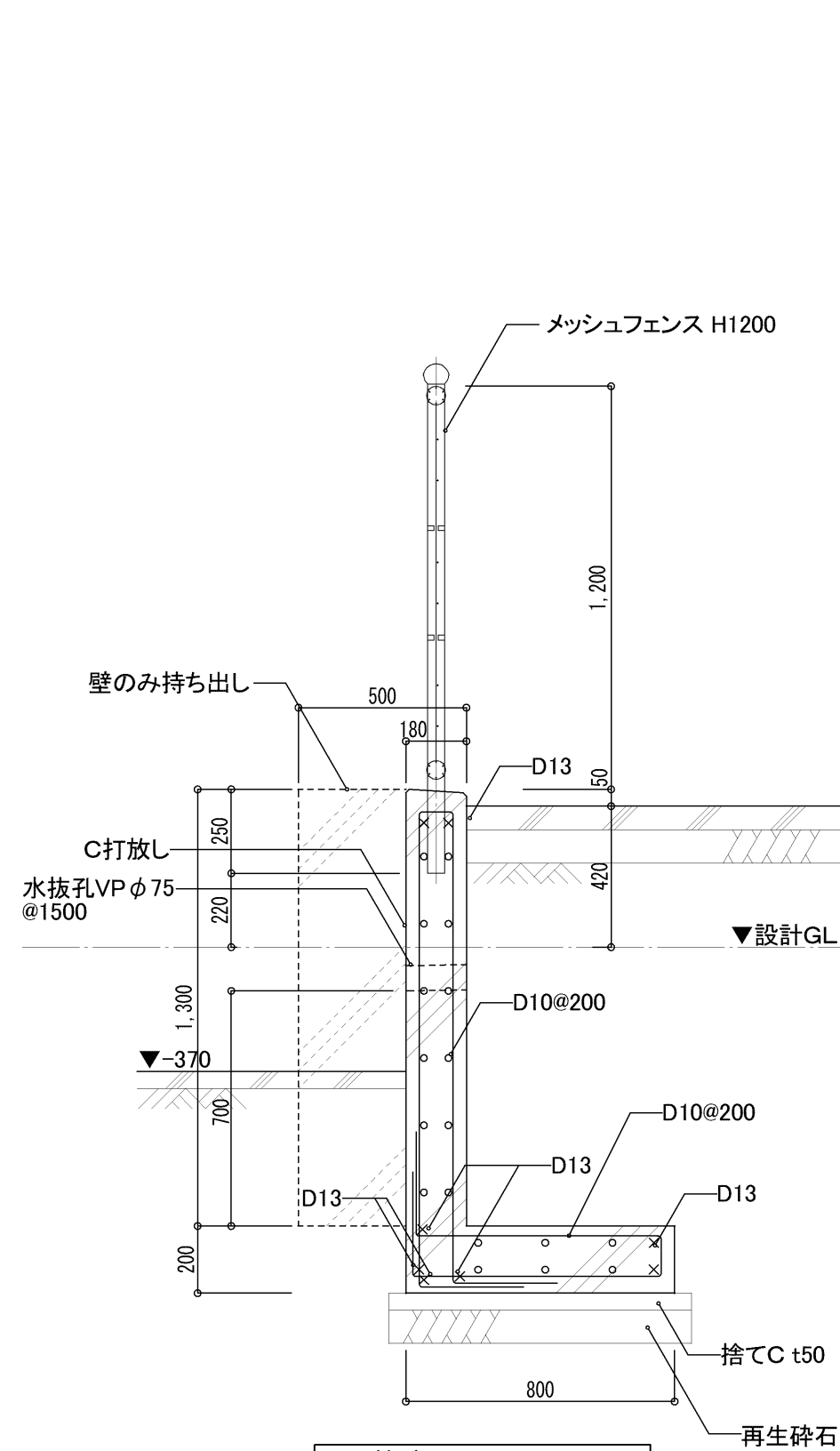
擁壁・フェンス F-1 平面図 S:1/50



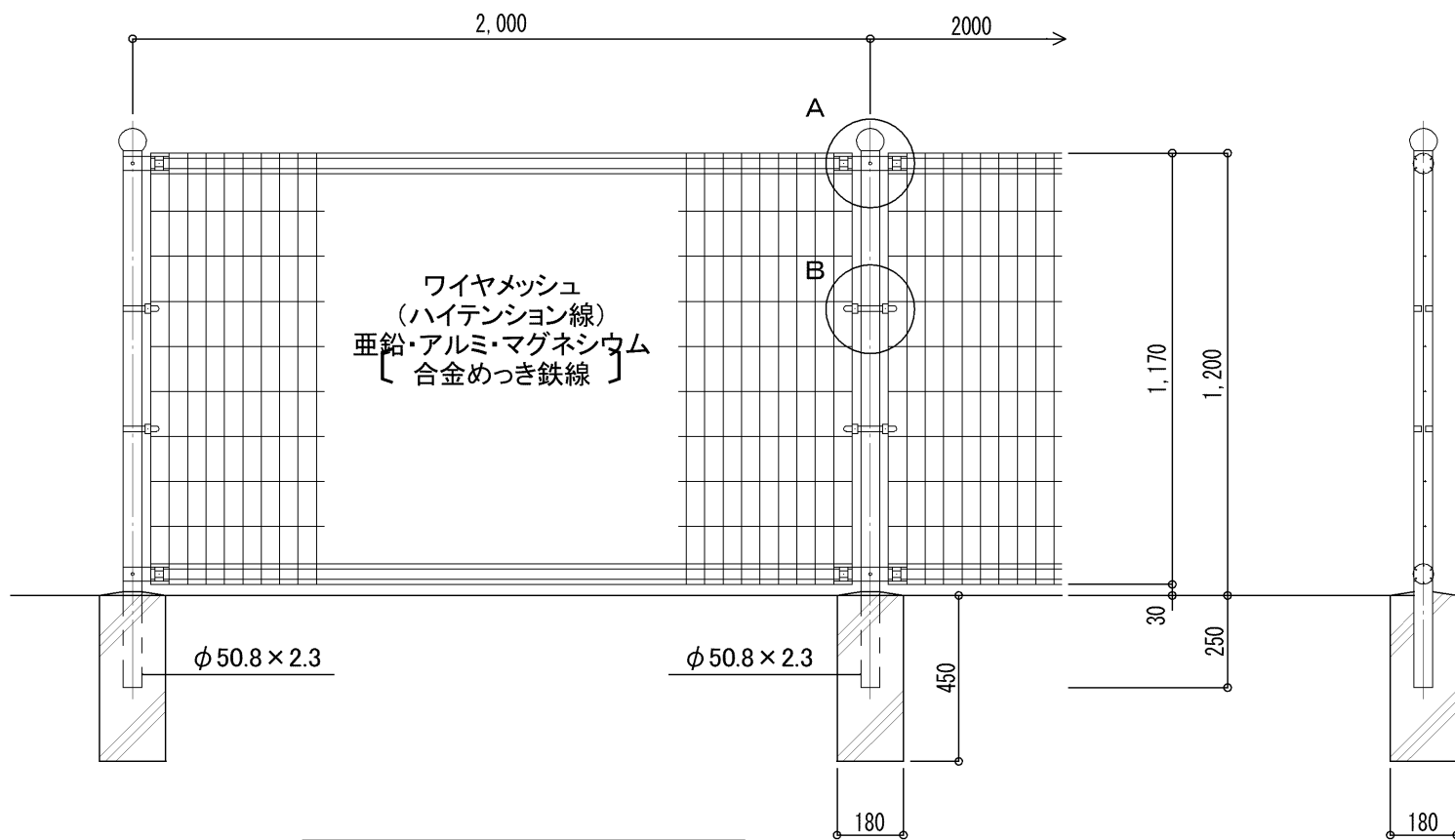
フェンス F-2 平面図 S:1/50



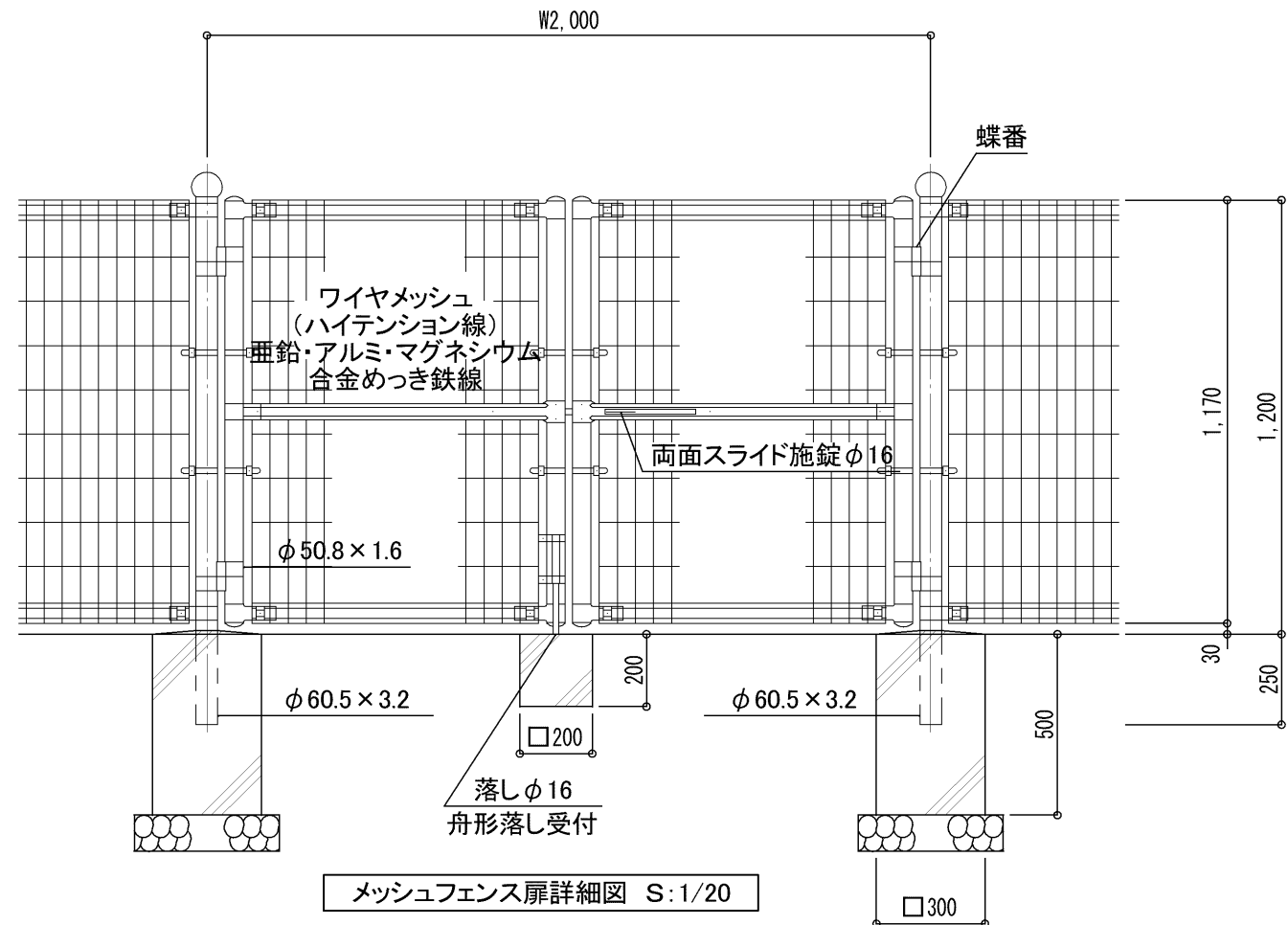
フェンス F-3 平面図 S:1/50



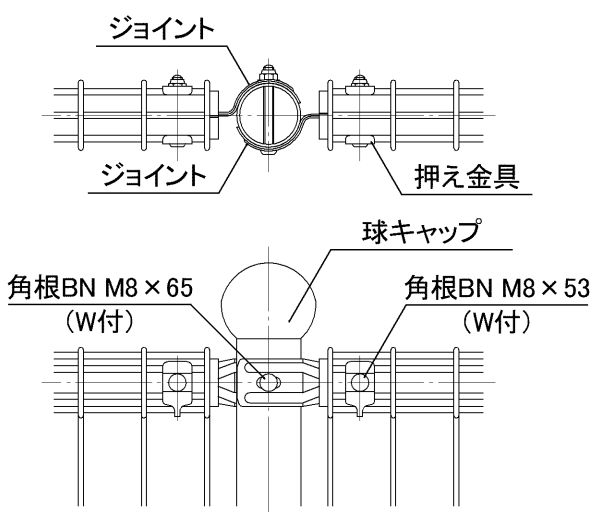
擁壁断面図 S:1/20



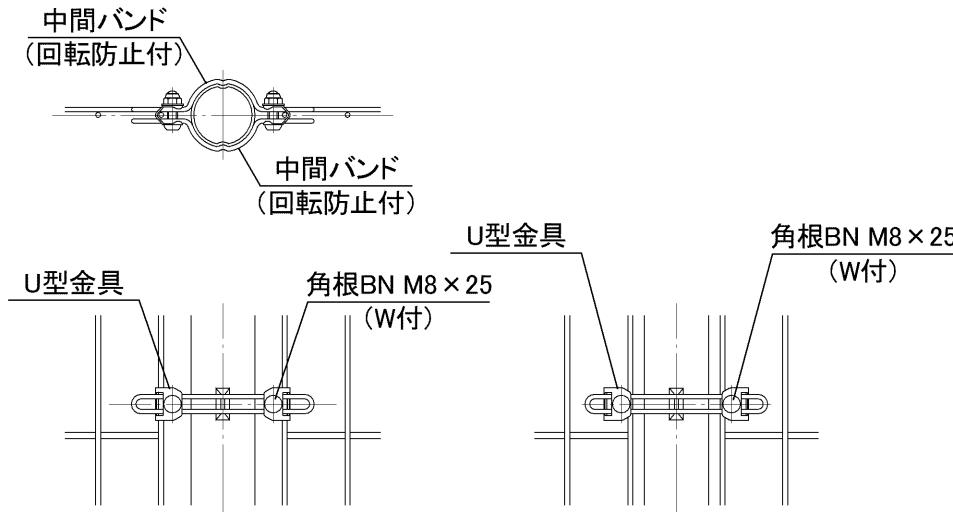
メッシュフェンス詳細図 S:1/20



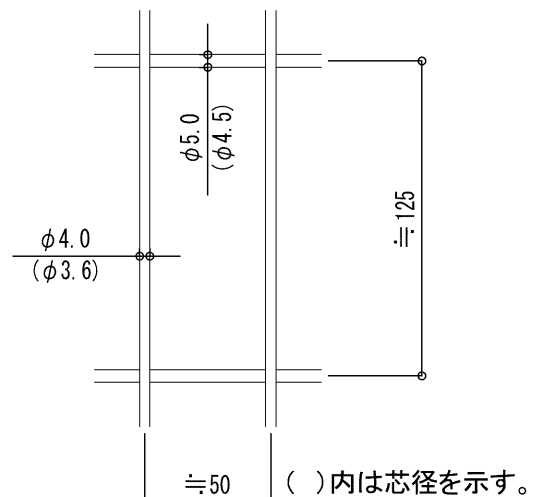
メッシュフェンス扉詳細図 S:1/20



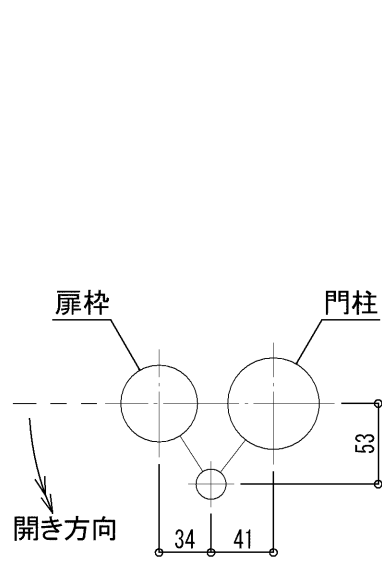
A部取付図 S:1/6



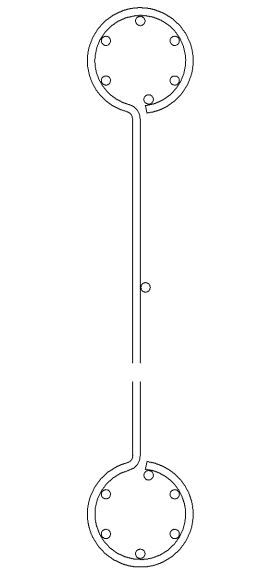
B部取付図 S:1/6



ワイヤメッシュ図



門柱・扉枠位置関係図



パネル断面図

訂正日付
図面は約70%縮小しています (A2→A3)

株式会社 浦野設計三重支社
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号

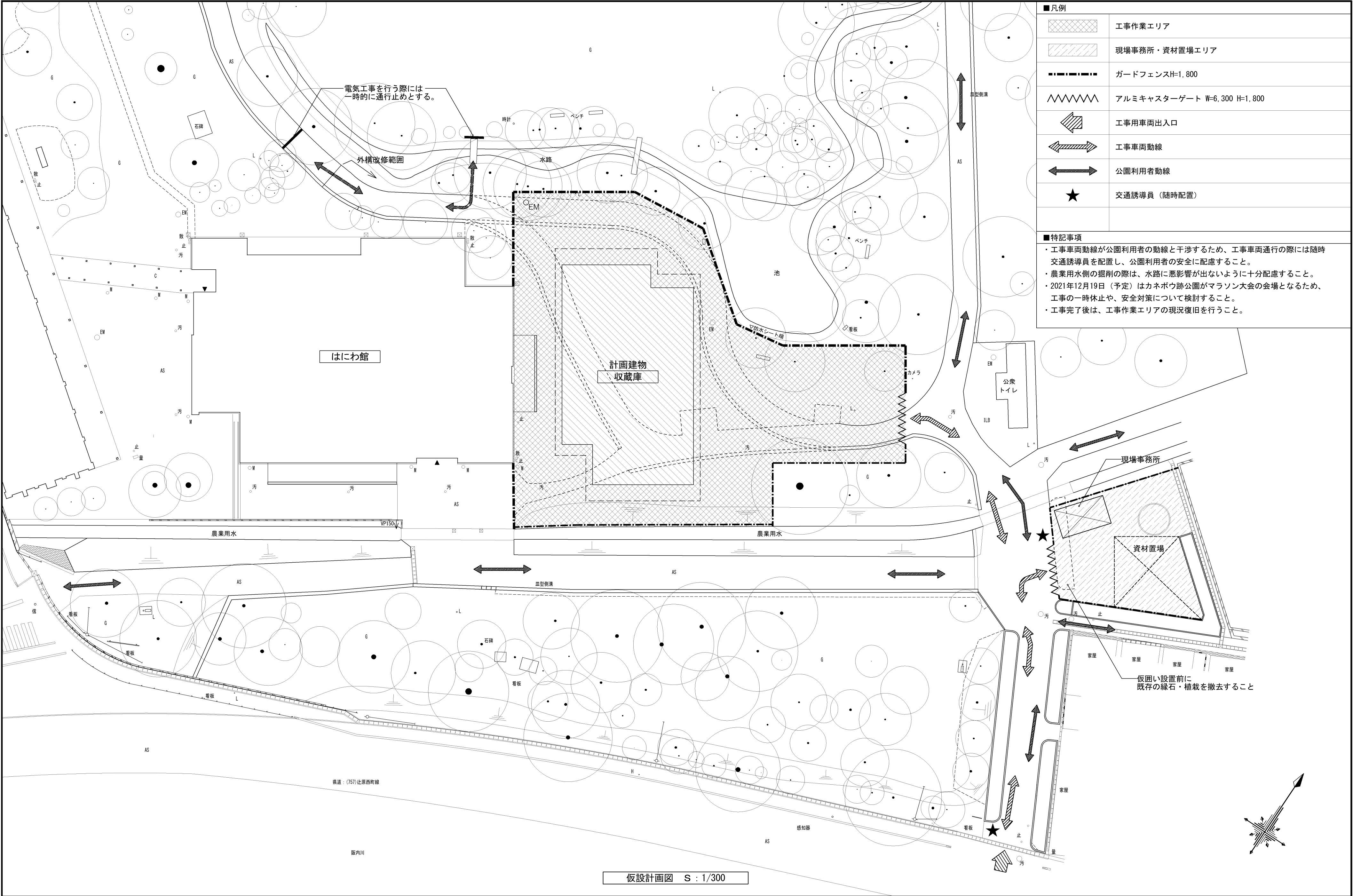
管理技術者
一級建築士
第333565号
江口 浩壽

担当者

設計番号
P 2 0 0 1 M
日付
2020. 10

工事名称
松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）
図面名称
外構詳細図 4
縮尺
図示

図面種別
A
図面番号
4 2



訂正日付					<div><div></div><div>株式会社 浦野設計三重支社</div><div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div></div>	管理技術者		担当者		設計番号	工事名称		図面種別
						一級建築士			P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		A	
						第333565号							
						江口 浩壽							
									日付	図面名称	縮尺	図面番号	
図面は約70%縮小しています（A2→A3）							2020. 10	仮設計画図（参考）	A2=1/300	4 3			

項目		区分	建 築	電 気	機 械	そ の 他	備 考
名 称	摘 要						
コンクリート 穴あけ	梁、壁木製型枠入れ	○					墨出し、補修除く
〃	梁、壁スリーブ入れ		○	○			ボイド等
〃	床スラブ木製型枠入れ	○					墨出し、補修除く
〃	床スラブスリーブ入れ		○	○			ボイド等
同上開口部 補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	○					
配管ダクト類の 防水貫通部補修		○					
ALCパネルの穴あ け、補修	ダクト等の貫通部	○					
PC板の穴あけ	スリーブ入れ	○					
同上補修		○	○	○			モルタル充てん等
インサート	PC板	○					
インサート	コンクリート床	○	○	○			
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	○					ボード切込、墨出し共
軽量鉄骨下地 開口部墨出し	電気関係開口部		○				照明器具等
〃	機械設備関係開口部			○			空調吹出口
軽量鉄骨下地 開口部補強	天井及び壁、ボード切開	○					照明器具、 空調吹出口、 給排気ガラリ等
開口部補強を 必要としない ボード等の切開		○	○	○			ボード切込、 墨出し共
特殊仕上材の 天井、壁、床に 取り付ける器具 等の穴あけ加工		○					石、金属パネル等
盤等重量物の 下地補強	露出形器具取付用	○					
床点検口	点検口取付及び、開口部補強	○					墨出し共
防火区画貫通部 補修		○	○	○			モルタル充てん等
機器・配管取付 後の壁、床等の 補修			○	○	○		
流し台	ステンレス製(含む排水金具)	○					水切板、同穴あけ共
同上用配管接続	給排水用			○			
同上水栓器具設置				○			
洗面器等取付 化粧板		○					
ルーフトレン		○					
立どい	防露工事共	○					第1樹までの配管
雨水排水管	第1樹から排水幹線までの 配管	○					※ 第1樹を含む
〃	幹線の配管	○					
生活排水	建物及び第1樹までの配管			○			第1樹までの配管
〃	第1樹から排水幹線までの 配管			○			※ 第1樹を含む
〃	幹線の配管			○			
大型機械基礎		○					
同上基礎上鉄骨 架台		○					
機器用 アンカーボルト	ボイラ、冷凍機等機械設備関 係機器			○			墨出し、型枠入れ共

項目		区分	建 築	電 気	機 械	そ の 他	備 考
名 称	摘 要						
機器用 アンカーボルト	自家発電機その他電気関係 機器			○			墨出し、型枠入れ共
一般機器類の 基礎	仕上げ共		○				
屋外自立盤の 基礎	仕上げ共		○	○			
屋外貯油槽	地下式				○		
共同溝	歩床コンクリート共		○				
建物、共同溝 接続トレンチ			○				
同上接続部 止水板				○			
各種槽類	コンクリート製		○				
〃	SUS、FRP、鋼製				○		
〃	屋外大型のものの基礎		○				
〃	屋上設置のものの基礎		○				
換気扇取付	ダクトのあるもの				○		天井扇等、機械室等
〃	壁、サッシ等への取付(材共)				○		フード取付共
同上用スイッチ	配線接続			○			
同上用電源	配線接続			○			
同上用枠 、取付板等	木製、アルミ製、鉄製		○				
全熱交換器					○		
同上用スイッチ	配線接続				○		
同上用電源	配線接続			○			
外壁取付ガラリ	給排気用		○				
内壁取付ガラリ			○				
ガラリへの 給排気ダクト接続					○		
煙感知器連動 防火戸			○				
同上用レリーズ	配管配線、ボックス共			○			
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共			○			
排煙防火ダンパー	リレー取付まで①				○		
煙感知器	リレー取付まで②			○			
連動シャッター				○			
煙感知器連動 防煙垂れ壁	リレー取付まで③			○			
上記①～③用 煙感知器	リレーまでの配管配線共			○			
道路側溝用排水	U型と管敷設		○				
制御盤	制御盤以降の配管、配線共			○	○		
同上接続 (一次側)	制御盤主開閉器までの配管 配線			○			接地共
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤				○		
屋内消火栓起動 リレー				○			
同上表示灯及び 起動装置				○	○		
自動火災報知器				○			
連結送水口	座板共				○		
独立煙突			○				
同上煙道	鋼板製				○		
同上雷保護設備				○			
配管配線用ビッド				○			
盤、配管、 ダクト、配線用 の二重床開口	フリーアクセスフロア等			○			

項目		区分	建 築	電 気	機 械	そ の 他	備 考
名 称	摘 要						
コンクリートシャフト 点検口			○				
天井フック			○				
機械室、 電気室の防音 遮音処理			○				
特殊サイズ鏡			○				
化粧用洗面器、鏡	化粧カウンターは除く				○		
雷保護設備				○			
保守管理用 タラップ、はしご			○				床下部
室内テレビ用吊金物			○				
テレビアンテナ	取付共			○			
同上用基礎				○			
グリストラップ及び ガリトラップ	コンクリート製 ステンレス鋼板製			○	○		
電動シャッターの 配管配線	二次側。操作盤、 押しボタン取付共			○			
同上配線配管、 接続	一次側(単相 100V)			○			
自動扉の 配管配線	二次側			○	○		
同上配線配管、 接続	一次側			○			
電気錠操作盤	読取装置共			○			
同上配管配線				○			
電気錠	配管配線、接続ボックスまで			○			
同上配線配管、 接続	操作盤～接続ボックスまで			○			
中央監視装置 本体	関係機器、関係機器間 配線を含む					○	別途工事
同上用電源配線	一次側					○	別途工事
同上用信号線	各機器から装置まで					○	別途接続ボックスまで
ユニットシャワー本体	据付共			○			
同上用配管配線	一次側接続まで。SWの取付配線				○		
同上用配管	接続まで				○		
冷蔵、冷凍、恒 温恒湿、シールド、 防音、無響室等 の内装	現場製作			○			
同上用配管	接続まで				○		
同上用照明・ コンセント	電源用配管、接続ボックス 共			○			
同上用電源配線	一次側接続まで			○			
冷蔵、冷凍、恒 温恒湿、シールド、 防音、無響室等 の内装	プレハブ型			○	○		
同上用配管	接続まで				○		
同上用照明 コンセント	電源配線配管、接続ボックス 共			○	○		
同上用電源配線	一次側接続まで			○			
芝生、種子吹付				○			
法枠、モルタル吹付け				○			
コンクリート擁壁				○			
植栽				○		○	別途工事
ガス消火設備	機器、ポンペ、感知器等 一式				○		
同上用電源	配線接続			○			

訂正日付	<div><div>株式会社 浦野設計三重支社 URANO ARCHITECTS & ENGINEERS 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div></div>	管理技術者		担当者		設計番号	工事名称		図面種別
		一級建築士			P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		A	
		第333565号			日付	図面名称	縮尺	図面番号	
		江口 浩壽			2020. 10	工事区分表	N S	4 4	
図面は約70%縮小しています（A2→A3）									

構造関係共通事項

1 総則

1. 1 適用範囲等
- (a) 構造関係共通事項は、構造関係の共通の事項と、構造関係共通図（配筋標準図）、構造関係共通図（鉄骨標準図）から構成される。
- (b) 構造関係共通図（配筋標準図）は鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。
- (c) 構造関係共通図（鉄骨標準図）は、鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。
- (d) 構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図）以外については、設計図及び監督職員の指示による。

1. 2 優先順位
- (a) 設計図書間で配筋方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
1. 特記仕様書（構造関係）
 2. 図面
 - 2-1 下記2-2以外の図面
 - 2-2 構造関係共通事項（配筋標準図、鉄骨標準図）
 3. 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」

1. 3 用語の定義
- (a) 異形鉄筋の径（本文、図、表において「d」で示す。）は、呼び名に用いた数値とする。
- (b) 長さ、厚さの単位は、特記なき限りmmとする。
1. 4 記号
- (a) 設計図中で使用する記号は、表Aを標準とする。

表A 鉄筋の断面表示

区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築		●	×	∅	●	○	⊙	⊗	⊕

構造関係共通図（配筋標準図）

1 鉄筋の加工

- (a) 鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所は、表1.1を標準とする。

表1.1 鉄筋の折曲げ形状及び寸法

折曲げ 角度	折 曲 げ 図	折曲げ内法直径 (D)		
		SD295A SD295B, SD345	SD390	SD390
		D16 以下	D19 ～D38	D19 ～D38
180°				
135°				
90°				
135° 及び 90° (幅止め筋)				

- (注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90° フック又は135° フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
2. 90° 未満の折曲げの内法直径は構造図による。

2 異形鉄筋の末端部

- (a) 次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。
- (1) 柱の四隅にある主筋（図2.1の●）で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合
- (2) 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端（図2.1の●）にある場合（基礎梁を除く）

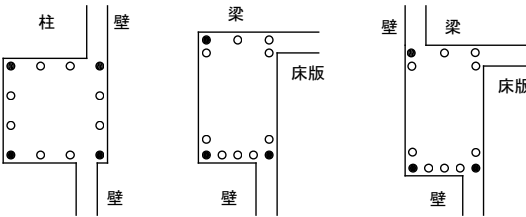


図2.1

- (3) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
- (4) 杭基礎のベース筋
- (5) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3 鉄筋の継手及び定着

3. 1 継手及び定着

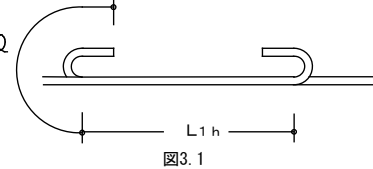
- (a) 鉄筋の重ね継手

- (1) 鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。
- (2) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- (3) 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40d（軽量コンクリートの場合は50d）と表3.1の重ね継手長さのうち大きい値とする。

表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	直線定着の長さ	
		L ₁ (フックなし)	L _{1h} (フックあり)
SD295A SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24 27	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24 27	40d	30d
SD390	18	50d	35d
	21	45d	35d
	24 27	40d	30d

- (注) 1. L₁、L_{1h}：フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合のL_{1h}は、図3.1に示すようにフック部分Qを含まない。



3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。
4. 上表中の40dは、構造計算ルートが「3」で係員の確認を得た場合は35dとすることできる。

- (4) 隣り合う継手の位置は、表3.2による。
- ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。
- なお、先組み工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所にはける場合は、構造図による。

表3.2 隣り合う継手の位置

	フックありの場合	フックなしの場合	圧接継手	機械式継手
重ね継手				
圧接継手	—	—		—
機械式継手	—	—	—	

- (b) 鉄筋の定着
- (1) 鉄筋の定着の長さは、表3.3による。

表3.3 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	直線定着の長さ			フックあり定着の長さ			
		L ₁	L ₂	L ₃	L _{1h}	L _{2h}	L _{3h}	L _{3h}
SD295A SD295B	18	45d	40d		35d	30d		
	21	40d	35d		30d	25d		
	24 27	35d	30d		25d	20d		
SD345	18	50d	40d		35d	30d		
	21	45d	35d		30d	25d		
	24 27	40d	35d		30d	25d		
SD390	18	50d	40d		35d	30d		
	21	50d	40d		35d	30d		
	24 27	45d	40d		35d	30d		

- (注) 1. L₁、L_{1h}：2. 以外の直線定着の長さ及びフックあり直線定着の長さ
2. L₂、L_{2h}：割製破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり直線定着の長さ
3. L₃：小梁及びスラブの下端筋の直線定着長さ。（基礎耐力スラブ及びこれを受ける小梁を除く。）
- なお、片持小梁及び片持スラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
4. L_{3h}：小梁の下端筋のフックあり直線定着長さ
5. フックあり定着の場合は、図3.2(イ)に示すようにフック部分Qを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
6. 軽量コンクリートを使用する場合は、表3.3の値に5dを加えたものとする。

- (2) 梁主筋の柱内定着の方法は図3.2による。
- なお、仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さLが、表3.3のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を表3.3に示す直線定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを表3.4に示す長さ（かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上、小梁の場合は1/2以上）をのみ定める。
- (注) 1. L_a、L_bは、表3.4の鉄筋の投影定着長さを示す。

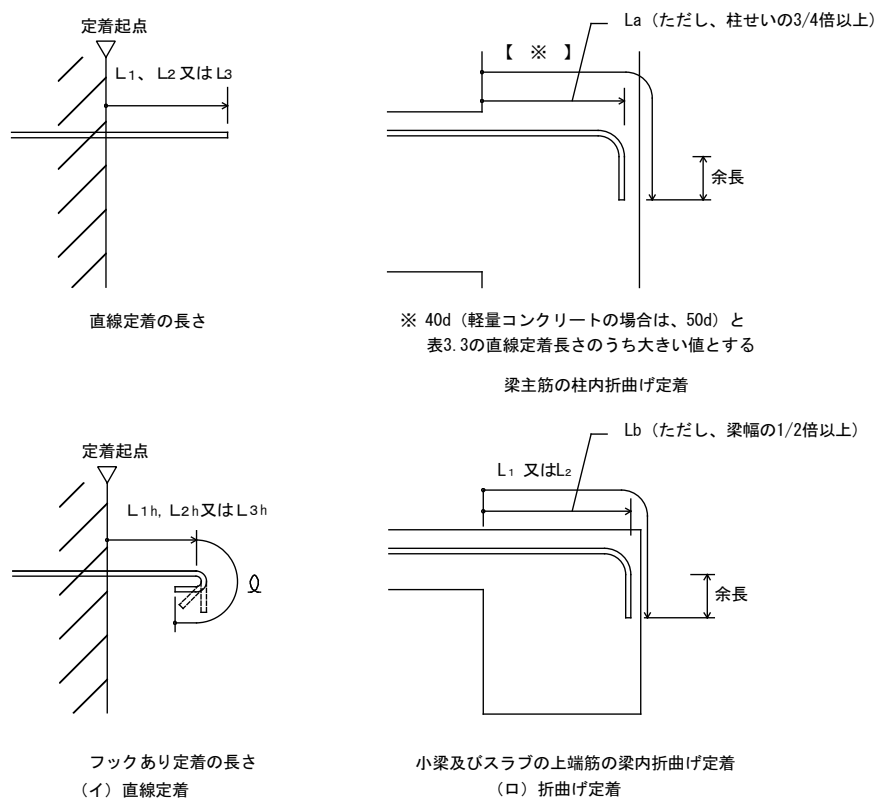


図3.2 定着の方法

表3.4 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L _a	L _b
SD295A SD295B	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24 27	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	15d
	24 27	15d	15d
SD390	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24 27	20d	15d

- (注) 1. L_a：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。）
2. L_b：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。
4. 上表(L_a)を確保できない場合、かつ係員が承諾した場合には「12. 付 鉄筋の必要定着長さ」を適用する事ができる。

- (c) その他の鉄筋の継手及び定着

- (1) 溶接金網の継手及び定着は、図3.3による。
- なお、L₁は表3.1に、L₂及びL₃は表3.3の（注）による。

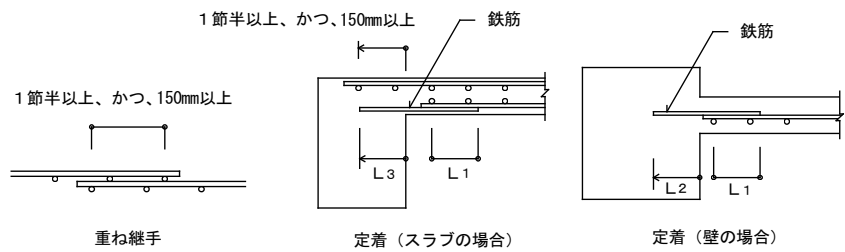


図3.3 溶接金網の継手及び定着

- (2) スパイラル筋の継手及び定着は、図3.4による

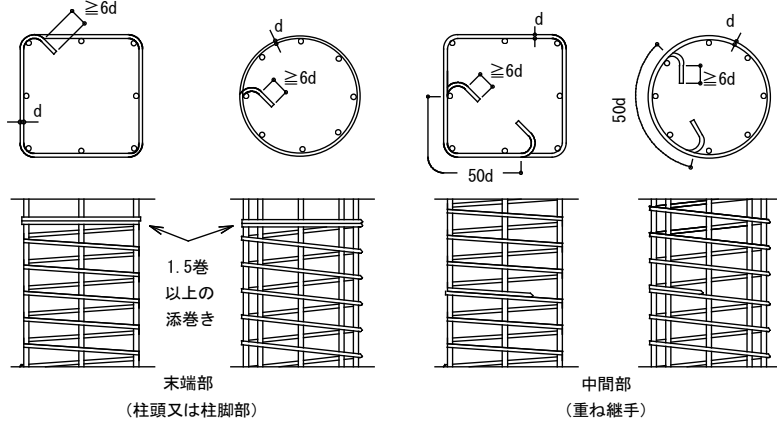


図3.4 スパイラル筋の継手及び定着

4 鉄筋のかぶり及び間隔

4. 1 最小かぶり厚さ

- (a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。
- ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ(単位：mm)

構造部分の種類				最小かぶり厚さ
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり		20
		仕上げなし		30
	柱、梁、耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
	擁壁、耐圧スラブ			40
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁			* 40
	基礎、擁壁、耐圧スラブ			* 60
	煙突等高熱を受ける部分			60

- (注) 1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は構造図による。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、構造図による。

- (b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。
- (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
- (d) 鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。

ただし、特殊な鉄筋継手の場合はあきは、構造図による。

- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 25mm
- (3) 隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）の1.5倍

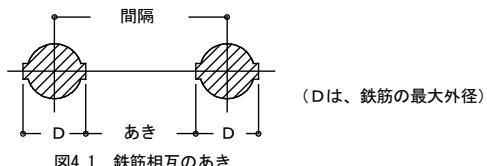


図4.1 鉄筋相互のあき

- (e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは（d）による。
- (f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり、厚さは（c）による。

5 基礎及び基礎梁の配筋

5. 1 基礎梁主筋の継手、定着及び余長

- (a) 一般事項
- (1) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部等では折り曲げて定着する。
- (2) 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1（a）（2）による。

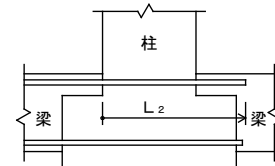
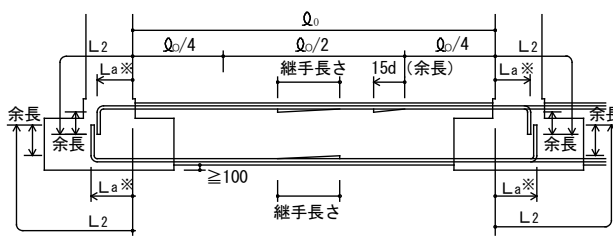


図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

- (b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長



- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
- ※ 原則として柱せいの3/4以上とする。

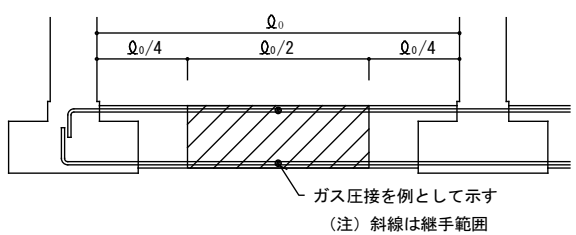
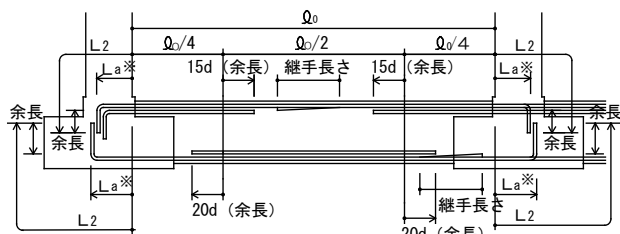


図5.2 主筋の継手、定着及び余長（その1）

(c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長
ただし、耐圧スラブが付く場合は、(d)による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ 原則として柱せいの3/4以上とする。

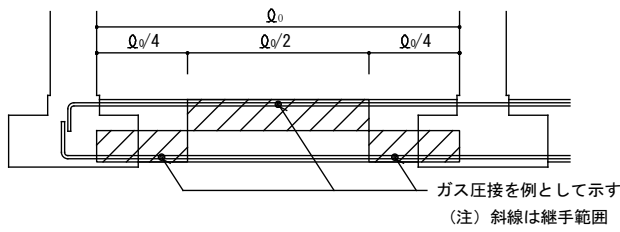
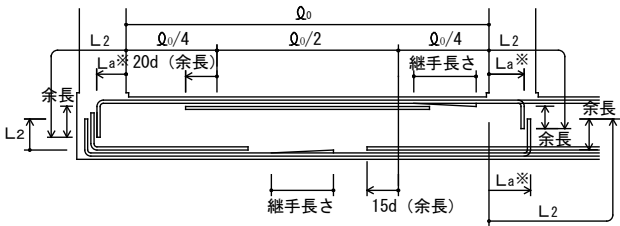


図5.3 主筋の継手、定着及び余長 (その2)

(d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ 原則として柱せいの3/4以上とする。

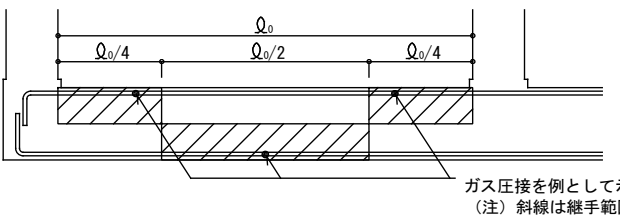


図5.4 主筋の継手、定着及び余長 (その3)

5. 2 基礎梁のあばら筋

(a) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(a)による。ただし、梁の上下にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。

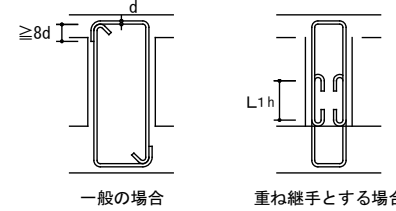
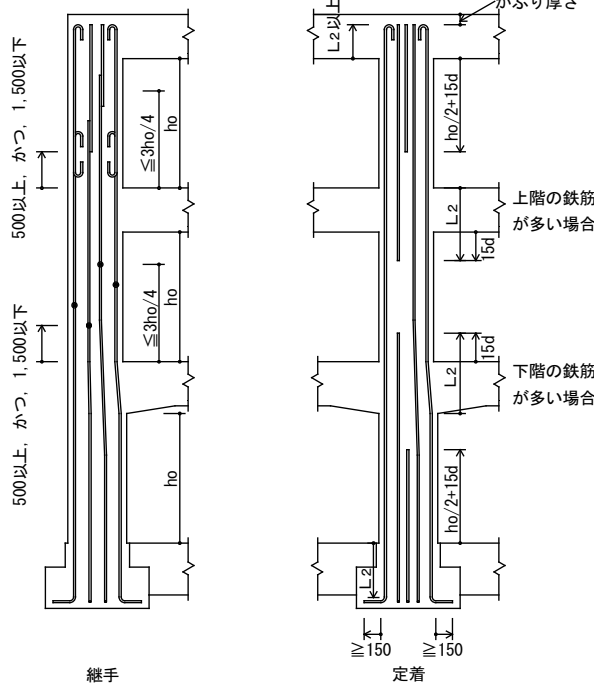


図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置

6 柱の配筋

6. 1 柱主筋の継手、定着及び余長

(a) 柱主筋の継手、定着及び余長の一般事項
(1) 継手の中心位置は、梁上端から500mm以上、1500mm以下、かつ、 $3h/4$ (h は柱の内法高さ) 以下とする。
(2) 継手、定着及び余長の図は、図11による。ただし、柱頭定着長さ L_2 を確保できない場合は構造図による。



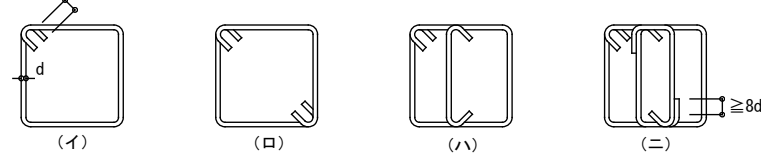
- (注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上層の柱頭にある場合には、フックを付ける。
2. 隣り合う継手の位置は、表3.2による。

図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

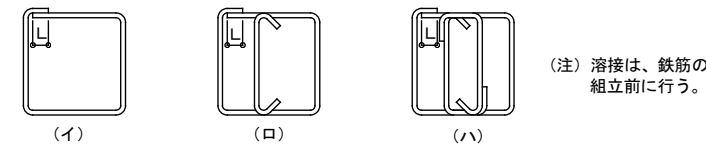
6. 2 帯筋組立の形及び割付け

(a) 帯筋の種類及び間隔は、構造図による

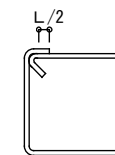
① H形



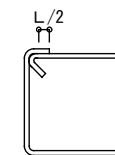
② W-I形 (溶接を行う)



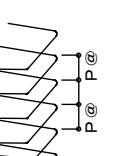
③ W-II形



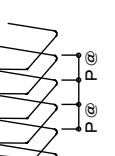
④ W-III形



④ S P形 (スパイラル筋)



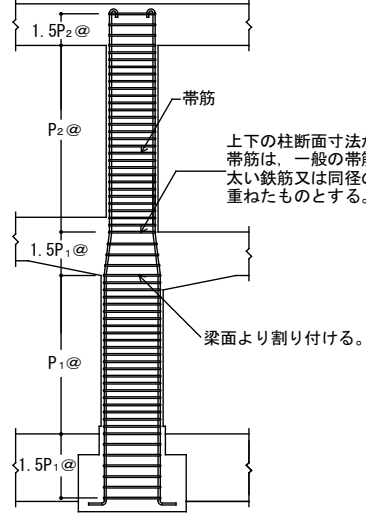
④ 丸形



- (注) 1. フック及び継手の位置は、交互とする。
2. 溶接する場合の溶接長さ L_h は、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。
3. S P形において、柱頭及び柱筋の端部は1.5巻以上の添巻きを行う。
4. H形の135° 曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。

図6.2 帯筋組立の形

(b) 帯筋の割付けは、図6.3による。



- (注) 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を $1.5P_1$ @または $1.5P_2$ @とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。
なお、 P_1 @、 P_2 @は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.3 帯筋の割付け

6. 3 柱の打増し部

(a) 土に接する柱周囲の打増しは図6.4による。

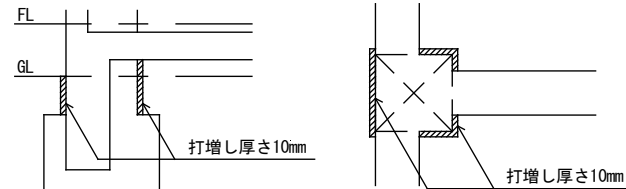


図6.4 柱打増し部

(b) 打増し補強

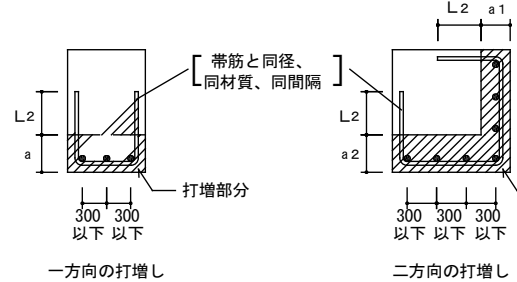


図6.5 柱の増打ち補強配筋

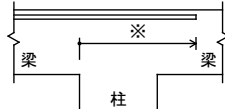
1. 柱の打増幅 (a、a1、a2) が70mm以上の場合は補強を示す。
2. 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さは L_2 とする。
3. 軸方向の補強筋間隔は300mm以下とする。

7 梁の配筋

7. 1 大梁 (5.1基礎梁以外の大梁に限る) 主筋の継手、定着及び余長

(a) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- (1) 梁主筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部等では折り曲げて定着する。



※ 40d (軽量コンクリートの場合は、50d) と表3.3のフックなし直線定着長さのうちの大きい値とする

図7.1 梁主筋の梁内定着

- (2) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
なお、定着の方法は、3.1(b) (2)による。

上端筋：曲げ降ろす。
下端筋：原則として曲げ上げる。

- (3) 段違い梁は、図7.2による。

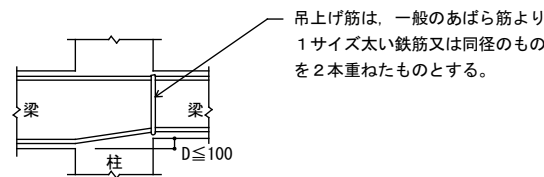
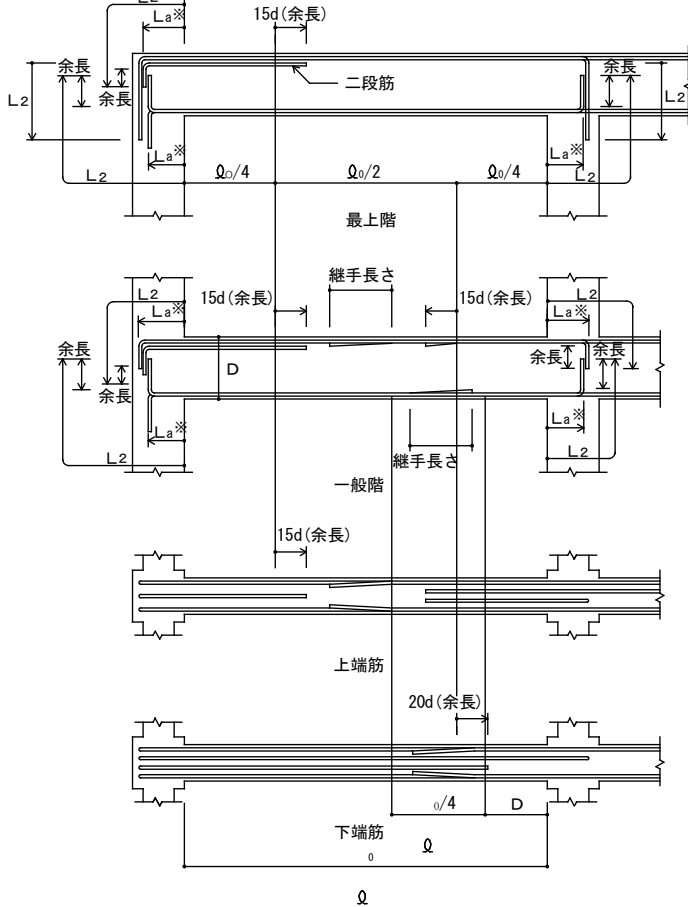


図7.2 段違い梁

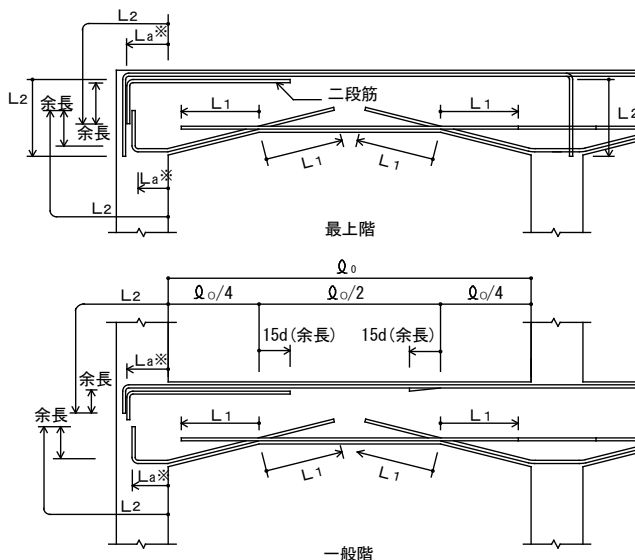
(b) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長



- (注) 1. 継手中心位置は次による。
上端筋：中央 $Q_0/2$ 以内
下端筋：柱面より梁せいの (D) 以上離し、 $Q_0/4$ を加えた範囲以内
2. 異形鉄筋の末端部 (2) で定めた鉄筋には、フックを付ける。
3. 印は、継手及び余長を示す。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ 原則として柱せいの3/4以上とする。

図7.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

(c) ハンチのある場合の重ね継手、定着及び余長

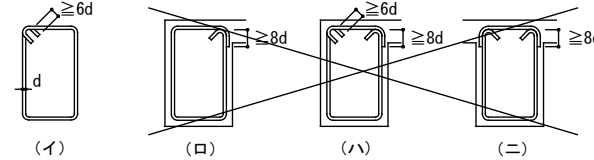


- (注) 1. 2. 異形鉄筋の末端部 (2) で定めた鉄筋には、フックを付ける。
3. 印は、継手及び余長を示す。
4. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、のように引き通すことができる。
5. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ 原則として柱せいの3/4以上とする。

図7.4 ハンチのある大梁の定着及び余長

7. 2 あばら筋 (5.2基礎梁のあばら筋以外に限る) の組立の形及び割付け等

(a) あばら筋組立の形及びフックの位置

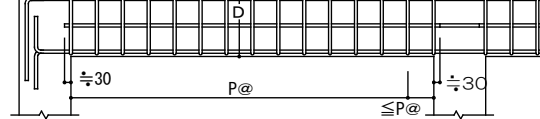


- (注) 1. (イ) 形を標準とする。ただし、L形梁の場合は、(ロ) 又は (ハ)、T形梁の場合は、(ロ) ~ (ニ) とすることができる。
2. フックの位置は、(イ) の場合は交互とし、(ロ) の場合は、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。なお、(ハ) の場合は床板の付く側を90° 折り曲げとする。

図7.5 あばら筋組立の形

(b) あばら筋の割付け

(1) 間隔が一樣で、ハンチのない場合



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中の P @ は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図7.6 あばら筋の割付け (その1)

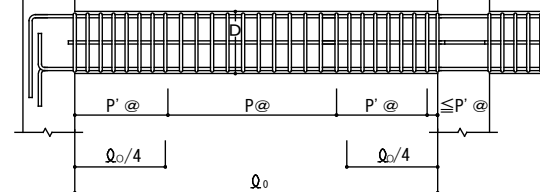
(2) 間隔が一樣で、ハンチがある場合



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置及びハンチに切り替わる位置から割り付ける。
2. 図中の P @ は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図7.7 あばら筋の割付け (その2)

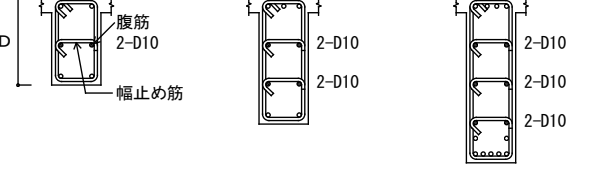
(3) 梁の端部で間隔の異なる場合



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中の P @、 P' @ は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図7.8 あばら筋の割付け (その3)

(c) 腹筋及び幅止め筋

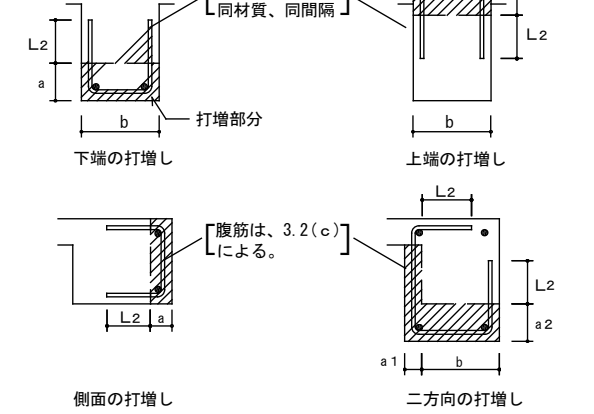


- (注) 1. 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、1500mm程度とし、柱等への、のみこみ長さは図7.6による。
2. 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000@程度とする。

図7.9 腹筋及び幅止め筋

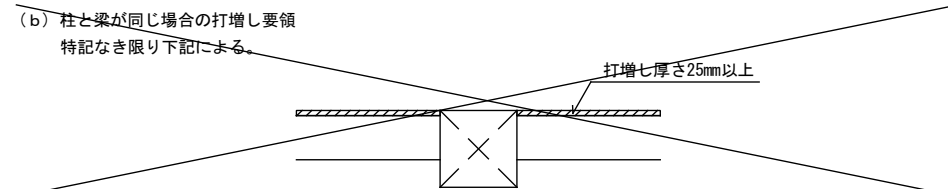
7. 3 梁の増し打ち補強

(a) 打増し補強



1. 梁の増打ち幅 (a、a1、a2) が70mm以上の場合は補強を示す。
2. あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同径、同材質、同間隔とし、定着長さは L_2 とする。

図7.10 梁の増打ち補強配筋



訂正日付	管理技術者	構造設計 1 級建築士	担当者	設計番号	工事名称	図面種別
	一級建築士	加藤 匠		P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事 (建築)	S
	第333565号	2209号		日付	図面名称	図面番号
	江口 浩壽	1 級建築士		2020. 10	構造関係共通事項-2	0 3
		第112811号			縮尺	
					N. S	

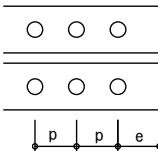
構造関係共通図(鉄骨標準図)

1 縁端距離及びボルト間隔等

(1) 縁端距離及びボルト間隔
縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、特記による。特記がなければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。また、アンカーボルトの縁端距離は特記による。

表1.1 縁端距離及びボルト間隔 (単位: mm)

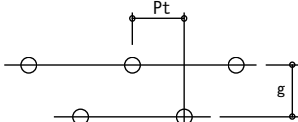
ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12	40	60
M16		
M20		
M22		
M24	45	70



(2) 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔
千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

表1.2 千鳥のゲージ及びボルト間隔 (単位: mm)

ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔 Pt		
	ねじの呼び		
	M12, M16, M20, M22	M24	
35	50	65	
40	45	60	
45	40	55	
50	35	50	
55	25	45	
60	-	40	



(3) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径
形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

表1.3 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径 (単位: mm)

A又はB	A		B		C		D		E	
	g ₁	g ₂	最大軸径	B	g ₁	g ₂	最大軸径	B	g ₁	最大軸径
45	25		12	100	56		16	50	30	12
50	28		16	125	75		16	65	35	20
60	35		16	150	90		22	70	40	20
65	35		20	175	105		22	75	40	22
70	40		20	200	120		24	80	45	22
75	40		22	250	150		24	90	50	24
80	45		22	300	150	40°	24	100	55	24
90	50		24	350	140	70	24			
100	55		24	400	140	90	24			
125	50	35	24	※1 千鳥打ちとした場合						
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

(4) ボルト記号

表1.4 高力ボルト径の記号

区分	径	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト (F10T, S10T)		●	◆	◆	◆	◆
溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当)						

表1.5 普通ボルト径の記号

区分	径	M12	M16	M20	M22	M24
普通ボルト		○	○	○	○	○

2 溶接記号

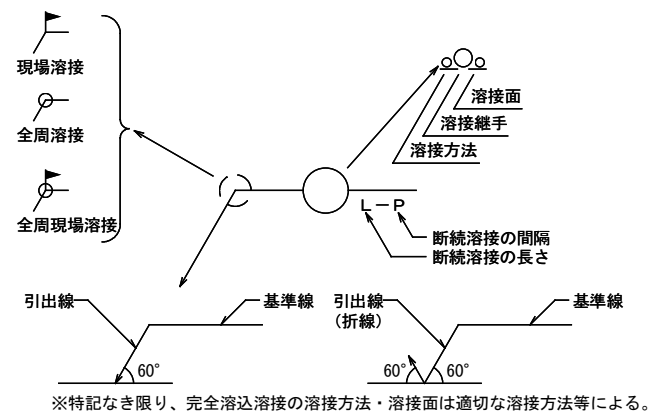
設計図中で使用する記号は、表2.1、表2.2、図2.1を標準とする。

表2.1 溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類記号

分 類			記 号
溶 接 方 法	アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接、セルフシールドアーク半自動溶接		H
	サブマージアーク自動溶接		A
	エレクトロスラグ溶接		E
	溶 接 継 手	完全溶込み溶接	突合わせ継手
T型継手			T
かど継手			L
隅肉溶接			F
		部分溶込み溶接	
フレア溶接			F L
溶 接 面		片面溶接	
	両面溶接		2

表2.2 溶接の補助記号

区 分	補 助 記 号
現 場 溶 接	▲
全 周 溶 接	○
全 周 現 場 溶 接	○▲
断続溶接の長さ及び間隔	L-P



※特記なき限り、完全溶込溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。

図2.1 溶接記号の記載例

3 溶接継手の種類別開先標準

突合わせ継手の開先標準

(単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 22	
19 < t ≤ 40		22 < t ≤ 40	

T型継手の開先標準

(単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 22	
19 < t ≤ 40		22 < t ≤ 40	

部材が直交しない場合の開先標準

(単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	19 < t ≤ 40
6 < t ≤ 40	6 < t ≤ 19	19 < t ≤ 40

かど継手の開先標準

(単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 19	
19 < t ≤ 40		19 < t ≤ 40	

隅肉溶接の開先標準

(単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	16 < t ≤ 40
t ≤ 16		t ≤ 16

隅肉溶接のサイズ

(単位: mm)

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
S	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

※ パネルゾーン内の隅肉サイズは板厚と同サイズとする

※ 柱梁接合部の梁ウェブの溶接サイズはs=tとする。

部分溶込み溶接の開先標準

(単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
12 ≤ t ≤ 40	16 ≤ t ≤ 40

フレア溶接の開先標準

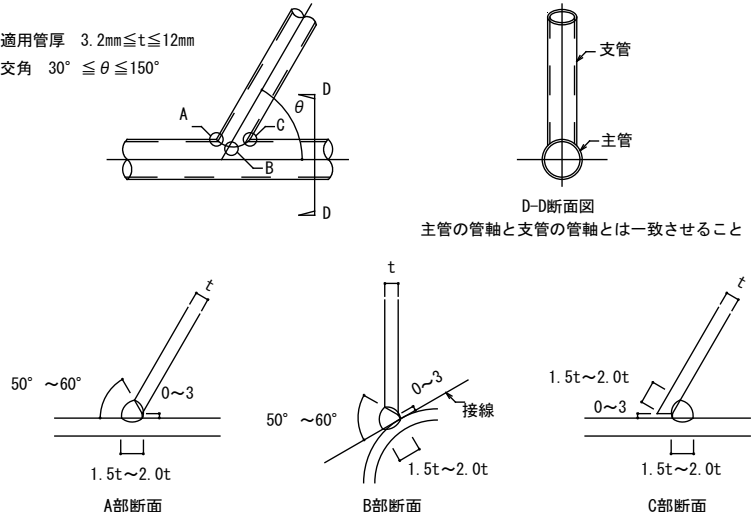
(単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)			
1 (丸鋼等片面溶接)	2 (丸鋼等両面溶接)	3 (軽量形鋼V形溶接)	4 (軽量形鋼レ形溶接)
d/2, d/2	d/2, d/2	t ≥ 3のときS=t t < 3のときS=3	t ≥ 3のときS=t t < 3のときS=3

4 鋼管分岐継手

自動機械により開先加工を行う場合はこの限りではない。

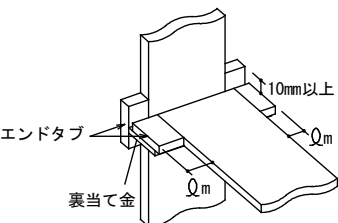
(単位: mm)



5 鉄骨溶接施工

(1) エンドタブ等

①エンドタブの形状は母材と同厚・同開先のものとする。



エンドタブの長さ (単位: mm)	
溶接方法	Q m
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

②エンドタブは、母材と同等とする。

③エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ端から1〜5mm残して、部材断面を欠損しないように直線状に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。

(2) 裏当て金の溶接

①裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置に行ってはならない。
②完全溶込み位置溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内部に設置する。
裏当て金の鋼種、引張り強さによる区分は、母材と同等とする。

裏当て金の厚さ (単位: mm)	
溶接方法	t
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

溶接のサイズ (単位: mm)	
裏当て金の厚さ	S
t ≤ 9	5
t > 9	9

(3) その他

①スプライスプレートの材質、鋼種、引張り強さによる区分は、母材と同等とする。
②フィラープレートの材質は、SS400とする。

訂正日付

株式会社 浦野設計三重支社
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号

管理技術者

一級建築士
第333565号
江口 浩壽

構造設計 1級建築士

加藤 匠
2209号
1級建築士
第112811号

担当者

設計番号

P 2 0 0 1 M
日付
2020. 10

工事名称

松阪市文化財センター収蔵庫新築工事 (建築)
図面名称
構造関係共通事項-5

縮尺

N.S

図面種別

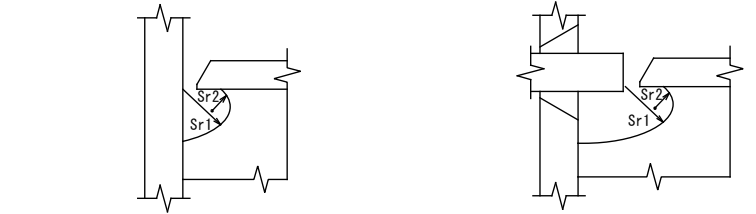
S

図面番号

06

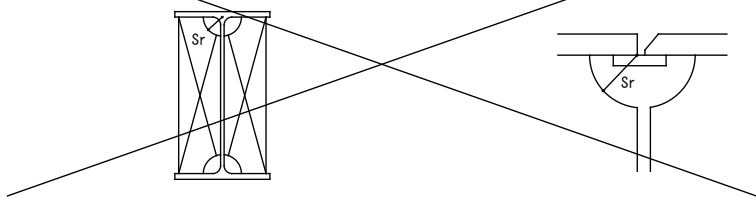
図面は約70%縮小しています (A2→A3)

- (3) スカラップ
- ノンスカラップとする。ただし係員の確認を得た場合は下記とする。
- 改良型スカラップ
- ①スカラップ半径Sr1は35mmとする。Sr2は10mmとする。
- ②スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。

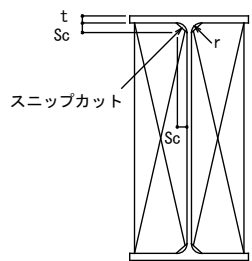


従来型スカラップ

①スカラップ半径Srは35mmとする。



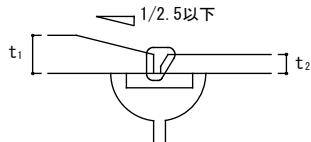
- (4) スニップカット
- ①スニップカット部は溶接により埋めるものとする。



スニップカットの寸法 (単位: mm)					
t	6	9	12	16以上	
Sc	10	12	14	15	

※ ただし、既製形鋼のスニップカットについては、
Sc=r+2により求めるものとする。

- (5) 溶接部分の段差
- ①完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段違いが10mmを超える場合

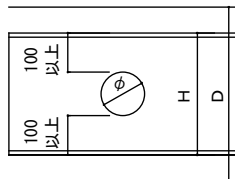


- (6) 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス間温度 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
	JIS Z 3214		
	YGA-50W, 50P		
490N級鋼	JIS Z 3212	40以下	350以下
	YGW-11, 15	30以下	250以下
	YGW-18, 19	40以下	350以下
	JIS Z 3214		
	YGA-50W, 50P		
520N級鋼	YGW-18, 19	30以下	250以下
400N級STKR, BOR及びBCP	YGW-11, 15	30以下	250以下
	YGW-18, 19	40以下	350以下
490N級STKR, 及びBCP	YGW-18, 19	30以下	250以下

6 梁貫通孔補強

- (1) 鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部材に貫通孔を設ける場合で貫通孔部分を補強する場合に適用する。
- (2) 貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。
- (3) 貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で2倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で3倍以上確保する。
- (4) 梁貫通孔位置の限度は以下による。



H : 鉄骨せい
D : はりせい
φ : 貫通孔内径寸法
(φ ≤ H/2かつφ ≤ D/3)

※ 梁端に貫通孔を設ける場合は、原則として、
梁端から貫通孔の中心まで1.2D以上離し、
梁継手位置等にも留意する。

梁貫通孔位置の限度 (単位: mm)

補強プレート法

$$tp \geq \frac{(\phi + 2ts) * tw}{H - 2tf - 140 - \phi - 2ts}$$

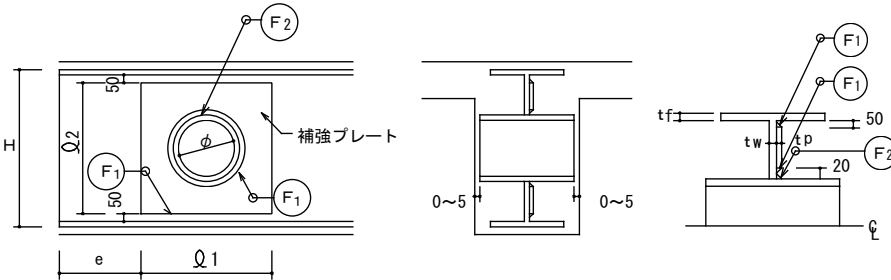
ts : 鋼管スリーブ厚 (mm)
φ : 貫通孔内法寸法 (mm)
H : 梁せい (mm)

補強トラス法

$$tr \geq \frac{2}{3} \left(\frac{\phi + 2ts}{B - tw} \right) tw$$

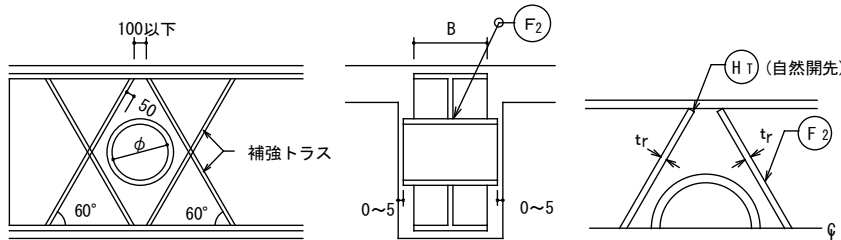
ts : 鋼管スリーブ厚 (mm)
tw : ウェブ厚さ (mm)

補強プレート法



Q1は3φまたはQ2のうち小さい方とする。(e ≥ Hとする)
e : 材端と補強プレートとの間隔

補強トラス法



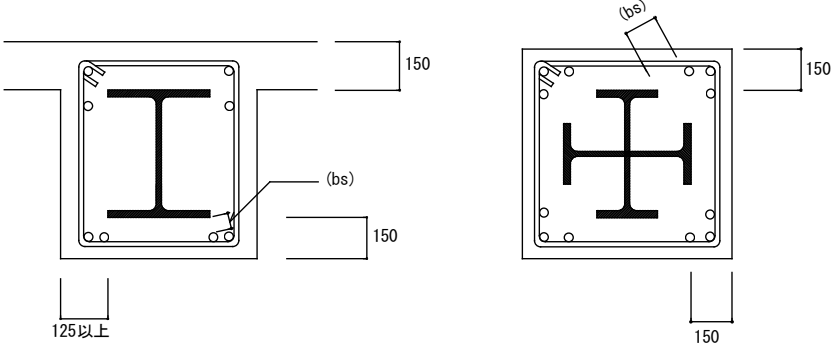
7 広幅平鋼の取り扱い

- (1) BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スライスプレートは、PL表記であってもFB又はPLとする。
- (2) BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スライスプレートの適用幅及び厚さは下表による。

幅	厚さ										
	6	9	12	16	19	22	25	28	32	36	40
100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
125	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
150	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
250	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
300	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
350	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
400	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
450	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
500	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

8 鉄骨と鉄筋コンクリート部分の取合い

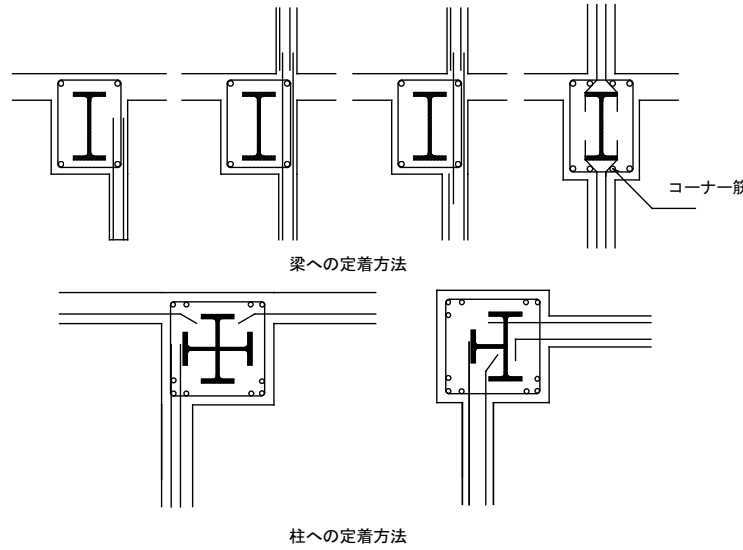
- (1) 鉄骨のかぶり厚さ
- 鉄筋と鉄骨相互のあき (bs) は、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上とする。



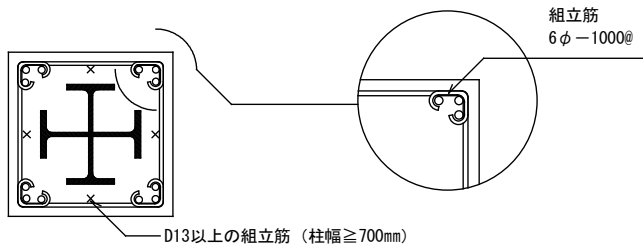
梁の場合

柱の場合

- (2) 壁筋の周辺部材への定着
- 鉄筋を折り曲げる場合は、鉄筋の呼び名の数値の10倍以上直線に定着後、緩やかに折り曲げる。

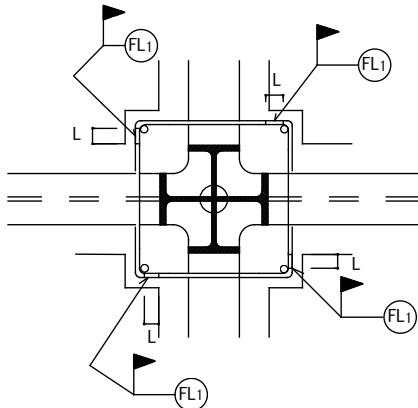


- (3) 柱組立筋



- (4) 仕口部内の帯筋の加工及び組立

方面溶接の有効長さ (L) は、鉄筋の呼び名の数値の10倍以上とする。ただし、溶接によらない場合は135° 曲げフックとする。



- (5) 鉄筋貫通孔の径及び位置

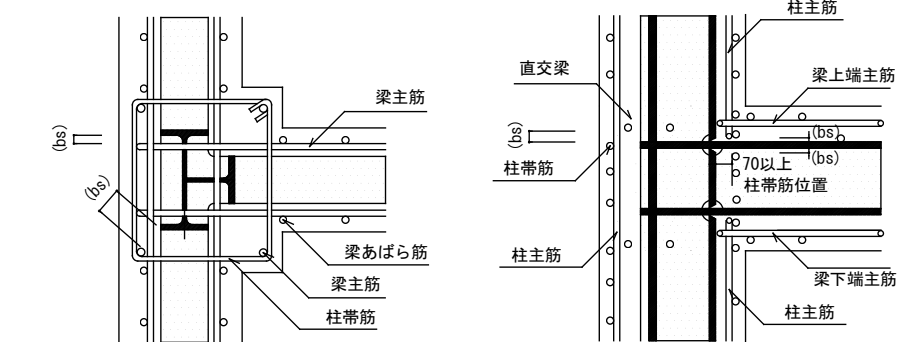
鉄筋貫通孔の径

①主筋の鉄筋貫通孔は、右表による。

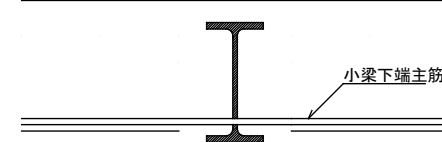
②鉄骨フランジには、鉄筋貫通孔を設けないものとする。

鉄筋の呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
	21	24	28	31	35	38	43	46

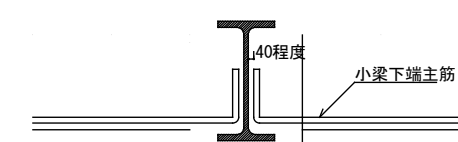
鉄筋貫通孔の位置 (単位: mm)



小梁下端主筋が貫通する場合

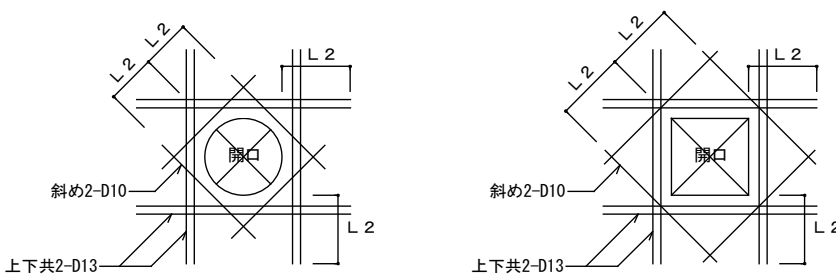


小梁下端主筋が貫通しない場合 (単位: mm)

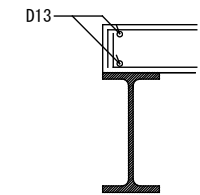


9 スラブの納まり

- (1) 鉄骨柱廻り補強要領



- (2) 外端部



担当者

工事名称

松阪市文化財センター収蔵庫新築工事 (建築)

図面名称

構造関係共通事項-6

縮尺

N.S

図面種類

S

図面番号

07

ボーリング No.1 1/150

ボーリング柱状図

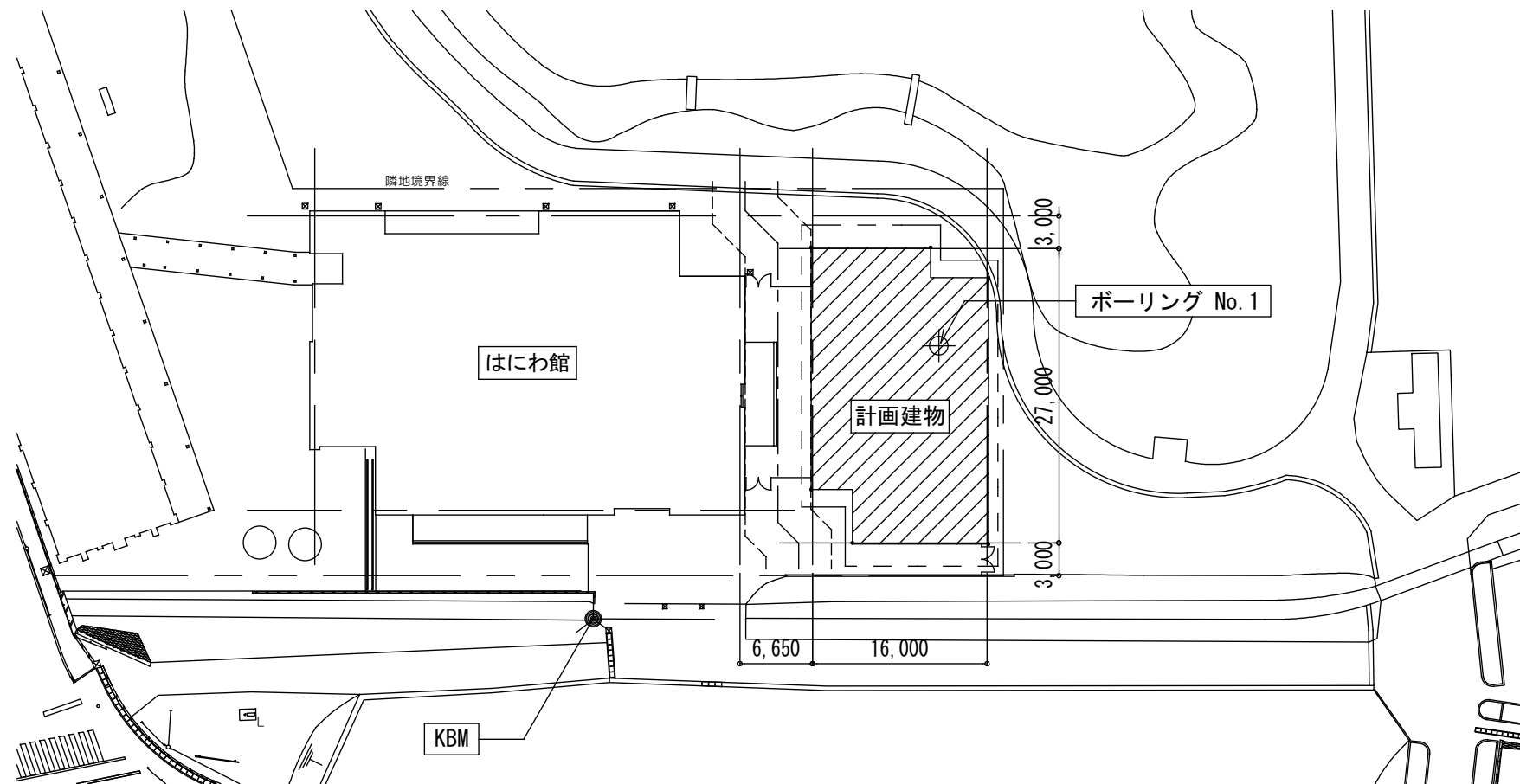
調 査 名 文化財センター収蔵庫新築工事設計業務委託(地質調査)

[illegible]

事業・工事名

シート No

ボーリング名	No.1		調査位置		松阪市 外五曲町 地内				北緯	緯度	
発注機関	松阪市 建設部 営繕課		/	株式会社浦野設計	調査期間	令和 2 年 6 月 15 日 ～ 2 年 6 月 19 日				東経	経度
調査業者名	協和地産株式会社 (0958-51-5061)		主任技師	森 理	現代理人	時岡 智之	アラ定者	森 理	ボーリング責任者	一力 雅秀	
孔 口 標 高	KBM +0.18m	角 180° 150° 90° 0°	北 0° 150° 90° 0°	地盤 地質 地層 地配	使用 機種	試 験 機	KR-100P-E	ハンマー 落下用具	半自 動落下装置		
総 掘 進 長	28.43m	度	向	向	エ ン ジ ン	PF90V-E	ボ ン プ		V5-P		

[illegible]

調査位置図 N. S

- KBM = +10.00
- 設計GL = KBM

訂正月付

 株式会社 浦野設計三重支社
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS
一般建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号

管理技術者

一級建築士

第333565号

江口 浩壽

構造設計 1 級建築士

加藤工匠

2209号

第112811号

担当者

設計番号

P 2

目付

工事名称

松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）

图面名称	
------	--

土質柱状図

縮尺

A2:1/150

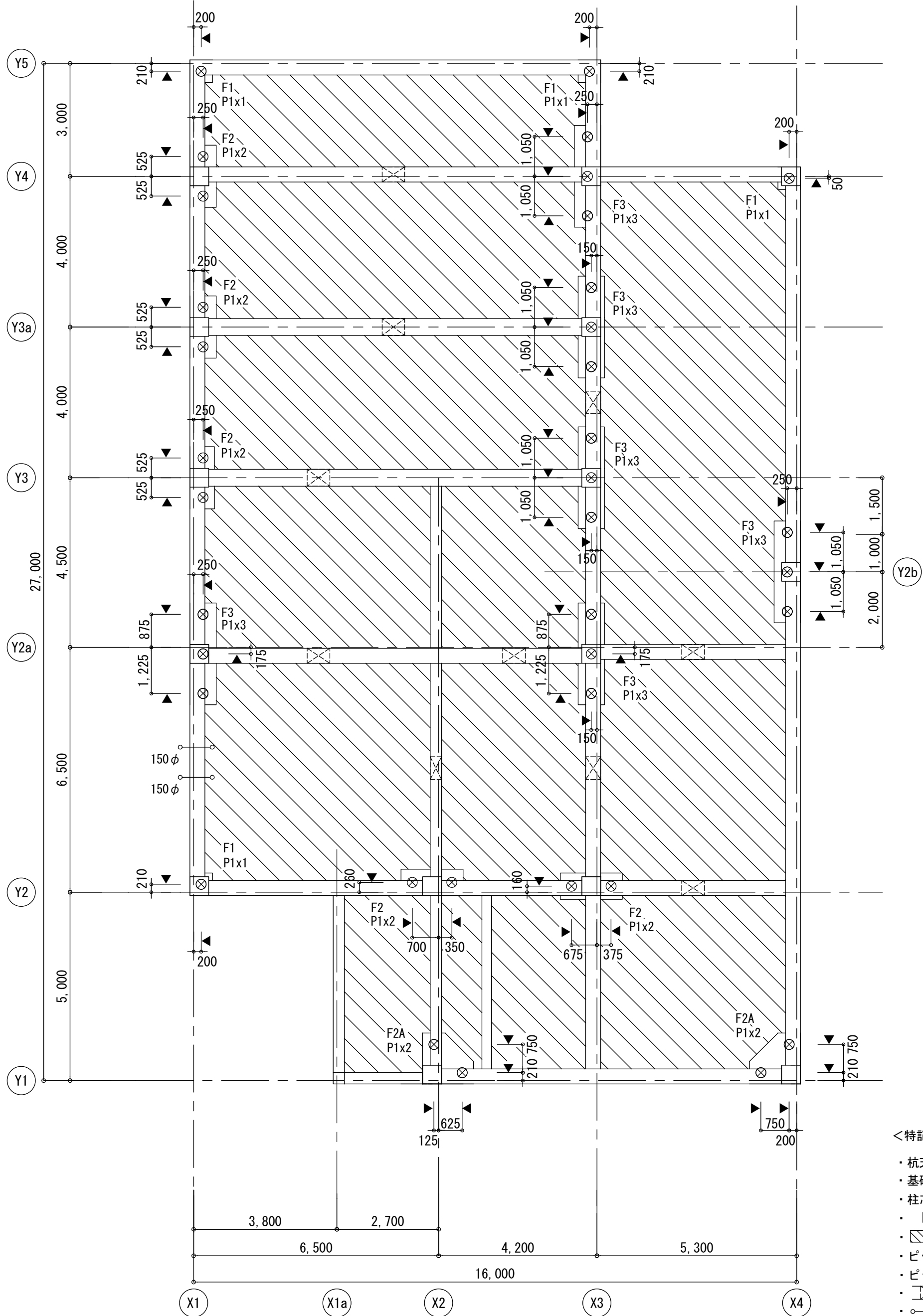
図面種別

S

図面番号

8

図面は約70%縮小しています (A2→A3)



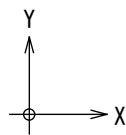
- 共通事項
- ・コンクリート 躯体 : Fc24
土間 : Fc21
捨て : Fc18
 - ・鉄筋 D10～D16 : SD295A
D19～D25 : SD345
 - ・鉄骨 H形鋼 : SN400B
角形鋼管 : STKR400
鋼板 : SN400B・SN490C
軽量形鋼 : SSC400
 - ・錆止塗装 : JIS K 5674
 - ・高力ボルト : トルシア形高力ボルト (S10T)
 - ・アンカーボルト : SNR400B
 - ・中ボルト : 強度区分 4.6

杭リスト 羽付鋼管杭回転貫入工法
(N-ECSパイル工法 (大臣認定工法 TAOP-0584) 又は同等工法以上)

符 号		P1 ⊗
上 杭	径 x 厚	267.4x12.7
	杭 長	4.00m
	材 質	STK490
中 杭 1・2	径 x 厚	267.4x8.0
	杭 長	6.0m+6.0m
	材 質	STK490
下 杭	径 x 厚	267.4x8.0
	杭 長	6.00m
	材 質	STK490
先端仕様	羽根径	606.0
	板厚	28
	材質	SM490A
杭全長		22.0m
長期支持力		720kN

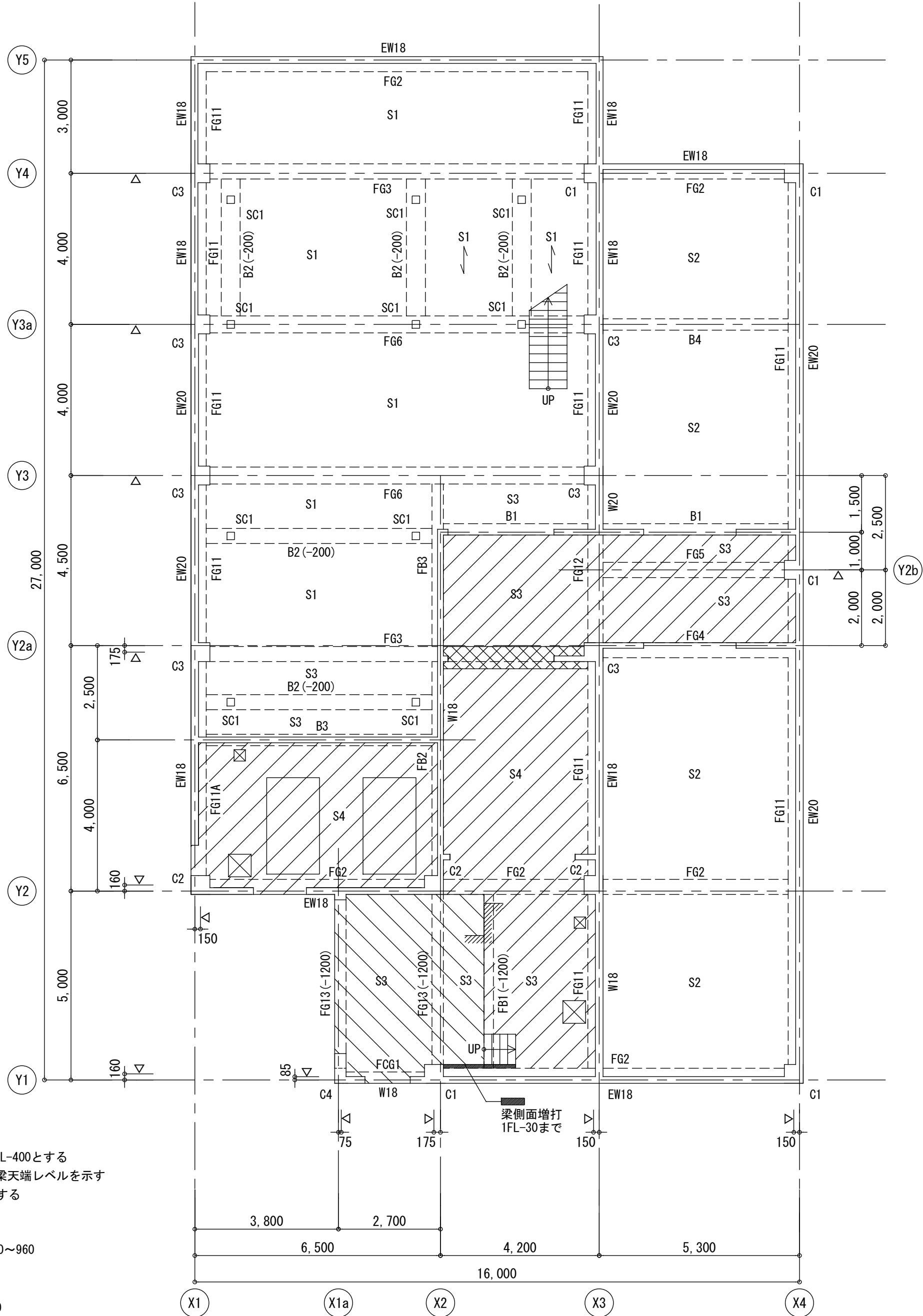
- <特記事項>
- ・杭天端は設計GL-1000とする
 - ・基礎底は設計GL-1300とする
 - ・柱芯は1階伏図による
 - ・▶ 印 杭芯を示す
 - ・▨ 印 ビット範囲を示す
 - ・ビットは土間コンクリート t=150 配筋D13@200シングルクロス
 - ・ビット下端レベルは設計GL-900とする。(天端レベル・水勾配は意匠図による)
 - ・⊠ 印 人通口 (600φ) を示す
 - ・○ 印 梁貫通孔位置を示す

杭・基礎伏図 GL=1FL-1300



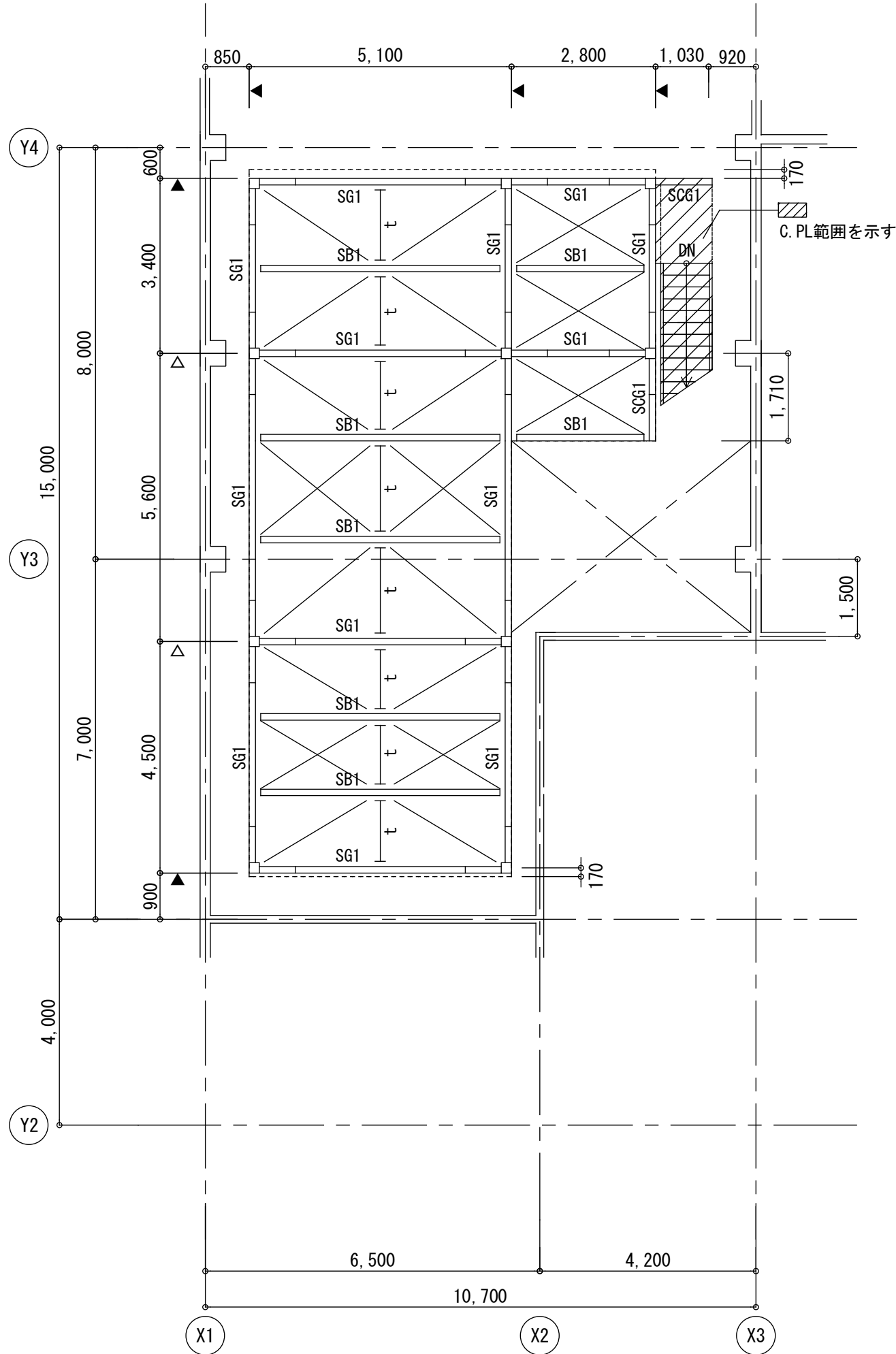
<特記事項>

- ・特記なき梁天端は1FL-400とする
- ・()内は1FLからの梁天端レベルを示す
- ・特記なき壁はW15とする
- ・△印は柱芯を示す
- スラブ天端レベル
 - ・ : 1FL-930~960
 - ・ : 1FL-30
 - ・ : 1FL-90
 - ・特記外 : 1FL-200
- ・ はスラブ主筋方向を示す
- ・特記なきスラブ主筋は短辺方向とする



1階伏図

1FL=設計GL+1300



2階伏図

2FL=1FL+3100

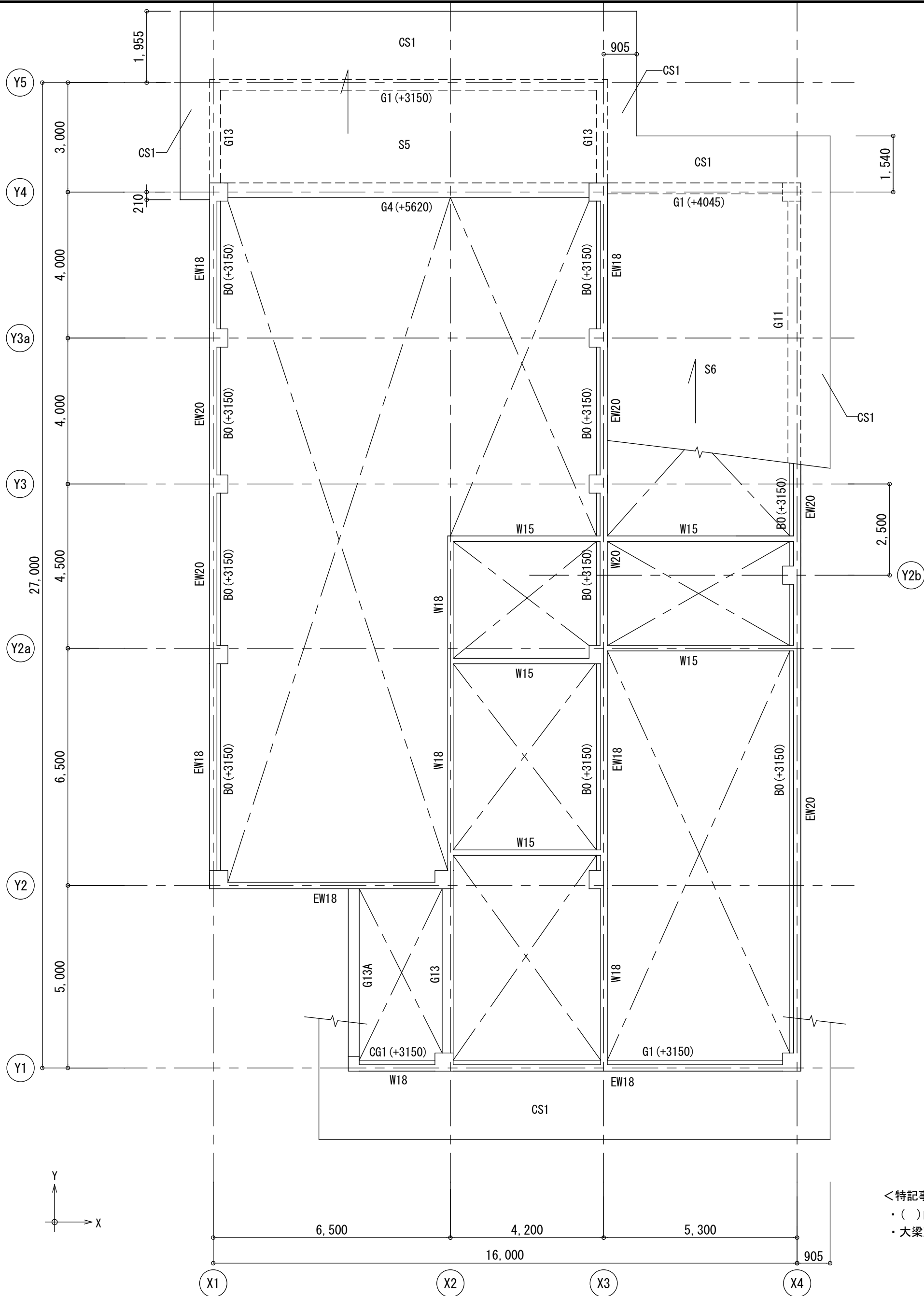
<特記事項>

- ・特記なき梁天端は2FL-60とする
- ・大梁継手位置は柱芯より800以上とする。
- ・水平ブレースは、BR1とする
- ・△印は鉄骨柱芯、▲印は鉄骨柱面を示す
- ・床材は鋼製床材 (ファインフロア同等以上) とする。
- ・床材の敷設方向 :

訂正員付
図面は約70%縮小しています (A2→A3)



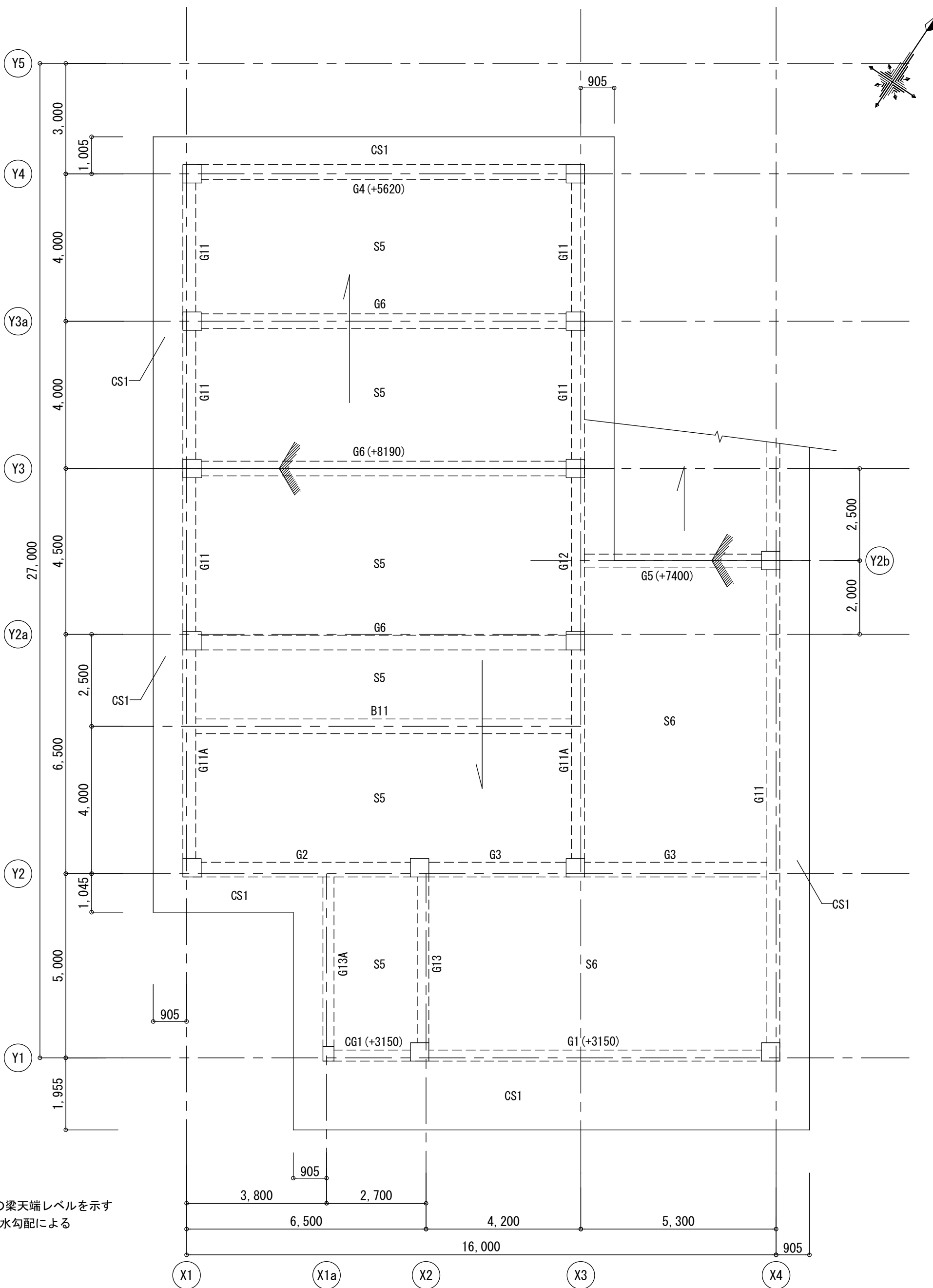
管理技術者		構造設計 1 級建築士	担当者	設計番号	工事名称	図面種別
一級建築士	加藤 工匠	2209号		P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事 (建築)	S
第333565号	1 級建築士	第112811号		日付	図面名称	図面番号
江口 浩壽				2020. 10	1 階・2 階伏図	1 0
					縮尺	
					A2:1/100	



屋根伏図1


屋根伏図1=1FL+3150

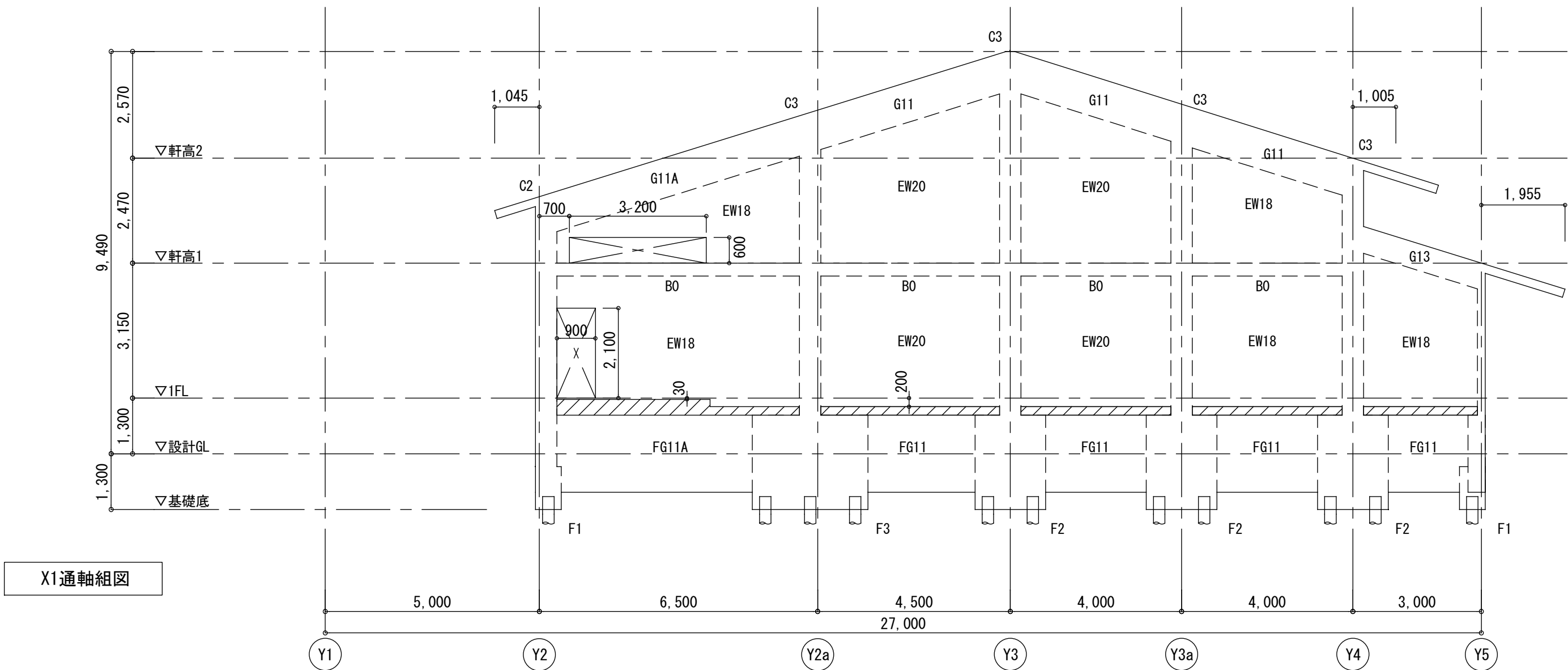
<特記事項>
・()内は1FLからの梁天端レベルを示す
・大梁天端レベルは水勾配による



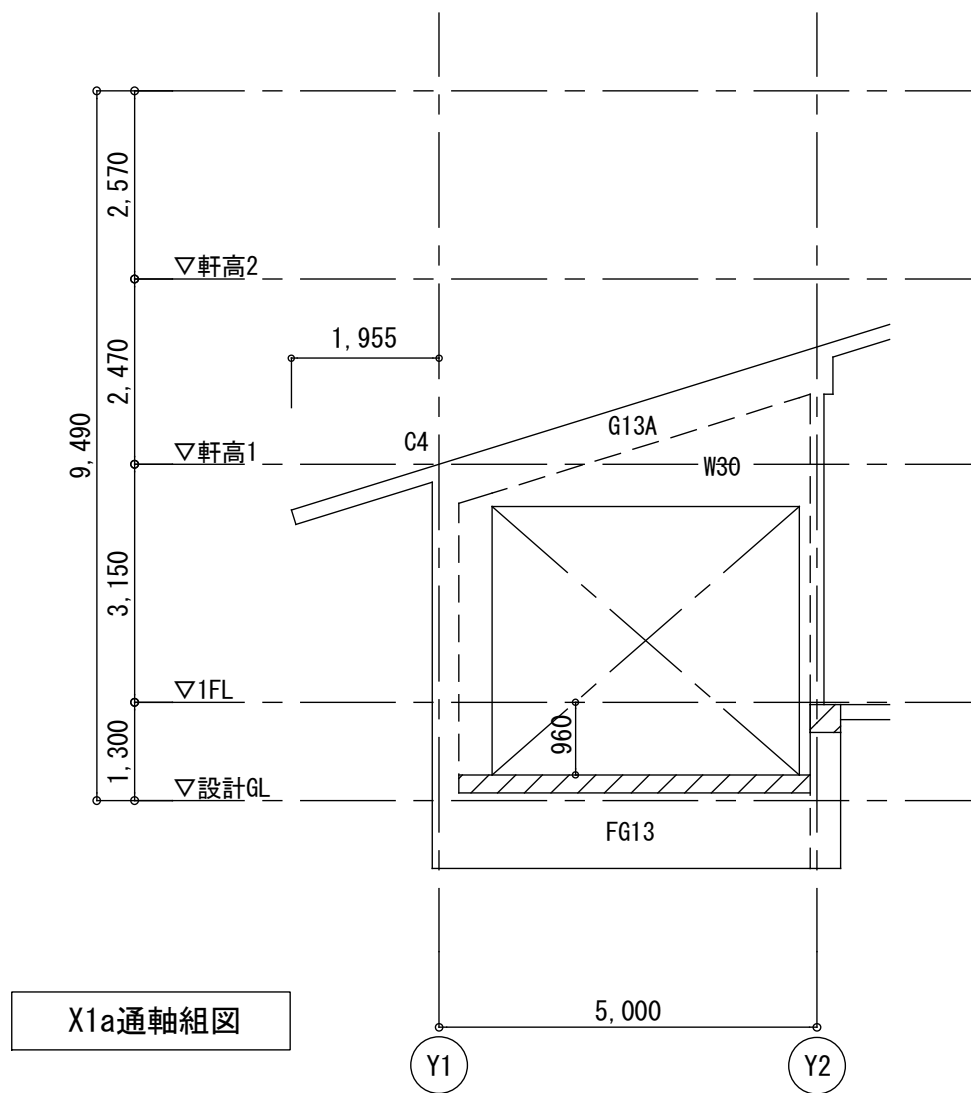
屋根伏図2

訂正日付	<div><div></div><div>株式会社 浦野設計三重支社</div><div>URANO ARCHITECTS & ENGINEERS</div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div></div>	管理技術者		構造設計 1 級建築士		担当者	設計番号	工事名称		図面種別
		一級建築士		加藤工匠			P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		S
		第333565号		2209号			日付	図面名称	縮尺	図面番号
		1 級建築士		1 級建築士			2020. 10	屋根伏図	A2:1/100	1 1
		江口 浩壽		第112811号						
図面は約70%縮小しています（A2→A3）										

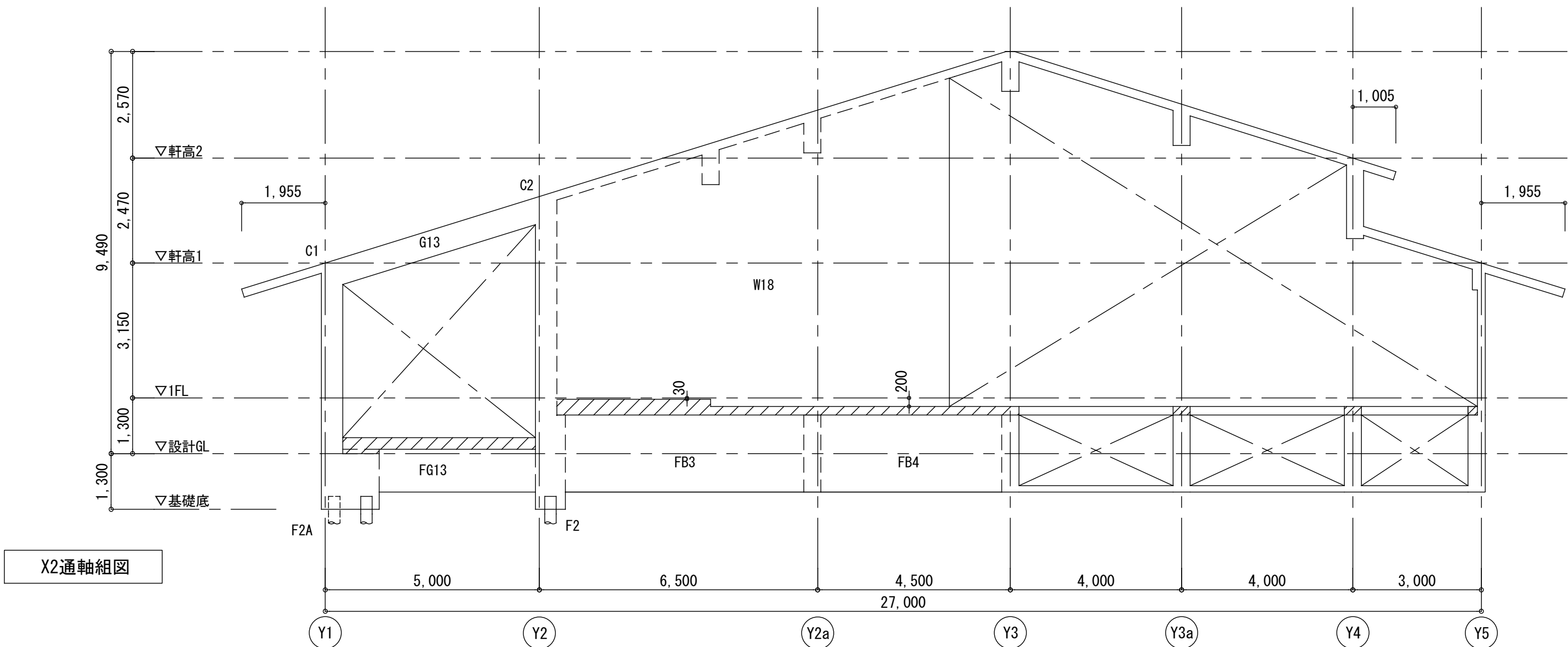
<特記事項>
・  印は増打範囲を示す



X1通軸組図



X1a通軸組図




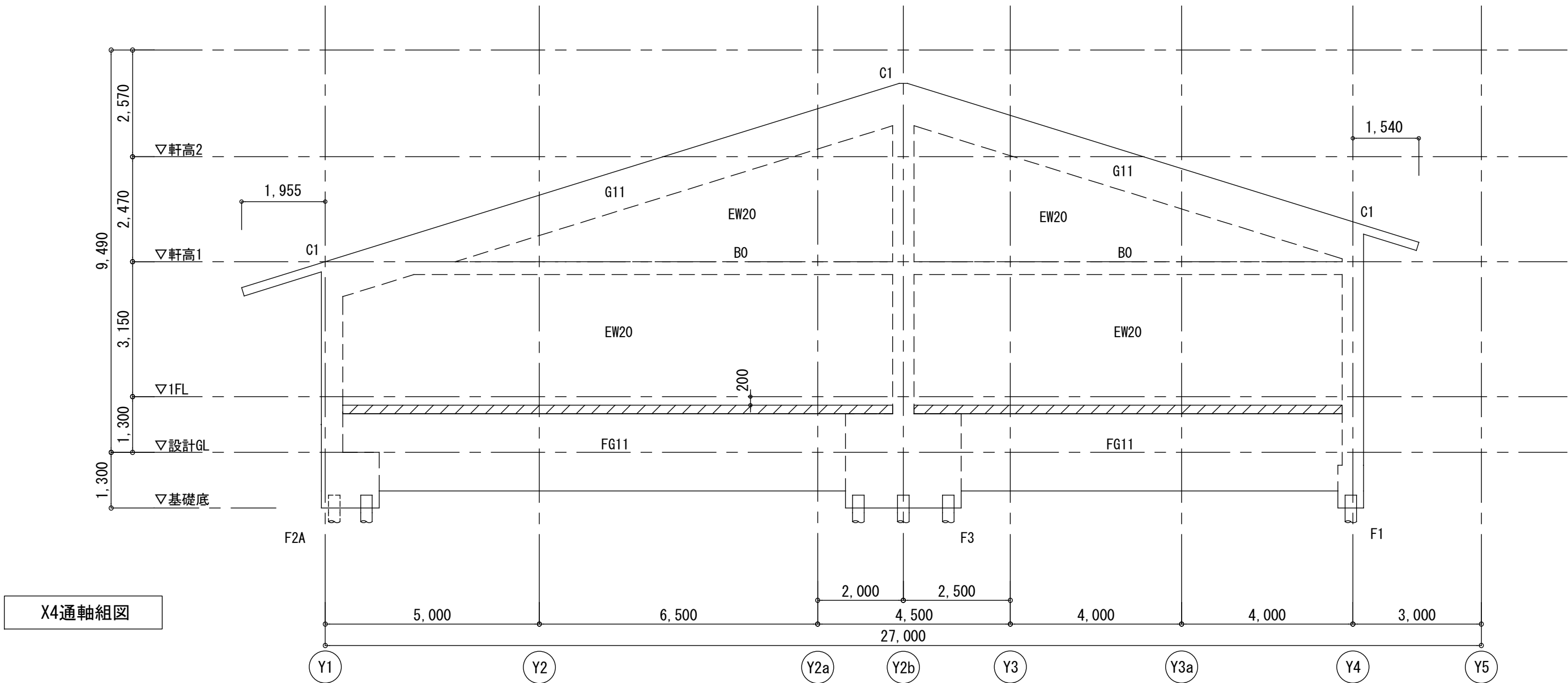
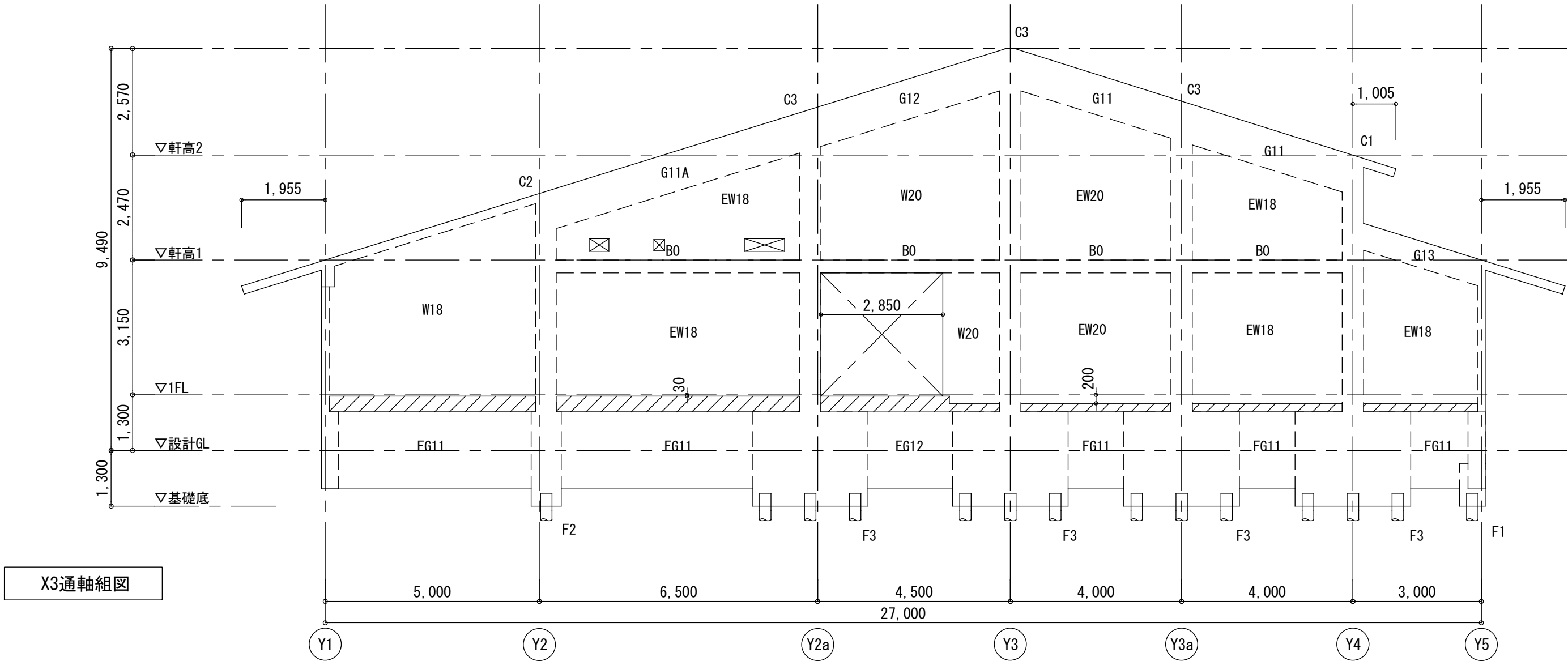
X2通軸組図


訂正頁付			管理技術者			構造設計 1 級建築士			担当者			設計番号			工事名称			図面種別		
			一級建築士			加藤工匠						P 2 0 0 1 M			松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）			S		
			第333565号			2209号						日付			図面名称			図面番号		
			江口 浩壽			1 級建築士						2020. 10			軸組図（1）			1 2		
						第112811号									縮尺					
															A2:1/100					

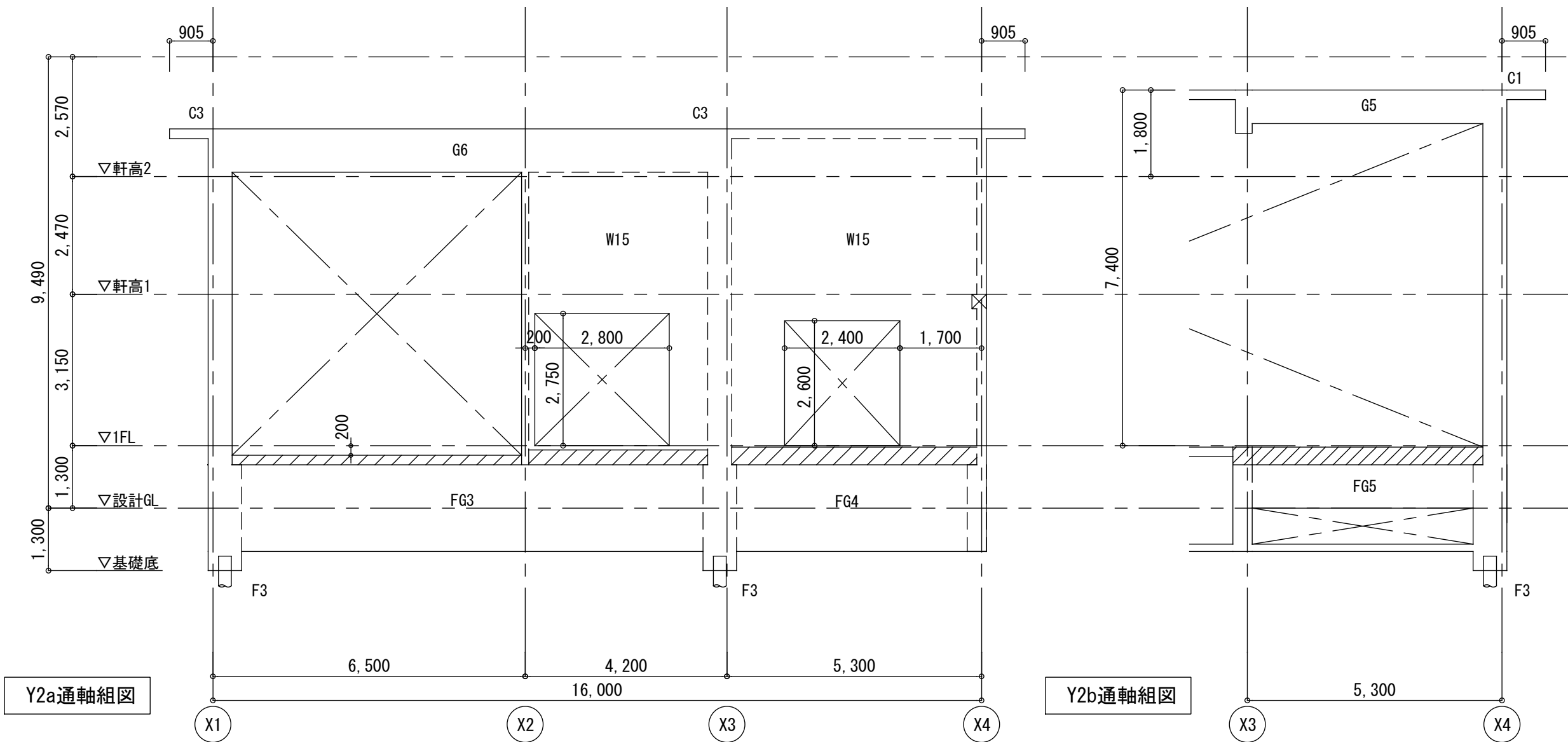
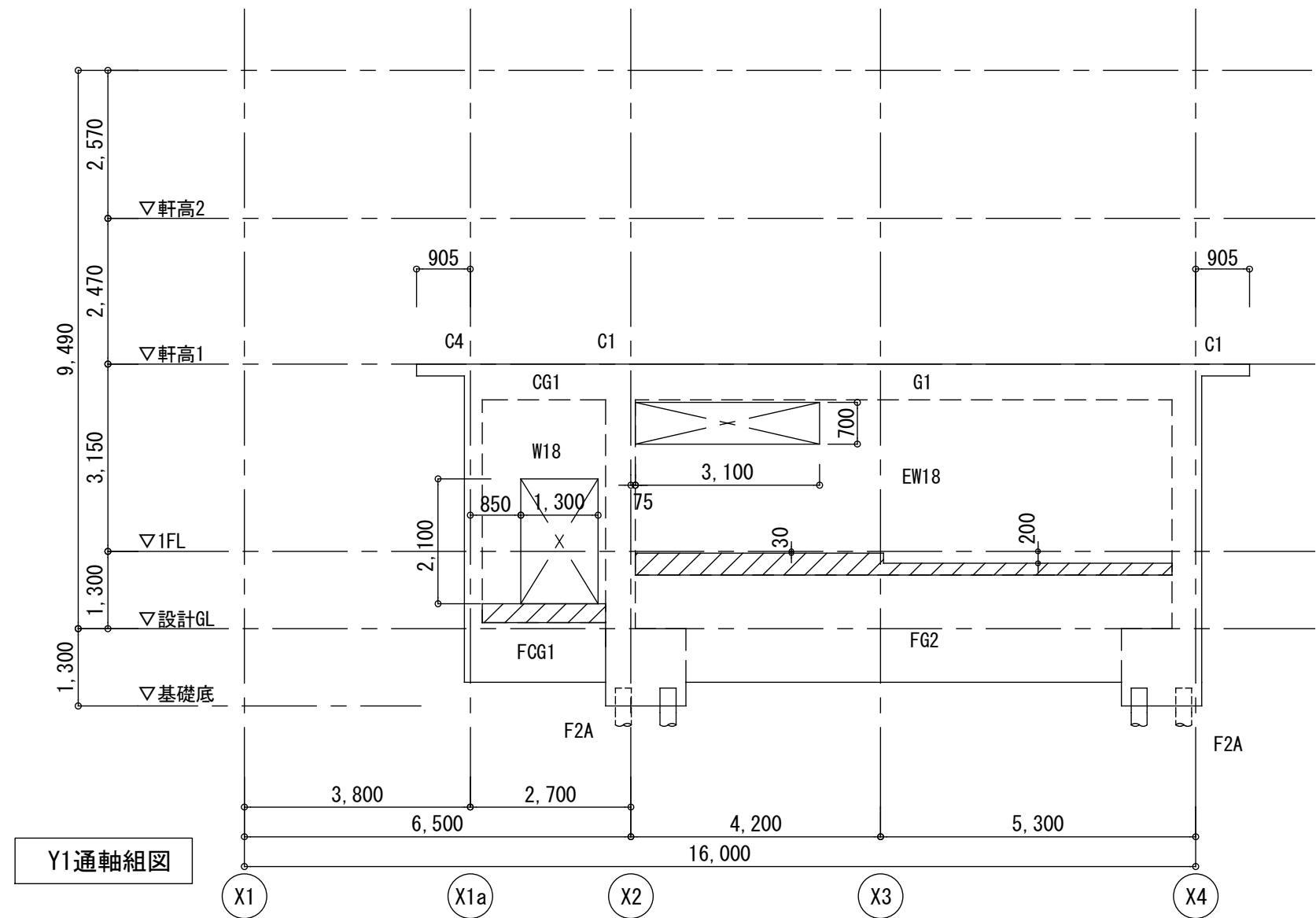
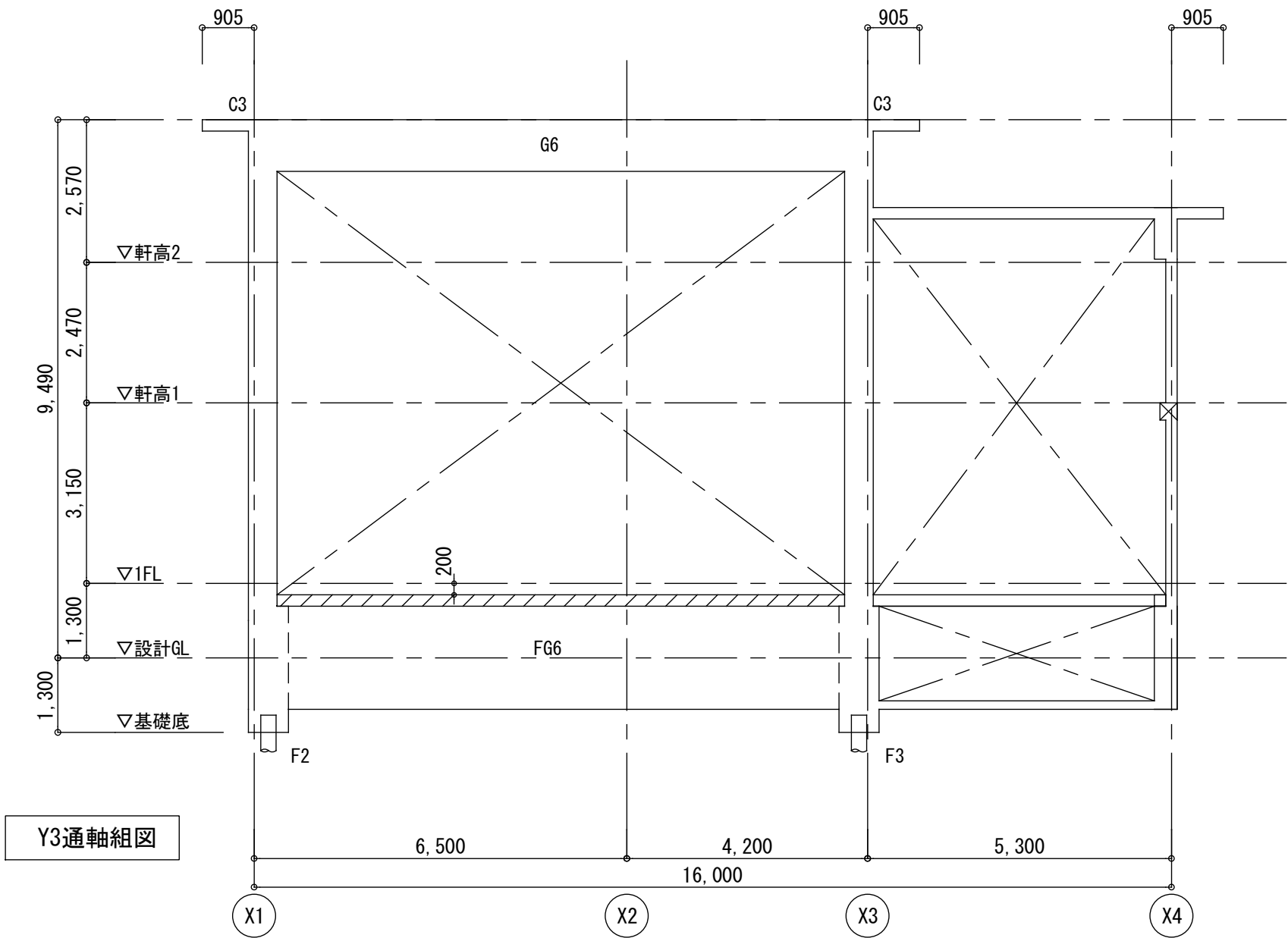
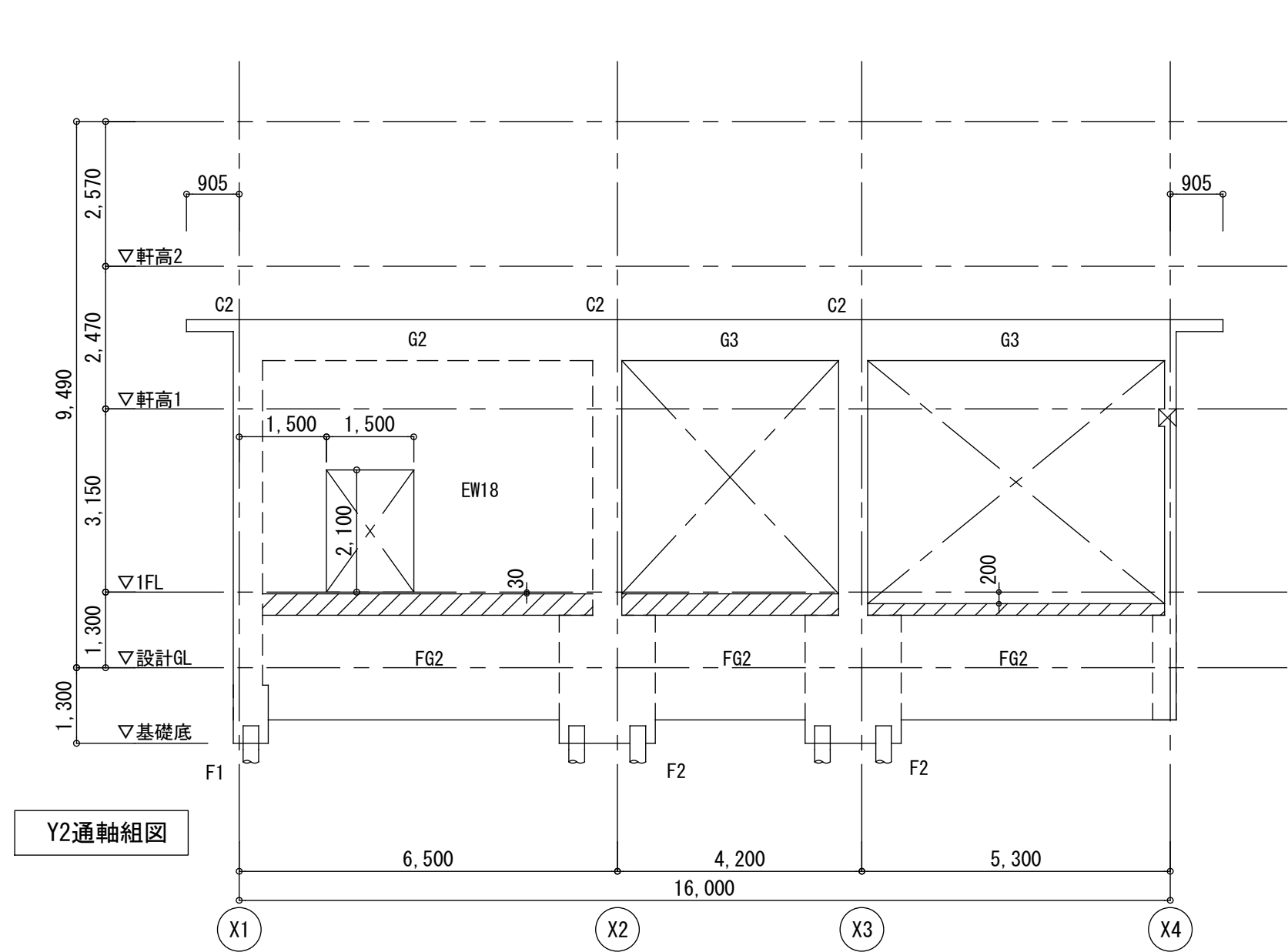
図面は約70%縮小しています（A2→A3）

 **株式会社 浦野設計三重支社**
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号

<特記事項>
・  印は増打範囲を示す



＜特記事項＞
・  印は増打範囲を示す




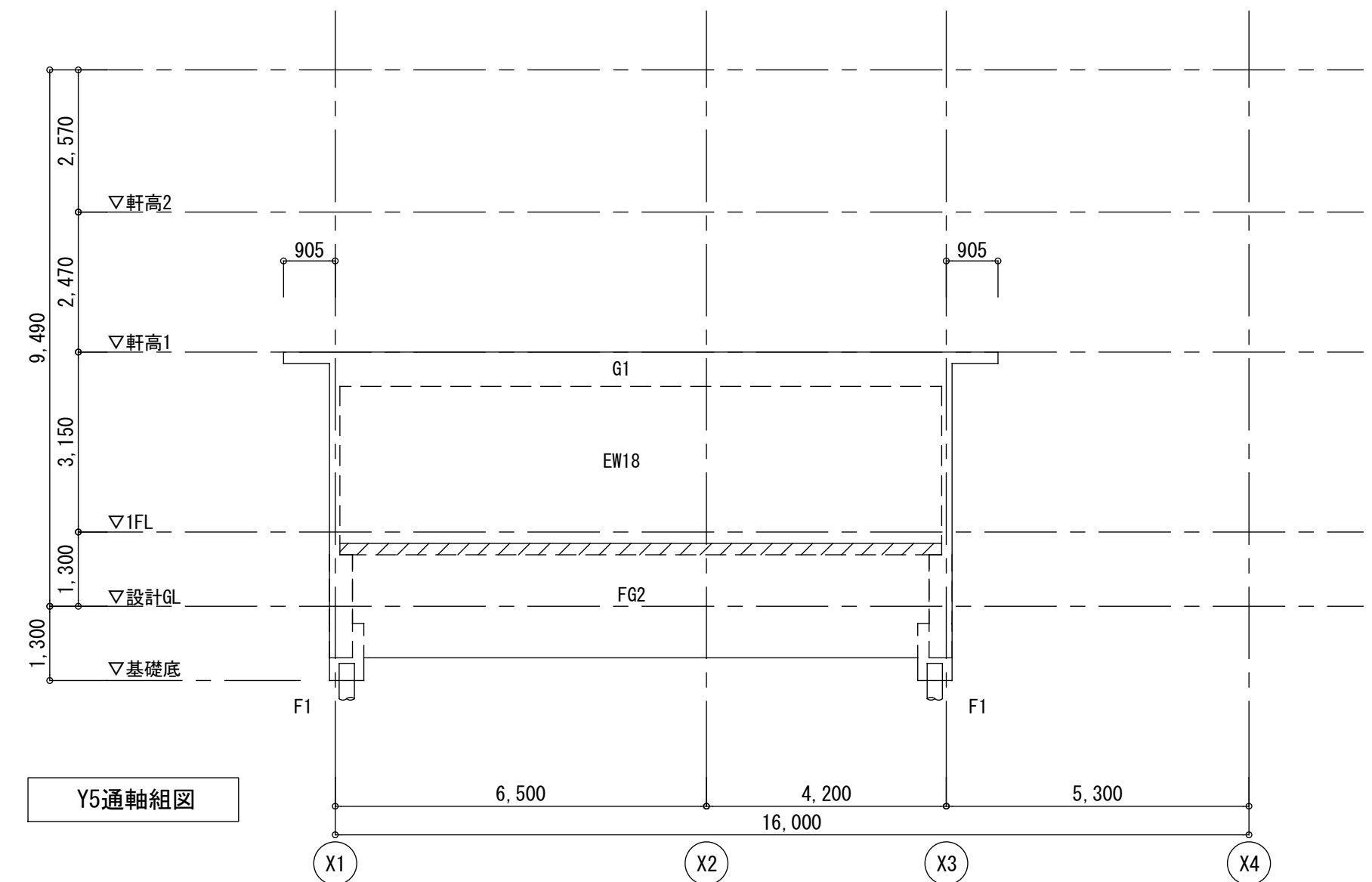
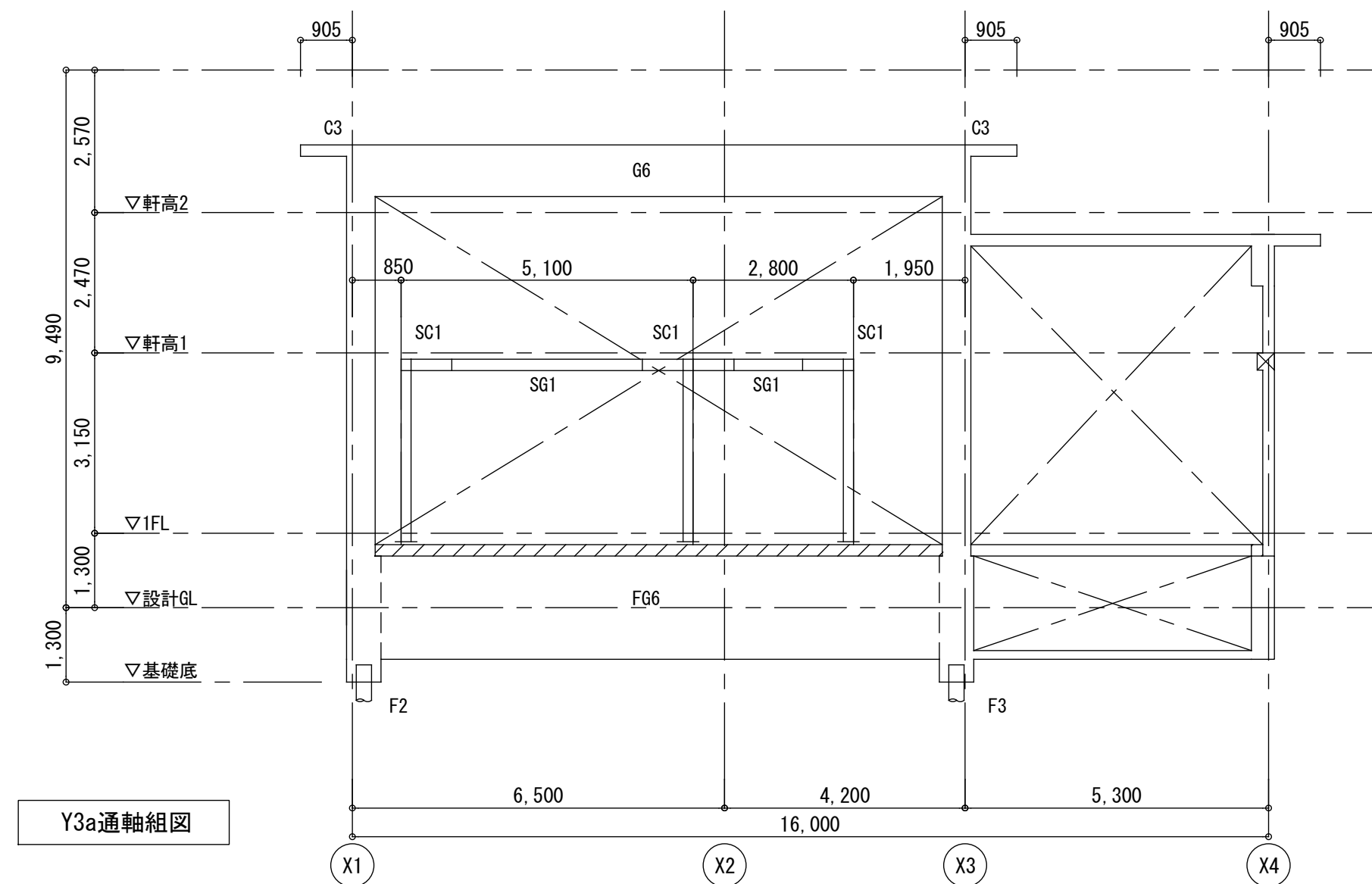
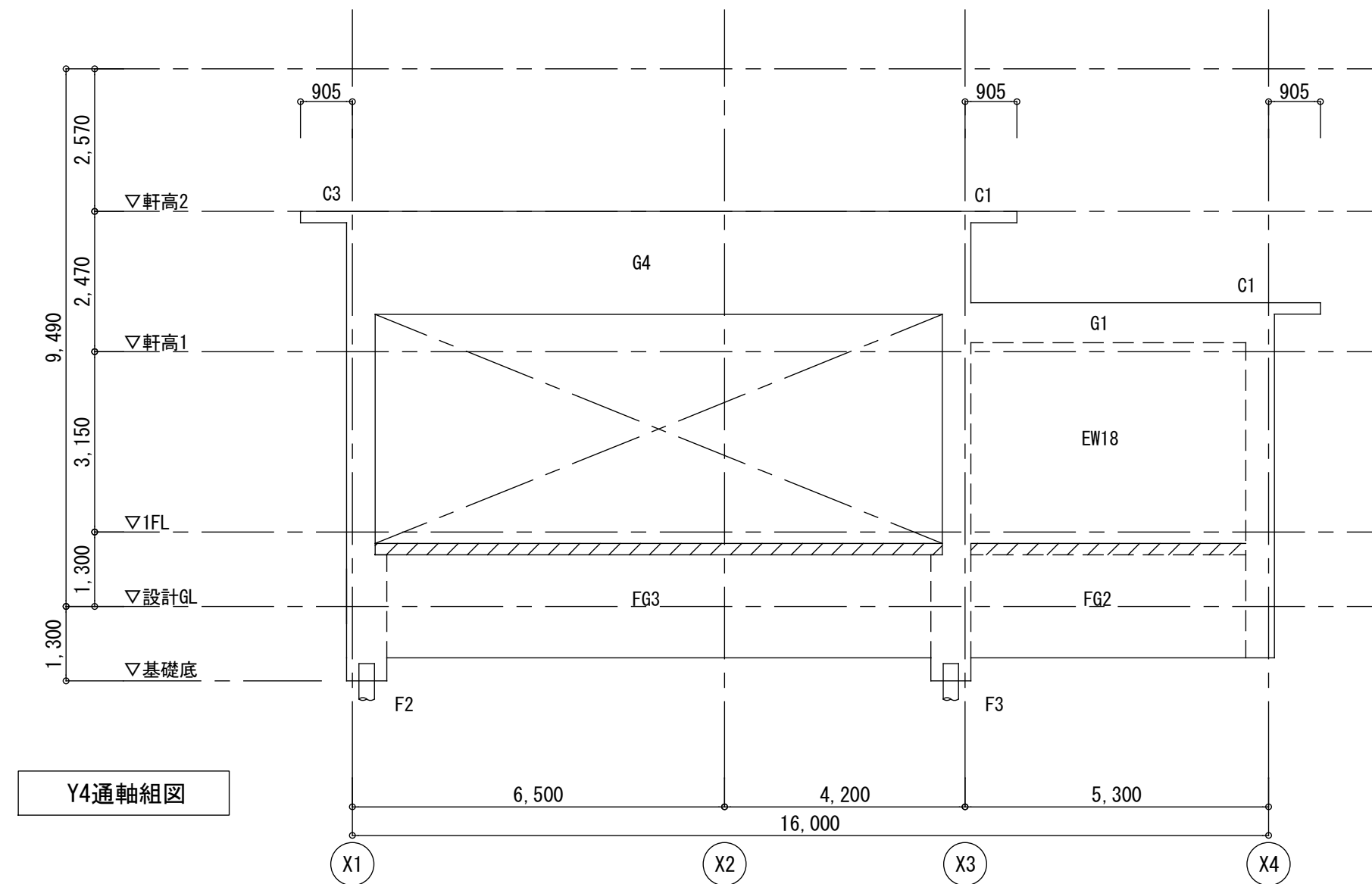
訂正凡付
図面は約70%縮小しています (A2→A3)


 **株式会社 浦野設計三重支社**
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号

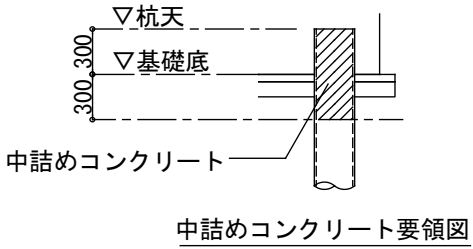
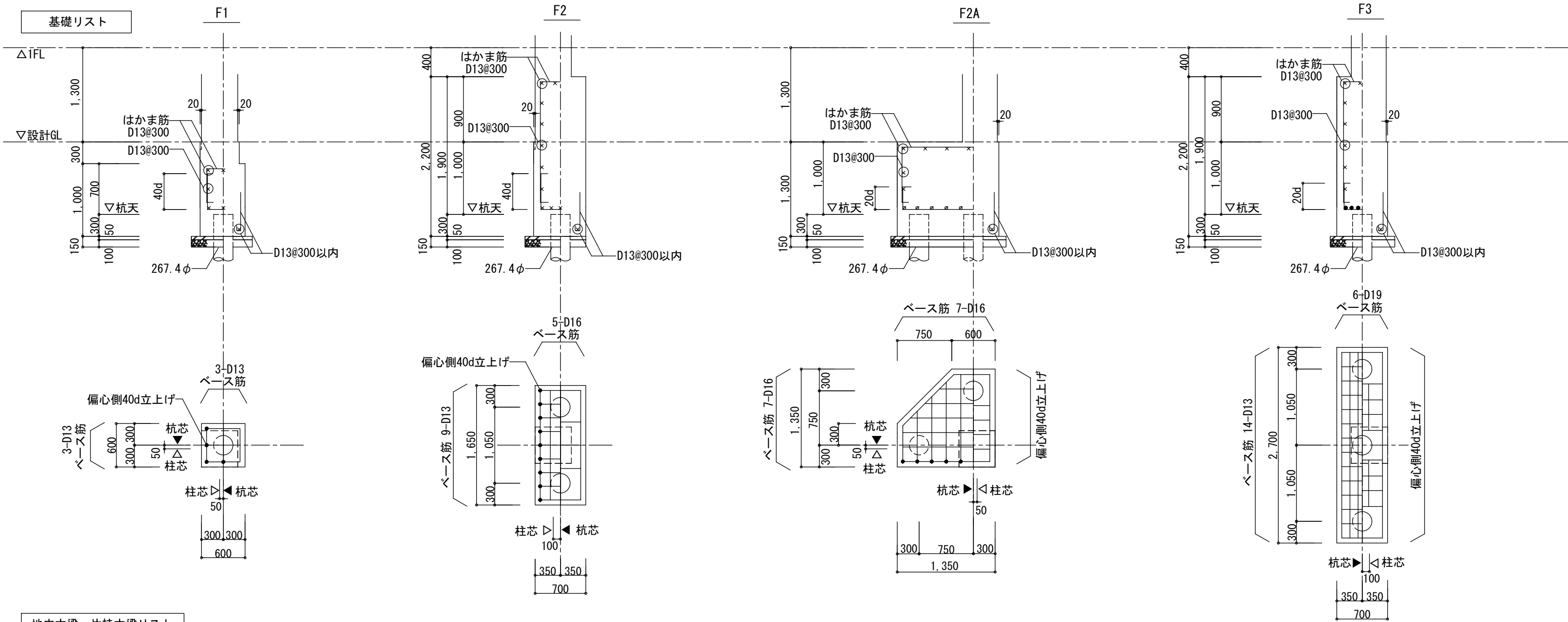
管理技術者	構造設計 1 級建築士	担当者
一級建築士	加藤工匠	
第333565号	2209号	
江口 浩壽	1 級建築士	
	第112811号	

設計番号	工事名称	図面種類
P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）	S
日付	図面名称	図面番号
2020. 10	軸組図（3）	1 4
	縮尺	
	A2:1/100	

- ・  印は増打範囲を示す



訂正頁付	<div>株式会社 浦野設計三重支社 URA ARCHITECTS & ENGINEERS 一般建築士事務所 三重県知事登録 第1-2016号</div>	管理技術者	構造設計 1 級建築士	担当者	設計番号	工事名称		図面種別
		一級建築士	加藤工匠		P 2 0 0 1 M	松阪市文化財センター収蔵庫新築工事（建築）		S
		第333565号	2209号		日付	図面名称	縮尺	図面番号
図面は約70%縮小しています（A2→A3）		江口 浩壽	1 級建築士 第112811号	2020. 10	軸組図（4）	A2:1/100	1 5	

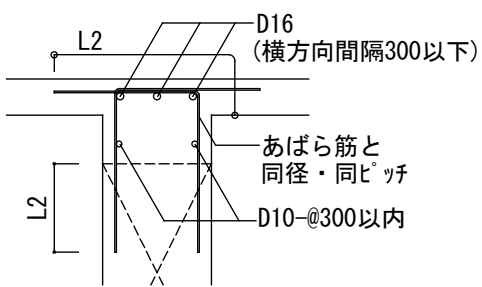


地中大梁・片持大梁リスト

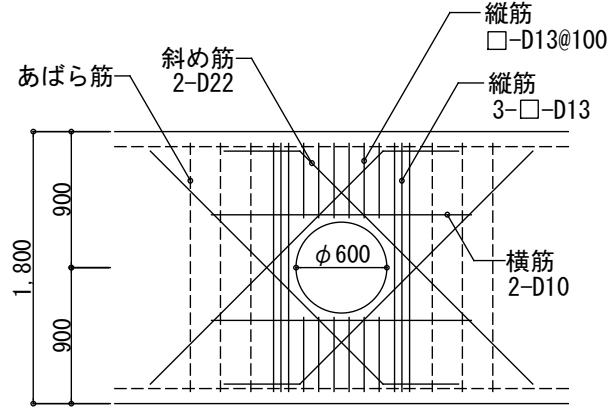
符号	FG2	FG3			FG4			FG5	FG6		FG11・FG11A	FG12	FG13	FCG1
位置	全断面	外 端	中 央	内 端	外 端	中 央	内 端	全断面	端 部	中 央	全断面	全断面	全断面	全断面
断面														
B×D	400x1800	400x1800			400x1800			400x900	450x1800		400x1800	400x1800	300x1000	300x1000
上 端 筋	3-D22	4-D22	4-D22	4/4-D22	4-D22	4/2-D22	4/4-D22	3-D22	5-D22	5-D22	3-D22	3-D22	2/1-D22	3/3-D22
下 端 筋	3-D22	4/3-D22	4/4-D22	4/3-D22	4-D22	4-D22	4-D22	3-D22	5/3-D22	5/5-D22	3-D22	3-D22	2/1-D22	3-D22
腹 筋	10-D10	10-D10			10-D10			4-D10	10-D10		10-D10	10-D10	4-D10	4-D10
S T P	□-D13@200	□-D13@200			□-D13@200			□-D13@200	□-D13@200		□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200

地中小梁リスト

符号	FB1	FB2			FB3	
位置	全断面	Y2端	中央	Y2a端	Y2a端・中央	Y3端
断面						
B×D	250x1000	300x1800			300x1800	
上 端 筋	2-D22	3-D22	3-D22	3/3-D22	3/3-D22	3-D22
下 端 筋	2-D22	3-D22	3/2-D22	3-D22	3-D22	3-D22
腹 筋	4-D10	10-D10			10-D10	
S T P	□-D10@200	□-D10@200			□-D10@200	

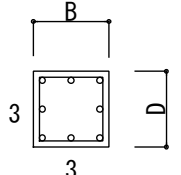




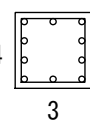
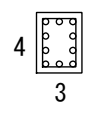


地中梁とスラブの取り合い

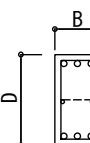
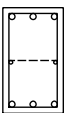
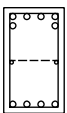
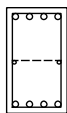
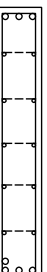
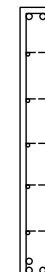
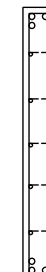
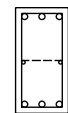
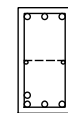
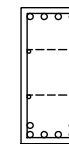








人通口補強要領


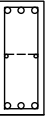
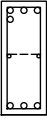




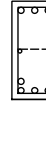

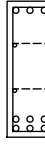
柱リスト

符号	C1	C2
断面		
B×D	500×500	
主筋	8-D22	
HOOP	□-D13@100	
符号	C3	C4
断面		
B×D	500×500	300×400
主筋	10-D22	8-D22
HOOP	□-D13@100	□-D13@100





大梁・片持大梁リスト

符号	G1・CG1	G2	G3		G4			G5		G6		G11・G12
位置	全断面	全断面	X3端・中央	他端	X1 端	中 央	X3 端	端 部	中 央	端 部	中 央	全断面
断面												
B×D	300x600	400x700	400x700		300x1800			350x700		400x900		350x900
上 端 筋	3-D22	3-D22	4/2-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3/1-D22	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	3-D22
下 端 筋	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	3/1-D22	3/2-D22	3/1-D22	3-D22	3/1-D22	4/2-D22	4/4-D22	3-D22
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10		10-D10			2-D10		4-D10		4-D10
S T P	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200		□-D13@200			□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200
符号	G11A		G13	G13A								
位置	端 部	中 央	全断面	全断面								
断面	 											
B×D	400x900		300x600	300x600								
上 端 筋	3-D22	3-D22	3-D22	2/1-D22								
下 端 筋	3-D22	4-D22	3-D22	2/1-D22								
腹 筋	4-D10		2-D10	2-D10								
S T P	□-D13@100 (溶接閉鎖型)		□-D13@200	□-D13@200								

小梁リスト

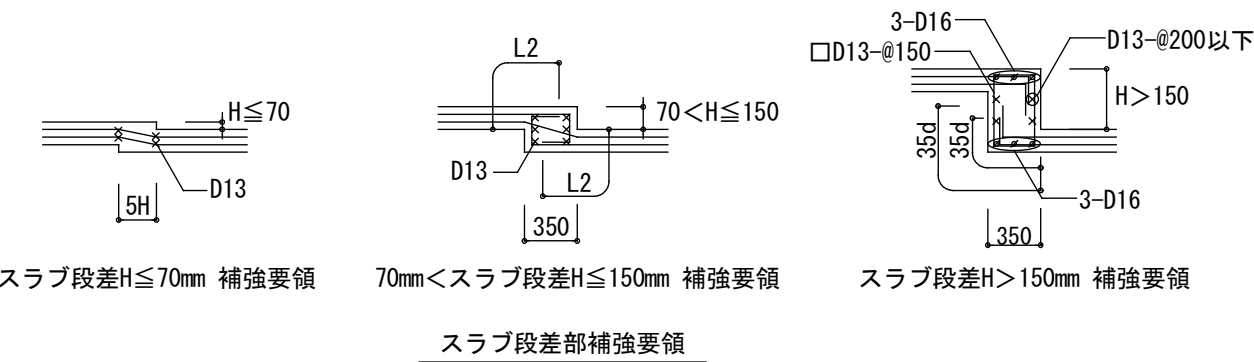
符号	B0	B1		B2	B3		B4		B11	
位置	全断面	X2端・X4端	中央・X3端	全断面	端 部	中 央	端 部	中 央	端 部	中 央
断面										
B×D	300x300	300x750		500x400	300x900		300x650		400x900	
上 端 筋	3-D19	3-D22	3/1-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22
下 端 筋	3-D19	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3/3-D22	3-D22	3/1-D22	4/2-D22	4/4-D22
腹 筋	-	2-D10		-	4-D10		2-D10		4-D10	
S T P	□-D10@200	□-D10@200		□-D13@200	□-D10@200		□-D10@200		□-D13@200	

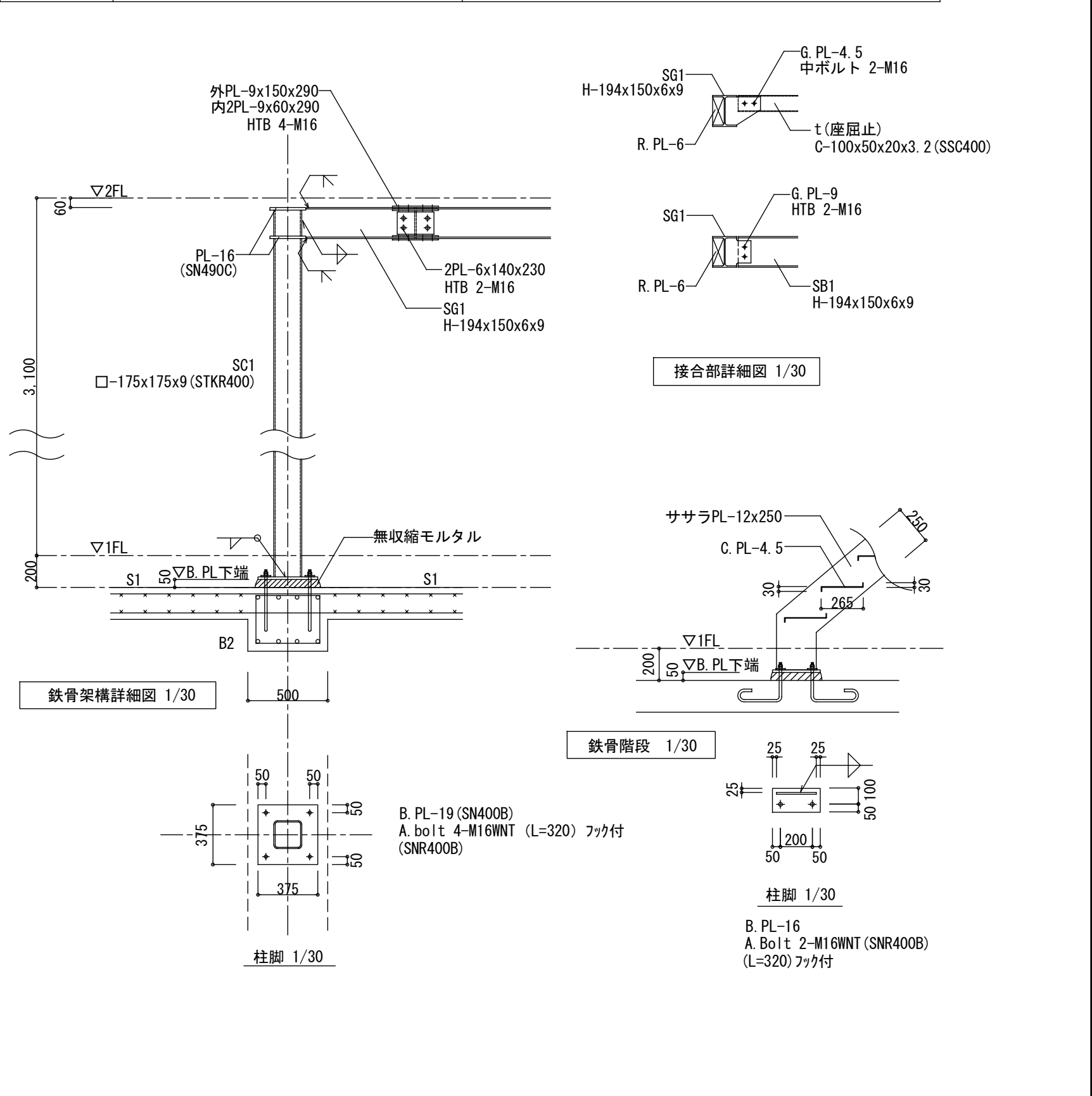
壁リスト

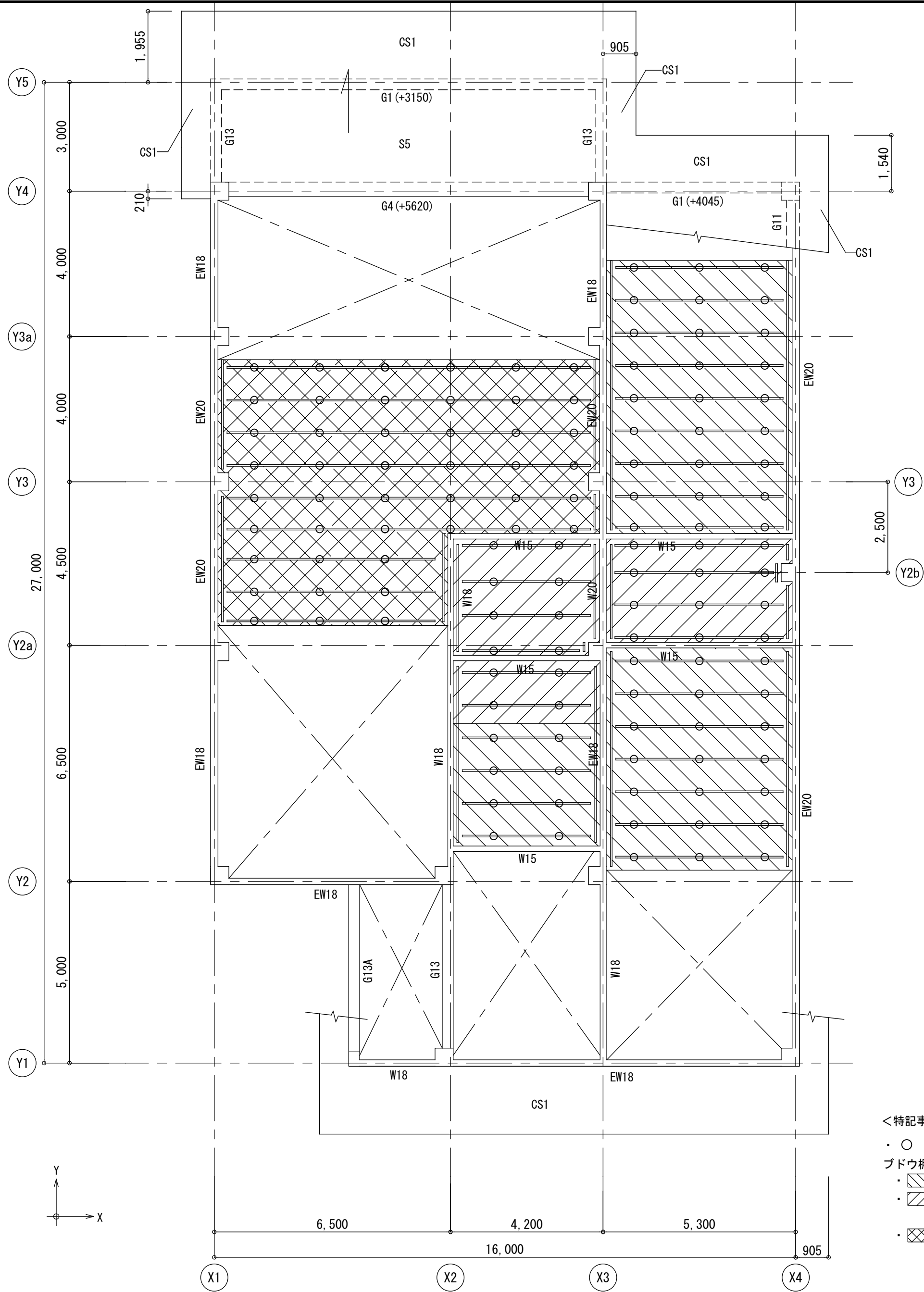
符 号	W30	EW20・W20	EW18・W18	W15
壁 厚	300	200	180	150
断 面				
縦 筋	D13-@200ダブル	D13-@200ダブル	D13-@200ダブル	D13-@200シングル
横 筋	D10-@200ダブル	D10-@200ダブル	D10-@200ダブル	D13-@200シングル
開口	縦 2-D16	2-D13	2-D13	1-D13
補強筋	横 2-D16	2-D13	2-D13	1-D13
端部筋	斜 2-D16	2-D13	2-D13	1-D13

スラブリスト

符号	スラブ厚	位置	短辺方向（主筋）	長辺方向（配力筋）	備考
S1	200	上端筋	D13-@150	D13. D10-@200	
		下端筋	D13-@150	D13. D10-@200	
S2	200	上端筋	D13-@150	D13-@150	
		下端筋	D13-@150	D13-@150	
S3	150	上端筋	D13. D10-@200	D10-@200	
		下端筋	D13. D10-@200	D10-@200	
S4	150	上端筋	D13-@200	D13. D10-@200	
		下端筋	D13. D10-@200	D10-@200	
S5	150	上端筋	D13-@200	D13-@200	
		下端筋	D13. D10-@200	D10-@200	
S6	180	上端筋	D13-@200	D13-@200	
		下端筋	D13. D10-@200	D10-@200	
CS1	150	上端筋	D13-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	

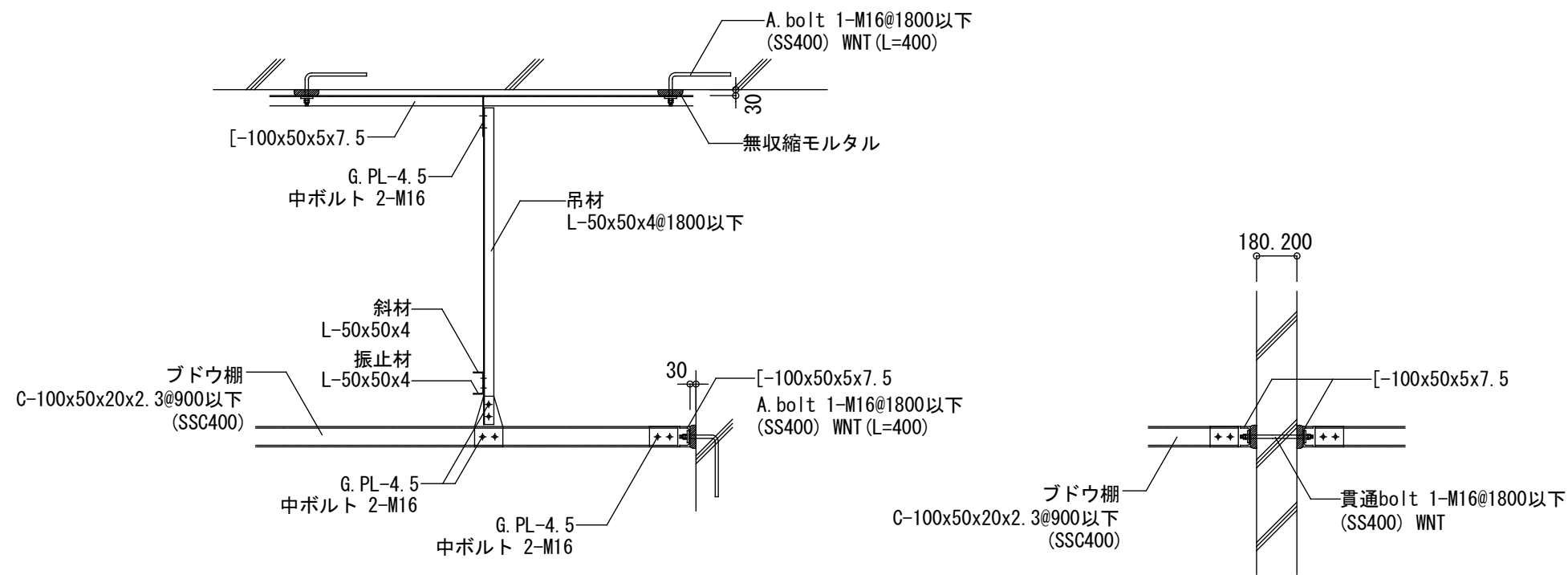






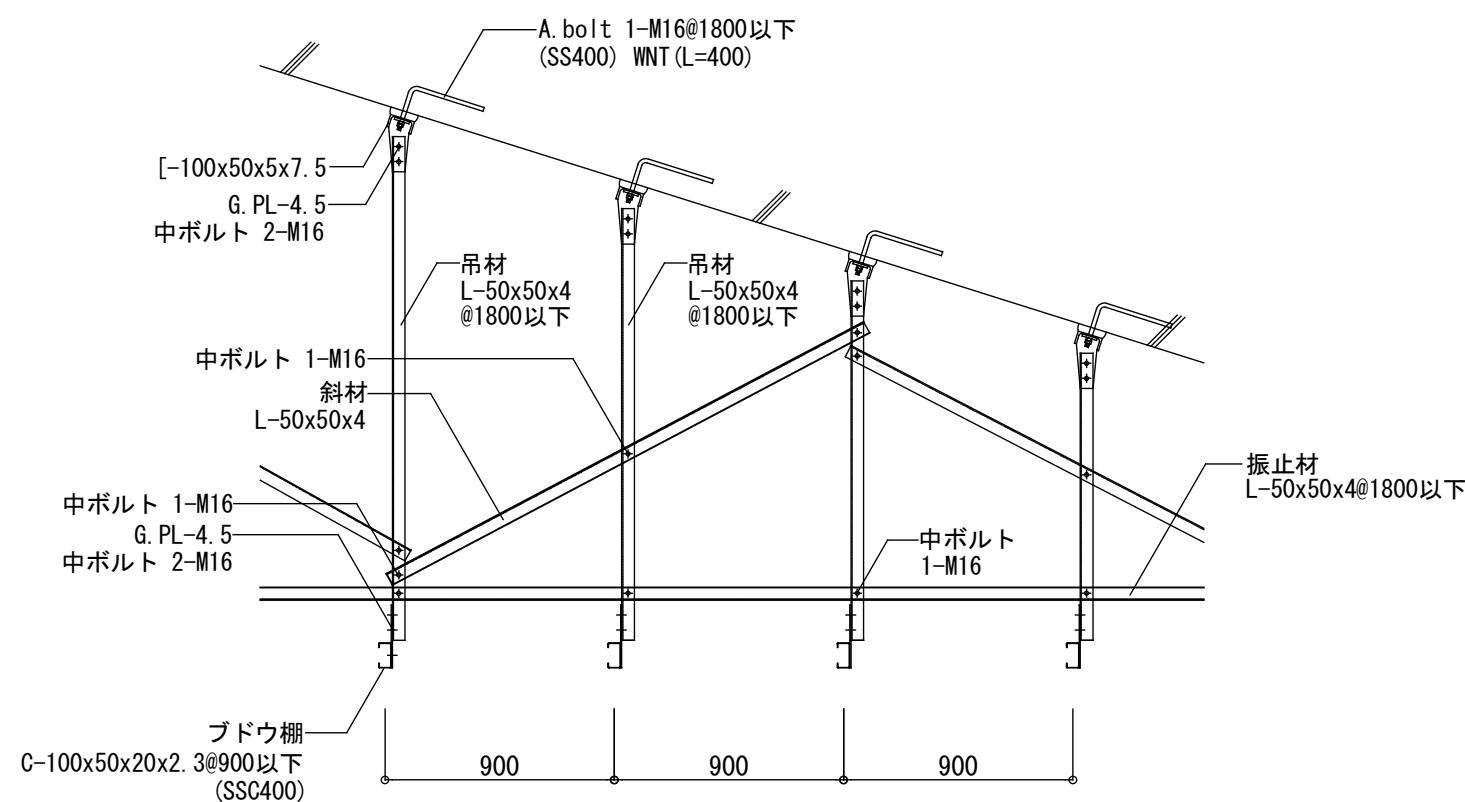
ブドウ棚伏図

- <特記事項>
- 印は吊材位置を示す
 - ブドウ棚 (C-100x50x20x2.3) 天端レベル
 - 斜線：1FL+4200 (1段)
 - 斜線：1FL+4200 (1段)
 - 斜線：1FL+5700 (2段)
 - 斜線：1FL+7100 (1段)



ブドウ棚 X方向接合部詳細図 1/30
・特記外、材質はSS400とする

RCとの接合部 (中間壁) 要領 1/30

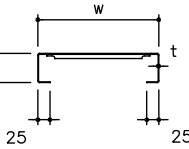


ブドウ棚 Y方向接合部詳細図 1/30
・特記外、材質はSS400とする

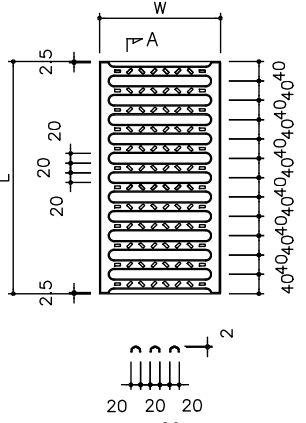
鋼製床板 設計・施工標準仕様書(参考)

1. 形状

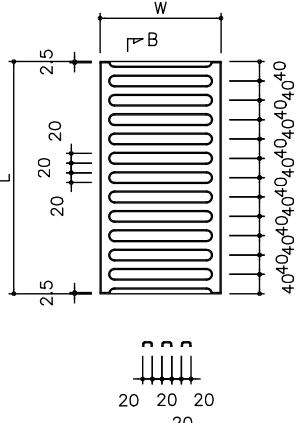
- 1) 標準長さ(L)は40の倍数となります。・ MN型(ノンスリップ)・ MF型(フラット)・ ME型(スリット無し)
- 2) 製品実長はL-5mmとなります。
- 3) 最大長さ(L)は6000mmです。
- 4) 40の倍数以外も製作できます。
- 5) 幅は250mmおよび200mmです。



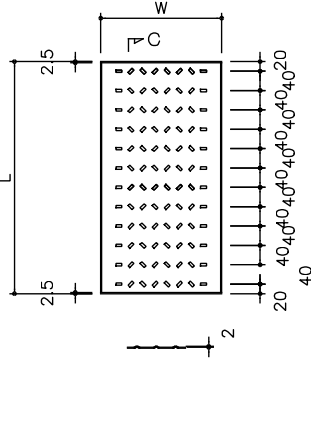
断面形状



A断面



B断面

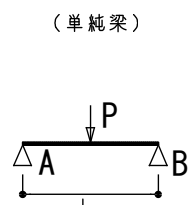


C断面

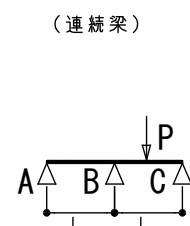
2. 断面性能・質量

寸法・断面性能・重量								
型式	高さ H (mm)	幅 W (mm)	断厚 t (mm)	断面2次モーメント (cm ⁴)	断面係数 (cm ³)	重量 (kg)		
・ MN250-60-2.0 ・ MF250-60-2.0	60	250	2.0	20.7	6.72	5.61	5.72	
・ MN200-60-2.0 ・ MF200-60-2.0	60	200	2.0	20.7	6.72	5.02	5.12	
・ MN250-60-1.6 ・ MF250-60-1.6	60	250	1.6	17.1	5.58	4.51	—	
・ MN200-60-1.6 ・ MF200-60-1.6	60	200	1.6	17.1	5.58	4.04	—	
・ MN250-40-2.0 ・ MF250-40-2.0	40	250	2.0	7.86	3.80	4.96	5.06	
・ MN200-40-2.0 ・ MF200-40-2.0	40	200	2.0	7.86	3.80	4.38	4.47	
・ MN250-40-1.6 ・ MF250-40-1.6	40	250	1.6	6.55	3.18	3.99	—	
・ MN200-40-1.6 ・ MF200-40-1.6	40	200	1.6	6.55	3.18	3.52	—	
・ ME250-60-2.0 ・ ME200-60-2.0	60	250 200	2.0	27.9 27.9	7.95 7.95	6.56 5.76	6.69 5.87	
・ ME250-40-2.0 ・ ME200-40-2.0	40	250 200	2.0	10.9 10.9	4.55 4.55	5.92 5.11	6.04 5.22	

3. たわみ算定表 (集中荷重時)



(単純梁)



(連続梁)

日鉄ファインフロア たわみ表 (単純梁)												
型式	集中荷重	たわみ種別: 5mm以下										
		スパン (mm)										
MN250-60-2.0 MF250-60-2.0	100kg (981N)	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000
MN200-60-2.0 MF200-60-2.0	150kg (1471N)	0.72	0.96	1.25	1.59	1.98	2.44	2.96	3.55	4.21	4.95	—
MN250-60-1.6 MF250-60-1.6	100kg (981N)	0.58	0.78	1.01	1.28	1.60	1.97	2.39	2.86	3.40	4.00	4.66
MN200-60-1.6 MF200-60-1.6	150kg (1471N)	0.87	1.16	1.51	1.92	2.40	2.95	3.58	4.30	—	—	—
MN250-40-2.0 MF250-40-2.0	100kg (981N)	1.27	1.69	2.19	2.79	3.48	4.28	—	—	—	—	—
MN200-40-2.0 MF200-40-2.0	150kg (1471N)	1.90	2.53	3.29	4.18	—	—	—	—	—	—	—
MN250-40-1.6 MF250-40-1.6	100kg (981N)	1.52	2.03	2.63	4.18	—	—	—	—	—	—	—
MN200-40-1.6 MF200-40-1.6	150kg (1471N)	2.28	3.04	3.94	—	—	—	—	—	—	—	—
ME250-60-2.0	100kg (981N)	0.36	0.48	0.62	0.79	0.98	1.21	1.46	1.76	2.08	2.45	2.86
ME200-60-2.0	150kg (1471N)	0.54	0.71	0.93	1.18	1.47	1.81	2.19	2.63	3.12	3.68	4.29
ME250-40-2.0	100kg (981N)	0.91	1.22	1.58	2.01	2.51	3.09	3.75	4.49	—	—	—
ME200-40-2.0	150kg (1471N)	1.37	1.83	2.37	3.01	3.76	4.63	—	—	—	—	—

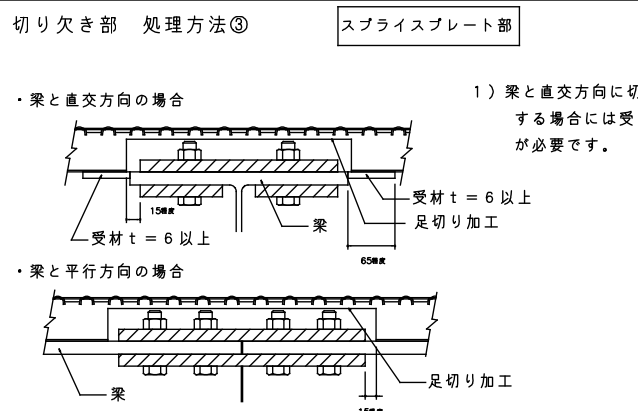
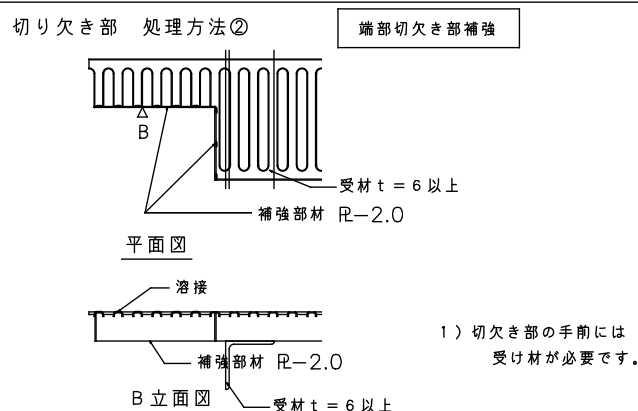
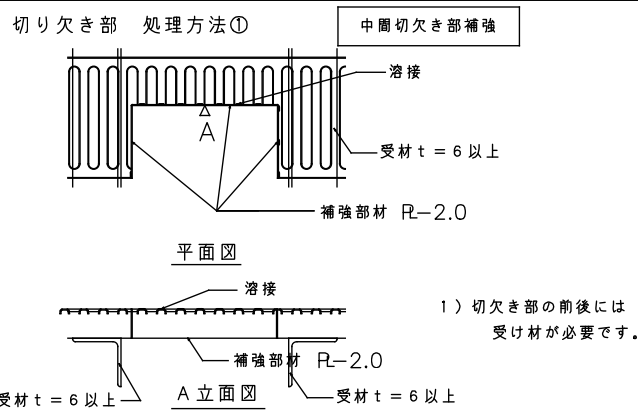
日鉄ファインフロア たわみ表 (連続梁)												
型式	集中荷重	たわみ種別: 5mm以下										
		スパン (mm)										
MN250-60-2.0 MF250-60-2.0	100kg (981N)	0.60	0.76	0.95	1.17	1.42	1.70	2.02	2.37	2.77	3.21	3.69
MN200-60-2.0 MF200-60-2.0	150kg (1471N)	0.90	1.14	1.42	1.75	2.13	2.55	3.03	3.56	4.15	4.81	—
MN250-60-1.6 MF250-60-1.6	100kg (981N)	0.72	0.92	1.15	1.41	1.72	2.06	2.44	2.87	3.35	3.88	4.46
MN200-60-1.6 MF200-60-1.6	150kg (1471N)	1.09	1.38	1.72	2.12	2.57	3.09	3.66	4.31	—	—	—
MN250-40-2.0 MF250-40-2.0	100kg (981N)	1.58	2.00	2.50	3.08	3.73	4.48	—	—	—	—	—
MN200-40-2.0 MF200-40-2.0	150kg (1471N)	2.36	3.00	3.75	4.61	—	—	—	—	—	—	—
MN250-40-1.6 MF250-40-1.6	100kg (981N)	1.89	2.40	3.00	3.69	4.48	—	—	—	—	—	—
MN200-40-1.6 MF200-40-1.6	150kg (1471N)	2.83	3.60	4.50	—	—	—	—	—	—	—	—
ME250-60-2.0	100kg (981N)	0.44	0.56	0.70	0.87	1.05	1.26	1.50	1.76	2.05	2.38	2.73
ME200-60-2.0	150kg (1471N)	0.67	0.85	1.06	1.30	1.58	1.89	2.25	2.64	3.08	3.57	4.10
ME250-40-2.0	100kg (981N)	1.14	1.44	1.80	2.22	2.69	3.23	3.83	4.51	—	—	—
ME200-40-2.0	150kg (1471N)	1.70	2.17	2.70	3.33	4.04	4.84	—	—	—	—	—

- 1) 風荷重など等分布荷重となる場合にはご相談下さい。
- 2) 設計推奨値としては、歩行床は $\delta \leq 5\text{mm}$ または $L/300$ 以下、外壁では $\delta \leq 20\text{mm}$ かつ $L/150$ 以下があります。
- 3) 表以外のスパンや荷重の場合はご相談下さい。

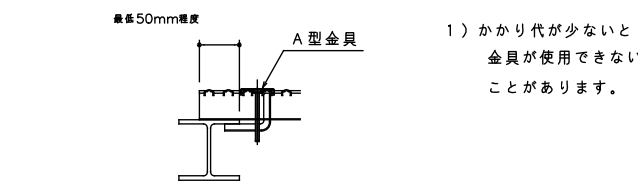
4. 仕上げ

- ・ 高耐食性めっき鋼板「スーパーダイマ®」(JIS G 3323)めっき付着量の表示記号 K 2 7
- ・ 溶融亜鉛めっき2種HDZ 35 (基材JIS G 3101 S S 400)
- ・ その他 ()

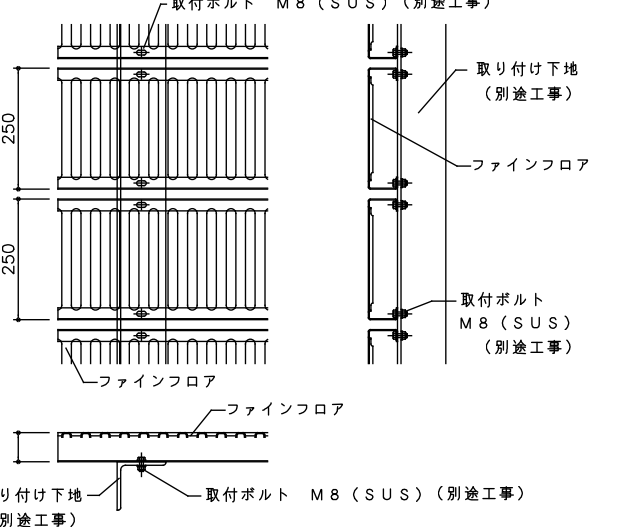
5. 切り欠き部 標準処理方法



6. かかり代



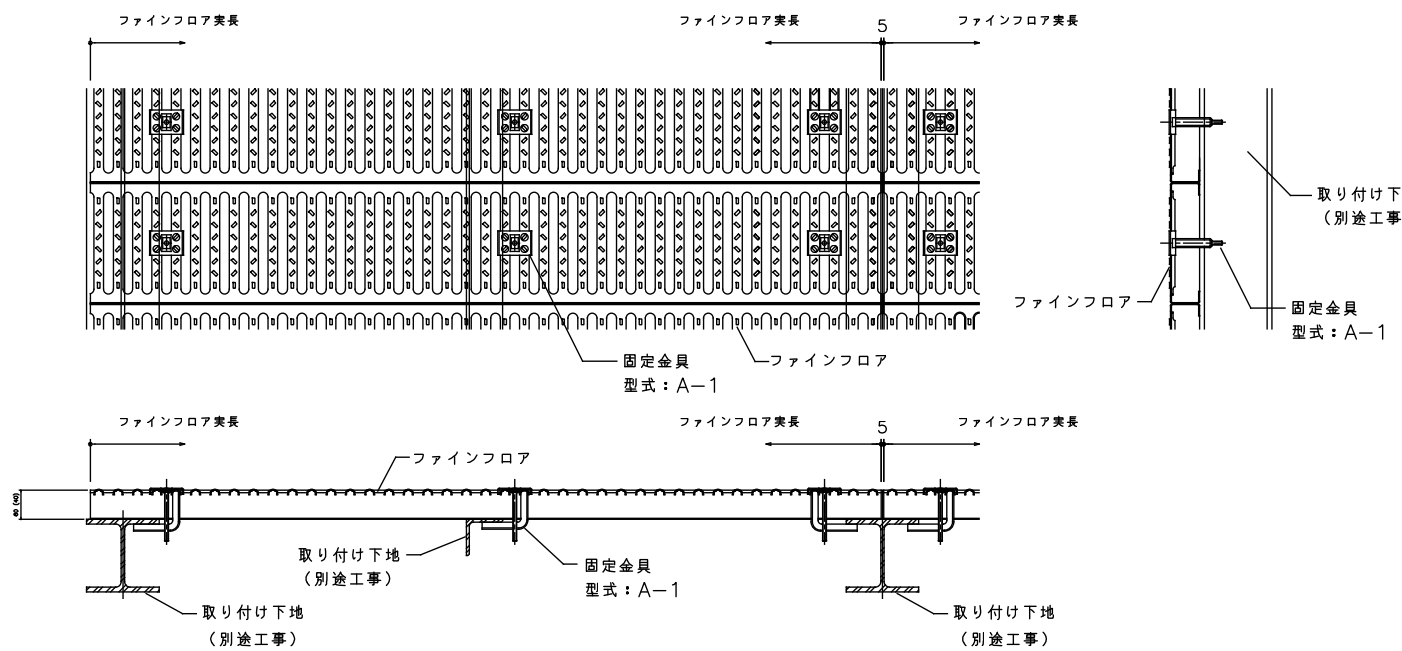
7. ボルト止めの場合



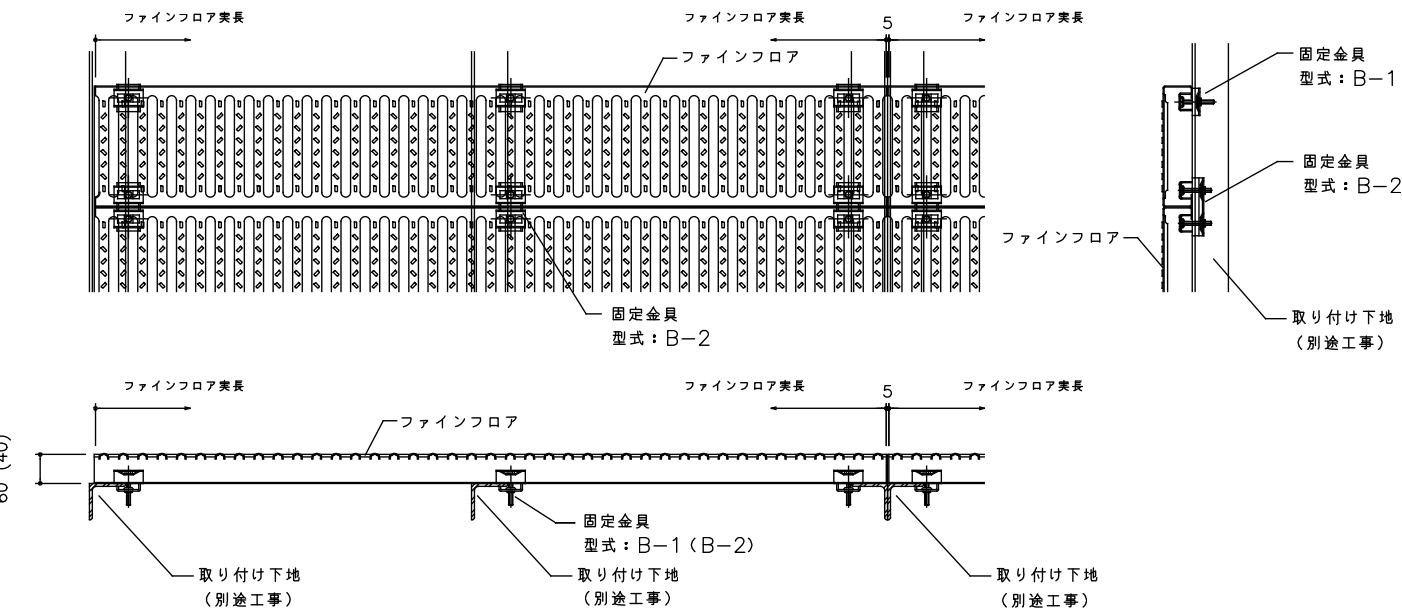
8. 固定金具

※金具を使用する際の取り付け下地は、厚み6mm以上のH型钢・L型钢・溝型钢等を使用してください。
※中間連結金具(J-1金具)は、ファインフロアを20mmの隙間を空けて並列に4枚以上並べた場合にたわみを軽減するものです。 ファインフロアを固定する金具ではありません。

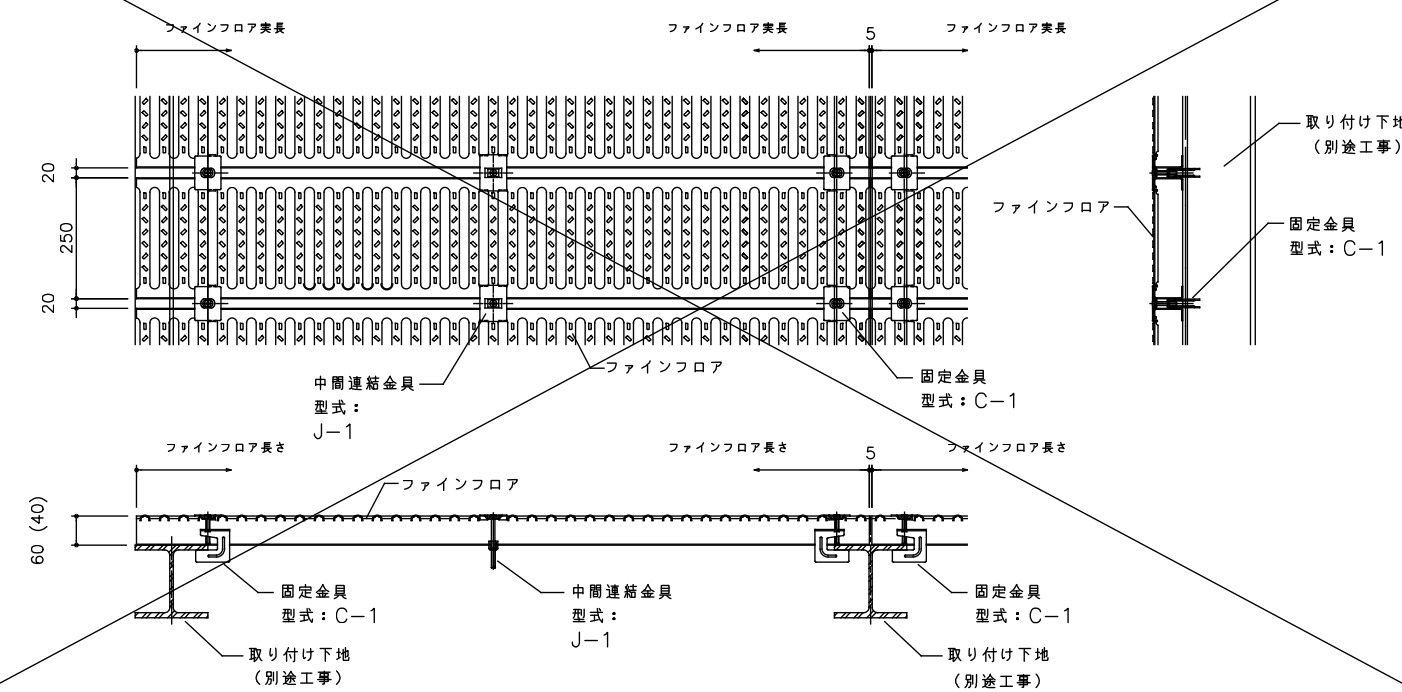
1) A型金具使用例



2) B型金具使用例



3) ファインフロア固定例(C型金具・中間連結金具)



改訂: 2019年4月